Veritas NetBackup™ OpsCenter レポートガイド

リリース 8.1.2

VERITAS™

Veritas NetBackup™ OpsCenter レポートガイド

マニュアルバージョン: NetBackup 8.1.2

法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は Veritas Technologies LLC または同社の米国とその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、サードパーティの所有物であることをベリタスが示す必要のあるサードパーティソフトウェア (「サードパーティプログラム」) が含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このベリタス製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のままで提供されるものであり、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC は、本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアと見なされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202、「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。業務用またはホスト対象サービスとしてベリタスによって提供されている場合でも同様です。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
500 E Middlefield Road
Mountain View, CA 94043

http://www.veritas.com

テクニカルサポート

テクニカルサポートは世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、お客様のサポート契約およびその時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供

されます。サポートサービスとテクニカルサポートへの問い合わせ方法については、次の弊社の Web サイトにアクセスしてください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL で Veritas Account の情報を管理できます。

https://my.veritas.com

既存のサポート契約に関する質問については、次に示す地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界全域 (日本を除く)	CustomerCare@veritas.com
Japan (日本)	CustomerCare_Japan@veritas.com

マニュアル

マニュアルの最新バージョンがあることを確認してください。各マニュアルには、2 ページに最終更新日付が記載されています。最新のマニュアルは、次のベリタス Web サイトで入手できます。

https://sort.veritas.com/documents

マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

NB.docs@veritas.com

次のベリタスコミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

http://www.veritas.com/community/ja

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) の表示

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) は、時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する Web サイトです。製品によって異なりますが、SORT はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。SORT がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf

目次

第 1 章 OpsCenter のレポート 7

OpsCenter レポートについて 7
OpsCenter レポートユーザーインターフェース 7
OpsCenter のレポート作成ウィザード 8
[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)] 9
OpsCenter Analytics のカスタムレポートについて 10
OpsCenter Analytics のカスタム SQL 問い合わせについて 11
OpsCenter カスタムレポートおよびカスタム SQL クエリーのサポートについて 11
OpsCenter のレポートの管理について 11
[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス 12
OpsCenter のレポートの保存 14
OpsCenter のレポートのエクスポート 14
OpsCenter で利用可能なファイル形式 15
OpsCenter のレポートの電子メール送信 17
電子メール送信またはエクスポートする表形式レポートの行数の構成 18
OpsCenter レポートの電子メール送信への電子メール受信者の追加 19
[電子メール受信者の追加 (Add Email Recipients)]ダイアログボックスオプション 19
マイレポートの管理について 20
[マイレポート (My Reports)]タブを使用したレポートの作成 20
[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの削除 21
[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの表示 21
[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの編集 21
保存されたレポートのエクスポート 22
保存されたレポートの電子メール送信 22
マイダッシュボードの管理について 23
[レポート (Reports)]>[マイダッシュボード (My Dashboard)]オプション 23

ダッシュボードへのレポートの追加 24
ダッシュボードセクションの修正 24
ダッシュボードセクションの削除 25
ダッシュボードの電子メール送信セクション 25
マイダッシュボードの更新 26
OpsCenter のレポートフォルダの管理について 26
[レポート (Reports)]>[フォルダの管理 (Manage Folders)]オプション 26
OpsCenter のレポートフォルダの追加 26
OpsCenter のレポートフォルダの編集 27
OpsCenter のレポートフォルダの削除 27
OpsCenter のフォルダからのレポートの削除 28
OpsCenter のレポートスケジュールの管理について 28
[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]オプション 29
OpsCenter のレポートスケジュールの詳細の表示 30
OpsCenter のレポートスケジュールの使用 30
レポートスケジュールウィザード 32
OpsCenter のレポートスケジュールの作成 34
OpsCenter のレポートスケジュールの編集 35
OpsCenter のレポートスケジュールの削除 36
レポートスケジュールの有効化または無効化 36
OpsCenter のタイムスケジュールの管理について 37
[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]>[タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]または[タイムスケジュールの編集 (Edit Time Schedule)]オプション 37
タイムスケジュールの詳細の表示 38
タイムスケジュールの作成 38
タイムスケジュールの編集 38
タイムスケジュールの削除 39

第 2 章 OpsCenter レポート 40

OpsCenter のレポートテンプレート 40
OpsCenter のレポートフィルタについて 42
レポートテンプレートを使った OpsCenter レポートの作成 43
レポート形式の使用 44
レポートテンプレートの説明について 45
監査レポートについて 46
OpsCenter のバックアップレポートについて 47
OpsCenter のカタログレポートについて 202
OpsCenter のチャージバックレポートについて 202
OpsCenter のクライアントレポートについて 211
クラウドレポートについて 245

OpsCenter の［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)］レポートについて 258
OpsCenter のメディアレポートについて 272
OpsCenter のパフォーマンスレポートについて 282
OpsCenter のポリシーレポートについて 289
OpsCenter のリストアレポートについて 306
ストレージライフサイクルポリシーレポートについて 317
OpsCenter の作業負荷アナライザレポートについて 353

第 3 章 OpsCenter Analytics のカスタムレポート 361

OpsCenter のカスタムレポートの作成 361
カスタムレポートウィザードのパラメータについて 368
SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成 376

索引 378

1

OpsCenter のレポート

この章では以下の項目について説明しています。

- OpsCenter レポートについて
- OpsCenter のレポートの管理について
- マイレポートの管理について
- マイダッシュボードの管理について
- OpsCenter のレポートフォルダの管理について
- OpsCenter のレポートスケジュールの管理について
- OpsCenter のタイムスケジュールの管理について

OpsCenter レポートについて

OpsCenter は Web ベースのソフトウェアアプリケーションで、これを使用すると組織のデータ保護環境が把握しやすくなります。OpsCenter を使用すると、包括的なビジネスレベルのレポートを生成することで、データのバックアップ操作やアーカイブ操作の有効性をトラッキングできます。

OpsCenter はバックアップとアーカイブのリソースのカスタマイズ可能なマルチレベルのビューとトラッキングサービスの使用状況と経費に関するカスタマイズ可能なレポートを表示します。また、コストメトリックやチャージバック方式の定義、またはアラートの処理に使用できるツールも含まれています。広い範囲の対象者が OpsCenter のレポート機能と管理機能の恩恵を受けられます。対象者は、IT (情報技術) マネージャ、アプリケーションの所有者、IT 財務チーム、外部コンプライアンスの監査人、法務チーム、基幹業務マネージャ、外部顧客、IT アーキテクト、および容量計画チームなどです。

OpsCenter レポートユーザーインターフェース

OpsCenter レポートユーザーインターフェースは、次のコンポーネントで構成されます。

[レポートテンプレート (Report Templates)]タブ	このタブは OpsCenter で利用可能なすべてのレポートテンプレート (または標準か定型レポート) をリストします。必要に応じてレポートテンプレートのデフォルトパラメータ値を修正し、その種類の新しいレポートを生成できます。 たとえば、既存の[バックアップ (Backups)]>[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[クライアント数 (Client Count)]レポートテンプレートを使って、相対的な時間枠を 4 週間に変更し (デフォルトの時間枠は 2 週間)、新しいクライアント数のレポートを生成します。過去 4 週間にわたってバックアップされたすべてのクライアントを確認することができます。
[マイレポート (My Reports)]タブ	生成されたレポートは、後で使用するために保存できます。これらの保存されたレポートは、[マイレポート (My Reports)]タブに保存されます。このセクションを使用して、保存されたレポートを表示したり、保存されたレポートのパラメータを変更したり、保存されたレポートから新しいレポートを生成することができます。[マイレポート (My Reports)]タブを使用して、保存されたレポートを削除することもできます。 p.20 の「マイレポートの管理について」を参照してください。 p.14 の「OpsCenter のレポートの保存」を参照してください。
[マイダッシュボード (My Dashboard)]タブ	保存されたレポートは[マイレポート (My Reports)]タブに保存されます。このレポートは[マイダッシュボード (My Dashboard)]タブで選択および公開できます。複数のレポートを選択し、これらを同じダッシュボードセクションに追加できます。このため、いくつかのレポートを含んでいる複数のダッシュボードセクションを作成できます。 p.23 の「マイダッシュボードの管理について」を参照してください。
[スケジュール (Schedules)]タブ	このタブはすべてのレポートのスケジュールを含んでいます。 このタブを使ってスケジュールを作成するか、編集するか、または削除できます。 p.30 の「OpsCenter のレポートスケジュールの使用」を参照してください。
[フォルダの管理 (Manage Folders)]タブ	レポートを保存したフォルダを管理するためにこのタブを使います。 p.26 の「OpsCenter のレポートフォルダの管理について」を参照してください。

OpsCenter のレポート作成ウィザード

OpsCenter はレポート作成手順全体を示すウィザードを提供します。

レポートを作成するには、OpsCenter コンソールの[レポート (Reports)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。次のレポートの作成オプションは[レポート作成オプションの選択 (Select Report Creation Option)]パネルで利用可能です。

- 既存のレポートテンプレートを使ってレポートを作成する。
  p.43 の「レポートテンプレートを使った OpsCenter レポートの作成」を参照してください。
- カスタムレポートを作成する。
  p.361 の「OpsCenter のカスタムレポートの作成」を参照してください。
- SQL 問い合わせを使ってレポートを作成する。
  p.376 の「SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]

この項では、OpsCenter で利用可能であるレポートテンプレートの詳細について説明します。

OpsCenter は修正し、その種の新しいレポートを生成できるいくつかのレポートテンプレート (または標準か定型レポート) を提供します。

OpsCenter コンソールでは、[レポート (Reports)]タブをクリックすると、レポートテンプレートのホームページが表示されます。

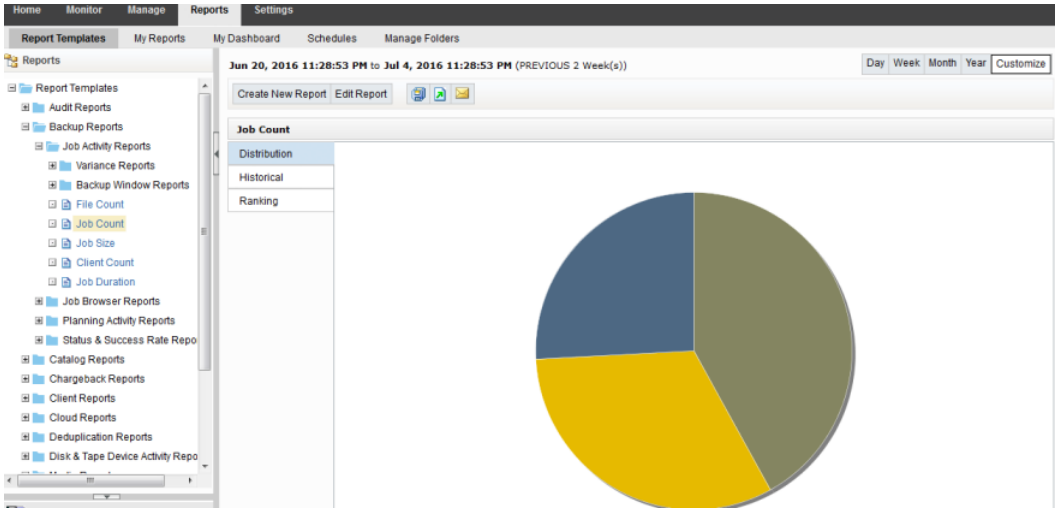
[レポート (Reports)] > [レポートテンプレート (Report Templates)]ページから、デフォルトパラメータ値を用いるそれぞれのレポートを表示するためにレポートテンプレートクリックできます。

また、[レポート (Reports)] > [レポートテンプレート (Report Templates)]ページの次のオプションをクリックできます。

新しいレポートの作成 (Create New Report)	標準レポートまたはカスタムレポートを作成するか、SQL 問い合わせを実行するには、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。
Edit Report (レポートの編集)	デフォルトのパラメータ値を用いるレポートテンプレートを実行したくない場合には、直接[レポート (Reports)] > [レポートテンプレート (Report Templates)]ページからレポートテンプレートを編集できます。レポートテンプレートを編集するには、最初にレポートテンプレートの左端のチェックボックスを選択することによってレポートテンプレートを選択します。レポートを編集し、実行しないで保存するには、[レポートの編集 (Edit Report)]をクリックします。

図 1-1 に、テンプレートを使って生成されるレポートの各種のコンポーネントを示します。

図 1-1 レポートテンプレート



レポートテンプレートのツリー	このツリーは OpsCenter で利用可能であるすべてのレポートテンプレートを示します。
レポート管理ツールバー	生成されたレポートを保存するか、エクスポートするか、または電子メールで送るためにこのツールバーを使います。
時間フィルタ	特定の期間のデータを表示するためにこれらの時間フィルタを使います。
レポート領域	OpsCenter レポートはここに表示されます。
レポートビュー	レポートは[分布 (Distribution)]、[履歴 (Historical)]、または[ランキング (Ranking)]という異なる形式で表示できます。現在のレポートビューを変更するためにこれらのオプションを使います。これらのオプションはグラフベースのレポートのためにのみ利用可能です。

OpsCenter Analytics のカスタムレポートについて

既存のテンプレートを使ってレポートを生成する以外に、必要に応じてレポートパラメータを変更することによって OpsCenter のカスタムレポートを作成することもできます。

p.361 の「OpsCenter のカスタムレポートの作成」を参照してください。

OpsCenter Analytics のカスタム SQL 問い合わせについて

OpsCenter では、直接 SQL 問い合わせを実行することによってレポートを作成できます。このレポート作成オプションを使うと、複数のパラメータ選択を行う必要はありません。

OpsCenter は SQL クエリーを実行してレポートを生成する前に知っておくと便利な、OpsCenter データベーススキーマについての詳しい情報を提供します。レポートウィザードの SQL の問い合わせページで、すべての関連情報を含む PDF を開く OpsCenter スキーマドキュメントリンクをクリックしてください。

メモ: SQL 問い合わせを実行して表形式のレポートのみを作成できます。また、この機能を使ってストアドプロシージャを実行できます。

---

p.11 の「OpsCenter カスタムレポートおよびカスタム SQL クエリーのサポートについて」を参照してください。

p.376 の「SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

OpsCenter カスタムレポートおよびカスタム SQL クエリーのサポートについて

Veritas は製品の品質向上に尽力し、OpsCenter データベースに収集し格納したデータと OpsCenter データベーススキーマのドキュメントの正確性と有効性に関して対応していきます。ただし、実際に作成されたカスタムレポート、特定のレポートに対するカスタム SQL クエリー、またはサードパーティのレポートアプリケーション (たとえば、Microsoft Excel、Access、または Crystal Reports) のテクニカルサポートは提供していません。

p.10 の「OpsCenter Analytics のカスタムレポートについて」を参照してください。

p.11 の「OpsCenter Analytics のカスタム SQL 問い合わせについて」を参照してください。

OpsCenter のレポートの管理について

この項では、OpsCenter で生成する標準レポートで実行できる操作に関する情報について説明します。

次の操作を実行できます。

- レポートの保存
  p.14 の「OpsCenter のレポートの保存」を参照してください。
- レポートのエクスポート
  p.14 の「OpsCenter のレポートのエクスポート」を参照してください。
- レポートの電子メール送信

p.17 の「OpsCenter のレポートの電子メール送信」を参照してください。

[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス

[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックスオプションの説明は表のとおりです。

表 1-1 [レポートの保存 (Save Report)]ダイアログボックスオプション

オプション	説明
レポート名 (Report name)	レポート名を入力します。たとえば、グループ化のオプションで[ポリシー形式 (Policy Type)]を選択し、レポートビューを[履歴 (Historical)]に設定したうえで、[ジョブ数 (Job Count)]から標準レポートを生成した場合、このレポートを NumberofJobsbyPolicies と命名することができます。 [保存されたレポート (Saved Reports)]タブでレポートを選択すると、そのレポートは、保存されたフィルタを使用して、そのレポートの保存時に選択したレポートビューに現在の時刻で表示されます。 レポート名について次のポイントを見直します。 ■ レポート名は、それを作成するフォルダで一意である必要があります。たとえば、[マイレポート (My Reports)]の下の[プライベートレポート (Private Reports)]フォルダにレポートを作成する場合、指定するレポート名は[プライベートレポート (Private Reports)]フォルダで一意である必要があります。[パブリックレポート (Public Reports)]フォルダと[プライベートレポート (Private Reports)]フォルダにある場合など、同じユーザーに同じ名前の 2 つのレポートがある場合もあります。 ■ レポート名に (/ ¥ * ? | ") などの特殊文字を含めないようにする必要があります。 ■ レポート名は 220 文字以下である必要があります。
説明 (Description)	レポートの短い説明を入力します。
フォルダ (Folder)	パブリックフォルダかプライベートフォルダを選択します。共有フォルダにレポートを保存すると、他のすべての OpsCenter ユーザーがそのレポートを表示できます。プライベートフォルダにレポートを保存すると、自分だけがそのレポートを表示できます。 パブリックフォルダかプライベートフォルダを展開し、レポートを保存するフォルダを選択します。選択したフォルダ形式 (パブリックまたはプライベート) によって、表示されるフォルダが変わります。

オプション	説明
新しいフォルダを作成する (Create New Folder)	新しいパブリックフォルダまたはプライベートフォルダを作成する場合は、このオプションをクリックします。このオプションをクリックすると、フォルダのビューが変わります。フォルダ名を入力して、[OK]をクリックします。 このフォルダは、[フォルダ (Folder)]ツリーで選択できるようになります。新たに作成した、レポートを保存するフォルダを選択します。
[選択したフォルダにレポートがすでに存在する場合は上書きする (Overwrite if report already exists in the selected folder)]	同じフォルダ内で同じ名前の既存のレポートを上書きする場合、このチェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しないで、選択したフォルダ内で既存のレポートと同じ名前のレポートを保存すると、既存のレポートを上書きする前に確認のメッセージが表示されます。

表 1-2 [レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックスオプション

オプション	説明
形式の選択 (Select Format)	次のいずれかの形式を選択します。 ■ PDF ■ HTML ■ CSV ■ TSV ■ XML **メモ:** これらの形式のいくつかは特定のレポートで利用可能でないことがあります。たとえば、[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートと[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートは、HTML 形式でのみエクスポートおよび電子メール送信できます。
内容の選択 (Select Content)	次のいずれかのレポート形式を選択します。 ■ 分布 (Distribution) ■ 履歴 (Historical) ■ ランキング (Ranking) ■ 表形式 [分布 (Distribution)]、[履歴 (Historical)]、[ランキング (Ranking)]の各形式はグラフベースのレポートのためにのみ利用可能です。
電子メール (Email)	アドレス、件名、メッセージなど、適切な電子メールの詳細を入力します。

OpsCenter のレポートの保存

レポートを保存できます。この操作によって、レポートを作成する際に選択したフィルタを保存します。現在の選択項目を使ってレポートを再生成するためにこの一組のフィルタを使うことができます。

これらのレポートは[マイレポート (My Reports)]タブを使って表示できる OpsCenter データベースに保存されます。

(/ ¥ * ? | ") などの特殊文字を含む名前のレポートは保存できません。

p.20 の「マイレポートの管理について」を参照してください。

レポートを保存する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]をクリックします。
2. [レポート (Reports)]ツリーから、保存するレポートテンプレートを選択します。
3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートとして保存 (Save As Report)]アイコンをクリックします。[レポートの保存 (Save Report)]ポップアップ画面が開きます。
4. [レポートの保存 (Save Report)]画面で、必要な詳細情報を入力します。

   p.12 の「[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス」を参照してください。
5. [OK]をクリックします。

   正常に保存されると、このレポートが選択された状態で[マイレポート (My Reports)]タブが表示されます。

メモ: (/ ¥ * ? | ") などの特殊文字を含むレポート名は保存できません。

OpsCenter のレポートのエクスポート

OpsCenter を使って、レポートデータをファイルに保存するか、またはデータを出力できます。

p.15 の「 OpsCenter で利用可能なファイル形式」を参照してください。

表計算ワークシートやテキストエディタなどのその他のアプリケーションを使用して、エクスポートされたファイルを開くことができます。

レポートをエクスポートする方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]をクリックします。

   [レポート (Reports)] > [マイレポート (My Reports)]から、作成したレポートをエクスポートすることもできます。

2. [レポート (Reports)]ツリーから、エクスポートするレポートテンプレートまたはレポートを選択します。

3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートのエクスポート (Export Report)]アイコンをクリックします。[レポートのエクスポート (Export Report)]ポップアップ画面が開きます。

4. [レポートのエクスポート (Export Report)]ポップアップ画面で、レポートのエクスポートに使うエクスポートオプションを選択します。ファイル形式 (PDF、HTML、CSV、TSV、XML など) と、内容またはレポートのビュー ([表形式 (Tabular)]、[分布 (Distribution)]、[履歴 (Historical)]、[ランキング (Ranking)]など) を選択します。

   特定のレポートに適用可能な形式とレポートビューのみが表示されることに注意してください。

   p.12 の「[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス」を参照してください。

5. [OK]をクリックします。選択したファイル形式に関するエクスポートオプションが表示されます。それらのオプションを選択し、レポートをエクスポートします。

OpsCenter で利用可能なファイル形式

次のファイル形式の OpsCenter レポートをエクスポートするか、または電子メールで送ることができます。

PDF (Portable Document Format)	Adobe Reader などの PDF リーダーを使用して表示できます
CSV (カンマ区切り値)	Microsoft Excel などの表計算ワークシートで使用されます。
TSV (タブ区切り値)	ワードプロセッサアプリケーションやテキストエディタとの互換性があります
HTML (Hypertext Markup Language)	Web ブラウザを使用して開くことができます
XML (Extensible Markup Language)	データベースや課金アプリケーションなどの他のプログラムで (ユーザーが記述したスクリプトを使って) インポートできます。

XML 形式を次に示します。

```
<Report>
  <ReportView>
    <Name> {nameValue} </Name>
    <Description> {descriptionForReportView} </Description>
    <TimeDuration> {timeValue} </TimeDuration>

    <ViewName> {viewNameValue} </ViewName>
    <ViewSelections>
      <SelectedItem value="{selectedNodeNameValue1}">
        <ExcludedItem> {excludedNodeName1} </ExcludedItem>
        <ExcludedItem> {excludedNodeName2} </ExcludedItem>
        ...
      </SelectedItem>

      <SelectedItem value="{selectedNodeNameValue2}">
        <ExcludedItem> {excludedNodeName3} </ExcludedItem>
        <ExcludedItem> {excludedNodeName4} </ExcludedItem>
        ...
      </SelectedItem>
    </ViewSelections>
    <Table>
      <Header>
                    <Row>…</Row>
                </Header>
                <Rows>
                    <Row>…</Row> …
                </Rows>
    </Table>
  </ReportView>

  <ReportView>

</Report>
```

新しい形式では、**<Table>** が、**<ReportView>** と呼ばれる新しいタグの下に移動されました。エクスポートまたは電子メールに対して複数のビュー (分布、履歴、ランキング) が選択された場合、それぞれのビューに相当する **<ReportView>** タグが各ビューに 1 つずつあります。ReportView タグの中の Name、Description、TimeDuration の各タグは、各ビューに常にあります。ただし、ViewName、GroupBy、ViewSelections の各タグは、適当である場合にのみあります。レポートが編集され、ビューの選択が変わると、これらのタグがエクスポートで追加されます。

OpsCenter のレポートの電子メール送信

OpsCenterを使って、選択した受信者にレポートデータを電子メールで送ることができます。さまざまなファイル形式でレポートを電子メール送信できます。

p.15 の「 OpsCenter で利用可能なファイル形式」を参照してください。

レポートを電子メールで送信する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]をクリックします。

   [レポート (Reports)] > [マイレポート (My Reports)]から、作成したレポートをエクスポートすることもできます。

2. [レポート (Reports)]ツリーから、電子メールで送信するレポートテンプレートまたはレポートを選択します。

3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]アイコンをクリックします。[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ポップアップ画面が開きます。

   p.12 の「[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス」を参照してください。

4. [レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ポップアップ画面で、次の電子メールオプションを選択します。ファイル形式 (PDF、HTML、CSV、TSV、XML など) と、内容またはレポートのビュー ([表形式 (Tabular)]、[分布 (Distribution)]、[履歴 (Historical)]、[ランキング (Ranking)]など) を選択します。

   特定のレポートに適用可能な形式とレポートビューのみが表示されることに注意してください。

5. 電子メールを送信する電子メール ID を[宛先 (To)]、[CC]および[Bcc]のテキストボックスに入力します。

   これらの電子メール ID がまだ存在しない場合は、データベースに自動的に追加されます。

   または、既存の電子メールの受信者を追加することもできます。

   p.19 の「OpsCenter レポートの電子メール送信への電子メール受信者の追加」を参照してください。

6. 電子メールの件名を入力します。

7. 電子メールで送信するレポートデータに関する簡潔な説明をメッセージとして入力します。

8. [OK]をクリックします。

電子メール送信またはエクスポートする表形式レポートの行数の構成

表形式レポートをエクスポートするか、電子メールで送るか、スケジュールするとき、デフォルトでは 4000 行がエクスポートされます。

エクスポートするか、または電子メールで送ることができる表形式レポートの行の最大数を構成できます。

エクスポートする行の最大数を設定する方法

1. OpsCenter サーバーにログオンします。
2. Windows と UNIX の次のコマンドを使ってすべての OpsCenter サーバーサービスまたはプロセスを停止します。

Windows	INSTALL_PATH¥OpsCenter¥server¥bin¥opsadmin.bat stop
UNIX の場合	<INSTALL_PATH>/SYMCOpsCenterServer/bin/opsadmin.sh stop

3. 次の場所に移動します。

Windows	C:¥Program Files¥Symantec¥OpsCenter¥server¥config
UNIX	<INSTALL_PATH>/SYMCOpsCenterServer/config

4. `report.conf` ファイルを開きます。
5. すべての行をエクスポートするか、または最大値を増減することができます。すべての行をエクスポートするか、または行数を増やすと、多数の行がある場合にレポートのエクスポートに時間がかかる可能性があることに注意してください。
   - すべての行をエクスポートするには、`report.schedule.max.tabular.rows` パラメータをコメントアウトするか、または `report.schedule.max.tabular.rows` パラメータに -1 以下の値を指定できます。

     `report.schedule.max.tabular.rows` パラメータをコメントアウトするには、このようにパラメータの前に 2 つのスラッシュを追加します。

     `//report.schedule.max.tabular.rows=4000`

     または

     `report.schedule.max.tabular.rows=4000` の値 4000 を -1 に編集します。

     `report.schedule.max.tabular.rows=-1`
   - 行の最大数をたとえば 5000 に変更するには、`report.schedule.max.tabular.rows` の値を 5000 に設定できます。

report.schedule.max.tabular.rows=5000 を構成します。

6 Windows と UNIX の次のコマンドを使ってすべての OpsCenter サーバーサービスまたはプロセスを開始します。

Windows の場合 INSTALL_PATH¥OpsCenter¥server¥bin¥opsadmin.bat start

UNIX の場合 <INSTALL_PATH>/SYMCOpsCenterServer/bin/opsadmin.sh start

OpsCenter レポートの電子メール送信への電子メール受信者の追加

この項では、電子メールを送信する電子メールの受信者を追加する方法について説明します。この手順はすでに電子メールのレポートの手順を開始していることを想定します。この手順に関する詳細情報が利用可能です。

p.17 の「OpsCenter のレポートの電子メール送信」を参照してください。

電子メールの受信者を追加する方法

1 ［電子メール受信者を追加する (Add Email Recipients)］画面で、電子メールを送信する電子メール受信者の前のチェックボックスを選択します。

p.19 の「［電子メール受信者の追加 (Add Email Recipients)］ダイアログボックスオプション」を参照してください。

選択した受信者を追加する場所に応じて、［宛先 (To)］、［Cc］または［Bcc］をクリックします。

2 ［OK］をクリックします。

［電子メール受信者の追加 (Add Email Recipients)］ダイアログボックスオプション

表 1-3 ［電子メール受信者の追加 (Add Email Recipients)］ダイアログボックスオプション

オプション	説明 (Description)
［受信者の名前 (Recipient Name)］/［電子メールアドレス (Email Address)］	電子メールを送信する電子メール受信者の前のチェックボックスにチェックマークを付けます。
［宛先 (To)］/［Cc］/［Bcc］	選択した受信者を追加する場所に応じて、［宛先 (To)］、［Cc］または［Bcc］をクリックします。

マイレポートの管理について

生成されたレポートは、後で使用するために保存できます。これらの保存されたレポートは、[マイレポート (My Reports)]タブに保存されます。このセクションを使用して、保存されたレポートを表示したり、保存されたレポートのパラメータを変更したり、保存されたレポートから新しいレポートを生成することができます。[マイレポート (My Reports)]タブを使用して、保存されたレポートを削除することもできます。

次の項はレポートの管理についての詳細情報を提供します。

p.20 の「[マイレポート (My Reports)]タブを使用したレポートの作成」を参照してください。

p.21 の「[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの削除」を参照してください。

p.21 の「[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの表示」を参照してください。

p.21 の「[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの編集」を参照してください。

p.22 の「保存されたレポートのエクスポート」を参照してください。

p.22 の「保存されたレポートの電子メール送信」を参照してください。

[マイレポート (My Reports)]タブを使用したレポートの作成

この項では、[マイレポート (My Reports)]タブを使ってレポートを作成するための手順について説明します。

[マイレポート (My Reports)]タブを使用してレポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイレポート (My Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。

   次のいずれかの方法でレポートを作成できます。

   p.43 の「レポートテンプレートを使った OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

   p.361 の「OpsCenter のカスタムレポートの作成」を参照してください。

   p.376 の「SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの削除

この項では、保存されたレポートを削除するための手順について説明します。

保存されたレポートを削除する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイレポート (My Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブの[レポート (Reports)]リストでレポートフォルダを展開し、保存されているレポートを表示します。
3. レポート名の前のチェックボックスを選択します。
4. [削除 (Delete)]をクリックします。

[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの表示

[マイレポート (My Reports)]タブを使って保存されたレポートを表示できます。

保存されたレポートを表示する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイレポート (My Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブの[レポート (Reports)]リストでレポートフォルダを展開し、保存されているレポートを表示します。表示する保存されたレポートを選択します。

[マイレポート (My Reports)]タブを使用した保存済みレポートの編集

保存されたレポートを編集できます。レポート名または編集されたレポートを保存するフォルダなど、レポートの詳細を編集できます。

保存されたレポートを編集する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイレポート (My Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブの[レポート (Reports)]リストでレポートフォルダを展開し、保存されているレポートを表示します。編集する保存されたレポートを選択します。
3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートとして保存 (Save As Report)]アイコンをクリックします。[レポートの保存 (Save Report)]ポップアップ画面が開きます。
4. [レポートの保存 (Save Report)]画面で、必要な情報を入力します。

   p.12 の「[レポートの保存 (Save Report)]と[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ダイアログボックス」を参照してください。
5. [OK]をクリックします。

保存されたレポートのエクスポート

OpsCenter を使って、保存されたレポートデータをファイルに保存するか、またはデータを出力できます。さまざまなファイル形式でレポートを電子メール送信できます。

p.15 の「 OpsCenter で利用可能なファイル形式」を参照してください。

表計算ワークシートやテキストエディタなどのその他のアプリケーションを使用して、エクスポートされたファイルを開くことができます。

保存されたレポートをエクスポートする方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイレポート (My Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブの[レポート (Reports)]リストでレポートフォルダを展開し、保存されているレポートを表示します。エクスポートする保存されたレポートを選択します。
3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートのエクスポート (Export Report)]アイコンをクリックします。[レポートのエクスポート (Export Report)]ポップアップ画面が開きます。
4. [レポートのエクスポート (Export Report)]ポップアップ画面で、レポートと共にエクスポートするエクスポートオプションを選択します。ファイル形式 (PDF、CSV、XML など)、および内容またはレポートのビュー (分布、履歴、ランキングなど) を選択します。
5. [OK]をクリックします。選択したファイル形式に関するエクスポートオプションが表示されます。それらのオプションを選択し、保存されたレポートをエクスポートします。

保存されたレポートの電子メール送信

OpsCenter を使って、選択した受信者に保存したレポートデータを電子メールで送ることができます。次のファイル形式のレポートを電子メールで送ることができます。

PDF (Portable Document Format)	Adobe Reader などの PDF リーダーを使用して表示できます
CSV (カンマ区切り値)	Microsoft Excel などの表計算ワークシートで使用されます。
TSV (タブ区切り値)	ワードプロセッサアプリケーションやテキストエディタとの互換性があります
HTML (Hypertext Markup Language)	Web ブラウザを使用して開くことができます
XML (Extensible Markup Language)	データベースや課金アプリケーションなどの他のプログラムで (ユーザーが記述したスクリプトを使用して) インポートできます

レポートを電子メールで送信する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[保存されたレポート (Saved Reports)]をクリックします。
2. [マイレポート (My Reports)]タブの[レポート (Reports)]リストでレポートフォルダを展開し、保存されているレポートを表示します。電子メールで送信する保存されたレポートを選択します。
3. 右側のレポートビュー領域で、[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]アイコンをクリックします。[レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ポップアップ画面が開きます。
4. [レポートを電子メールで送信 (Email Report)]ポップアップ画面で、次の電子メールオプションを選択します。ファイル形式 (PDF、CSV、XML など)、および内容またはレポートのビュー (分布、履歴、ランキングなど)。
5. 電子メールを送信する電子メール ID を[宛先 (To)]、[CC]および[Bcc]のテキストボックスに入力します。
6. 電子メールの件名を入力します。
7. 電子メールで送信するレポートデータに関する簡潔な説明をメッセージとして入力します。
8. [OK]をクリックします。

マイダッシュボードの管理について

保存されたレポートは[マイレポート (My Reports)]タブに保存されます。このレポートは[マイダッシュボード (My Dashboard)]タブで選択および公開できます。複数のレポートを選択し、これらを同じダッシュボードセクションに追加できます。このため、いくつかのレポートを含んでいる複数のダッシュボードセクションを作成できます。

ダッシュボードには 10 件のレポートのみ追加できます。

p.24 の「ダッシュボードへのレポートの追加」を参照してください。

p.24 の「ダッシュボードセクションの修正」を参照してください。

p.25 の「ダッシュボードセクションの削除」を参照してください。

p.25 の「ダッシュボードの電子メール送信セクション」を参照してください。

p.26 の「マイダッシュボードの更新」を参照してください。

[レポート (Reports)]>[マイダッシュボード (My Dashboard)]オプション

[マイダッシュボード (My Dashboard)]タブでレポートを選択し公開します。複数のレポートを選択し、これらを同じダッシュボードセクションに追加できます。このため、いくつかのレポートを含んでいる複数のダッシュボードセクションを作成できます。

ダッシュボードには 10 件のレポートのみ追加できます。

表 1-4 ［レポート (Reports)］>［マイダッシュボード (My Dashboard)］オプション

オプション	説明
追加 (Add)/編集 (Edit)/削除 (Delete)	このページの複数のダッシュボードとマイレポートの 1 つ以上のレポートをそれぞれのダッシュボードに追加できます。［追加 (Add)］、［編集 (Edit)］、［削除 (Delete)］タスクを使用して、ダッシュボードを追加、編集または削除します。
電子メールダッシュボード (Email Dashboard)	すべてのダッシュボードレポートを電子メールで送信する場合はこのオプションを選択します。 表示される［電子メールダッシュボード (Email Dashboard)］ダイアログボックスで、他の電子メールの詳細とともに送信するダッシュボードレポートの形式を指定できます。［OK］をクリックします。
ダッシュボードの更新 (Refresh Dashboard)	ダッシュボードのレポートを更新するにはこのオプションを選択します。

ダッシュボードへのレポートの追加

この項では、ダッシュボードにレポートを追加するための手順を提供します。

ダッシュボードにレポートを追加する方法

1. OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］>［マイダッシュボード (My Dashboard)］をクリックします。
2. ［追加 (Add)］をクリックします。
3. ［ダッシュボードセクションの追加 (Add Dashboard Section)］ポップアップ画面で、セクション名を入力します。
4. プライベートレポートまたはパブリックレポートのフォルダを展開して、既存のレポートを表示します。
5. ダッシュボードで公開するレポート名の前のチェックボックスを選択します。
6. ［OK］をクリックします。

ダッシュボードセクションの修正

この項では、ダッシュボードセクションを修正するための手順を提供します。

ダッシュボードを修正する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイダッシュボード (My Dashboard)]をクリックします。
2. [編集 (Edit)]をクリックします。
3. [ダッシュボードセクションの編集 (Edit Dashboard Section)]ポップアップ画面で、ドロップダウンリストから修正するダッシュボードセクションを選択します。
4. セクション名を修正します。
5. プライベートレポートまたはパブリックレポートのフォルダを展開して、既存のレポートを表示します。
6. このダッシュボードセクションで公開するか、または削除するレポート名の前のチェックボックスを選択するか、または選択解除します。
7. [OK]をクリックします。

ダッシュボードセクションの削除

この項では、ダッシュボードセクションを削除するための手順を提供します。

ダッシュボードセクションを削除する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイダッシュボード (My Dashboard)]をクリックします。
2. [削除 (Delete)]をクリックします。
3. [ダッシュボードセクションの削除 (Delete Dashboard Section)]ポップアップ画面で、ドロップダウンリストから削除するダッシュボードセクションを選択します。
4. [OK]をクリックします。

ダッシュボードの電子メール送信セクション

ダッシュボードを電子メールで送信できます。

ダッシュボードを電子メールで送信する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[マイダッシュボード (My Dashboard)]をクリックします。
2. [電子メールダッシュボード (Email Dashboard)]アイコンをクリックします。
3. [電子メールダッシュボード (Email Dashboard)]ポップアップ画面で、電子メールを送信する形式を選択します。
4. 必要に応じて、[宛先 (To)]、[CC]および[Bcc]から電子メールの受信者を選択します。

   または、データベースに追加する新しい電子メールの受信者を入力します。

5 電子メールの件名とメッセージを入力します。

6 ［OK］をクリックします。

マイダッシュボードの更新

この項では、マイダッシュボードを更新するための手順について説明します。

マイダッシュボードを更新する方法

1 OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］>［マイダッシュボード (My Dashboard)］をクリックします。

2 更新アイコンをクリックします。

OpsCenter のレポートフォルダの管理について

OpsCenter はレポートを保存したフォルダを管理する方法を提供します。それらはプライベートレポートの場合もパブリックレポートの場合もあります。

［レポート (Reports)］セクションの［フォルダの管理 (Manage Folders)］タブを使って、新しいレポートフォルダを追加するか、既存のフォルダの名前を編集するか、または削除できます。

また特定のフォルダのレポートを選択し、このタブを使って削除できます。

p.26 の「OpsCenter のレポートフォルダの追加」を参照してください。

p.27 の「OpsCenter のレポートフォルダの編集」を参照してください。

p.27 の「OpsCenter のレポートフォルダの削除」を参照してください。

p.28 の「OpsCenter のフォルダからのレポートの削除」を参照してください。

［レポート (Reports)］>［フォルダの管理 (Manage Folders)］オプション

［レポート (Reports)］セクションの［フォルダの管理 (Manage Folders)］タブを使って、新しいレポートフォルダを追加するか、既存のフォルダの名前を編集するか、または削除できます。

OpsCenter のレポートフォルダの追加

この項では、レポートフォルダを追加する手順について説明します。

フォルダを追加する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[フォルダの管理 (Manage Folders)]をクリックします。
2. [レポート (Reports)]ツリーで、新しいフォルダを作成するプライベートフォルダノードまたはパブリックフォルダノードを選択します。
3. [追加 (Add)]をクリックします。
4. [新しいフォルダの作成 (Create new folder)]ポップアップウィンドウで、1 つのフォルダのみ選択したことを確認します。複数のフォルダが選択されている場合、[追加 (Add)]オプションは無効になります。
5. フォルダ名を入力します。
6. [OK]をクリックします。

   このフォルダは、選択したノードに追加されます。

OpsCenter のレポートフォルダの編集

この項では、レポートフォルダを編集するための手順を提供します。

フォルダを編集する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[フォルダの管理 (Manage Folders)]をクリックします。
2. [レポート (Reports)]ツリーで、編集するプライベートフォルダまたはパブリックフォルダを選択します。
3. [編集 (Edit)]をクリックします。
4. [フォルダ名の編集 (Edit folder name)]ポップアップウィンドウで、1 つのフォルダのみ選択したことを確認します。複数のフォルダが選択されている場合、[編集 (Edit)]オプションは無効になります。
5. フォルダ名を編集します。
6. [OK]をクリックします。

OpsCenter のレポートフォルダの削除

この項では、レポートフォルダを削除するための手順について説明します。レポートフォルダを削除すれば、そのフォルダに保存されるすべてのレポートは削除されます。

フォルダを削除する方法

1 OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[フォルダの管理 (Manage Folders)]をクリックします。

2 [レポート (Reports)]ツリーで、削除するプライベートフォルダまたはパブリックフォルダを選択します。

3 [削除 (Delete)]をクリックします。

OpsCenter のフォルダからのレポートの削除

この項では、パブリックまたはプライベートフォルダで保存されるレポートを削除する手順について説明します。

レポートをフォルダから削除する方法

1 OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[フォルダの管理 (Manage Folders)]をクリックします。

2 [レポート (Reports)]ツリーで、レポートを削除するプライベートまたは共有フォルダを選択します。選択したフォルダに保存されるレポートのリストがページの右側に表示されます。

3 レポートのリストから、削除するレポートを選択します。

4 [削除 (Delete)]をクリックします。

OpsCenter のレポートスケジュールの管理について

NetBackup OpsCenter は特定のスケジュールのレポートをエクスポートするか、または電子メールで送信する方法を提供します。このタスクのために指定のレポートがエクスポートされるか、または電子メールで送られるタイムスケジュールに関連するレポートスケジュールを作成する必要があります。

各レポートスケジュールは単一のタイムスケジュールと関連付けることができます。単一のタイムスケジュールを複数のレポートスケジュールに関連付けることができます。

p.37 の「OpsCenter のタイムスケジュールの管理について」を参照してください。

次の項では、レポートスケジュールを作成し管理する方法について説明します。

p.30 の「OpsCenter のレポートスケジュールの詳細の表示」を参照してください。

p.34 の「OpsCenter のレポートスケジュールの作成」を参照してください。

p.35 の「OpsCenter のレポートスケジュールの編集」を参照してください。

p.36 の「 OpsCenter のレポートスケジュールの削除」を参照してください。

p.36 の「レポートスケジュールの有効化または無効化」を参照してください。

[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]オプション

レポートスケジュールを使って、スケジュールされている時間にレポートを電子メールで送るか、またはエクスポートできます。各レポートスケジュールは指定のレポートを電子メールで送るか、または送信するタイムスケジュールと関連付けられます。

表 1-5 [レポートスケジュール (Report Schedules)]タブオプション

オプション	説明
[追加 (Add)]/[編集 (Edit)]	レポートスケジュールウィザードを開始するために[追加 (Add)]か[編集 (Edit)]を選択します。
削除 (Delete)	選択したレポートのスケジュールを削除するには[削除 (Delete)]を選択します。
有効化 (Enable)/無効化 (Disable)	選択したレポートのスケジュールの有効と無効を切り替えるには[有効化 (Enable)]または[無効化 (Disable)]を選択します。
名前 (Name)	レポートスケジュールの名前。
タイムスケジュール名 (Time Schedule Name)	このレポートスケジュールと関連付けられるタイムスケジュールの名前。
[有効 (Enabled)]	レポートスケジュールを有効にするかどうかを指定します。
開始日 (Start Date)	このスケジュールが実行される日付。
終了日 (End Date)	このスケジュールが停止する日付。
エクスポート (Export)	関連付け済みのレポートをエクスポートしたかどうか指定します。
電子メール (Email)	関連付け済みのレポートを電子メールで送ったかどうか指定します。
レポート (Reports)	このスケジュールが実行されたときにエクスポートされるか、または電子メールで送られるレポートの数。

表 1-6 [タイムスケジュール (Time Schedules)]タブオプション

オプション	説明
[追加 (Add)]/[編集 (Edit)]	[タイムスケジュール (Time Schedule)]ページに移動するために[追加 (Add)]か[編集 (Edit)]を選択します。
削除 (Delete)	選択したタイムスケジュールを削除するには[削除 (Delete)]を選択します。
名前 (Name)	タイムスケジュールの名前。

オプション	説明
スケジュール時間 (Schedule Time)	関連するレポートがエクスポートされたりまたは電子メールで送信される時間。
反復パターン (Recurrence Pattern)	このスケジュールが実行されるパターン。
開始日 (Start Date)	スケジュールが開始する日付。
終了日 (End Date)	スケジュールが停止する日付。

OpsCenter のレポートスケジュールの詳細の表示

この項では、レポートスケジュールのリストの表示に関する情報について説明します。

選択したレポートの条件を適用した場合は、適用可能な条件のリストがウィザードの最後のページに表示されます。適切な条件を選択できます。選択した条件を満たしていると、関連する受信者に電子メール通知が送信されます。

レポートスケジュールの詳細を表示する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。

   デフォルトでは、[レポートスケジュール (Report Schedules)]タブが選択されています。

2. [レポートスケジュール (Report Schedules)]タブでレポートスケジュールの詳細を表示します。

   p.29 の「[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]オプション」を参照してください。

OpsCenter のレポートスケジュールの使用

レポートスケジュールを使って、スケジュールされている時間にレポートを電子メールで送るか、またはエクスポートできます。各レポートスケジュールは指定のレポートを電子メールで送るか、または送信するタイムスケジュールと関連付けられます。

OpsCenter はレポートスケジュールを作成するためのウィザードを提供します。

p.34 の「OpsCenter のレポートスケジュールの作成」を参照してください。

次の表に、特定のスケジュールでレポートを電子メールで送るか、またはエクスポートするために実行する必要がある手順を示します。

p.37 の「OpsCenter のタイムスケジュールの管理について」を参照してください。

表 1-7 レポートスケジュールの作成

手順の番号	手順と参照項目
1	タイムスケジュールを作成します。 p.38 の「タイムスケジュールの作成」を参照してください。
2	レポートスケジュールを作成します。 OpsCenter はレポートスケジュールを作成するためのウィザードを提供します。このウィザードに従って、次の詳細情報を指定します。 ■ レポートスケジュールの名前 ■ 電子メールで送るか、またはエクスポートするレポートのファイル形式 ■ タイムスケジュールを選択します。 最初の手順で作成した既存のタイムスケジュールを選択するか、ここからこのレポートスケジュールに関連付ける新しいスケジュールを作成します。 ■ エクスポートまたは電子メールオプションの詳細を指定します。 ■ 特定のスケジュールでエクスポートするか、または電子メールで送信するレポートを選択します。 **メモ:** スケジュールでは、保存されたレポートのみを選択できます。 p.34 の「OpsCenter のレポートスケジュールの作成」を参照してください。

表 1-8

手順	参照項目
◆ タイムスケジュールを作成します。 タイムスケジュールを作成します。	p.38 の「タイムスケジュールの作成」を参照してください。

手順	参照項目
◆ レポートスケジュールを作成します。 レポートスケジュールを作成します。 OpsCenter はレポートスケジュールを作成するためのウィザードを提供します。このウィザードに従って、次の詳細情報を指定します。 ■ レポートスケジュールの名前 ■ 電子メールで送るか、またはエクスポートするレポートのファイル形式 ■ タイムスケジュールを選択します。 最初の手順で作成した既存のタイムスケジュールを選択するか、ここからこのレポートスケジュールに関連付ける新しいスケジュールを作成します。 ■ エクスポートまたは電子メールオプションの詳細を指定します。 ■ 特定のスケジュールでエクスポートするか、または電子メールで送信するレポートを選択します。 **メモ:** スケジュールでは、保存されたレポートのみを選択できます。	p.34 の「OpsCenter のレポートスケジュールの作成」を参照してください。

レポートスケジュールウィザード

レポートスケジュールウィザードにはスケジュールを作成するのに役立つ 5 つのパネルがあります。

表 1-9 ［レポートスケジュールの詳細の入力 (Enter Report Schedule Details)］パネルオプション

オプション	説明
レポートスケジュール名 (Report Schedule Name)	レポートスケジュールの名前を入力します。このフィールドは入力する必要があります。
形式の選択 (Select Format)	関連するレポートをエクスポートまたは電子メールで送信するためのファイル形式を選択します。 p.15 の「OpsCenter で利用可能なファイル形式」を参照してください。

表 1-10 ［タイムスケジュールの選択 (Select Time Schedule)］パネルオプション

オプション	説明
［新しいタイムスケジュールを作成する (Create new Time Schedule)］	新しいタイムスケジュールをレポートスケジュールに関連付ける場合はこのオプションを選択します。
［既存のスケジュールを使用する (Use existing Schedule)］	レポートスケジュールに既存のタイムスケジュールを関連付ける場合はこのオプションを選択します。

表 1-11 ［レポートのエクスポート/電子メール送信オプションの選択 (Select Export/Email Report Options)］パネルオプション

オプション	説明
エクスポート (Export)	このスケジュールに関連付けられているレポートをエクスポートする場合は、このチェックボックスをオンにします。 p.15 の「 OpsCenter で利用可能なファイル形式」を参照してください。
場所 (Location)	エクスポートされたレポートが保存されるディレクトリパスを入力するか、［参照 (Browse)］をクリックして目的の場所を選択します。
選択したフォルダにレポートがすでに存在する場合は上書きする (Overwrite if report already exists in the selected folder)	指定した場所にすでに存在するファイルを上書きする場合は、このチェックボックスをオンにします。
電子メール (Email)	このスケジュールに関連付けられているレポートを電子メールで送信する場合は、このチェックボックスをオンにします。
宛先 (To)	レポートを電子メールで送信する電子メール ID を選択します。
CC	電子メールの CC リストに追加する電子メール ID を選択します。
Bcc	電子メールの Bcc リストに追加する電子メール ID を選択します。
件名 (Subject)	電子メールの件名を入力します。例: Daily Job Count Report
メッセージ	その他の関連情報を入力します。

表 1-12 ［レポートの選択 (Select Reports)］パネルオプション

オプション	説明
［プライベートレポート (Private Reports)］	スケジュール設定するプライベートレポートをリストから選択します。パブリックレポートとプライベートレポートの両方を選択できます。
［パブリックレポート (Public Reports)］	スケジュール設定するパブリックレポートをリストから選択します。パブリックレポートとプライベートレポートの両方を選択できます。

表 1-13 ［適用するレポート条件の選択 (Select a report condition to be Applied)］パネルオプション

オプション	説明
レポートが選択した条件の 1 つ以上を満たす場合にのみ電子メールを送信する (Send email only if the report meets one or more selected conditions)	選択した条件の 1 つ以上を満たすときのみレポートを電子メールで送信する場合はこのオプションにチェックマークを付けます。レポートを編集している間にカスタムレポートの条件を作成できます。
レポート名 (Report Name)	条件があり、スケジュール設定されるために選択されているカスタムレポートが表示されます。
条件 (Condition)	カスタムレポートと関連付けられている条件が表示されます。カスタムレポートにのみ条件を作成できます。

OpsCenter のレポートスケジュールの作成

レポートスケジュールを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］>［スケジュール (Schedules)］をクリックします。
2. ［レポートスケジュール (Report Schedules)］タブで、［追加 (Add)］をクリックします。OpsCenter では、レポートスケジュールの作成手順を示すレポートスケジュールウィザードを使用できます。

   ［レポートスケジュールの詳細の入力 (Enter Report Schedule Details)］パネルが表示されます。

   レポートスケジュールの詳細を入力します。

   p.32 の「レポートスケジュールウィザード」を参照してください。

3 ［Next］をクリックします。

［タイムスケジュールの選択 (Select Time Schedule)］パネルが表示されます。

既存の任意のタイムスケジュールでスケジュールを実行する場合は、［既存のスケジュールを使用する (Use existing schedule)］オプションを選択します。このレポートスケジュール用に新しいタイムスケジュールを作成する場合は、［新しいタイムスケジュールを作成する (Create new time schedule)］を選択します。

p.38 の「タイムスケジュールの作成」を参照してください。

［新しいタイムスケジュールを作成する (Create new time schedule)］を選択すると、タイムスケジュールウィザードが表示されます。タイムスケジュールの作成後に、エクスポートと電子メールのレポートオプションを選択できます。

4 ［Next］をクリックします。

5 前の手順で［既存のスケジュールを使用する (Use existing schedule)］オプションを選択している場合は、［レポートのエクスポート/電子メール送信設定の構成 (Configure Export / Email Report Settings)］パネルで次の詳細情報を指定します。

［エクスポート (Export)］オプションか［電子メール (Email)］オプションまたはその両方を選択できます。

p.32 の「レポートスケジュールウィザード」を参照してください。

6 ［Next］をクリックします。

7 ［レポートの選択 (Select Reports)］パネルで、このスケジュールでエクスポートするか、または電子メールで送信するパブリックレポートまたはプライベートレポートを選択します。

これらのレポートは保存する必要があります。

前の選択項目を変更する場合は、［戻る (Back)］をクリックします。

8 ［適用するレポート条件の選択 (Select a report condition to be Applied)］パネルで、適用するレポートとレポート条件を選択します。カスタムレポートにレポート条件を適用できます。

レポートが選択した条件の 1 つ以上を満たすときのみレポートを電子メールで送信する場合は、オプション［レポートが選択した条件の 1 つ以上を満たす場合にのみ電子メールを送信する (Send email only if the report meets one or more of the selected conditions)］も選択できます。

9 ［保存 (Save)］をクリックします。

OpsCenter のレポートスケジュールの編集

この項では、レポートスケジュールの詳細を編集する方法について説明します。

レポートスケジュールを編集する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。

   デフォルトでは、[レポートスケジュール (Report Schedules)]タブが選択されています。

2. [レポートスケジュール (Report Schedules)]タブで、編集するレポートスケジュールをリストから選択します。
3. [編集 (Edit)]をクリックします。
4. ウィザードを使ってレポートスケジュールの詳細を編集します。
5. [保存 (Save)]をクリックします。

OpsCenter のレポートスケジュールの削除

この項では、レポートスケジュールを削除する方法について説明します。

レポートスケジュールを削除する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。

   デフォルトでは、[レポートスケジュール (Report Schedules)]タブが選択されています。

2. [レポートスケジュール (Report Schedules)]タブで、削除する 1 つ以上のレポートスケジュールをリストから選択します。
3. [削除 (Delete)]をクリックします。

レポートスケジュールの有効化または無効化

この項では、レポートスケジュールを有効または無効にする方法について説明します。

レポートスケジュールの有効と無効を切り替える方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。

   デフォルトでは、[レポートスケジュール (Report Schedules)]タブが選択されています。

2. [レポートスケジュール (Report Schedules)]タブで、有効または無効にする 1 つ以上のレポートスケジュールをリストから選択します。
3. [有効化 (Enable)]または[無効化 (Disable)]をクリックします。

OpsCenter のタイムスケジュールの管理について

この項では、レポートスケジュールを作成し、管理するための手順について説明します。

各レポートスケジュールは単一のタイムスケジュールのみに関連付けることができます。単一のタイムスケジュールを複数のレポートスケジュールに関連付けることができます。

p.28 の「OpsCenter のレポートスケジュールの管理について」を参照してください。

次の項はタイムスケジュールの管理についての詳細情報を提供します。

p.38 の「タイムスケジュールの詳細の表示」を参照してください。

p.38 の「タイムスケジュールの作成」を参照してください。

p.38 の「タイムスケジュールの編集」を参照してください。

p.39 の「タイムスケジュールの削除」を参照してください。

[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]>[タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]または[タイムスケジュールの編集 (Edit Time Schedule)]オプション

タイムスケジュールを作成するか、または編集するためにこのページを使用します。

表 1-14 [タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]または[タイムスケジュールの編集 (Edit Time Schedule)]オプション

オプション	説明 (Description)
スケジュール名 (Schedule Name)	タイムスケジュールの名前を入力します。
スケジュール時間 (Schedule Time)	スケジュールが実行されて、関連するレポートがエクスポートされるか、または電子メールで送られる時間を入力します。
スケジュールパターン (Schedule Pattern)	このスケジュールを実行するパターンを選択します。 次のスケジュールパターンが利用可能です。 ■ 1 度のみ (One Time) ■ 日単位 (Daily) ■ 週単位 (Weekly) ■ 月単位 (Monthly) ■ 四半期単位 (Quarterly) ■ 年単位 (Yearly) 選択するパターンによってオプションが変わります。

タイムスケジュールの詳細の表示

この項では、タイムスケジュールの詳細を表示するための手順を提供します。

タイムスケジュールを表示する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。
2. [タイムスケジュール (Time Schedules)]をクリックします。

   タイムスケジュールの詳細が表示されます。

   p.29 の「[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]オプション」を参照してください。

タイムスケジュールの作成

タイムスケジュールを作成するには、次の手順を実行します。

タイムスケジュールを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。
2. [タイムスケジュール (Time Schedules)]をクリックします。
3. [タイムスケジュール (Time Schedules)]タブで、[作成 (Create)]をクリックします。
4. [タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]ページで、必要な詳細を指定します。

   p.37 の「[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]>[タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]または[タイムスケジュールの編集 (Edit Time Schedule)]オプション」を参照してください。

5. [OK]をクリックします。

タイムスケジュールの編集

タイムスケジュールを編集するには、次の手順を実行します。

タイムスケジュールを編集する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[スケジュール (Schedules)]をクリックします。
2. [タイムスケジュール (Time Schedules)]をクリックします。
3. [タイムスケジュール (Time Schedules)]タブで、表から、編集するタイムスケジュールを選択します。
4. [編集 (Edit)]をクリックします。

5 タイムスケジュールの詳細を編集します。

6 ［OK］をクリックします。

タイムスケジュールの削除

タイムスケジュールを削除するには、次の手順を実行します。

タイムスケジュールを削除する方法

1 OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］>［スケジュール (Schedules)］をクリックします。

2 ［タイムスケジュール (Time Schedules)］をクリックします。

3 ［タイムスケジュール (Time Schedules)］タブで、表から、削除するタイムスケジュールを選択します。

4 ［削除 (Delete)］をクリックします。

2

OpsCenter レポート

この章では以下の項目について説明しています。

- OpsCenter のレポートテンプレート
- レポートテンプレートの説明について

OpsCenter のレポートテンプレート

OpsCenter は、パラメータがデフォルト値に設定されている一連のレポートテンプレート、標準または定型レポートを提供します。必要なデータを表示するためにデフォルトパラメータを修正してレポートを生成できます。OpsCenter レポートは、データ保護環境での最適な可視化に役立ちます。

p.9 の「[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]」を参照してください。

レポートテンプレートは次のように分類されます。

[バックアップ (Backup)]レポート

バックアップレポートは、成功率、ジョブの状態、保護されているバイト数など、バックアップに関連する情報を示します。

このカテゴリにはリカバリレポートも含まれます。

メモ: OpsCenter のユーザーインターフェースで[レポート (Reports)]>[アクティビティ計画 (Activity Planning)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]を選択すると、表示されるレポートには誤ったクライアント名が表示されます。クライアント名を表示する代わりに、バックアップ済みの VM イメージのリストがこのレポートに表示されます。さらに、VM イメージのリストは正確ではないことがあります。

［カタログ (Catalog)］レポート	このレポートはカタログについての詳細を提供します。
［チャージバック (Chargeback)］レポート	チャージバックレポートはバックアップサービス経費の詳細を提供します。 これらのレポートを使用することで、バックアップとリカバリの使用状況と、関連するコストを追跡できます。データ保護管理のコストと顧客および事業単位に対するチャージバックを計算できます。
［クライアント (Client)］レポート	これらのレポートはバックアップ状態などのクライアントについての詳細、リストアジョブの詳細、または概略のダッシュボードを提供します。
クラウドレポート (Cloud Reports)	これらのレポートは NetBackup クラウドストレージサーバーについての詳細を提供します。 OpsCenter は、次のクラウドプロバイダをサポートします。 **メモ:** NetBackup がサポートする Amazon S3 互換のすべてのクラウドプロバイダのうち、OpsCenter は Amazon (S3) と Amazon GovCloud (S3) プロバイダの監視およびレポートのみをサポートします。 AT&T または Rackspace のプロバイダ用にクラウドストレージサーバーを構成し、8.1.2 にアップグレードした場合は、AT&T および Rackspace のプロバイダの古い情報がクラウドレポートに表示されます。
［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk & Tape Device Activity)］レポート	ディスクベースのデータ保護 (DBDP) レポートは、ディスクプールの容量とその使用状況、LAN または SAN でのクライアントのパフォーマンス、NetBackup ストレージライフサイクルのマップを示します。
保留レポート (Hold Reports)	保留レポートは NetBackup 検索の一部です。保留レポートカテゴリは、OpsCenter で有効な NetBackup Search のライセンスキーを追加した場合にセキュリティ管理者としてログオンしたときにのみ表示されます。
［メディア (Media)］レポート	このレポートはテープ数または使用状況のようなメディアデータを提供します。
［パフォーマンス (Performance)］レポート	これらのレポートはスループットの詳細を提供します。

［ポリシー (Policy)］レポート	このレポートは NetBackup のバックアップジョブポリシーについてのすべての詳細を示します。
［リストア (Restore)］レポート	このレポートはリストア操作についての詳細を提供します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	OpsCenter の SLP レポートは、複製イメージのバックアップから NetBackup の異なるドメインへのインポートまでを含む SLP 処理のエンドツーエンドビューを示します。SLP レポートは SLP の各手順が実行されているかどうかを検証し、考えられるボトルネックを識別します。
作業負荷アナライザ (Workload Analyzer)	作業負荷アナライザレポートは 7 日間に渡って行われるアクティビティについての情報を提供します。このアクティビティは、指定した一定期間に実行するジョブの数と、その期間中に転送されるデータの量です。レポートには 7 日間の各時間に行われたアクティビティに関する 168 のデータポイントの分析が含まれています。

OpsCenter のレポートフィルタについて

自分には関係のない何百ものレコードまたは何千 MB ものデータが存在する可能性があります。たとえば、正常に実行されたジョブのみを表示するとします。この特定のデータを表示するには、「状態」フィルタを使う必要があります。ジョブ数レポートを生成している間、フィルタを「成功」に設定することによって、正常に実行されたすべてのジョブを表示できます。

OpsCenter は必要なデータを表示するために使うことができるいくつかのフィルタを提供します。各レポートカテゴリには、異なる一組のフィルタがあります。

レポートフィルタの使用に関して次の事項に注意してください。

- 特定の標準レポートを編集し、［フィルタ (Filters)］セクションから［スナップショットからのバックアップ (Backup from Snapshot)］ジョブ形式を選択した場合、［スナップショットからのバックアップ (Backup from Snapshot)］ジョブのデータがあると、正しくないデータが表示されます。これはまた、カスタムレポートによってイメージ関連のレポートを作成し、［スナップショットからのバックアップ (Backup from Snapshot)］ジョブ形式のフィルタを適用した場合にも起こります。
  次の標準レポートは、［フィルタ (Filters)］セクションから［スナップショットからのバックアップ (Backup from Snapshot)］ジョブ形式を選択すると正しくないデータを表示します。
  - ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)］ > ［コピーの重複 (Duplicate copies)］

- ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)］ > ［メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)］
- ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)］ > ［有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)］
- ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［容量計画 (Capacity Planning)］ > ［予測サイズ (Forecasted Size)］
- ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［容量計画 (Capacity Planning)］ > ［履歴サイズ (Historical Size)］

- ［バックアップメディアのロール (Backup Media Role)］フィルタが［将来期限切れになるテープ (Tapes Expiring In Future)］および［今すぐ期限切れになるテープ (Tapes Expiring Now)］レポートに適用された場合、OpsCenter ではデータが誤って計算されるため、データは戻されません。

レポートテンプレートを使った OpsCenter レポートの作成

この項では、既存のレポートテンプレートを使ってレポートを作成する手順について説明します。

既存のレポートテンプレートを使ってレポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］をクリックします。
2. ［レポートテンプレート (Report Templates)］タブで、［新しいレポートの作成 (Create New Report)］をクリックします。

   テンプレートのレポートの出力を表示するには、レポートツリーのテンプレートを選択します。レポートはデフォルトパラメータ値で出力されます。レポートパラメータは修正できません。

   ［新しいレポートの作成 (Create New Report)］オプションをクリックすることによって、レポート作成手順全体を示すレポート作成ウィザードを起動できます。レポートパラメータを修正し、必要なデータを表示できます。
3. レポートウィザードで、デフォルトの選択である［既存のレポートテンプレートを使用してレポートを作成する (Create a report using an existing report template)］のままにして、［次へ (Next)］をクリックします。
4. ［レポートテンプレート (Report Templates)］リストでその中のレポートテンプレートを参照するためにレポートカテゴリを展開します。作成するレポートの基になるレポートテンプレートを選択します。

   ［次へ (Next)］をクリックします。

5 必要に応じて時間枠およびその他のフィルタを選択し、[次へ (Next)]をクリックします。

6 表示オプションを変更し、[次へ (Next)]をクリックします。

レポート形式の使用

OpsCenter の標準レポートでは次の形式を利用できます。

レポート形式について

レポート形式について次に説明します。

ランキングレポート	選択した時間枠内で各ビューレベルオブジェクトのすべてのデータを示す水平棒グラフを上位から順に表示します。
分布レポート	選択した時間枠内で各ビューレベルオブジェクトのすべてのデータを示す円グラフを表示します。
履歴レポート	一定時間にわたるデータの平均上下傾向を示す傾向線が上に重ねられた積み上げ (セグメント化) 棒グラフを表示します。 たとえば、毎日のバックアップジョブの合計サイズを地域別に表示するとします。一部のバックアップレポートは異なる棒グラフ形式を使い、オブジェクトまたはイベントの 2 つのクラス間の簡単な比較のために集合縦棒グラフを表示します。
表形式レポート	バックアップデータを表に表示します。

グラフ表示レポートでのデータの表示について

グラフ表示レポートは「一目でわかる」便利な形式でデータを示します。ただし、この形式を使うと精度が失われることがあります。グラフ表示レポートを表示しているとき、ツールのヒントを使って精密な数値データを確認できます。グラフ表示レポートが基づいている数値データを表示するには、グラフの領域上にマウスポインタを移動します。

また、レポート下部の[表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)]をクリックすると、データを表形式で表示できます。

バックアップレポートを表示しているとき、下位のレポートを簡単に表示できます。グラフ表示レポートで、グラフ内の領域をクリックすると、次の下位オブジェクトレベルのデータを表示するためにレポートが更新されます。

たとえば、Geography ビューで Canada というラベルが付けられた棒をクリックすると、トロントとバンクーバーのデータを示す棒グラフを表示できます。ホストの棒を選択するとホストのファイルシステムのデータを表示できます。

レポートテンプレートの説明について

この項では、OpsCenter で利用可能なすべてのレポートテンプレートについて説明します。

OpsCenter レポートテンプレートに関するいくつかの重要事項は次のとおりです。

- [ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートと[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートは、HTML 形式でのみエクスポートおよび電子メール送信できます。
  [ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートと[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートでは、レポートを実行した時刻までではなく午前 1 時までのデータしか表示されません。これは、OpsCenter が[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートと[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートのデータを 1 日 1 回、午前 1 時に収集するからです。
  したがって、過去 24 時間という相対的な時間枠で実行されたときでも、[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートまたは[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートは、その日の午前 1 時までのデータしか報告できません。同様に、[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートと[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートを午後 2 時に実行した場合も、午前 1 時までに収集されたデータのみが表示されます。
- NetBackup のエラーログの保持期間を 1 日以上として構成することをお勧めします。エラーログの保持期間が 24 時間未満になっていると、[ドライブのスループット (Drive Throughput)]のような一部のレポートでデータ損失という結果になることがあります。
- 電子メール用にスケジュールされた表形式レポートは、デフォルトで 4000 までの行を設定できます。同様に、表形式のレポートを使用可能な形式にエクスポートした場合は、デフォルトで最大 4000 行までデータを表示できます。行の最大数は構成できます。
  p.18 の「電子メール送信またはエクスポートする表形式レポートの行数の構成」を参照してください。
- PDF、TSV、XML、CSV 形式のレポートは電子メールの添付ファイルとして送信されます。
- HTML 形式のレポートは電子メールのインラインメッセージとして送信されます。
- HTML ベースのレポート (たとえば、ドライブ使用状況) のソートはサポートされません。
- 選択されるデフォルトのビューは[すべてのマイビュー (All My Views)]です。すべての標準レポートは、デフォルトで、[レポートテンプレートのデフォルトビュー (Report Template Default View)]の選択に基づいてデータを表示します。[レポートテンプレートのデフォルトビュー (Report Template Default View)]は、[設定 (Settings)] > [ユーザー設定 (User Preferences)]で指定できます。[レポートテンプレートのデ

フォルトビュー (Report Template Default View)]のデフォルト値は[すべてのマイビュー (All My Views)]です。

p.46 の「監査レポートについて」を参照してください。

p.47 の「OpsCenter のバックアップレポートについて」を参照してください。

p.202 の「OpsCenter のカタログレポートについて」を参照してください。

p.202 の「OpsCenter のチャージバックレポートについて」を参照してください。

p.211 の「OpsCenter のクライアントレポートについて」を参照してください。

p.258 の「OpsCenter の[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)]レポートについて」を参照してください。

p.272 の「OpsCenter のメディアレポートについて」を参照してください。

p.282 の「OpsCenter のパフォーマンスレポートについて」を参照してください。

p.289 の「OpsCenter のポリシーレポートについて」を参照してください。

p.306 の「OpsCenter のリストアレポートについて」を参照してください。

p.317 の「ストレージライフサイクルポリシーレポートについて」を参照してください。

p.353 の「作業負荷アナライザレポート」を参照してください。

監査レポートについて

この項では、NetBackup 操作の変更を監査するために、ユーザーによるすべての処理のレコードを提供する NetBackup の監査記録機能のレポートについて説明します。

[監査レポート (Audit Reports)]>[監査記録 (Audit Trail)]レポート

この項では、OpsCenter で利用可能な監査レポートテンプレートについて説明します。

監査記録はユーザーが開始したすべてのアクティビティの記録です。監査記録は NetBackup 環境で行われる変更で構成されます。たとえば、ポリシーの作成、ポリシーの無効化、ポリシーの修正などの変更です。

[レポート (Reports)]タブを通して監査記録レポートを生成できます。またカスタム SQL を作成できます。たとえば、次の問い合わせを入力します。SELECT * FROM audit_record on SQL query page

p.43 の「レポートテンプレートを使った OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

p.376 の「SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成」を参照してください。

OpsCenter のバックアップレポートについて

この項では、OpsCenter で利用可能なすべてのバックアップレポートテンプレートについて説明します。

ジョブアクティビティ、重複排除率、全体的なバックアップの状態と成功率を含むすべての NetBackup のバックアップ処理のレポートを表示できます。

［重複排除 (Deduplication)］>［マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)］	p.52 の「［重複排除 (Deduplication)］>［マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)］」を参照してください。
［重複排除 (Deduplication)］>［ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)］	p.54 の「［重複排除 (Deduplication)］>［ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)］」を参照してください。
［重複排除 (Deduplication)］>［サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)］	p.56 の「［重複排除 (Deduplication)］>［サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)］」を参照してください。
［重複排除 (Deduplication)］>［重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)］	p.61 の「［重複排除 (Deduplication)］>［重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポート」を参照してください。
［重複排除 (Deduplication)］ > ［サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)］	p.65 の「［重複排除 (Deduplication)］ > ［サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)］」を参照してください。
［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポート	p.71 の「［分散 (Variance)］ > ［スループットの分散 (Throughput Variance)］」を参照してください。
［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［ファイル数の分散 (File Count Variance)］レポート	p.72 の「［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［ファイル数の分散 (File Count Variance)］レポート」を参照してください。
［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［バックアップ期間の分散 (Backup Duration Variance)］レポート	p.73 の「［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［バックアップ期間の分散 (Backup Duration Variance)］レポート」を参照してください。
［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)］レポート	p.73 の「［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)］レポート」を参照してください。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブ数 (Job Count)]	p.78 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポート」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]	p.81 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]レポート」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ファイル数 (File Count)]	p.81 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ファイル数 (File Count)]レポート」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ジョブ数 (Job Count)]	p.78 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポート」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ジョブのサイズ (Job Size)]	p.87 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ジョブのサイズ (Job Size)]」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[クライアント数 (Client Count)]>[履歴 (Historical)]	p.93 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [クライアント数 (Client Count)]」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[ジョブの期間 (Job Duration)]>[ランキング (Ranking)]	p.99 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ジョブの期間 (Job Duration)]」を参照してください。
[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ファイル数 (File Count)]	p.103 の「[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ファイル数 (File Count)]」を参照してください。
[ジョブブラウザ (Job Browser)]>[表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)]	p.109 の「[ジョブブラウザ (Job Browser)]>[表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)]」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[予測サイズ (Forecasted Size)]	p.115 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[予測サイズ (Forecasted Size)]レポート 」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[履歴サイズ (Historical Size)]	p.116 の「 [計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[履歴サイズ (Historical Size)]レポート 」を参照してください。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブ数 (Job Count)]	p.116 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]	p.116 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]	p.121 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際)(Job Count Scheduled Vs Actual)]	p.122 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際)(Job Count Scheduled Vs Actual)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)]	p.126 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際)(Job Details Scheduled Vs Actual)]	p.129 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[すべてのジョブ (All Jobs)]	p.132 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[すべてのジョブ (All Jobs)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)]	p.133 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)]レポート」を参照してください。
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[コピーの重複 (Duplicate Copies)]	p.135 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[コピーの重複 (Duplicate Copies)]レポート」を参照してください。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[履歴 (Historical)]	p.136 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)] > [格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)] > [格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)] > [メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]	p.142 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]	p.146 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]	p.151 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[失敗したすべてのバックアップ (All Failed Backups)]	p.155 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[失敗したすべてのバックアップ (All Failed Backups)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[連続失敗 (Consecutive Failures)]	p.155 の「[状態 (Status)] > [連続失敗 (Consecutive Failures)]」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[1 週間の概要 (Week At A Glance)]	p.160 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[1 週間の概要 (Week At A Glance)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[バックアップ処理時間帯の失敗 (Backup Window Failures)]	p.169 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[バックアップ処理時間帯の失敗 (Backup Window Failures)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[部分的に成功したジョブの詳細 (Partially Successful Job Details)]	p.169 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[部分的に成功したジョブの詳細 (Partially Successful Job Details)]レポート」を参照してください。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[スキップされたファイルの概略 (Skipped Files Summary)]	p.169 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[スキップされたファイルの概略 (Skipped Files Summary)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの終了状態の詳細 (Job Exit Status Detail)]	p.170 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの詳細 (Job Details)]	p.175 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの詳細 (Job Details)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ステータスごとのジョブの概略 (Job Summary by Status)]	p.175 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ステータスごとのジョブの概略 (Job Summary by Status)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブ状態 (Job Status)]>[履歴 (Historical)]	p.175 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブ状態 (Job Status)]>[履歴 (Historical)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブ状態 (Job Status)]>[分布 (Distribution)]	p.179 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブ状態 (Job Status)]>[分布 (Distribution)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)]	p.183 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)]レポート 」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]	p.187 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]	p.190 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポート」を参照してください。
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]	p.195 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポート」を参照してください。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)] >[成功率 (Success Rate)]>[成功率ライン (Success Rate Line)]	p.199 の「[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率ライン (Success Rate Line)]レポート」を参照してください。

[重複排除 (Deduplication)]>[マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)]

このレポートでは、NetBackup の各マスターサーバーの重複排除率を説明します。

重複排除率や保存されたストレージ領域などに関する NetBackup 重複排除ストレージのレポートを表示できます。

[マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)]レポートに関連付けられた詳細は次のとおりです。

レポート名	マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)
レポートカテゴリ	重複排除 (Deduplication)
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [重複排除 (Deduplication)] > [マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)]。
レポートの目的	NetBackup の各マスターサーバーの重複排除率を示す表形式レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、PureDisk、およびそのアプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー (Master Server)、メディアサーバー (Media Server)
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい。
スケジュール可能	はい。
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV

[マスターサーバー別の重複排除率(Deduplication Rates by Master Server)]レポートを編集して、目的の列を表示したり、非表示にできます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次表に、[マスターサーバー別の重複排除率 (Deduplication Rates by Master Server)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

［重複排除 (Deduplication)］>［ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)］

このレポートでは、NetBackup ポリシーの形式別の重複排除率を説明します。

［ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)］レポートに関連付けられた詳細は次のとおりです。

レポート名	ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)
レポートカテゴリ	重複排除 (Deduplication)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［重複排除 (Deduplication)］ > ［ポリシー形式別の重複排除率 (Deduplication Rates by Policy Type)］。
レポートの目的	NetBackup の各マスターサーバーの重複排除率を示す表形式レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、PureDisk、およびそのアプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー (Master Server)、メディアサーバー (Media Server)
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい。
スケジュール可能	はい。
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV

［ポリシー形式別の重複排除率(Deduplication Rates by Policy Type)］レポートを編集して、目的の列を表示したり、非表示にできます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次表に、［ポリシー形式別の重複排除率 (Ploicy Type by Master Server)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ　列	説明
表示	レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために1つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する1つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

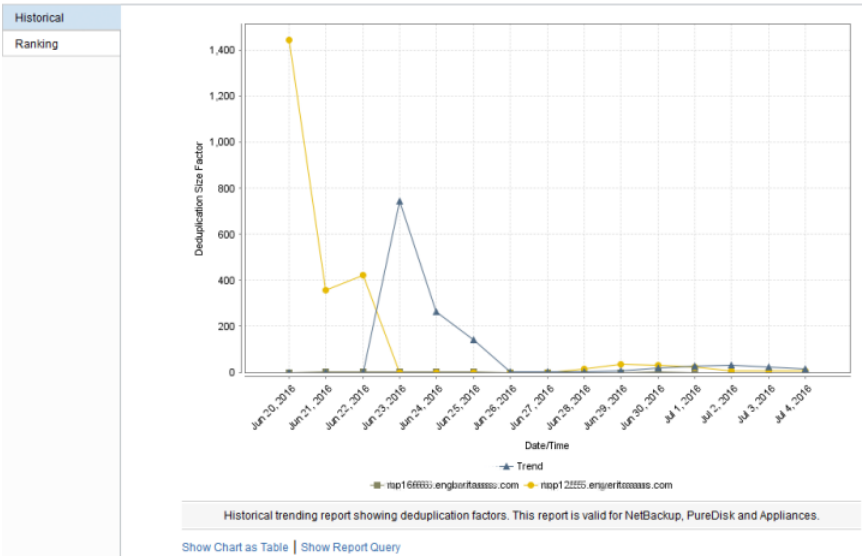
[重複排除 (Deduplication)]>[サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]

このレポートは重複排除の比率を過去 2 週間の毎日について示すので、通常は重複排除に関して最も頻繁に話題になります (時間枠は修正可能です)。重複排除の比率は通常バックアップされるバイトの合計数を変更されバックアップされたバイト数で割って計算します。したがって、行われるすべてのバックアップ時に 100TB が存在し、10TB のみが変更された場合、比率は 10 になります。このレポートは重複排除ジョブのみを表示します。このレポートのデフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[マスターサーバー (Master Server)]です。このレポートは折れ線グラフの形式で利用可能です。

このレポートは[履歴 (Historical)]ビューと[ランキング (Ranking)]ビューで利用可能です。[ランキング (Ranking)]レポートは、バイトで最もよい重複排除率を持つという点でトップのホストをランク付けします。これらのホストでは変更が最小限であるため、重複排除で最高の利点を得ることができます。

図 2-1 に[サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]レポートの表示例を示します。

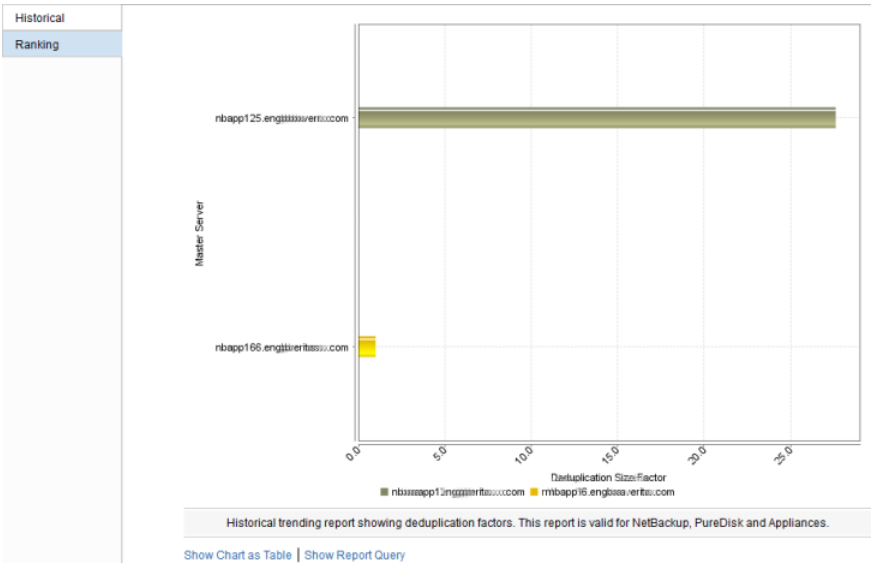
図 2-1 [サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]レポート ([履歴 (Historical)])



この重複排除レポートは、バイトで最もよい重複排除率を持つという点でトップのホストをランク付けします。これらのホストでは変更が最小限であるため、重複排除で最高の利点を得ることができます。

図 2-2 に[サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]レポートの表示例を示します。

図 2-2 ［サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)］レポート（［ランキング (Ranking)］）



［**サイズの重複排除の係数** (Deduplication Size Factor)］レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)
レポートカテゴリ	重複排除 (Deduplication)
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［重複排除 (Deduplication)］> ［**サイズの重複排除の係数** (Deduplication Size Factor)］。
レポートの目的	重複排除の係数を示す履歴傾向レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、PureDisk、およびそのアプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング
ドリルダウンレポート	はい。ドリルダウンレポートは、選択しているパラメータ値によって、レベル 1 の［クライアント名 (Client Name)］、レベル 2 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 3 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 4 の［ポリシー名 (Policy Name)］の 4 つのレベルで表示できます。

スケジュール可能	はい。
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV

[**サイズの重複排除の係数** (Deduplication Size Factor)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**サイズの重複排除の係数** (Deduplication Size Factor)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して［サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)］レポートを実行して、この特定のクライアントの詳細を表示できます。

レポートの拡張機能:

［サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- 次の 4 つのレベルに対応するドリルダウンレポートが追加されました。
  - レベル 1: クライアント名 (Client Name)
  - レベル 2: ジョブの形式(Job Type)
  - レベル 3: スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)
  - レベル 4: ポリシー名 (Policy Name)
- レポートには、オプション［次の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of)］によってカスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されます。この値は、1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。たとえば、3 を指定すると、各間隔で現在のデータポイントと以前の 2 つのデータポイントの平均値を示す傾向ラインが表示されます。
- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

[サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- 新しい列[ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))]と[ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))]が、[レポート対象 (Report On)]パラメータに追加されました。
- ポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として[不明 (UNKNOWN)]が追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。
- このレポートに適用されないジョブ形式がフィルタから削除されました。サポート対象のジョブ形式は、[バックアップ (Backup)]、[アーカイブ (Archive)]、[リストア (Restore)]、[カタログバックアップ (Catalog Backup)]、[スナップショットからのバックアップ (Backup From Snapshot)]、[スナップショット (Snapshot)]、[複製 (Duplicate)]、[レプリケーション (Replication)]です。
- [ジョブの形式 (Job Type)]列のデフォルトの選択値が、[バックアップ (Backup)]に変更されました。
- Y1 軸のデフォルトの単位は[GB]になりました。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]フィルタから、値[SAN]が削除されました。

既知の問題:

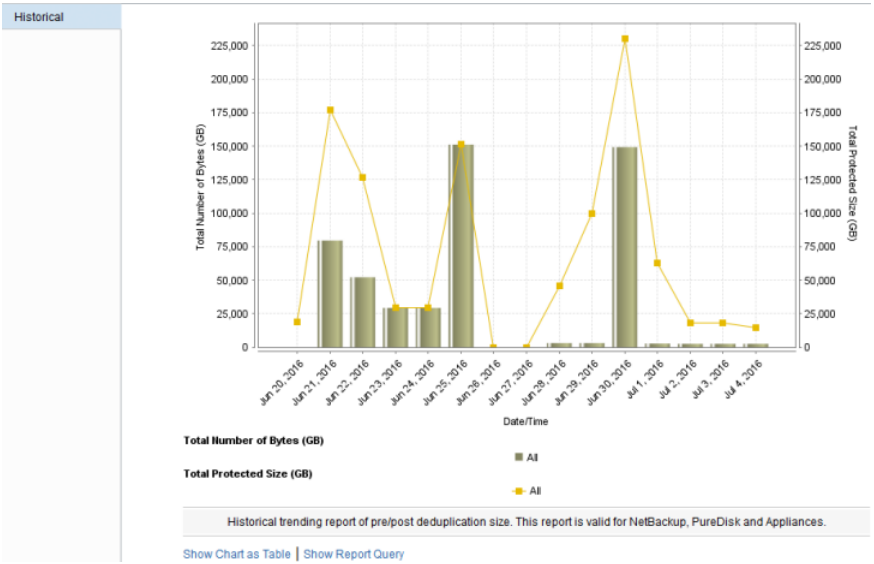
- OpsCenter のストレージユニット名に[レポート (Report)]を選択すると、PureDisk にストレージユニットが存在しないため PureDisk ではデータが何も生成されません。
- Y 軸や Y1 軸のデータの単位は、1 つ下の単位です。

[重複排除 (Deduplication)]>[重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポート

[重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポートは、すべてのバックアップが通常の完全バックアップだった場合に存在する合計バイト数と、変更のため転送を必要とするバイト数の比較を示します。このレポートは重複排除ジョブのみを表示します。このレポートのデフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[すべてのマスターサーバー (All Master Servers)]です。このレポートは折れ線グラフの形式で利用可能です。

図 2-3 に[重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポートのビューの例を示します。

図 2-3 [重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポート



[サイズの重複排除の係数 (Deduplication Size Factor)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	[重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポート
レポートカテゴリ	重複排除 (Deduplication)

場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［重複排除 (Deduplication)］ > ［**重複排除前と後のサイズ** (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポート
レポートの目的	重複排除前後のサイズの履歴傾向レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、PureDisk、およびそのアプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV

［**重複排除前と後のサイズ** (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**重複排除前と後のサイズ** (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名 クライアント OS	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。 レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して［重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポートを実行して、この特定のクライアントの詳細を表示できます。

［重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から［年 (Year)］を選択できます。
- 次の 4 つのレベルのドリルダウンレポートが OpsCenter に追加されました。
  - レベル 1: クライアント名 (Client Name)

  - レベル 2: ジョブの形式(Job Type)
  - レベル 3: スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)
  - レベル 4: ポリシー名 (Policy Name)
- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

[重複排除前と後のサイズ (Pre vs. Post Deduplication Size)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- 新しい列[ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))]と[ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))]が、[レポート対象 (Report On)]パラメータに追加されました。
- ポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として[不明 (UNKNOWN)]が追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。
- このレポートに適用されないジョブ形式がフィルタから削除されました。サポート対象のジョブ形式は、[バックアップ (Backup)]、[アーカイブ (Archive)]、[リストア (Restore)]、[カタログバックアップ (Catalog Backup)]、[スナップショットからのバックアップ (Backup From Snapshot)]、[スナップショット (Snapshot)]、[複製 (Duplicate)]、[レプリケーション (Replication)]です。
- [ジョブの形式 (Job Type)]列のデフォルトの選択値が、[バックアップ (Backup)]に変更されました。
- [レポート対象 (Report On)]のデフォルト値は[なし (None)]です。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]フィルタから、値[SAN]が削除されました。

既知の問題:

- OpsCenter のストレージユニット名に[レポート (Report)]を選択すると、PureDisk の場合、PureDisk にストレージユニットが存在しないためデータが何も生成されません。
- Y 軸や Y1 軸のデータの単位は、1 つ下の単位です。

[重複排除 (Deduplication)] > [サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)]

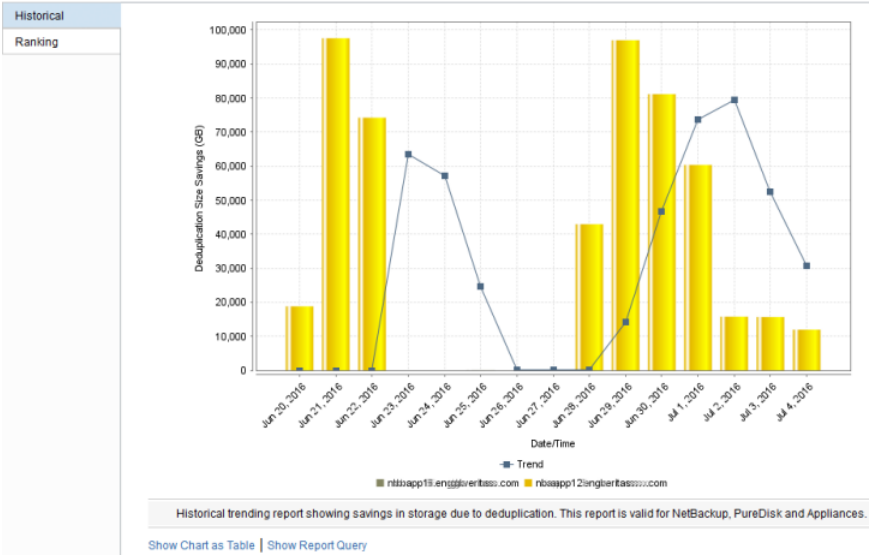
ほとんどの NetBackup ユーザーはある種の重複排除を実装しているか、または近い将来に実装することを計画しています。ユーザーはインフラとバックアップにかかる時間を制御しようとしているため、これが現在の傾向となっています。これに加え、小さいパイプを通してプッシュできるデータ量は限られており、多くの場合、リモートサイトにはハードウェアを管理できる人がいないため、より小さい WAN リンクと重複排除でリモートオフィスを保護する必要性が多くのユーザーにとって大きくなっています。データセンターでは、各 PureDisk ストレージユニットでの実際の重複排除率を判断するために重複排除レポートが役立ちます。レポートは、すべての PureDisk 環境にわたって保護されたサイズまたは保存されたサイズを表示するために要約するか、または 1 つの特定の領域にドリルダウンすることができます。共通するファイルかデータの種類を識別し、それらの重複排除される機能と照合できます。下のレポートはメディアサーバー重複排除プールを使って作成される単純な重複排除レポートです。これは非常に基本的なレポートで、重複排除が有効になっていない場合はどのくらいのデータがバックアップされたかを示します。大規模環境では重複排除のため使われていない GB または TB の数を示します。他のレポートはデータの重複排除による削減と実際の重複排除情報を対比できますが、この非常に小さいテスト環境ではこのレポートが示す情報のほうが有益です。OpsCenter と OpsCenter Analytics は NetBackup で利用可能な各種の形式の重複排除を報告する機能を提供します。データが WAN パイプに到達する前にどのくらいの重複排除がリモートサイトで実行されているかのような情報を示すレポートを提供できます。OpsCenter Analytics の傾向表示機能を使うと、データがハードウェアより速く増加しているかどうか、または WAN 帯域幅がいつ限度に達すると予測されるかもわかります。これは会社が失敗を待つ代わりに先を見越してインフラをいつ追加するかを情報に基づいて決定することを可能にします。このレポートは重複排除のためバックアップする必要がないバイト数の合計を示します。この数字には計算または比率がありません。前回のバックアップから変わらなかったためバックアップの必要がないバイト数 (MB、GB、TB など) です。このレポートは重複排除ジョブのみを表示します。このレポートのデフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[マスターサーバー (Master Server)]です。このレポートは[履歴 (Historical)]ビューと[ランキング (Ranking)]ビューで利用可能です。ランキングレポートは、重複排除による削減の点で上位 5 台のホストを示すため、バックアップされるホストごとに削減されたバイトの合計数をグループ化します。

履歴レポートは重複排除のためバックアップする必要がないバイト数の合計を示します。この数字には計算または比率がありません。前回のバックアップから変わらなかったためバックアップの必要がないバイト数 (MB、GB、TB など) です。このレポートは重複排除

ジョブのみを表示します。このレポートのデフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[マスターサーバー (Master Server)]です。

図 2-4 に、[サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)]レポートの表示例を示します。

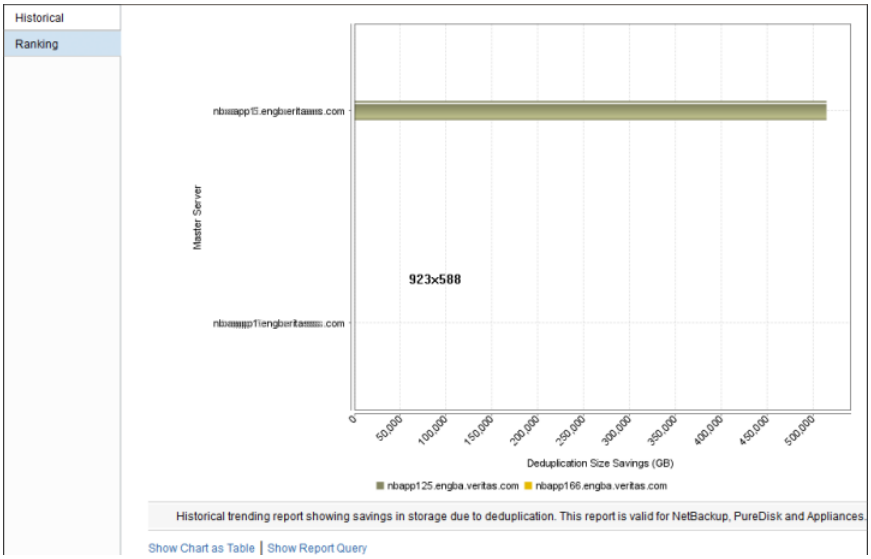
図 2-4 [サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)]レポート ([履歴 (Historical)])



ランキングレポートは、時間枠内で変更しなかったため重複排除によりバックアップの必要のないバイト数を示します。レポートは、重複排除による削減の点で上位 5 台のホストを示すため、バックアップされるホストごとに削減されたバイトの合計数をグループ化します。このレポートは重複排除ジョブのみを表示します。このレポートのデフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[マスターサーバー (Master Server)]です。

図 2-5 に、[サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)]レポートの表示例を示します。

図 2-5 ［サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)］レポート (［ランキング (Ranking)］)



［**サイズの重複排除による削減** (Deduplication Size Savings)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)
レポートカテゴリ	重複排除 (Deduplication)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［重複排除 (Deduplication)］ > ［**サイズの重複排除による削減** (Deduplication Size Savings)］
レポートの目的	重複排除によるストレージの削減を示す履歴傾向レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、PureDisk、およびそのアプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング
ドリルダウンレポート	はい。ドリルダウンレポートは、選択しているパラメータ値によって、レベル 1 の［クライアント名 (Client Name)］、レベル 2 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 3 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 4 の［ポリシー名 (Policy Name)］の 4 つのレベルで表示できます。

スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV

[**サイズの重複排除による削減** (Deduplication Size Savings)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**サイズの重複排除による削減** (Deduplication Size Savings)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して［サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)］レポートを実行して、この特定のクライアントの詳細を表示できます。

［サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- 次の 4 つのレベルに対応するドリルダウンレポートが追加されました。
  - レベル 1: クライアント名 (Client Name)
  - レベル 2: ジョブの形式(Job Type)
  - レベル 3: スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)
  - レベル 4: ポリシー名 (Policy Name)
- レポートには、オプション［次の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of)］によってカスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されます。この値は、1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。たとえば、3 を指定すると、各間隔で現在のデータポイントと以前の 2 つのデータポイントの平均値を示す傾向ラインが表示されます。
- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

[サイズの重複排除による削減 (Deduplication Size Savings)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- 新しい列[ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))]と[ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))]が、[レポート対象 (Report On)]パラメータに追加されました。
- ポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として[不明 (UNKNOWN)]が追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。
- このレポートに適用されないジョブ形式がフィルタから削除されました。サポート対象のジョブ形式は、[バックアップ (Backup)]、[アーカイブ (Archive)]、[リストア (Restore)]、[カタログバックアップ (Catalog Backup)]、[スナップショットからのバックアップ (Backup From Snapshot)]、[スナップショット (Snapshot)]、[複製 (Duplicate)]、[レプリケーション (Replication)]です。
- [ジョブの形式 (Job Type)]列のデフォルトの選択値が、[バックアップ (Backup)]に変更されました。
- Y1 軸のデフォルトの単位は[GB]になりました。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]フィルタから、値[SAN]が削除されました。

既知の問題:

- OpsCenter のストレージユニット名に[レポート (Report)]を選択すると、PureDisk の場合、PureDisk にストレージユニットが存在しないためデータが何も生成されません。
- Y 軸や Y1 軸のデータの単位は、1 つ下の単位です。

［分散 (Variance)］> ［スループットの分散 (Throughput Variance)］

このレポートは最後の完全バックアップと最新の平均間でのバックアップジョブスループットの分散についてのクライアントまたはポリシーレベルの詳細を示します。

図 2-6 に、［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポートの表示例を示します。

図 2-6 ［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポート

Throughput Variance

Server Name	Client Name	Policy Name	Schedule Name	Last Good Full Backup	Prior Jobs	Last Throughput (KB/sec)	Average Throughput (KB/sec)	Delta (KB/sec)	Variance (%)
NBAPP_nbapp101 .engba.symmtec.com	NBAPP_nb	cat_fill	Full	Jul 29, 2013 12:16:32 PM	82	3563	3512.79	50.21	1.43
NBAPP_nbapp101 .engba.symmtec.com	appesx29-vm	linux_gen	Full	Jul 28, 2013 6:43:47 PM	21	35206	25998.67	9207.33	35.41
NBAPP_nbapp101 .engba.symmtec.com	appesx29-vm	linux_gen	Full	Jul 29, 2013 11:58:42 AM	33	40582	37602.3	2979.7	7.92
NBAPP_nbapp101 .engba.symmtec.com	appesx29-vm	linux_gen	Full	Jul 28, 2013 7:58:28 PM	21	7392	5779.95	1612.05	27.89

［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	スループットの分散 (Throughput Variance)
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［すべてのレポート (All Reports)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［ジョブアクティビティ (Job Activity)］> ［分散 (Variance)］> ［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポート
レポートの目的	最後の完全バックアップと最新の平均間でのバックアップジョブスループットの分散についてのクライアント/ポリシーレベルの詳細。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance、NetBackup、PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい。「クライアントバックアップの詳細」を参照してください。
スケジュール可能	はい

サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［ジョブ (Jobs)］ > ［**スループットの分散** (Throughput Variance)］

［**スループットの分散** (Throughput Variance)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**スループットの分散** (Throughput Variance)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
パーセント	パーセント	分散の割合の適切な値を選択します。デフォルトでは、レポートの［分散 (%) (Variance (%))］列に 1 より大きいすべての変動の割合が表示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して［スループットの分散 (Throughput Variance)］レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのみの詳細を表示できます。

［ジョブの期間 (Job Duration)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- このレポートのデフォルトの［相対時間枠 (Relative Timeframe)］が 28 日間から過去 14 日間に変更されました。

［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［分散 (Variance)］>［ファイル数の分散 (File Count Variance)］レポート

ファイル、ジョブ、サイズ、クライアント、ジョブ期間などの NetBackup のジョブアクティビティの統計を示す詳細レポートを表示できます。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[分散 (Variance)]を選択して、バックアップサイズ、スループット、期間、ファイル件数などの統計的変位を識別するための NetBackup の処理範囲のレポートを表示できます。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[分散 (Variance)]>[ファイル数の分散 (File Count Variance)]レポートは、特定の完全バックアップが通常と異なるのはなぜかを調査することを可能にします。たとえば、ファイルサーバーのバックアップには成功したが、通常の完全バックアップよりファイル数が少ない場合などです。

このレポートは、マスターサーバー、ポリシー、およびスケジュールの平均数と比べて、ファイル数が著しく異なる NetBackup ジョブを示します。

計算された分散がレポートの実行時に選択した分散値よりも大きい場合は、サーバー、クライアント、ポリシーおよびスケジュール形式の組み合わせが実際のファイル数の分散と合わせて示されます。表では、サーバー、ポリシーおよびスケジュールの平均からの各ジョブの分散 (ファイル数) の割合を示します。

レポートの[クライアント名 (Client Name)]列には、指定した時間枠に対応する、バックアップジョブの詳細へのドリルダウンリンクが表示されます。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[分散 (Variance)]>[バックアップ期間の分散 (Backup Duration Variance)]レポート

このレポートは、バックアップ処理時間と平均バックアップ処理時間との分散を示します。分散が非常に大きい場合は、異常が検出される可能性があります。

このレポートでは、クライアント、ポリシーおよびスケジュール形式ごとに、最後の正常なバックアップの処理時間と平均バックアップ処理時間との分散が計算されます。計算された分散がレポートの実行時に選択した分散値よりも大きい場合は、クライアント、ポリシーおよびスケジュール形式の組み合わせが実際の分散とともに示されます。

選択した時間枠のクライアントジョブレポートについて

[クライアント名 (Client Name)]列から作成されるこのドリルダウンレポートは、選択した時間枠に対応する、クライアントの詳細なジョブ情報を表示します。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[分散 (Variance)]>[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポート

このレポートは、バックアップサイズと平均バックアップサイズとの分散を示します。分散が非常に大きい場合は、異常が検出される可能性があります。

このレポートでは、クライアント、ポリシーおよびスケジュール形式ごとに、最後の正常なバックアップのサイズと平均バックアップサイズとの分散が計算されます。計算された分散

がレポートの実行時に選択した分散値よりも大きい場合は、クライアント、ポリシーおよびスケジュール形式の組み合わせが実際の分散とともに示されます。

サイズの分散は次の式を使って計算されます。(最終バックアップサイズ - 平均バックアップサイズ)/平均バックアップサイズ × 100。

[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポートを実行する前に次の点を考慮してください。

- このレポートは完全スケジュールのみを考慮します。
- このレポートは重複排除ジョブを考慮しません。
- このレポートは失敗したジョブを考慮しません。0、1 などの状態コードのジョブを考慮します。
- マスターサーバー、クライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせごとに 10 個のジョブなど、特定の時間枠で同じクライアントに対して複数のジョブを実行した場合、このレポートは、最後のジョブと残りの 9 つのジョブの平均との差を計算します。
- 複数ストリームジョブの場合には、このレポートは各ストリームを異なるジョブと見なします。

レポートの[クライアント名 (Client Name)]列には、指定した時間枠に対応する、バックアップジョブの詳細へのドリルダウンリンクが表示されます。

図 2-7 に、[**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)]レポートの表示例を示します。

図 2-7 [バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポート

Backup Job Size Variance

Server Name	Client Name	Policy Name	Schedule Name	Last Good Full Backup	Prior Jobs	Last Backup Size(MB)	Average Size(MB)	Delta (MB)	Variance (%)
bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	anyavaliablebkpstu	FULL	Jun 25, 2016 3:37:31 PM	31	3,680.88	3,558.05	122.82	3.45

[**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[バックアップ (Backup)]>[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[分散 (Variance)]>[**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)]
レポートの目的	このレポートはジョブサイズの分散を示します。

サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい p.76 の「クライアントバックアップジョブ」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[レポート (Reporting)]>[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[ジョブ (Jobs)]>[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]

次の表に、[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
パーセント	パーセント	分散の割合の適切な値を選択します。デフォルトでは、レポートの[分散 (%) (Variance (%))]列に 1 より大きいすべての変動の割合が表示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに[**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)]レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのみの詳細を表示できます。

[**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。

- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

クライアントバックアップジョブ

［**クライアントバックアップジョブ** (Client Backup Jobs)］レポートは選択したクライアントのジョブ実行の詳細を示します。この表形式レポートでは、ジョブ ID、ポリシー名、スケジュール名、状態コード、ファイルの数、スループット (KB/秒) などの情報が表示されます。

図 2-8 に、［**クライアントバックアップジョブ** (Client Backup Jobs)］レポートの表示例を示します。

図 2-8 ［クライアントバックアップジョブ (Client backup jobs)］レポート

Client backup jobs

Job ID	Server Name	Job Type	Status Code	Policy Name	Schedule Name	Start Time	End Time	Volume(KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
82	bnrx86rhfriend	Backup	0	normalbkponHRAWnbu80	FULL	Jun 24, 2016 3:47:24 PM	Jun 24, 2016 3:48:53 PM	3,212,224	10	54,080
83	bnrx86rhfriend	Backup	0	normalbkponHitCryptnbu80	FULL	Jun 24, 2016 3:47:25 PM	Jun 24, 2016 3:49:15 PM	3,212,224	10	46,898
84	bnrx86rhfriend	Backup	0	ACCbkponHitCryptnbu80	FULL	Jun 24, 2016 3:47:26 PM	Jun 24, 2016 3:48:43 PM	3,212,224	10	319,497
85	bnrx86rhfriend	Backup	0	anyavaliablebkpstu	FULL	Jun 24, 2016 4:29:52 PM	Jun 24, 2016 4:31:39 PM	3,212,224	10	50,747
87	bnrx86rhfriend	Backup	0	anyavaliablebkpstu	FULL	Jun 24, 2016 4:31:55 PM	Jun 24, 2016 4:33:03 PM	3,212,224	10	390,117

以下は［クライアントバックアップジョブ (Client backup jobs)］レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	クライアントバックアップジョブ (Client Backup Jobs)
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［ジョブアクティビティ (Job Activity)］> ［分散 (Variance)］> ［**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)］(クライアント名でドリルダウン) > ［クライアントバックアップジョブ (Client backup jobs)］
レポートの目的	このレポートは選択したクライアントのジョブ実行の詳細を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[レポート (Reporting)] > [すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Reports)] > [ジョブ (Jobs)] > [**バックアップジョブサイズの分散** (Backup Job Size Variance)] > [**クライアントバックアップジョブ** (Client backup jobs)]

次の表に、[**クライアントバックアップジョブ** (Client backup jobs)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアントがアクティブです	アクティブなクライアントだけをレポートに表示するには[はい (Yes)]を選択し、すべてのクライアントを表示するには[いいえ (No)]を選択します。デフォルトでは、アクティブなクライアントのみレポートで示されます。
	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。

フィルタの使用例: 複数のマスターサーバーに対して[**クライアントバックアップジョブ** (Client Backup Jobs)]レポートを実行できます。[マスターサーバー (Master Server)]を選択した後、すべてのクライアントの詳細を表示する特定のマスターサーバーを選択します。

[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポートには次のレポート拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

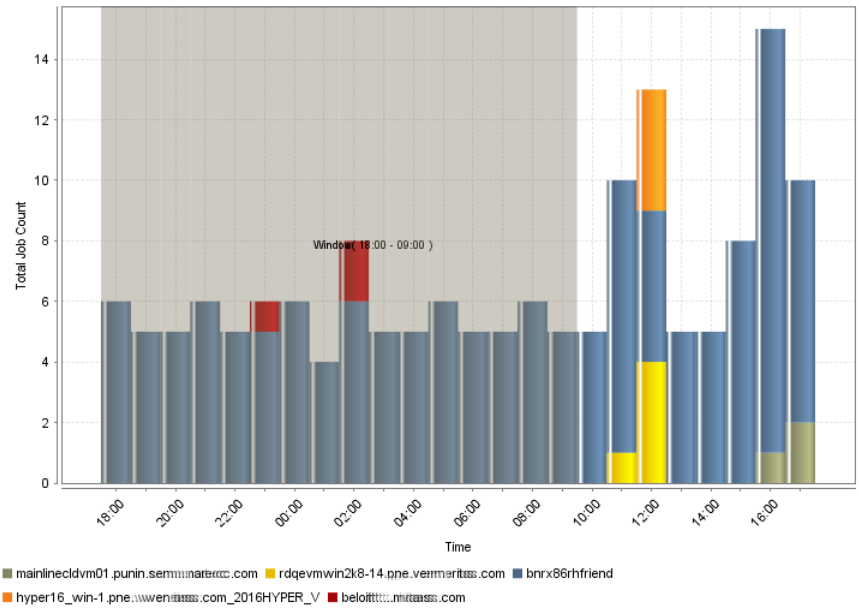
[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポート

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]は、ジョブ、ジョブサイズ、ファイル件数を含む NetBackup のバックアップ処理時間帯の統計レポートを提供します。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)]>[**バックアップ処理時間帯** (Backup Window)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポートは過去 2 週間の各ジョブが終了する日の毎時間のバックアップジョブの合計数を示します。構成可能なバックアップ処理時間帯も表示され、多数のジョブがバックアップ処理時間帯内またはバックアップ処理時間帯外に終了している場合にすばやく確認できます。このレポートを使用すると、バックアップ処理時間帯内で十分に利用されていない時間があるかどうか、および負荷分散が適切であるかどうかを確認できます。

図 2-9 に[ジョブ数 (Job Count)]レポートのビューの例を示します。

図 2-9 [ジョブ数 (Job Count)]レポート



[ジョブ数 (Job Count)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ジョブ数 (Job Count)
レポートカテゴリ	バックアップ

場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［バックアップ (Backup)］>［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［バックアップ処理時間帯 (Backup Window)］>［ジョブ数 (Job Count)］
レポートの目的	このレポートはジョブが終了する日時までのジョブ数を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

［ジョブ数 (Job Count)］レポートのフィルタと、それらのフィルタを使用してレポートで特定のデータを表示する方法を次の表に示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
試行	試行の状態	[試行の状態 (Attempt Status)]列には 2 つの値 ([試行 (Attempt)]、[ジョブ (Job)]) を指定することができます。[ジョブ数 (Job Count)]の計算時に[試行 (Attempt)]が選択されると、すべての試行がレポートで考慮されます。 デフォルトでは、[ジョブ (Job)]が選択されます。[ジョブ (Job)]が選択されると、試行数は考慮されません。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーのジョブ数を表示するために、特定のポリシーに対して[ジョブ数 (Job Count)]レポートを実行できます。さらに特定の製品のジョブ数を確認するには、[ジョブ (Job)]フィルタを使って[製品の種類 (Product Type)]列で[Backup Exec]を選択します。

[ジョブ数 (Job Count)]レポートに次のレポート拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を

入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

- 次の［レポート対象 (Report On)］オプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］の下に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- スケジュール名によってデータをフィルタ処理するために、［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタの下に追加されました。
- ポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として［不明 (UNKNOWN)］が追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式やスケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、［不明 (UNKNOWN)］として表示されるようになりました。

［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［バックアップ処理時間帯 (Backup Window)］>［ジョブのサイズ (Job Size)］レポート

このレポートは過去 2 週間の各ジョブが終了する日の毎時間のバックアップ済みの総 GB を示します。構成可能なバックアップ処理時間帯も表示され、多数のジョブがバックアップ処理時間帯内またはバックアップ処理時間帯外に終了している場合にすばやく確認できます。このレポートを使用すると、バックアップ処理時間帯内で十分に利用されていない時間があるかどうか、および負荷分散が適切であるかどうかを確認できます。

［ジョブアクティビティ (Job Activity)］>［バックアップ処理時間帯 (Backup Window)］>［ファイル数 (File Count)］レポート

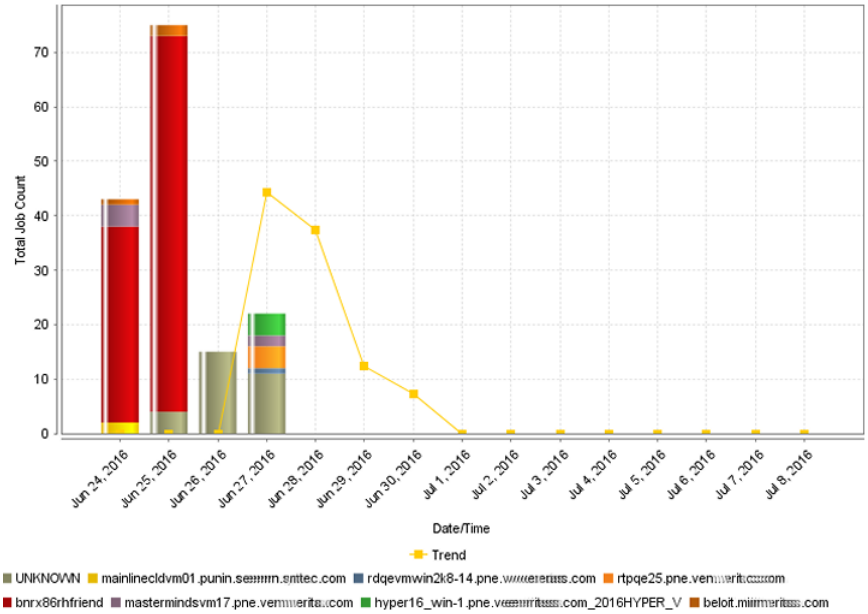
このレポートはその日の毎時間のバックアップされたファイルの数を示します。グラフの各棒の高さは選択した日付範囲全体にわたってその時間の間にバックアップされたファイルの数の合計です。ユーザー定義のバックアップ処理時間帯は、たとえばファイルがバックアップされた時間と比較するために黄色で描かれます。黄色い処理時間帯の外側の棒は、バックアップ処理時間帯の外で起きたアクティビティを表します。レポートはバックアップ処理時間帯にさらにバックアップを追加できる時間があとどれ位残っているかの確認に使用することもできます。

［ジョブアクティビティ (Job Activity)］ > ［ジョブ数 (Job Count)］

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがるバックアップジョブ数の概略を提供します。このレポートには 3 つの表示オプションがあります。[履歴 (Historical)]レポートビューは過去 2 週間の毎日にバックアップが行われたときの時間の合計を示します。

図 2-10 に、[ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Job Count)]レポートの表示例を示します。

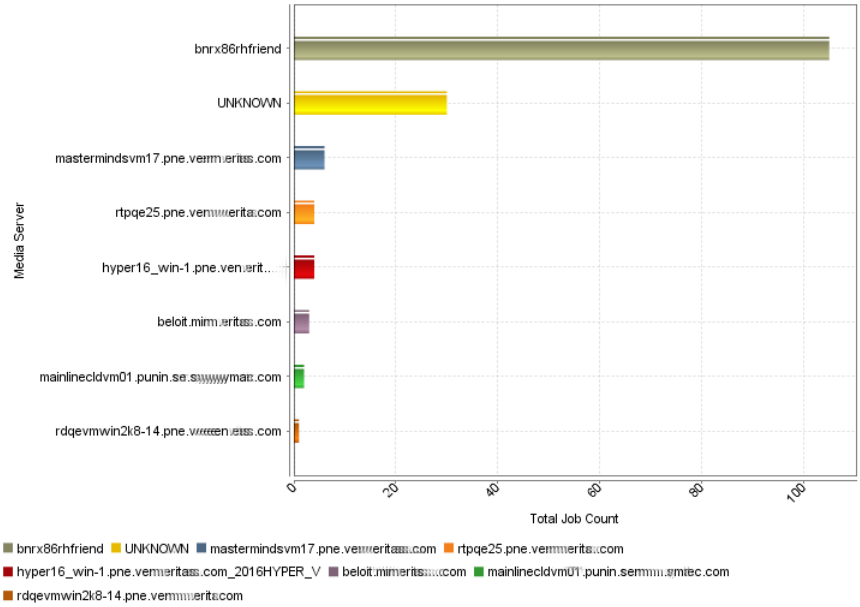
図 2-10 [ジョブ数 (Job Count)]レポート ([履歴 (Historical)])



[ランキング (Ranking)]ビューは過去 2 週間の各メディアサーバーによって実行されたジョブの合計数のランク付けによる上位 10 件の環境を示します。

図 2-11 に、[ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Job Count)]レポートの表示例を示します。

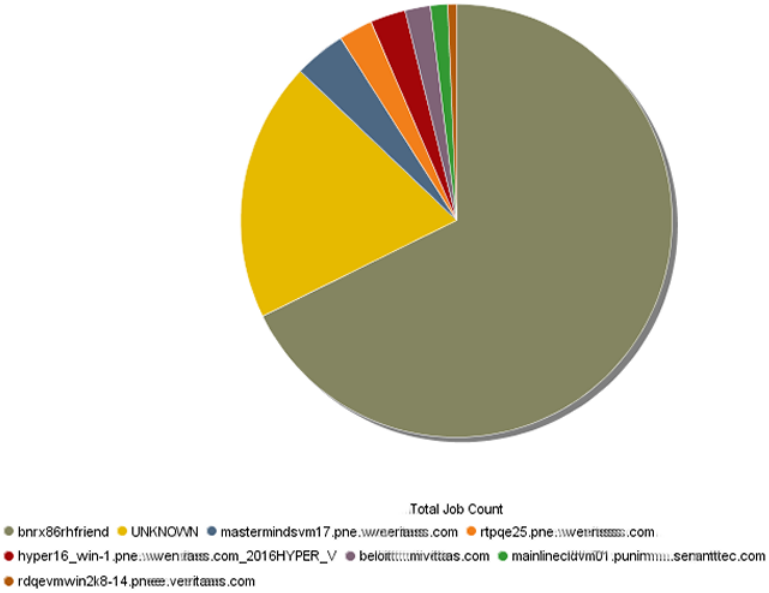
図 2-11 ［ジョブ数 (Job Count)］レポート (［ランキング (Ranking)］)



［分布 (Distribution)］ビューは各メディアサーバーによって実行されたジョブ数の詳細と、負荷分散の任意の形式が有用かどうかを示します。

図 2-12 に、［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Job Count)］レポートの表示例を示します。

図 2-12 ［ジョブ数 (Job Count)］レポート（［分布 (Distribution)］）



履歴、ランキング、分布の各レポート形式は、表形式で表示できます。

図 2-13 に、［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Job Count)］レポートの表示例を示します。

図 2-13 ［ジョブ数 (Job Count)］レポート（［表形式 (Tabular)］）

Media Server	Total Job Count	Percentage
nbpp5544	35,873	91.95%
nbpp25engb	2,998	7.68%
nbpp5561	116	0.3%
UNKNOWN	27	0.07%

Total 4 Rows , 1 Page(s)

［**ジョブ数** (Job Count)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ジョブ数 (Job Count)
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［すべてのレポート (All Reports)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［ジョブアクティビティ (Job Activity)］> ［**ジョブ数** (Job Count)］レポート

レポートの目的	過去 2 週間の 1 日あたりにバックアップ済みの一意のクライアントの合計数をマスターサーバーごとに示すカスタマイズ可能なレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング、分布
ドリルダウンレポート	はい 選択したパラメータ値のドリルダウンレポートを表示できます。これらのレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスに利用可能です。 例: ランキング形式のレポートでは、レベル 1 の［クライアント名 (Client Name)］、レベル 2 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 3 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 4 の［ポリシー名 (Policy Name)］という、4 つのレベルのドリルダウンレポートを表示できます。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［アクティビティ計画 (Activity Planning)］ > ［**ジョブ数** (Job Count)］

［**ジョブ数** (Job Count)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**ジョブ数** (Job Count)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタ	列	説明
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
試行	試行の状態	[試行の状態 (Attempt Status)]フィルタに指定できる値は、[試行 (Attempt)] または[ジョブ (Job)] の 2 つです。[ジョブ数 (Job Count)]の計算時に[試行 (Attempt)]が選択されると、すべての試行がレポートで考慮されます。

フィルタの使用例: [ジョブ数 (Job Count)]レポートですべてのジョブの試行数を表示するには、[試行の状態 (Attempt Status)]で[試行 (Attempt)]を選択します。

［ジョブ数 (Job Count)］レポートに次のレポート拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

［ジョブ数 (Job Count)］レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

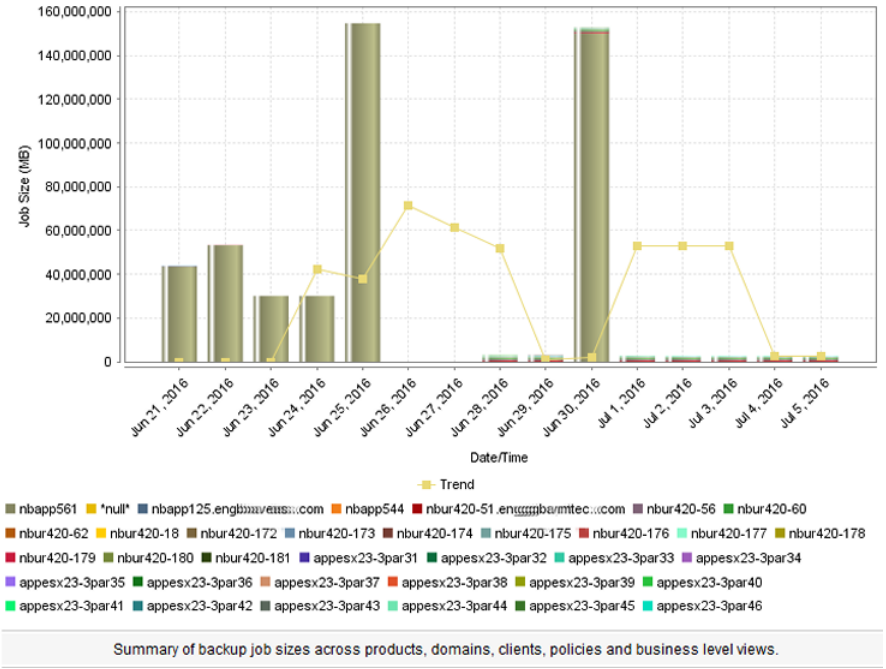
- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR の場合と同様に不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。
- ［ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)］列が［ジョブ (Job)］フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が［FT］または［LAN］のジョブに関するレポートデータを表示できます。

［ジョブアクティビティ (Job Activity)］ > ［ジョブのサイズ (Job Size)］

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがるバックアップジョブサイズの概略を提供します。このレポートには 3 つの表示オプションがあります。[履歴 (Historical)]レポートビューは、過去 2 週間の毎日にバックアップされた総 MB を示します。

図 2-14 に、［ジョブのサイズ (Job Size)］レポートの表示例を示します。

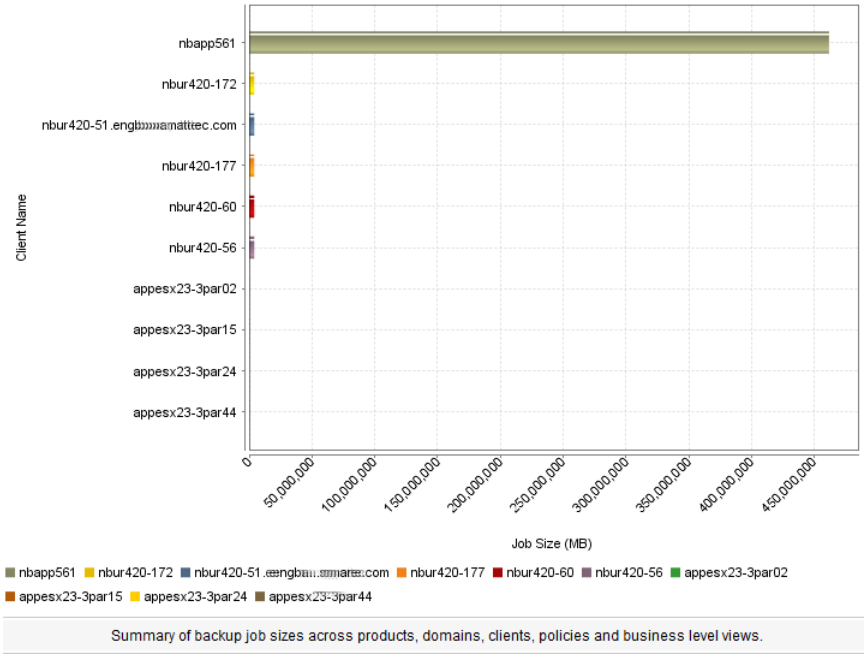
図 **2-14** ［ジョブのサイズ (Job Size)］レポート (［履歴 (Historical)］)



［ランキング (Ranking)］ビューは、過去 2 週間にクライアントのためにバックアップした総 MB に基づくランク付けによって上位 10 件のバックアップクライアントを示します。レポートによってどのクライアントの使用量が大きいか、またそれは予測どおりかが示されます。

図 2-15 に、［ジョブのサイズ (Job Size)］レポートの表示例を示します。

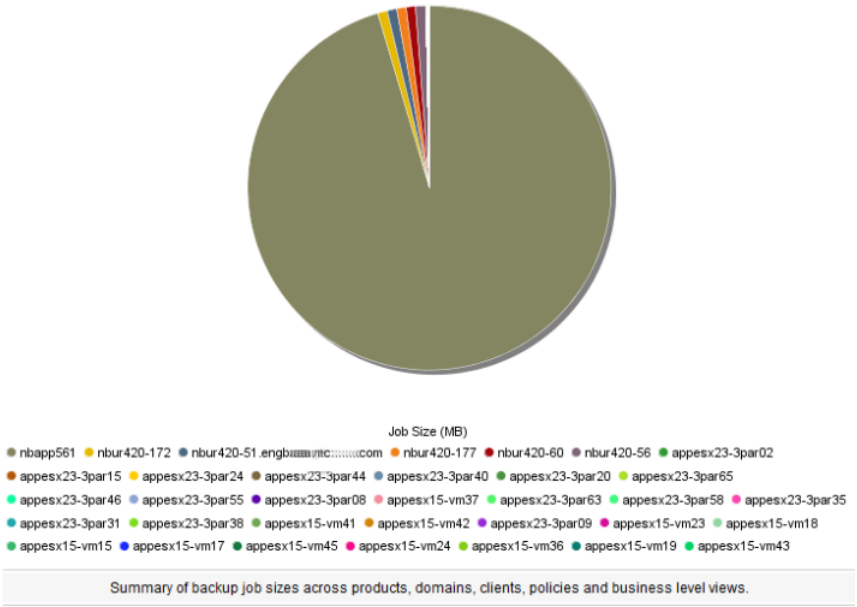
図 2-15 ［ジョブのサイズ (Job Size)］レポート (［ランキング (Ranking)］)



［分布 (Distribution)］ビューは、過去 2 週間にバックアップされた総 MB についての詳細をメディアサーバーごとに示します。すべてのメディアサーバーに移動するデータ量の明確な分布と、負荷分散の任意の形式が有用かどうかを示します。

図 2-16 に、［ジョブのサイズ (Job Size)］レポートの表示例を示します。

図 2-16 [ジョブのサイズ (Job Size)]レポート ([分布 (Distribution)])



履歴、ランキング、分布の各レポート形式は、表形式で表示できます。

図 2-17 に、[ジョブのサイズ (Job Size)]レポートの表示例を示します。

図 2-17 [ジョブのサイズ (Job Size)]レポート ([表形式 (Tabular)])

Client Name	Job Size (MB)	Percentage
nbapp561	461,528,579.87	95.39%
nbur420-172	4,116,417.18	0.85%
nbur420-51.engb mtc com	4,113,808.26	0.85%
nbur420-177	4,113,107.94	0.85%
nbur420-60	4,112,007.4	0.85%
nbur420-56	4,110,906.87	0.85%
appesx23-3par02	81,412.31	0.02%
appesx23-3par15	74,399.94	0.02%
appesx23-3par24	69,730.43	0.01%
appesx23-3par44	64,094.34	0.01%
appesx23-3par40	60,571.8	0.01%

[ジョブのサイズ (Job Size)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ジョブのサイズ (Job Size)

レポートカテゴリ	バックアップ
場所	[すべてのレポート (All Reports)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [**ジョブのサイズ** (Job Size)]レポート
レポートの目的	過去 2 週間の毎日にバックアップされた総 MB についてのカスタマイズ可能なレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング、分布
ドリルダウンレポート	はい。選択したパラメータ値のドリルダウンレポートを表示できます。これらのドリルダウンレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスのために利用可能です。 例: ランキング形式のレポートでは、レベル 1 の[ジョブの形式 (Job Type)]、レベル 2 の[スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)]、レベル 3 の[ポリシー名 (Policy Name)]という、3 つのレベルのドリルダウンレポートを表示できます。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Reports)] > [バックアップ (Backup)] > [アクティビティ計画 (Activity Planning)] > [**ジョブのサイズ** (Job Size)]

[**ジョブのサイズ** (Job Size)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**ジョブのサイズ** (Job Size)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために1 つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対して[**ジョブのサイズ** (Job Size)] レポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。

[ジョブのサイズ (Job Size)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[ジョブのサイズ (Job Size)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- [不明 (UNKNOWN)]がポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR の場合と同様に不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]列が[ジョブ (Job)]フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が[FT]または[LAN]のジョブに関するレポートデータを表示できます。
- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year Total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

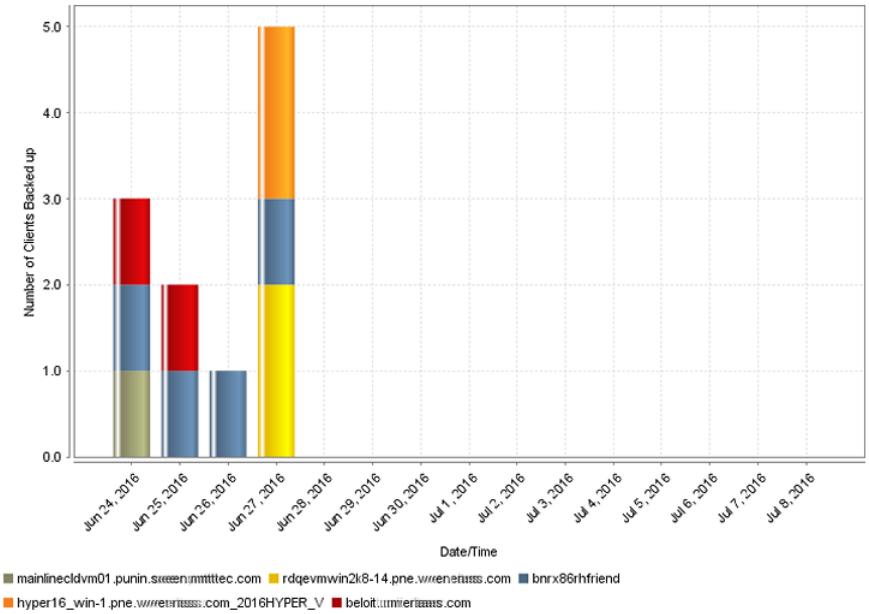
[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [クライアント数 (Client Count)]

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがるバックアップクライアント数の概略を提供します。このレポートには3 つの表示オプションがあります。[履歴 (Historical)]レポートビューは過去 2 週間の 1 日あたりにバックアップ済みの一意のクライアントの合計数をマスターサーバーごとに示します。バックアップする

必要があるクライアント数と実際にバックアップされているクライアント数の違いを示すことによって潜在的な問題を示すうえで役立ちます。

図 2-18 に[クライアント数 (Client Count)]レポートのビューの例を示します。

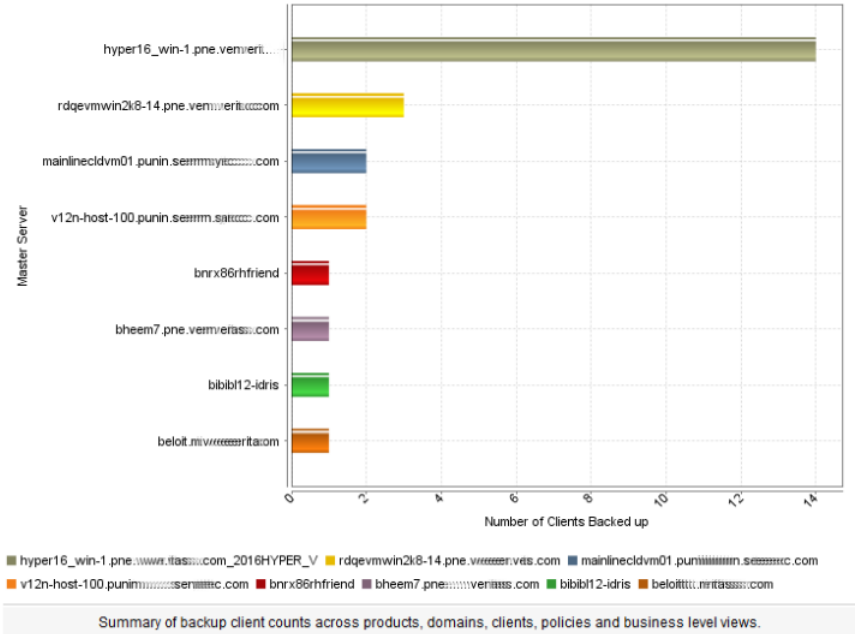
図 2-18 [クライアント数 (Client Count)]レポート ([履歴 (Historical)])



[ランキング (Ranking)]ビューは過去 2 週間にメディアサーバーごとにバックアップが行われた一意のクライアントの数をリストに表示して上位 10 位の環境を示します。

図 2-19 に[クライアント数 (Client Count)]レポートのビューの例を示します。

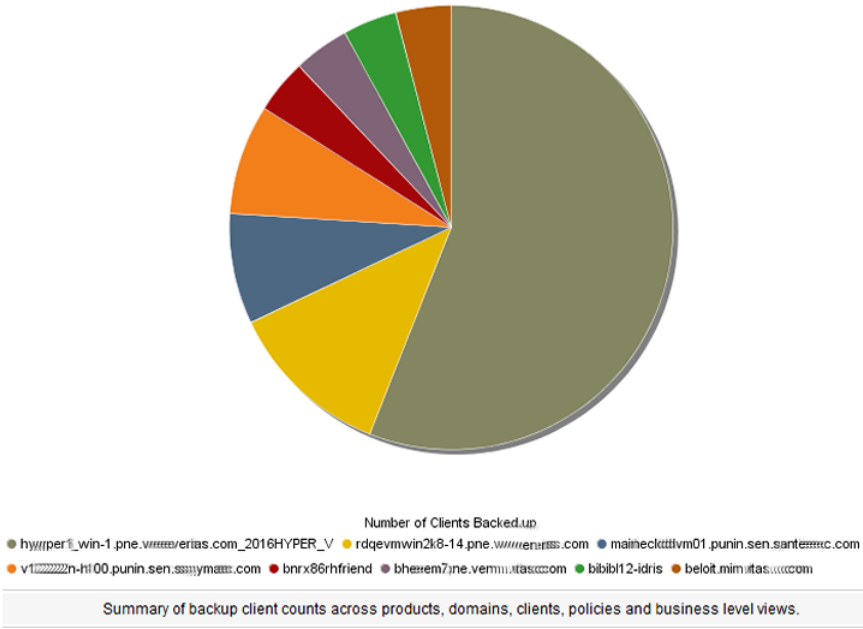
図 2-19 ［クライアント数 (Client Count)］レポート (［ランキング (Ranking)］)



［分布 (Distribution)］ビューは過去 2 週間にバックアップされた一意のクライアントの数をマスターサーバー別に示します。

図 2-20 に［クライアント数 (Client Count)］レポートのビューの例を示します。

図 2-20 ［クライアント数 (Client Count)］レポート（［分布 (Distribution)］）



履歴、ランキング、分布の各レポート形式は、表形式で表示できます。

図 2-21 に［クライアント数 (Client Count)］レポートのビューの例を示します。

図 2-21 ［クライアント数 (Client Count)］レポート（［表形式 (Tabular)］）

Master Server	Number of Clients Backed up	Percentage
hyper1_win-1.pne.veritas.com_2016HYPER_V	13	54.17%
rdqevmwin2k8-14.pne.com	3	12.5%
mainecluvm01.punin.sen.santec.com	2	8.33%
v12n-ho00.punin.sen.symantec.com	2	8.33%
bnrx86rhfriend	1	4.17%
bhe-em7pne.veritas.com	1	4.17%
bibibl12-idris	1	4.17%
beloit.mim.ritas.com	1	4.17%

Total 8 Rows , 1 Page(s)

［**クライアント数** (Client Count)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	クライアント数 (Client Count)
レポートカテゴリ	バックアップ

場所	[すべてのレポート (All Reports)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [**クライアント数** (Client Count)]レポート
レポートの目的	過去 2 週間の 1 日あたりにバックアップ済みの一意のクライアントの合計数をマスターサーバーごとに示すカスタマイズ可能なレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング、分布
ドリルダウンレポート	はい 選択したパラメータ値のドリルダウンレポートを表示できます。これらのレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスに利用可能です。 例: ランキング形式のレポートでは、レベル 1 の[クライアント名 (Client Name)]、レベル 2 の[ジョブの形式 (Job Type)]、レベル 3 の[スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)]、レベル 4 の[ポリシー名 (Policy Name)]という、4 つのレベルのドリルダウンレポートを表示できます。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Reports)] > [バックアップ (Backup)] > [アクティビティ計画 (Activity Planning)] > [**クライアント数** (Client Count)]

[**クライアント数** (Client Count)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**クライアント数** (Client Count)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ　列	説明
表示	レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために1つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する1つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対して[**クライアント数** (Client Count)] レポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。

[クライアント数 (Client Count)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[クライアント数 (Client Count)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

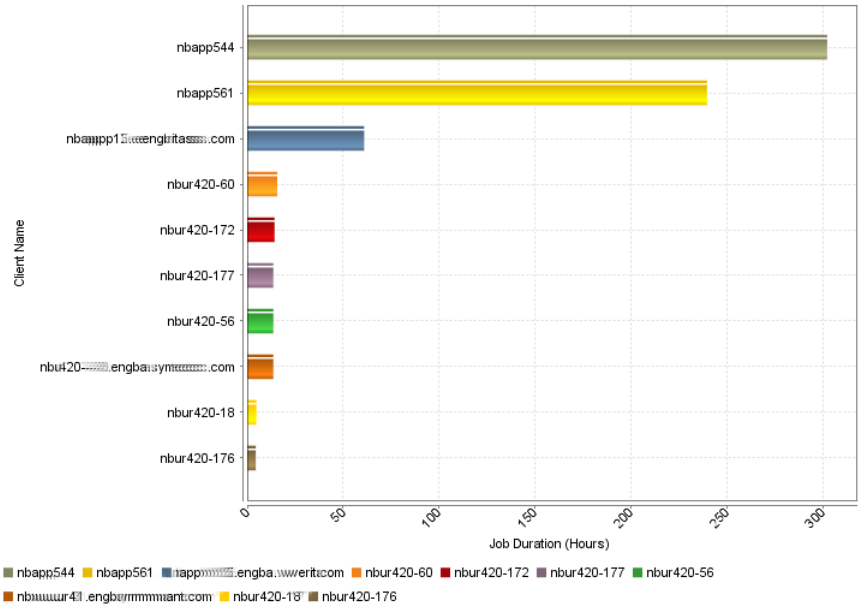
- [不明 (UNKNOWN)]がポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR の場合と同様に不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。
- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year Total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ジョブの期間 (Job Duration)]

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがるバックアップジョブの期間の概略を提供します。過去 2 週間でバックアップにかかった総時間のランク付けで最も高いクライアント上位 10 件を示します。

図 2-22 に[ジョブの期間 (Job Duration)]レポートのビューの例を示します。

図 2-22 ［ジョブの期間 (Job Duration)］レポート



Summary of backup job durations across products, domains, clients, policies and business level views.

さらに、表形式のレポートも表示できます。

図 2-23 に［ジョブの期間 (Job Duration)］レポートのビューの例を示します。

図 2-23 ［ジョブの期間 (Job Duration)］レポート (［表形式 (Tabular)］)

Client Name	Job Duration (Hours)
nbapp544	302.27
nbapp561	239.66
nbapp15.engb[illegible].com	60.96
nbur420-60	15.62
nbur420-172	14.23
nbur420-177	13.63
nbur420-56	13.62
nbur420[illegible].engb[illegible].com	13.6
nbur420-18	4.76
nbur420-176	4.46

Total 10 Rows , 1 Page(s)

［ジョブの期間 (Job Duration)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名　　ジョブの期間 (Job Duration)

レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［ジョブアクティビティ (Job Activity)］ > ［**ジョブの期間** (Job Duration)］レポート
レポートの目的	過去 2 週間でバックアップにかかった総時間のランク付けで最も高いクライアント上位 10 件を示すカスタマイズ可能なレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	ランキング
ドリルダウンレポート	はい。選択したパラメータ値のドリルダウンレポートを表示できます。これらのレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスに利用可能です。 例: ランキング形式のレポートでは、レベル 1 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 2 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 3 の［ポリシー名 (Policy Name)］という、3 つのレベルのドリルダウンレポートを表示できます。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］> ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［アクティビティ計画 (Activity Planning)］ > ［**ジョブの期間** (Job Duration)］

［**ジョブの期間** (Job Duration)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**ジョブの期間** (Job Duration)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために1 つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対して[ジョブの期間 (Job Duration)] レポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。

[ジョブの期間 (Job Duration)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[ジョブの期間 (Job Duration)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

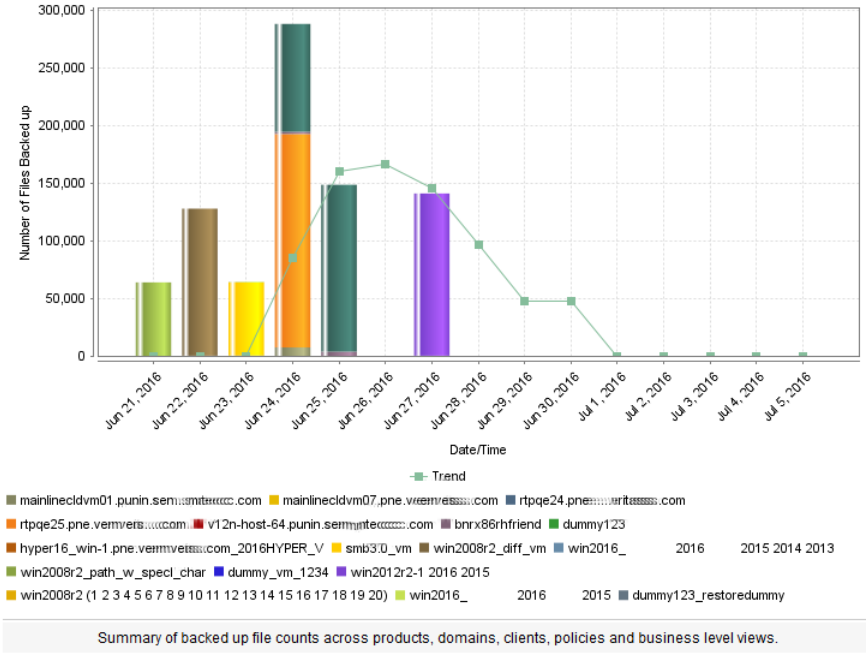
- [不明 (UNKNOWN)]がポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR の場合と同様に不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]列が[ジョブ (Job)]フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が[FT]または[LAN]のジョブに関するレポートデータを表示できます。

[ジョブアクティビティ (Job Activity)] > [ファイル数 (File Count)]

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがるバックアップファイル数の概略を提供します。このレポートには 3 つの表示オプションがあります。[履歴 (Historical)]レポートビューは各マスターサーバーで過去 2 週間の毎日にバックアップされたファイルの合計数を示します。

図 2-24 に[ファイル数 (File Count)]レポートのビューの例を示します。

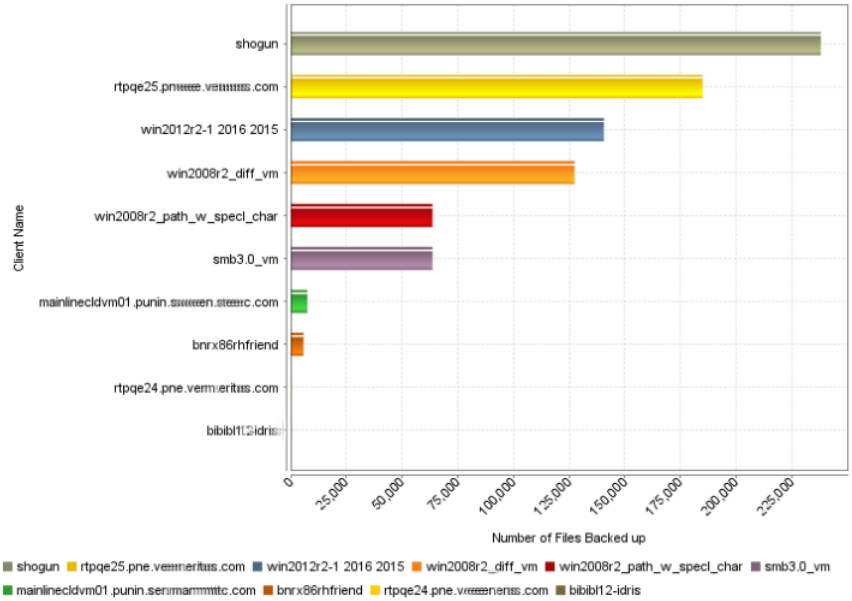
図 **2-24** ［ファイル数 (File Count)］レポート (［履歴 (Historical)］)



［ランキング (Ranking)］ビューは過去 2 週間にバックアップされたファイルの合計数で上位 10 位のバックアップクライアントを示します。

図 2-25 に［ファイル数 (File Count)］レポートのビューの例を示します。

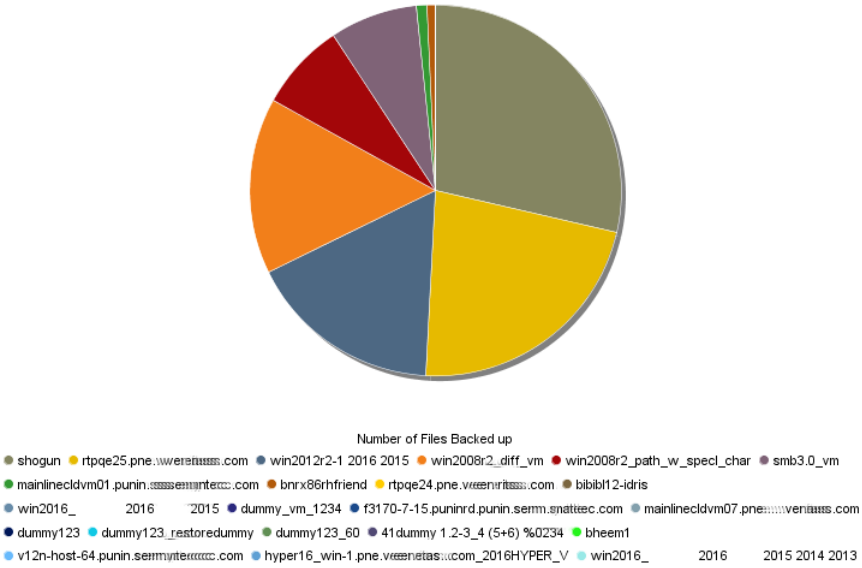
図 2-25 ［ファイル数 (File Count)］レポート (［ランキング (Ranking)］)



［分布 (Distribution)］ビューは過去 2 週間にバックアップされたファイルの数をマスターサーバー別に示します。

図 2-26 に［ファイル数 (File Count)］レポートのビューの例を示します。

図 2-26 ［ファイル数 (File Count)］レポート（［分布 (Distribution)］）



履歴、ランキング、分布の各レポート形式は、表形式で表示できます。

図 2-27 に［ファイル数 (File Count)］レポートのビューの例を示します。

図 2-27 ［ファイル数 (File Count)］レポート（［表形式 (Tabular)］）

Client Name	Number of Files Backed up	Percentage
shogun	238,061	62.06%
win2012r2-1 2016 2015	140,689	36.68%
bnrx86rhfriend	4,827	1.26%
f3170-7-15.puninrd.puninin.smitec.com	6	0%
rtpqe24.pne.veritas.com	4	0%
hyper16_win-1.pne.ven.veritas.com_2016HYPER_V	0	0%

Total 6 Rows , 1 Page(s)

［**ファイル数** (File Count)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ファイル数 (File Count)
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］> ［ジョブアクティビティ (Job Activity)］ > ［**ファイル数** (File Count)］

レポートの目的	過去 2 週間の毎日にバックアップされたファイルの合計数を示すカスタマイズ可能なレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング、分布
ドリルダウンレポート	はい 選択したパラメータ値のドリルダウンレポートを表示できます。これらのレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスに利用可能です。 例: ランキング形式のレポートでは、レベル 1 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 2 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 3 の［ポリシー名 (Policy Name)］という、3 つのレベルのドリルダウンレポートを表示できます。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［アクティビティ計画 (Activity Planning)］ > ［**ファイル数** (File Count)］

［**ファイル数** (File Count)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**ファイル数** (File Count)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタ	列	説明
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために1つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する1つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対して[**ファイル数** (File Count)]レポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。

[ファイル数 (File Count)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。

- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

［ファイル数 (File Count)］レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR の場合と同様に不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。
- ［ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)］列が［ジョブ (Job)］フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が［FT］または［LAN］のジョブに関するレポートデータを表示できます。
- 次のオプションは［次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)］の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year Total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

［ジョブブラウザ (Job Browser)］>［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］

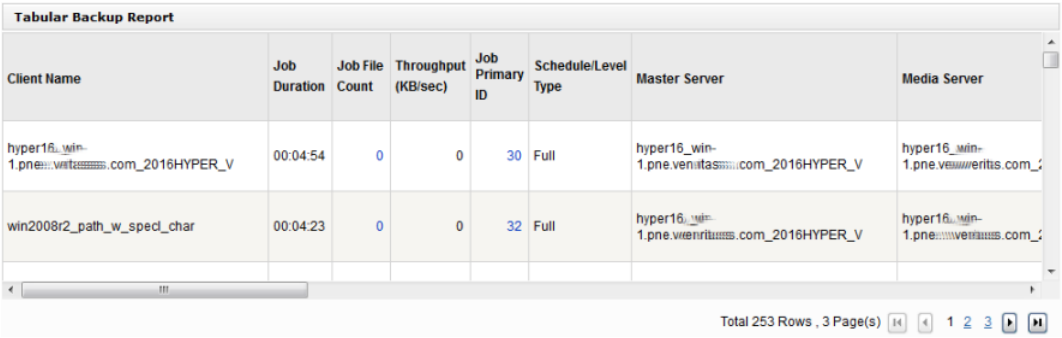
このセクションは NetBackup アクティビティモニターと同様な NetBackup のジョブアクティビティについてのレポートを提供します。

指定された時間枠に実行されたすべてのバックアップアクティビティの詳しいリストを確認できます。デフォルトの時間枠は過去 2 週間です。このレポートでは、複数のジョブ試行の状態を表示できます (［ジョブの試行回数 (Job Attempt Count)］列と［状態コード (Status Code)］列)。また、バックアップ操作やリストア操作を完了するのに必要な時間も知ることができます (［ジョブの期間 (Job Duration)］列)。このように、バックアップジョブやリストアジョブにかかる最長時間の詳細を簡単に識別できます。

また、レポートの［ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)］列からドリルダウンして、ジョブに関連付けられているスキップファイルの詳細を知ることもできます。スキップされたファイルと関連付けられているのは一部のジョブのみである場合もあります。スキップされたファイルがないジョブの場合、ドリルダウンレポートは、空白かハイフンが表示されます。

図 2-28に、［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］のビューの例を示します。

図 2-28　表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)



Tabular Backup Report

Client Name	Job Duration	Job File Count	Throughput (KB/sec)	Job Primary ID	Schedule/Level Type	Master Server	Media Server
hyper16_win-1.pne.veritas.com_2016HYPER_V	00:04:54	0	0	30	Full	hyper16_win-1.pne.veritas.com_2016HYPER_V	hyper16_win-1.pne.veritas.com_2
win2008r2_path_w_specl_char	00:04:23	0	0	32	Full	hyper16_win-1.pne.veritas.com_2016HYPER_V	hyper16_win-1.pne.veritas.com_2

Total 253 Rows , 3 Page(s) 1 2 3

［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］に関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	表形式のバックアップレポート
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［ジョブブラウザ (Job Browser)］> ［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］
レポートの目的	クライアントごとのすべてのバックアップデータ (サイズ、開始時刻、状態コードなど) を示す、カスタマイズ可能な表形式レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	スキップファイルの詳細 p.114 の「スキップファイルの詳細 (Skip File Details)」を参照してください。
スケジュール可能	はい

サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］>［ジョブブラウザ (Job Browser)］>［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)］>［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］

［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］を編集して、特定の列を表示または非表示にできます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して、1 つ以上のポリシー、マスターサーバー、クライアント、ビュー、製品の種類、ジョブ状態など、限られたサンプルセットのアクティビティを示すこともできます。

次の表は、［表形式のバックアップ (Tabular Backup)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたデータ分類名のポリシーのデータを表示するために、ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) など 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するには、Backup Exec など、製品を 1 つ以上選択します。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[表形式のバックアップ (Tabular Backup)]レポートを実行すると、選択したマスターサーバーのみのバックアップの詳細を表示できます。上記のレポート表示例では、特定のマスターサーバーのデータを示しています。

レポートの拡張機能

レポートに次の拡張が行われました。

- ジョブの各プライマリ ID がリンクになりました。[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]列からドリルダウンして、ジョブのスキップされたファイルの詳細を知ることができます。
- レポートの[ジョブの終了時刻 (Job End Time)]、[ジョブの開始時刻 (Job Start Time)]、[有効期限時刻 (Expiration Time)]のすべての列には、9:40:37 A.M のように秒まで表示されるようになりました。以前のレポートの時刻表示は 9:40 A.M のように、時間と分のみでした。
- すべてのビューに関するデータがデフォルトで表示されるようになりました。[すべてのマイビュー (All My Views)]が、レポートを編集するときのデフォルトビューです。
- データの正確性と VBR とのパリティが修正されました。

追加された列

レポートには次の追加の列が表示されるようになりました。これらの列はレポートにデフォルトでは表示されません。レポートを編集して手動でこれらの列を追加し、レポートを再実行する必要があります。

- 試行の状態
  この列を使用して試行の状態（成功または失敗）を確認することができます。
- 製品 (Product)
  この列には、NetBackup、NetBackup Master Appliance などのジョブに関連付けられている製品が表示されます。
- ジョブディレクトリ
  ジョブによってバックアップされているパス。
- ポリシーのキーワード
  ジョブと関連付けられているポリシーのキーワード
- ポリシーのストレージユニット名 (Storage Unit Name)
  ジョブと関連付けられているストレージユニットの名前
- 試行開始時刻
  特定のジョブ試行の開始日時を示します。リソースが利用可能でないなどの原因により、ジョブは複数の試行や再試行を必要とすることがあります。レポートには常に［試行の開始時刻 (Attempt Start Time)］列が表示されていることを確認します。［試行の開始時刻 (Attempt Start Time)］列を削除すると、重複したレコードがレポートに表示されることがあります。

フィルタの拡張機能

フィルタに次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、［表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)］の右上隅に［年間 (Years)］タブを表示することもできます。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。
- ジョブフィルタでは次の列が削除されました。
  - エージェントサーバー
  - ジョブの状態
- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が［不明 (UNKNOWN)］であるレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュール形式、ポリシー形式など、すべての静的な列は、VBR にあるように［不明 (UNKNOWN)］と表示されるようになりました。
- ［ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)］列が［ジョブ (Job)］フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が［FT］または［LAN］のジョブに関するレポートデータを表示できます。

スキップファイルの詳細 (Skip File Details)

[表形式のバックアップ (Tabular Backup)]レポートでは、[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]列からドリルダウンして、ジョブと関連付けられているスキップファイルの詳細を確認できます。関連付けられているスキップされたファイルがあるのは、一部のジョブだけです。スキップされたファイルがないジョブの場合、ドリルダウンレポートは空白になるか、またはハイフンが表示されます。

メモ: [スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートは、[1 週間の詳細 (Week at a Glance Details)]レポートで[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]をクリックしても使用できます。

図 2-29 では、表形式のバックアップレポートで[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]列をクリックすることによって入手されるスキップファイル詳細レポートのサンプル表示を示します。

図 2-29 スキップファイルの詳細 (Skip file details)

Skip File Details

Job Primary ID	Skipped File Name	Skipped File Reason	Skipped File Code	Skipped File Source Host	Product	Skipped File Time
14,733,863,602,525,857,000,000,000,000,000,000,000,000	C:\Program Files\Symantec\OpsCenter\server\db\data\opsscratchdb.db	File is being used by another process or not present	-	ccs-win-qe-12	Symantec Backup Exec	Aug 12, 2011 1:14:48 PM
14,733,863,602,525,857,000,000,000,000,000,000,000,000	C:\Program Files\Symantec\OpsCenter\server\db\data\searchdb.db	File is being used by another process or not present	-	ccs-win-qe-12	Symantec Backup Exec	Aug 12, 2011 1:14:48 PM
14,733,863,602,525,857,000,000,000,000,000,000,000,000	C:\Program Files\Symantec\OpsCenter\server\db\data\syncOpscache.db	File is being used by another process or not present	-	ccs-win-qe-12	Symantec Backup Exec	Aug 12, 2011 1:14:48 PM
14,733,863,602,525,857,000,000,000,000,000,000,000,000	C:\Program Files\Symantec\OpsCenter\server\db\data\vxpmdb.db	File is being used by another process or not present	-	ccs-win-qe-12	Symantec Backup Exec	Aug 12, 2011 1:14:48 PM
14,733,863,602,525,857,000,000,000,000,000,000,000,000	C:\Program Files\Symantec\OpsCenter\server\db\data\vxpmdb.log	File is being used by another process or not present	-	ccs-win-qe-12	Symantec Backup Exec	Aug 12, 2011 1:14:48 PM

以下は[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	スキップファイルの詳細
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[バックアップ (Backup)]>[ジョブブラウザ (Job Browser)]>[表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)] (ジョブのプライマリ ID リンクをクリック)
レポートの目的	選択したジョブのスキップファイルの詳細リストを表示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	[バックアップ (Backups)]>[ジョブブラウザ (Job Browser)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)]>[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]

レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。レポートをフィルタ処理し、特定のジョブプライマリ ID のスキップされたファイルを表示することもできます。

次の表では、[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
プライマリジョブ	ジョブのプライマリ ID	スキップされたファイルの詳細を表示するジョブプライマリ ID を選択します。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[予測サイズ (Forecasted Size)]レポート

[計画アクティビティ (Planning Activity)]は、ストレージ容量のニーズ、メディアの消費、ジョブサイズ、スケジュールおよび件数など、NetBackup の将来予測される傾向をレポートします。

[容量計画 (Capacity Planning)]は、履歴的な NetBackup のストレージ消費量と予測される今後の NetBackup ストレージニーズについてレポートします。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[予測サイズ (Forecasted Size)]のレポートは供給と需要の対比を履歴的に示し、さらに需要と供給が将来いつ頃一致するかを示す需給予測ラインも示します。これら 2 つの線が交差する点が、新しい容量 (より多くのディスクかより多くのバックアップテープ) を追加する必要がある日付です。 上の例では供給は需要よりはるかにより多く、これ以上の容量を購入する必要がないことを示しています。

このレポートのデフォルトの最初のビューには`ますが、実際には一部のライブラリが他より容量に空きがない状態に近いことがあるので、特定のテープライブラリにフィルタ処理する必要があります。

[EMM サーバー (EMM Server)]列が[メディア (Media)]フィルタから削除されました。特定のサーバーのデータを表示するには、[EMM サーバー (EMM Server)]列の代わりに[マスターサーバー (Master Server)]フィルタを使うことができます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[容量計画 (Capacity Planning)]>[履歴サイズ (Historical Size)]レポート

このレポートは履歴の供給対需要を示します。供給はバックアップアプリケーションのすべてのテープメディアのすべての利用可能な空き容量と定義されます。この数値は同じテープ形式のすべての空き領域のないメディアの平均サイズを取得することによって計算されます。その平均は同じ形式の空き領域のある他のすべてのテープの予測サイズのために使われます。テープには正確な容量がなくテープマークの終わりまで書き込まれるため、平均を使用する必要があります。需要面では、これは期間のすべてのバックアップジョブを計算したものです。このレポートでは、2 つの線の違いが必要のなかった追加容量であることが示されます。理想的な環境では、たとえばこれらの線は青色の線と一致し、バックアップ用のすべての領域が使われることを示す線のわずか下になります。このレポートは「ジャストインタイムインベントリ」レポートと呼ばれることがあります。これは同じ名前のビジネス理論に由来しています。

デフォルトでは全体の環境を示しますが、運用では一部のデータ格納場所が他のデータ格納場所よりも 100% の容量に近い可能性があるので、個々のデータ格納場所に分割するようにフィルタ処理する必要がある場合があります。この変更はレポートの上部の[レポートの編集 (Edit Report)]をクリックすることによって簡単に行われます。

[EMM サーバー (EMM Server)]列が[メディア (Media)]フィルタから削除されました。特定のサーバーのデータを表示するには、[EMM サーバー (EMM Server)]列の代わりに[マスターサーバー (Master Server)]フィルタを使うことができます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブ数 (Job Count)]レポート

[予測 (Forecast)]レポートは、今後予測される NetBackup のジョブサイズとジョブ件数の情報を提供します。

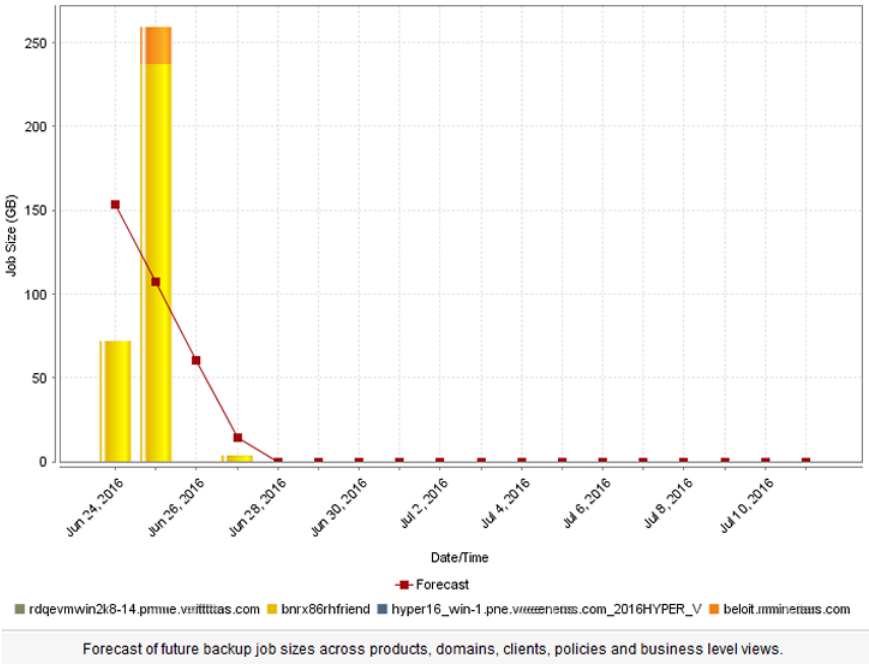
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブ数 (Job Count)]のレポートは、指定した時間枠の毎日のバックアップジョブの合計数を示します。また、現在のデータに基づいて次の 3 日間で何件のバックアップが予測できるかを示すために線形回帰予測が実行されます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[予測 (Forecast)]>[ジョブのサイズ (Job Size)]

このレポートは指定した時間枠の毎日のバックアップジョブの合計数を示します。また、現在のデータに基づいて次の 3 日間で何件のバックアップが予測できるかを示すために線形回帰予測が実行されます。

図 2-30 に、[ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)]レポートの表示例を示します。

図 2-30 ［ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)］レポート (［履歴 (Historical)］)



Forecast of future backup job sizes across products, domains, clients, policies and business level views.

このレポートは表形式でも利用可能です。

図 2-31 に、［ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)］レポートの表示例を示します。

図 2-31 ［ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)］レポート (［表形式 (Tabular)］)

Date/Time	Job Size (GB) - rdqevmwin28-14[illegible].pne.[illegible]wer[illegible]as.com	Job Size (GB) - bnrx86rhfriend	Job Size (GB) - hyper16_win-1.pne.[illegible]wen.[illegible]tas[illegible].com_2016HY[illegible]
Jun 24, 2016	0	71.89	
Jun 25, 2016	0	237.24	
Jun 26, 2016	0	0	
Jun 27, 2016	0.01	3.59	
Jun 28, 2016	0	0	
Jun 29, 2016	0	0	
Jun 30, 2016	0	0	
Jul 1, 2016	0	0	

［**ジョブのサイズ － 予測** (Job Size - Forecast)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	［ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)］レポート
レポートのカテゴリ	計画アクティビティ (Planning Activity)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［予測 (Forecast)］ > ［**ジョブのサイズ － 予測** (Job Size - Forecast)］レポート
レポートの目的	製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる将来のバックアップジョブサイズの予測を提供します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	はい。ドリルダウンレポートは、選択しているパラメータ値によって、レベル 1 の［マスターサーバー (Master Server)］、レベル 2 の［クライアント名 (Client Name)］、レベル 3 の［ジョブの形式 (Job Type)］、レベル 4 の［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］、レベル 5 の［ポリシー名 (Policy Name)］の 5 つのレベルで表示できます。
スケジュール可能	はい

サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］> ［標準レポート (Standard Report)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［アクティビティ計画 (Activity Planning)］ > ［予測 (Forecast)］ > ［**ジョブのサイズ － 予測** (Job Size - Forecast)］

［**ジョブのサイズ － 予測** (Job Size - Forecast)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にしたりできます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**ジョブのサイズ － 予測** (Job Size - Forecast)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	選択したメディアサーバーのデータをレポートで表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのメディアサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して[ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)]レポートを実行して、そのクライアントの詳細を表示できます。

[ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から[年 (Year)]を選択できます。
- 次の 5 つのレベルのドリルダウンレポートが OpsCenter に追加されました。
  - レベル 1: [マスターサーバー (Master Server)]
  - レベル 2: [クライアント名 (Client Name)]
  - レベル 3: [ジョブの形式 (Job Type)]
  - レベル 4: [スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)]
  - レベル 5: [ポリシー名 (Policy Name)]
- 次のオプションは[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group by)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)

- 時間平均 (Hour of day Average)
- 時間合計 (Hour of day total)
- 分間 (Minutes)
- 月平均 (Month of year Average)
- 月合計 (Month of year total)
- 四半期平均 (Quarter of year Average)
- 四半期合計 (Quarter of year total)

[ジョブのサイズ - 予測 (Job Size - Forecast)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- 新しい列[ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))]と[ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))]が、[レポート対象 (Report On)]パラメータに追加されました。
- ポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として[不明 (UNKNOWN)]が追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。
- Y1 軸のデフォルトの単位は[GB]になりました。
- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]フィルタから、値[SAN]が削除されました。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポート

[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]は、スケジュール化された NetBackup の将来的なすべての処理をレポートし、それに基づき作業負荷の容量やバックアップ処理時間帯を計画し、さらに完了済み処理と比較できます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポートは、何件のジョブが将来に実行されるようにスケジュールされたかを示す[ランキングレポート (Ranking Report)] ビューで利用可能です。スケジュール、ポリシー、マスターサーバー、またはクライアントごとに、スケジュールが設定されたジョブを表示できます。

メモ: デフォルトでは、[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]レポートはポリシーごとのジョブ数を示します。クライアント、スケジュール、またはマスターサーバーのジョブ数を表示するにはレポートパラメータを変更します。

このレポートのパラメータを変更する方法についての利用可能な詳細情報があります。

p.122 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポートパラメータの変更」を参照してください。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポートパラメータの変更

レポートパラメータを変更する方法

1. [スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]レポートで、[レポートの編集 (Edit Report)]リンクをクリックします。
2. レポートウィザードで、[フィルタ (Filters)]ドロップダウンリストから、スケジュールが設定されたジョブの属性を選択します。クライアント、マスターサーバー、ポリシー、またはスケジュールの名前などです。
3. [レポートの実行 (Run Report)]をクリックします。

メモ: 特定のクライアント、ポリシー、マスターサーバー、またはスケジュールのジョブ数を表示するには、[拡張フィルタの表示 (Show Advanced Filters)]をクリックし、ジョブ数を表示するクライアント、ポリシー、マスターサーバー、またはスケジュールの名前を選択します。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポートについての詳細情報があります。

p.121 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]レポート」を参照してください。

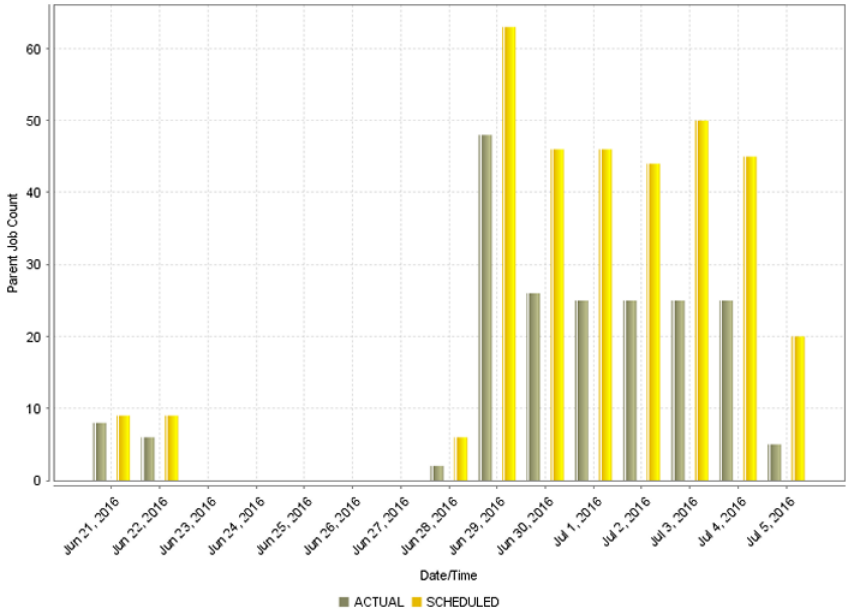
[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際)(Job Count Scheduled Vs Actual)]レポート

この履歴レポートは何件のジョブが将来に実行されるようにスケジュールが設定され、何件のジョブが実行されたかを示します。レポートは基本的にスケジュール設定済み (将来) のジョブ数と実際のジョブ数との比較を示します。

このレポートを使って将来に実行されることになっていたジョブがスケジュールどおりに実行されているかどうかを判断できます。

図 2-32 に[ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)]レポートのビューの例を示します。

図 2-32 ［ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)］レポート



［ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	［ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)］レポート
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)］ > ［ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)］
レポートの目的	この履歴レポートは、実際のジョブ数とスケジュールが設定されたジョブ数を比較します。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴

ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups]>［アクティビティ計画 (Activity Planning)］>［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)］>［ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)］

フィルタを使用することによって、特定のクライアント、ポリシー、マスターサーバー、スケジュールの実際のジョブ数とスケジュールが設定されたジョブ数の比較を表示できます。次の表に、［ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使用してレポートで特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。 OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
スケジュール	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
スケジュールが設定されたジョブ	手動ジョブの除外	デフォルトでは実際のジョブ数には手動で開始された手動ジョブが含まれています。実際のジョブ数から手動のジョブを除外し、実行形式が「スケジュール」であるジョブのみ表示できます。レポートで手動ジョブを除外するには、［はい (Yes)］を選択します。

［フィルタの使用例 (Example of filter usage)］: デフォルトでは実際のジョブ数には NetBackup 管理者によって手動で開始された手動ジョブが含まれています。実際のジョブ数から手動のジョブを除外する方法についての利用可能な詳細情報があります。

p.125 の「[ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)]レポートの実際のジョブ数からの手動のジョブの除外」を参照してください。

このレポートでは、次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、レポートの右上に[年 (Year)]タブが表示されます。
- 時間枠グループの次の単位が削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year Total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- [手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)]フィルタの[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]列のデフォルト値は[いいえ (No)]に変更されました。以前は、[手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)]のデフォルト値は[はい (Yes)]でした。

[ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)]レポートの実際のジョブ数からの手動のジョブの除外

デフォルトでは実際のジョブ数には NetBackup 管理者によって手動で開始された手動ジョブが含まれています。実際のジョブ数から手動のジョブを除外し、実行形式が「スケジュール」であるジョブのみ表示するには、次の操作を実行します。

手動のジョブを実際のジョブから除外する方法

1. [ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)]レポートで、[レポートの編集 (Edit Report)]リンクをクリックします。
2. レポートウィザードの[フィルタ (Filters)]セクションで、[手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)]ドロップダウンリストから[はい (Yes)]を選択します。
3. [レポートの実行 (Run Report)]をクリックします。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際) (Job Count Scheduled Vs Actual)]レポートについての詳細情報が利用可能です。

p.122 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際)(Job Count Scheduled Vs Actual)] レポート」を参照してください。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)]レポート

この履歴レポートは何件のジョブがスケジュールされ、何件のジョブが指定のバックアップ処理時間帯内で実行されたかを示します。レポートは基本的にバックアップ処理時間帯中のスケジュール設定済み (将来) のジョブ数と実際のジョブ数との比較を示します。

バックアップ処理時間帯が適切で、正しく活用されているかどうか判断するためにこのレポートを使います。レポートの詳細を表形式で表示するには、レポートの下にある[表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)]リンクをクリックします。

[バックアップ処理時間内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)]レポートは、指定されたバックアップ処理時間帯内にジョブが終了したかどうかを示します。このレポートには、迅速な分析のため、バックアップ処理時間帯のグラフも表示されます。定義されたウィンドウ内で、すべてのバックアップ処理が発生しているかどうかをすばやく判断できます。

さらに、インテリジェントな平均化を使って広い時系列にわたる処理時間帯のパフォーマンスを確認することが必要です。処理時間帯を 1 回または 2 回確認できなくても広範囲なシステム上の問題につながるとは限りませんが、実際の日単位のコンテキストとともに、平均化されたコンテキストを確認する必要があります。

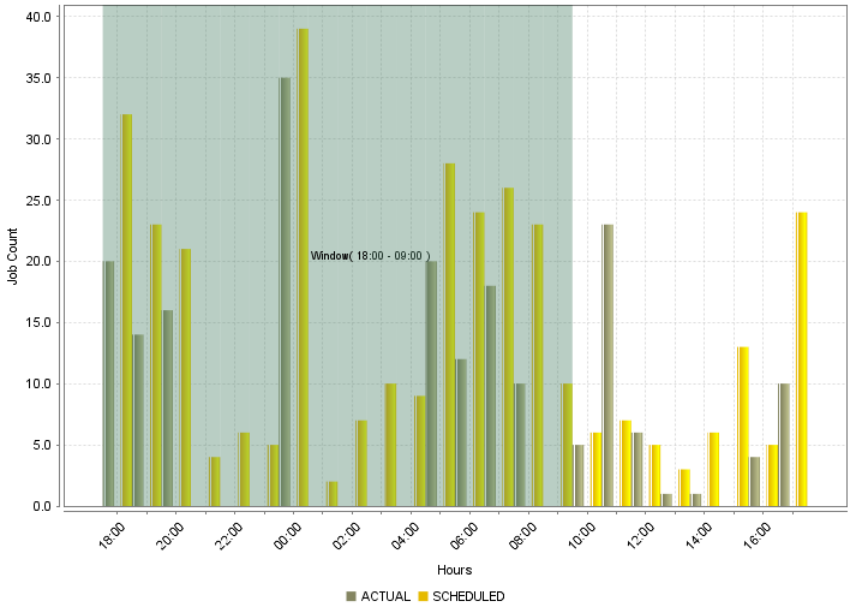
[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	バックアップ処理時間帯内のジョブ数
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[バックアップ (Backup)]>[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[バックアップ処理時間帯 (Backup Window)]内の[ジョブ数 (Job Count)]
レポートの目的	24 時間の時系列に対するユーザー定義のバックアップ処理時間帯での、実際の NetBackup ジョブ数とスケジュールが設定されたジョブ数の比較。

サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］>［アクティビティ計画 (Activity Planning)］>［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)］>［バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count Within Backup Window)］

「図 2-33」に、バックアップ処理時間帯のレポート内のジョブ数のビューの例を示します。

図 2-33 ［バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count Within Backup Window)］レポート



このレポートは、緑で示されている処理時間帯 (18:00 - 09:00) 外にバックアップが発生したことを示します。

次の表に、[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count within Backup Window)] レポートのフィルタと、それらのフィルタを使ってレポートで特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)] が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)] ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
スケジュール	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
スケジュールが設定されたジョブ	手動ジョブの除外	レポートで手動ジョブを除外する場合に選択します。[はい (Yes)] または [いいえ (No)] を選択できます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 選択されたマスターサーバーのジョブ数の詳細のみを表示するには、特定のマスターサーバーのジョブ数処理時間帯レポートを実行できます。

このレポートでは、次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)] 単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、レポートの右上に [年間 (Years)] タブが表示されます。
- [手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)] フィルタの [スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)] 列のデフォルト値は [いいえ (No)] に変更されました。以前は、[手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)] のデフォルト値は [はい (Yes)] でした。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポート

この表形式のレポートは毎日のクライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせのそれぞれについてスケジュール設定済みのジョブ数と実際のジョブ数との比較を示します。

メモ: デフォルトでは、[ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポートは、ポリシーごとのジョブ数を示します。クライアントまたはマスターサーバーごとのジョブ数を表示する場合は、フィルタパラメータを変更します。

「図 2-34」に[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートの詳細のビューの例を示します。

図 2-34 [ジョブの詳細 (スケジュールと実際の比較) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポート

Job Details Scheduled Vs Actual

Date	Server Name	Client Name	Policy Name	Scheduled Job Count	Actual Job Count
Jun 24, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	ACCbkponHitCryptnbu80	7	7
Jun 24, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	anyavaliablebkpstu	6	6
Jun 24, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	normalbkponHRAWnbu80	7	7
Jun 24, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	normalbkponHitCryptnbu80	7	7
Jun 24, 2016	beloit.miiiiiineras.com	shogun	san_test	0	1
Jun 25, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	ACCbkponHitCryptnbu80	18	18
Jun 25, 2016	beloit.miiinveritas.com	shogun	Checkpoint	0	1
Jun 25, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	anyavaliablebkpstu	21	20
Jun 25, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	normalbkponHRAWnbu80	18	18
Jun 25, 2016	bnrx86rhfriend	bnrx86rhfriend	normalbkponHitCryptnbu80	17	17
Jun 25, 2016	beloit.minnritassss.com	shogun	san_test	0	1

[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	[ジョブの詳細 (スケジュールと実際の比較) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポート
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [計画アクティビティ (Planning Activity)] > [スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)] > [ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]

レポートの目的	これは、日付、マスターサーバー、クライアントとポリシーによってグループ分けされる、スケジュールが設定されたジョブ数と実際のジョブ数を比較した表形式のレポートです。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］>［計画アクティビティ (Planning Activity)］>［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)］>［ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details - Scheduled Vs Actual)］

次の表に、［ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)］レポートのフィルタと、それらのフィルタを使用してレポートで特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。 OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
スケジュール	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。

フィルタ	列	説明
スケジュールが設定されたジョブ	手動ジョブの除外	デフォルトでは実際のジョブ数には手動で開始された手動ジョブが含まれています。実際のジョブ数から手動のジョブを除外し、実行形式が「スケジュール」であるジョブのみ表示できます。レポートで手動ジョブを除外するには、[はい (Yes)]を選択します。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートの変更についての利用可能な詳細情報があります。

p.131 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際)(Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートの変更」を参照してください。

相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、レポートの右上に[年間 (Years)]タブが表示されます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際)(Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートの変更

メモ: デフォルトでは、[ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポートは、ポリシーごとのジョブ数を示します。クライアントまたはマスターサーバーごとのジョブ数を表示する場合は、フィルタパラメータを変更します。

レポートパラメータを変更する方法

1. [ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポートで、[レポートの編集 (Edit Report)]リンクをクリックします。
2. レポートウィザードの[表形式のレポートのプロパティ (Tabular Report Properties)]セクションで、リストから列名 (クライアントかマスターサーバー) を選択します。
3. [>>]オプションをクリックします。
4. [レポートの実行 (Run Report)]をクリックします。

メモ: 特定のクライアント、ポリシー、マスターサーバー、またはスケジュールのジョブ数を表示するには、[フィルタ (Filters)]セクションに移動し、ジョブ数を表示するクライアント、ポリシー、マスターサーバー、またはスケジュールの名前を選択します。

デフォルトでは実行されたジョブ (実際のジョブの件数) は手動で開始され、関連付けられるスケジュールの時間のない手動のジョブが含まれています。実際のジョブ数から手動のジョブを除外し、実行形式が「スケジュール」であるジョブのみ表示できます。

手動のジョブを実際のジョブから除外する方法

1. [ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポートで、[レポートの編集 (Edit Report)]リンクをクリックします。
2. レポートウィザードのフィルタ (Filters)]セクションで、[手動ジョブの除外 (Exclude Manual Jobs)]ドロップダウンリストから[はい (Yes)]を選択します。
3. [レポートの実行 (Run Report)]をクリックします。

[ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポートは、スケジュール設定済みのジョブ数と実際のジョブ数との比較を示します。実際のジョブ数には手動のジョブが含まれています。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポートについての利用可能な詳細情報があります。

p.129 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]>[ジョブの詳細 (スケジュールと実際) (Job Details Scheduled Vs Actual)]レポート」を参照してください。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[すべてのジョブ (All Jobs)]レポート

このレポートは表形式で次を含むジョブを示します。

手動のジョブ	これらのジョブは NetBackup の管理者自身の裁量によって、手動で開始されます。従って、これらのジョブにはそれらと関連付けられるスケジュール時間がありません。 **メモ:** [ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)]レポートを生成している間、実際のジョブ数から手動のジョブを除外し、実行形式が「スケジュール」であるジョブのみ表示することもできます。 p.122 の「[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[ジョブ数 (スケジュールと実際)(Job Count Scheduled Vs Actual)]レポート」を参照してください。

スケジュールが設定されたジョブ	これらのジョブは将来実行されるようにスケジュールが設定されます。スケジュールが設定されたジョブの各情報はクライアント、ポリシー、スケジュールおよびスケジュール時間から成り立ちます。OpsCenter はこの情報を履歴的に保存します。指定のスケジュール時間に実行されると、スケジュールが設定された各ジョブは、実行形式が「スケジュール」の実際のジョブになります。従って、スケジュールが設定されたジョブには OpsCenter データベースで対応する実際のジョブエントリがあります。この特定の、スケジュールが設定されたジョブは、クライアント、ポリシー、スケジュールおよびスケジュール時間の一意の組み合わせによって識別できます。スケジュールが設定されたジョブがスケジュールされた時間に実行されたかどうかを判断するために、このジョブのスケジュール時間を、対応するジョブの開始時間と比較できます。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)]レポート

[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]は、NetBackup のバックアップ、重複、期限切れ、期限内のイメージとそのサイズについてのレポートを提供します。

[有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)]レポートは、製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューを含む期限切れ前のバックアップイメージを示します。このレポートは、NetBackup に対してのみ有効です。このレポートは[ランキング (Ranking)]ビューと[分布 (Distribution)]ビューで利用可能です。

単位[年 (Years)]が、相対時間枠の選択のために追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、[表形式のバックアップ (Tabular Backup)]レポートの右上に[年間 (Years)]タブが表示されます。

[次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。

時間枠グループの次の単位が削除されました。

- 曜日平均 (Day of week Average)
- 曜日合計 (Day of Week total)
- 時間平均 (Hour of day Average)
- 時間合計 (Hour of day total)
- 分間 (Minutes)
- 月平均 (Month of year Average)
- 月合計 (Month of year Total)

- 四半期 (Quarter)
- 四半期平均 (Quarter of year Average)
- 四半期合計 (Quarter of year total)

デフォルトの［レポート対象 (Report On)］パラメータは［なし (None)］です。以前は［マスターサーバー (Master Server)］でした。

［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が［不明 (UNKNOWN)］であるレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュール形式、ポリシー形式など、すべての静的な列は、VBR にあるように［不明 (UNKNOWN)］と表示されるようになりました。

［ジョブの形式 (Job Type)］の次の値は削除されました。

- 自動検出と保護 (Automatic Discovery and Protection)
- クリーニング (Cleaning)
- DB リカバリ (DB Recover)
- DQTS
- 消去 (Erase)
- 汎用 (Generic)
- イメージのクリーンアップ (Image cleanup)
- インポート (Import)
- インベントリ (Inventory)
- ラベル (Label)
- メディアの内容 (Media Contents)
- 移行 (Migration)
- なし (None)
- 再利用 (Reclamation)
- レプリケーション (Replication)
- レポート (Report)
- リストア (Restore)
- 保持 (Retention)
- 取得 (Retrieve)
- ストレージプールの管理 (Storage Pool Management)

- テープの取り出し (Tape Eject)
- テープフォーマット (Tape Formatting)
- テープ要求 (Tape Request)
- 最後のタスク (Task Last)
- テスト実行 (Test Run)
- 未定義 (Undefined)
- ユーティリティ (Utility)
- Vault
- 検証 (Verify)

[ジョブの形式 (Job Type)]のデフォルト値「すべて (All)」は使用されなくなりました。デフォルトで選択される値は[バックアップ (Backup)]です。

[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]フィルタが追加されました。[スケジュール名 (Scheduled Name)]または[スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)]に基づいてフィルタ処理を実行できます。

Y 軸のデフォルトの単位は GB になりました。以前は MB でした。

次のオプションが追加されました。

[3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)]。可能な値は、1、2、3、7、14、または 30 です。

分布ビューおよびランキングビューは、OpsCenter の[有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)]の別のレポートの一部分となりました。

値が NULL の ImageExpirationTime は VBR の場合と同様に見なす必要があります。

[計画アクティビティ (Planning Activity)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]>[コピーの重複 (Duplicate Copies)]レポート

左の軸線はたとえば全体として存在する複製バックアップコピーの数を示す青色の棒の高さ用です。黄色の線はたとえば右の軸線であり、コピーであるバックアップイメージのパーセントを示しています。これは常に 1 つ以上のバックアップがあることを確認したい状況で特に有用なレポートです。バックアップの 2 つのコピーがあれば (予備のコピーが 1 つあるため) 青い棒は 1 の高さであり、バックアップイメージの半分がコピーであるので線は 50% である 0.5 を示します。同じ状況で 3 つのコピーだと青い棒の高さは 2 で黄色の線のパーセントは 0.66、つまり 66% です。運用では、1 つ以上のバックアップコピーが存在するように常に、黄色の線が 50% 以上であることを確認する特定のポリシーまたはクライアントにこのレポートをフィルタ処理できます。

［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)］ > ［格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)］ > ［メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)］

このレポートは、過去 2 週間の各日バックアップ済みで、期限切れになっていないデータの合計量を GB 単位で示します。このレポートには、NetBackup および NetBackup アプライアンスの結果のみが示されます。このレポートでは、カスタマイズされた平均期間のグラフを表示できるようになりました。

表形式の詳細を表示するには、レポートの下にある［表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)］リンクをクリックします。

また、レポートをフィルタ処理して、1 つ以上のポリシー、クライアント、ビュー、ジョブ状態のような、限られたサンプルセットの期限が切れていないバックアップデータを表示することができます。フィルタをグループ分けする時間枠を使うことができます。例: 2010 年 1 月 1 日から 2010 年 2 月 1 日までの期間で期限の切れていないバックアップイメージを表示する場合は、1 週の各グループで、［グループ分け (Group by)］ドロップダウンリストから［1 週間 (1 Week)］を選択します。レポートでは、4 つの積み上げ棒グラフが週ごとに表示されます。［レポート対象 (Report On)］パラメータを使って、ドロップダウンリストからレポート対象にするレポートのグループ分け属性を選択できます。例: ［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］、［バックアップイメージの属性 (Backup Image Attributes)］など。

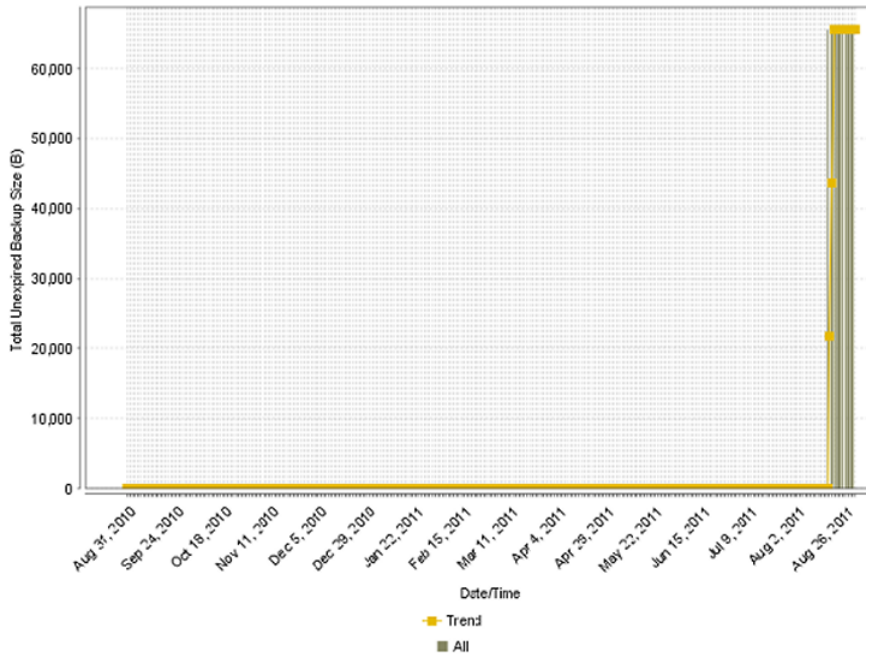
［メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	メディアに格納されたバックアップイメージ
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［計画アクティビティ (Planning Activity)］ > ［メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)］
レポートの目的	製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる、期限が切れていないイメージサイズの履歴レポート。
サポート対象の製品	Backup Exec、NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし

スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	[バックアップ (Backups)]>[計画アクティビティ (Activity Planning)]>[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Job)]>[格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images)]
VBR との違い	VBR は Image_fragment 表からの有効期限時刻を使うのに対して、OpsCenter は Image_Copy 表からの有効期限時刻を設定するため、VBR および OpsCenter からのこのレポートのデータは一致しません。この変更は、レポートの動作を訂正し、パフォーマンスを向上するために、OpsCenter 7.1 で導入されました。

図 2-35 に[メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポートのビューの例を示します。

図 2-35 [メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポート



Historical report of unexpired image sizes across products, domains, clients, policies and business level views.

次の表に、[メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポートのフィルタと、それらのフィルタを使ってレポートで特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために1つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenterコンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたデータ分類名のポリシーのデータを表示するために、ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) など 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれているポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、完全、増分など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。

フィルタ	列	説明
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するには、Backup Exec など、製品を 1 つ以上選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーの期限が切れていないイメージサイズを表示するには、特定のポリシーに対して[メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポートを実行できます。さらに特定の製品の期限が切れていないイメージサイズを確認するには、[ジョブ (Job)]フィルタを使って[製品の種類 (Product Type)]列で[Backup Exec]を選択します。

[メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポートでは次の拡張が行われています。

レポートの拡張機能

レポートに次の拡張が行われました。

- レポートには、カスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されるようになりました。
  次のオプションが追加されました。
  [3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)]。可能な値は、1、2、3、7、14、または 30 です。デフォルトは 3 です。
  [移動平均で傾向線を表示する (Show trendline with moving average)] チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストを使って、平均の対象にするデータポイントの数を指定します。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。例: 3 を指定すると、傾向線は、現在のデータポイントと、以前の 2 つのデータポイントの平均を各間隔で示します。
- データの正確性と VBR とのパリティが修正されました。
  値 NULL の場合のイメージの有効期限がレポートで考慮されるようになりました。

フィルタの拡張機能

フィルタに次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)] 単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から[年 (Year)]を選択できます。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。
- 時間枠グループの次の単位が削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year Total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- デフォルトの[レポート対象 (Report On)]パラメータは[なし (None)]になりました。以前は[マスターサーバー (Master Server)]でした。
- [不明 (UNKNOWN)]がポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として追加されました。ポリシー形式が[不明 (unknown)]のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュール形式、ポリシー形式など、すべての静的な列は、VBR にあるように[不明 (UNKNOWN)]と表示されるようになりました。
- [ジョブの形式 (Job Type)]列の次の値は[ジョブ (Jobs)]フィルタに対して削除されました。
  - 自動検出と保護 (Automatic Discovery and Protection)
  - クリーニング (Cleaning)
  - DB リカバリ (DB Recover)
  - DQTS
  - 消去 (Erase)
  - 汎用 (Generic)
  - イメージのクリーンアップ (Image cleanup)
  - インポート (Import)
  - インベントリ (Inventory)
  - ラベル (Label)
  - メディアの内容 (Media Contents)
  - 移行 (Migration)
  - なし (None)
  - 再利用 (Reclamation)

- レプリケーション (Replication)
- レポート (Report)
- リストア (Restore)
- 保持 (Retention)
- 取得 (Retrieve)
- ストレージプールの管理 (Storage Pool Management)
- テープの取り出し (Tape Eject)
- テープフォーマット (Tape Formatting)
- テープ要求 (Tape Request)
- 最後のタスク (Task Last)
- テスト実行 (Test Run)
- 未定義 (Undefined)
- ユーティリティ (Utility)
- Vault
- 検証 (Verify)

- ［ジョブの形式 (Job Type)］列は必須であり、［ジョブの形式 (Job Type)］列に対してデフォルトで選択される値は［バックアップ (Backup)］です。以前は［ジョブの形式 (Job Type)］列はデフォルトでは適用されませんでした。
- ［スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)］という新しいフィルタが追加されました。［スケジュール名 (Schedule Name)］または［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］に基づいてフィルタ処理を実行できるようになりました。
- Y1 軸のデフォルトの単位は［GB］になりました。以前は MB でした。

このレポートの［配布 (Distribution)］ビューと［ランキング (Ranking)］ビューは［有効なバックアップイメージ (Valid Backup Images)］の一部です。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［失敗したジョブ数 (Failed Job Count)］レポート

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］は、バックアップ処理時間帯ごと、1 週間の概要ごとのビューで、NetBackup の操作全般の成功と失敗の割合のレポートを基本および詳細の形式で提供します。

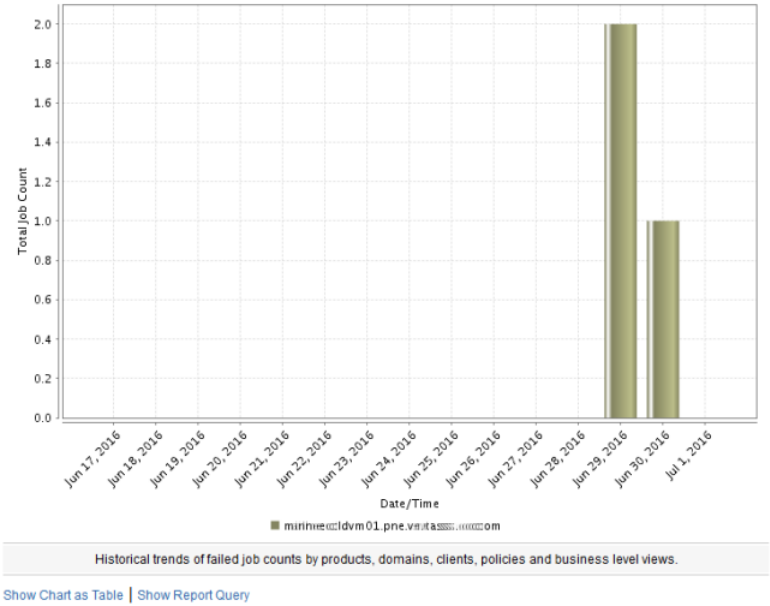
［成功率 (Success Rate)］は、完全ジョブと増分ジョブの両方のスケジュールにおいて再試行と部分的に成功したジョブをフィルタで除外する機能を使用して NetBackup のジョブ成功率の詳細レポートを提供します。

［失敗したジョブ数 (Failed Job Count)］レポートは失敗したジョブを集計し、時系列で表示します。実際は、失敗したジョブが最初であるか、または最後かどうか区別されていないため、このレポートは「すべてのジョブ」と同じです。問題となる傾向があるかどうかを視覚化します。主要なバックアップインフラコンポーネント (バックアップサーバー、メディアサーバー) と属性 (ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、OS、製品、トランスポート形

式) と共に、ビューまたはビュー内のレベルに対してレポートできます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートの主な使用例は、永続的なエラーを修正するためにとった処置が結果を生み、傾向を逆転させるかどうかの検証です。このレポートでは、カスタマイズされた平均期間のグラフを表示できるようになりました。

図 2-36 に、[失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポートのビューの例を示します。

図 2-36 [失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポート



[失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	失敗したジョブ数
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [状態および成功率 (Status & Success Rate)] > [状態 (Status)] > [失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]
レポートの目的	このレポートでは、一定期間に失敗したジョブの密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk

該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［状態 (Status)］ > ［失敗したジョブ数 (Failed Job Count)］

次の表に、［失敗したジョブ数 (Failed Job Count)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
試行	試行の状態	[試行の状態 (Attempt Status)]フィルタに指定できる値は、[試行 (Attempt)]または[ジョブ (Job)]の 2 つです。[ジョブ数 (Job Count)]の計算時に[試行 (Attempt)]が選択されると、すべての試行がレポートで考慮されます。 デフォルトでは、[ジョブ (Job)]が選択されます。[ジョブ (Job)]が選択されると、試行数は考慮されません。

フィルタの使用例: [失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポートですべてのジョブの試行数を表示するには、[試行の状態 (Attempt Status)]で[試行 (Attempt)]を選択します。

[失敗したジョブ数 (Failed Job Count)]レポートでは次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)

  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- ［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタに追加され、スケジュール名でデータをフィルタ処理できるようになりました。
- レポートには、カスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されるようになりました。次のオプションが追加されました。
  ［3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)］。値は 1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。
  平均の計算に使用するデータポイントの数を指定するには、［移動平均で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average)］チェックボックスをオンにしてドロップダウンメニューを使用します。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。例: 3 を指定すると、傾向ラインには、各間隔で現在のデータポイントと過去 2 つのデータポイントの平均が示されます。
- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR でのように不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。

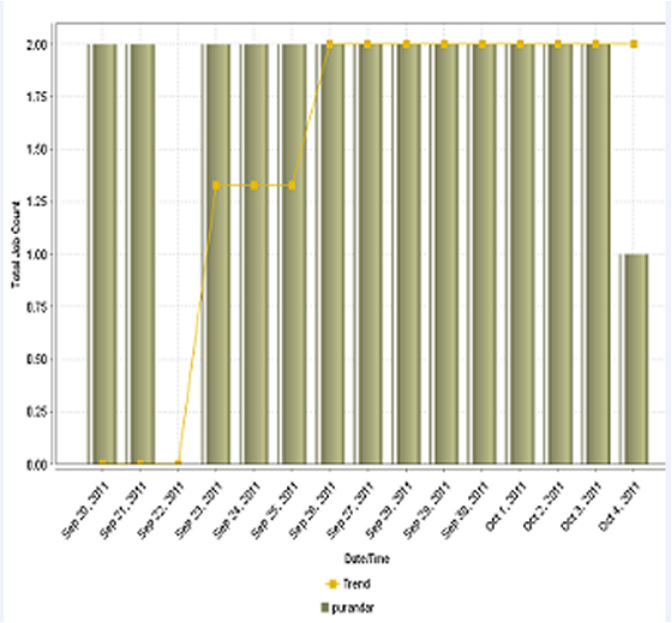
［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)］レポート

このレポートは部分的に成功したジョブを集計し、時系列で表示します。バックアップジョブの間に開いているファイルをスキップするジョブのボリュームの傾向を視覚化します。主要なバックアップインフラコンポーネント (バックアップサーバー、メディアサーバー) と属性 (ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、OS、製品、トランスポート形式) と共に、ビューまたはビュー内のレベルに対してレポートできます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートの主な使用例は、クライアントとポリシーのス

ケジュールを移動することによって開いているファイルの状況を修正するためにとった処置が結果を生み、傾向を逆転させるかどうかの検証です。

図 2-37 に、[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポートのビューの例を示します。

図 2-37 [部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポート



[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	部分的に成功したジョブ数
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [状態および成功率 (Status & Success Rate)] > [状態 (Status)] > [部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]
レポートの目的	このレポートは、部分的に成功したジョブの経時的な密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk

該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［状態 (Status)］ > ［部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)］

次の表に、［部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
試行	試行の状態	[試行の状態 (Attempt Status)]列には 2 つの値 ([試行 (Attempt)]、[ジョブ (Job)]) を指定することができます。[ジョブ数 (Job Count)]の計算時に[試行 (Attempt)]が選択されると、すべての試行がレポートで考慮されます。 デフォルトでは、[ジョブ (Job)]が選択されます。[ジョブ (Job)]が選択されると、試行数は考慮されません。

フィルタの使用例: 特定のポリシーに対して[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポートを実行して、この特定のポリシーの部分的に成功したジョブを表示できます。さらに特定の製品の部分的に成功したジョブ数を確認するには、[ジョブ (Job)]フィルタを使って[製品の種類 (Product Type)]列で[Backup Exec]を選択します。

[部分的に成功したジョブ数 (Partially Successful Job Count)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を

入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

- 次のオプションが［次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)］から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- スケジュール名によってデータをフィルタ処理するために、［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタの下に追加されました。
- レポートには、カスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されるようになりました。次のオプションが追加されました。
  ［3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)］。値は 1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。
  平均の計算に使用するデータポイントの数を指定するには、［移動平均で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average)］チェックボックスをオンにしてドロップダウンメニューを使用します。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。例: 3 を指定すると、傾向ラインには、各間隔で現在のデータポイントと過去 2 つのデータポイントの平均が示されます。
- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として

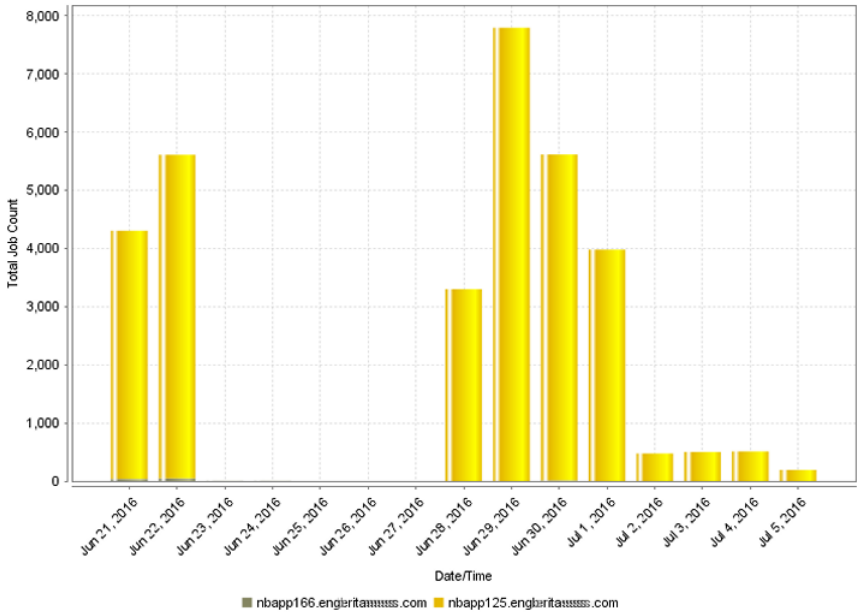
示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR でのように不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポート

このレポートは成功したジョブを集計し、時系列で表示します。ジョブボリュームの傾向を視覚化します。主要なバックアップインフラコンポーネント (バックアップサーバー、メディアサーバー) と属性 (ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、OS、製品、トランスポート形式) と共に、ビューまたはビュー内のレベルに対してレポートできます。デフォルトでは、レポートにバックアップジョブが表示されます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートの主な使用例は基準への例外である日と傾向の検証です。レポートはバックアップ操作を管理することの最も基本的なメトリック値の 1 つである長期履歴データを示すために非常に効果的です。

図 2-38 に、[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポートのビューの例を示します。

図 2-38 [成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポート



[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	成功したジョブ数

レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］ > ［状態 (Status)］ > ［成功したジョブ数 (Successful Job Count)］
レポートの目的	このレポートは、成功したジョブの経時的な密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［状態 (Status)］ > ［成功したジョブ数 (Successful Job Count)］

次の表に、［成功したジョブ数 (Successful Job Count)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタ	列	説明
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
試行	試行の状態	[試行の状態 (Attempt Status)]列には 2 つの値 ([試行 (Attempt)]、[ジョブ (Job)]) を指定することができます。[ジョブ数 (Job Count)]の計算時に[試行 (Attempt)]が選択されると、すべての試行がレポートで考慮されます。 デフォルトでは、[ジョブ (Job)]が選択されます。[ジョブ (Job)]が選択されると、試行数は考慮されません。

フィルタの使用例: 特定のポリシーに対して[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポートを実行して、この特定のポリシーの成功したジョブ数を表示できます。さらに特定の製品の成功したジョブ数を確認するには、[ジョブ (Job)]フィルタを使って[製品の種類 (Product Type)]列で[Backup Exec]を選択します。

[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。

過去 X 年のデータを表示できるようになりました。

- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが［次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)］から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- スケジュール名によってデータをフィルタ処理するために、［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタの下に追加されました。
- レポートには、カスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されるようになりました。次のオプションが追加されました。

  ［3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)］。値は 1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。

  平均の計算に使用するデータポイントの数を指定するには、［移動平均で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average)］チェックボックスをオンにしてドロップダウンメニューを使用します。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。例: 3 を指定すると、傾向ラインには、各間隔で現在のデータポイントと過去 2 つのデータポイントの平均が示されます。

- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR でのように不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［失敗したすべてのバックアップ (All Failed Backups)］レポート

このレポートは最初、すべて、最後のジョブという概念による高度な成功または失敗の計算ロジックを使用した 3 つのうちの 1 つです。それらは時間枠の的確な定義を有効にするスケジュールと時間帯のパラメータを必要とします。さらにこれらのレポートにジョブとクライアントの集計のレベルがあります。最初のジョブの成功または失敗は、定義されたバックアップ処理時間帯のクライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせに対する最初のジョブで、最後のジョブはその反対になります。失敗したジョブが 1 回以上再実行されると、「最後のジョブ」は時間帯内の再実行の最後を表します。このレポートは選択される 3 つ (最初、すべてまたは最後) の方式のどれかに基づいて失敗したジョブの詳細を生成します。このレポートの主要な使用例は、最後のジョブに基づいており、ここではユーザーへの失敗通知は最後のジョブに基づき、最後のジョブに至るまでの失敗は無視されます。

［状態 (Status)］> ［連続失敗 (Consecutive Failures)］

このレポートは最初、すべて、最後のジョブという概念による高度な成功または失敗の計算ロジックを使用した 3 つのうちの 2 番目です。主な使用例は、最後のジョブの成功と失敗に基づく 2 回以上連続する失敗の計算です。それは最後の失敗したジョブを選び、次に最後のジョブの失敗が実際に連続していることを判断するために複雑な論理を適用します。このレポートは［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポートを通して最もよく検証できます。このレポートでは、24 時間の時間帯内に 3 回の連続したエラーが選択された場合、クライアントまたはポリシーの組み合わせでも 72 時間以上正常なバックアップが行われなかったとしてリスクレポートに表示されます。

連続して失敗したジョブは［連続失敗 (Consecutive Failures)］レポートに表示されます。連続して失敗する期間は構成可能です。

図 2-39に、［連続失敗 (Consecutive Failures)］レポートのビューの例を示します。

図 **2-39** 連続失敗レポート (Consecutive Failures Report)

Consecutive Failures Report

Node Name	Client Name	Policy Name	Schedule Name	Job ID	Start Time	End Time	Status Code
nbapp125.engbuveritas.com	nbapp125.engbuvaritas.com	appesx15_ALUA	-	109686	Jul 1, 2016 2:03:15 PM	Jul 1, 2016 2:36:02 PM	6
nbapp125.engjitbaritas.com	nbapp125.emmgbatas.com	appesx15_ALUA	-	109961	Jul 1, 2016 2:37:01 PM	Jul 1, 2016 2:53:54 PM	6
nbapp125.engbavitas.com	nbapp125.engjitbaritas.com	appesx15_ALUA	-	110269	Jul 1, 2016 2:54:54 PM	Jul 1, 2016 3:11:02 PM	6
nbapp125.engbuvaritas.com	nbapp125.engjitbaritas.com	appesx15_ALUA	-	110377	Jul 1, 2016 3:12:01 PM	Jul 1, 2016 3:14:24 PM	6
nbapp125.engbuvaritas.com	nbapp125.engbuvaritas.com	appesx15_ALUA	-	110429	Jul 1, 2016 3:27:10 PM	Jul 1, 2016 3:38:42 PM	6
nbapp125.engbavritas.com	nbapp125.engbuvritas.com	appesx15_ALUA	-	110457	Jul 1, 2016 3:39:40 PM	Jul 1, 2016 3:44:02 PM	6

レポートには次の列が表示されます。

ノード名

[ノード名 (Node Name)]列の値は選択する[レポート対象 (Report On)]パラメータで決まります。[レポート対象 (Report On)]パラメータのデフォルト値は[マスターサーバー (Master Server)]です。したがって、[ノード名 (Node Name)]列の値はデフォルトではマスターサーバー名を示します。

レポートを編集している間に[フィルタ (Filters)]セクションからビューを選択すると、[レポート対象 (Report On)]パラメータのドロップダウンリストもビューレベルを示します。[レポート対象 (Report On)]ドロップダウンリストから選択するレベルに基づいて、[ノード名 (Node Name)]列の値が変更されます。

たとえば、2 つのレベルを含む[場所 (Location)]のようなビューがあるとします。

[場所 (Location)] (ビュー名)

- US

-- Client1

-- Client2

-- Client3

- India

-- Client4

-- Client5

-- Client6

可能な選択は次のとおりです。

- [フィルタ (Filters)]セクションから[場所 (Location)]というこのビューを選択し、[レポート対象 (Report On)]パラメータで[マスターサーバー (Master Server)]を選択します (デフォルトの選択)。[ノード名 (Node Name)]列にマスターサーバーが表示されます。
- [フィルタ (Filters)]セクションから[場所 (Location)]というこのビューを選択し、[レポート対象 (Report On)]パラメータで[レベル 1 (Level 2)]を選択します。[ノード名 (Node Name)]列に[US]と[India]が表示されます。
- [フィルタ (Filters)]セクションから[場所 (Location)]というこのビューを選択し、[レポート対象 (Report On)]パラメータで[レベル 2 (Level 2)]を選択します。[ノード名 (Node Name)]列にクライアント (クライアント 1 から 6) が表示されます。

クライアント名

クライアントの名前

ポリシー名

クライアントとノード名に関連付けられているポリシー

スケジュール名

クライアントに関連付けられているスケジュール

ジョブ ID (Job ID)

ポリシーとスケジュールに関連付けられている連続して失敗したジョブ ID

開始日時 (Start Time)	ジョブが開始した日時
終了日時 (End Time)	ジョブが終了した日時
状態コード	ジョブ ID の状態コード。[ジョブ (Job)] > [状態コード (Status Code)]フィルタを使って特定の状態コードを選択することによって、レポートをフィルタ処理して特定の状態コードのみの詳細を参照することもできます。 状態コードが 0 (正常) のジョブもレポートに表示される場合があることに注意してください。これは通常、複数ストリームジョブの場合に起こります。状態コードが 0 のジョブ ID が表示されるのは、複数ストリームジョブのサブジョブのどれかが失敗した場合に、それが完全なエラーとして考慮されるためです。通常、複数ストリームジョブの[開始日時 (Start Time)]は非常に近いです。

[**連続失敗** (Consecutive Failures)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	連続失敗 (Consecutive Failures)
レポートのカテゴリ	状態および成功率 (Status and Success Rate)
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [状態および成功率 (Status and Success Rate)] > [状態 (Status)] > [**連続失敗** (Consecutive Failures)]レポート
レポートの目的	ジョブが連続して失敗したクライアントを示す表を提供します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、HTML、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Report)] > [バックアップ (Backup)] > [状態 (Status)] > [**連続失敗** (Consecutive Failures)]

[**連続失敗** (Consecutive Failures)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表

に、[**連続失敗** (Consecutive Failures)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
ジョブ	ジョブ形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	状態コード	1 つ以上の状態コードを選択すると、選択した状態コードのデータが表示されます。
成功率	集約レベル	ジョブの成功率についての基準定義のために各種パラメータを選択します。[すべてのジョブ成功率 (All Jobs Success Rate)]、[最初のジョブ成功率 (First job Success Rate)]、[最後のジョブ成功率 (Last Job Success Rate)]を選択します。[集約レベル (Aggregation Level)]を選択すると、指定した期間のジョブの種類が考慮されます。たとえば、[最初のジョブ成功率 (First Job Success Rate)]を選択すると、レポートにはマスターサーバー、クライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせごとに最初のジョブのみが表示されます。
	メトリック形式	[メトリック形式 (Metric Type)]を選択すると、ジョブに基づいて成功率が計算されます。
	完全の日数	[完全の日数 (Full Days)]を選択すると、完全バックアップの日のリストが考慮されます。
	完全の時間帯パラメータ	[完全の時間帯パラメータ (Full Window Parameter)]を選択すると、完全バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。
	部分的に成功したジョブを成功したと見なす (Count Partial Successful job as Successful)	[部分的に成功したジョブを成功したと見なす (Count Partial Successful job as Successful)]を選択すると、部分的に成功したジョブが成功と見なされます。

フィルタ	列	説明
	完全の期間 (時間)	[完全の期間 (時間) (Full for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。
	連続失敗 (Consecutive Failures)	レポートに含める連続したエラーの数を選択します。
	増分の時間帯パラメータ	[増分の時間帯パラメータ (Increment Window Parameter)]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。
	スケジュール/レベルの形式	ジョブのスケジュールを、[フル (Full)]、[増分 (Increment)]、[すべて (All)]から選択します。
	増分の期間 (時間)	[増分の期間 (時間) (Increment for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。
	増分の日数	[増分の日数 (Increment Days)]を選択すると、増分バックアップの日のリストが考慮されます。

フィルタの使用例: 特定のポリシー名に対してレポートを実行して、この特定のポリシーのみの詳細を表示できます。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[1 週間の概要 (Week At A Glance)]レポート

このレポートは曜日の下に記号によって各クライアントの各ジョブの結果を表示することによって 1 週間のアクティビティの概略を示します。記号は、青 (成功) の人と黄色 (部分的成功) の人と赤い「X」によって表示される失敗です。このレポートは記号を使って、データ保護ソリューションに問題がないかどうかを迅速かつ総合的に検証します。ジョブレベルの詳細 (つまりジョブ ID、開始または終了日時、サイズ等) へのドリルダウン機能が提供されます。任意の日の任意のサーバーにドリルダウンし、ジョブレベルの詳細を取得できます。

主要なバックアップインフラコンポーネント (バックアップサーバー、メディアサーバー) と属性 (ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、OS、製品、トランスポート形式) と共に、ビューまたはビュー内のレベルに対してレポートできます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートは、最新のデータでジョブの状態の視覚化を提供し、過去 6 日と比較します。

このレポートは自動レポート生成および電子メール機能に使うことができます。この機能では様々なレポートフィルタを使って特定のシステムを表示でき、そのデータが関係者に

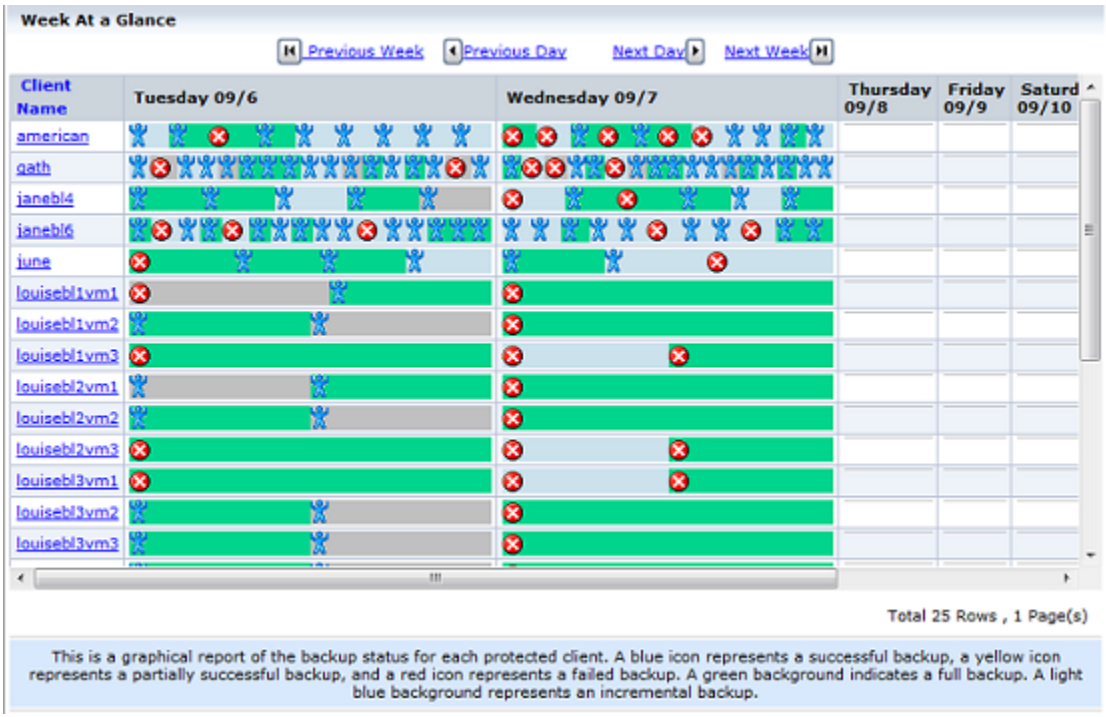
週に 1 回電子メールで送信されます。大規模な環境では、フィルタを使うことをお勧めします。これはレポートがデフォルトですべてのマスターサーバーおよびクライアントを表示するためです。

1 週間の概要レポートのパフォーマンスは、レポートに表示されるデータが増加すると低下します。たとえば、2 カ月のレポートの実行は、2 週間のレポートの実行よりも遅くなります。

メモ: [1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートは、HTML 形式でエクスポートまたは電子メール送信された場合にアイコンを表示します。以前の OpsCenter 7.0.x では、[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートは HTML の形式でエクスポートまたは電子メール送信された場合にアイコンを表示できませんでした。この問題は OpsCenter 7.1 以降のバージョンでは修正済みです。

図 2-40 に、[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートのビューの例を示します。

図 2-40 [1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポート



このレポートは、いくつかのエラーがあることを示すとともに、バックアップのほとんどが正常に完了したことをすばやく示します。このレポートを使うと、バックアップが週の各日に実行されたかどうかおよびそのバックアップの状態を確認できます。このレポートは毎週

電子メール送信またはエクスポートされるようにスケジュールでき、時間を大幅に節約できます。

[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	1 週間の概要
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[バックアップ (Backup)]>[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[1 週間の概要 (Week At a Glance)]
レポートの目的	保護されている各クライアントのバックアップ状態を示すグラフ形式のレポートです。青色のアイコンは成功したバックアップ、黄色のアイコンは部分的に成功したバックアップ、赤色のアイコンは失敗したバックアップを示します。緑色の背景は完全なバックアップを示します。水色の背景は増分バックアップを示します。
サポート対象の製品	Backup Exec、NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	1 週間の詳細 p.165 の「[1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポート」を参照してください。 [1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートはさらに[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]にドリルダウンします。
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	[バックアップ (Backups)]>[状態 (Status)]>[1 週間の概要 (Week At a Glance)]
VBR との相違点	1 つのクライアントが 2 つのマスターサーバーによってバックアップされる場合、OpsCenter では 2 つの行が表示されますが、VBR では 1 つの行が表示されます。

次の表に、[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。[値 (Value)]ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するには、Backup Exec など、製品を 1 つ以上選択します。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートを実行して、この特定のマスターサーバーによって保護されるクライアントのバックアップ状態を表示できます。さらに、たとえばバックアップジョブ (リストアやアーカイブなどのその他のジョブではなく) のみの状態を確認する場合、[ジョブの形式 (Job Type)]フィルタを使って[バックアップ (Backup)]を選択できます。

[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートに対して次の拡張が行われました。

レポートの拡張機能	レポートに次の拡張が行われました。 ■ [1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートは、各クライアントについてバックアップされるファイルおよびディレクトリを表示できるようになりました。次のチェックボックスがレポート編集時の[表示オプションの変更 (Modify Display Options)]ペインに追加されました。 各クライアント用にバックアップされたファイルとディレクトリを表示する (Show the files and directories backed up for each client) このオプションにチェックマークを付けて[レポートの実行 (Run Report)]をクリックすると、[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートの[クライアント名 (Client Name)]列にクライアント名とバックアップ済みのディレクトリを表示できます。 ■ [1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートの[クライアント名 (Client Name)]列からドリルダウンすると、[1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートを表示できます。この機能は以前も利用できました。 さらに、[1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートから追加のレベルのドリルダウンが利用可能になりました。[1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートの[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]列からさらにドリルダウンすると、[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートを表示できます。 ■ [1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートの[クライアント名 (Client Name)]列がデフォルトでソートされるようになりました。 ■ 以前は[週情報 (Week Information)]フィルタの[8 日周期 (Rolling 8 days)]列を選択すると、[1 週間の概要 (Week At a Glance)]レポートにはVBR より 1 日少ない日が表示されていました。この問題はすでに修正されています。

フィルタの拡張機能

フィルタに次の拡張が行われました。

- ［週情報 (Week Information)］フィルタについて、［週 (Week of the year)］列の値リストが更新されました。［17 週間前 (17 Weeks Ago)］から［30 週間前 (30 Weeks Ago)］までの値が追加されました。以前は、値の選択は現在の週から［16 週間前 (16 Weeks Ago)］までに限定されていました。これらの追加の値を選択することによって、レポートのより古いデータを表示できます。
- ［不明 (UNKNOWN)］がポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として追加されました。ポリシー形式が［不明 (UNKNOWN)］であるレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュール形式、ポリシー形式など、すべての静的な列は、VBR にあるように［不明 (UNKNOWN)］と表示されるようになりました。
- ［スケジュール (Schedule)］フィルタがこのレポートのフィルタのリストに追加されました。特定のスケジュール名を持つジョブのレポートデータを表示できるようになりました。

［1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)］レポート

［1 週間の概要 (Week at a Glance)］レポートでは、［クライアント名 (Client Name)］列からドリルダウンして、選択した週にクライアントと関連付けられているジョブの詳細を確認できます。また、ジョブアイコンをクリックして、選択した日の特定のクライアントに対するジョブの詳細を参照することもできます。

図 2-41 では、［1 週間の概要 (Week at a Glance)］レポートで［クライアント名 (Client Name)］列をクリックすることによって入手される［1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)］レポートのサンプル表示を示します。

図 2-41 ［1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)］レポート

Week At A Glance Detail

Job Primary ID	Job Secondary ID	Policy Name	Status Code	Job Start Time	Job End Time	Job Size (MB)
15811	9460	AFS-pol	78	Sep 6, 2011 11:37:18 PM	Sep 7, 2011 12:17:51 AM	0
15813	0	backup-2-disk	1	Sep 7, 2011 12:00:00 AM	Sep 7, 2011 12:00:21 AM	0
15814	12278	Policy-2-backup-data	0	Sep 7, 2011 12:00:00 AM	Sep 7, 2011 12:00:21 AM	0.03
15816	12319	backup-2-disk	0	Sep 7, 2011 12:00:01 AM	Sep 7, 2011 12:00:21 AM	0.03
15820	12783	multi_copy_7	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:11 AM	0.03
15821	12797	multi_copy_3	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:11 AM	0.03
15822	12803	multi_copy_9	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:11 AM	0.03
15823	12829	multi_copy_6	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:21 AM	0.03
15824	12846	multi_copy_8	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:21 AM	0.03
15825	12895	multi_1	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:21 AM	0.03
15826	12912	multi_copy_5	0	Sep 7, 2011 12:01:00 AM	Sep 7, 2011 12:01:21 AM	0.03

Total 1,575 Rows , 32 Page(s) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Backup status for the selected client.

ジョブプライマリ ID をクリックして、そのジョブのスキップされたファイルの詳細を表示できます。［スキップファイルの詳細 (Skip File Details)］という名前の新しいドリルダウンレポートが追加されました。

次に示すのは、［1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)］レポートに関連付けられた詳細です。

レポート名	1 週間の詳細
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］> ［1 週間の概要 (Week at a Glance)］(［クライアント名 (Client Name)］リンクまたは任意のアイコンをクリック)
レポートの目的	選択したクライアントのバックアップの状態。

サポート対象の製品	Backup Exec、NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	スキップファイルの詳細 p.114 の「スキップファイルの詳細 (Skip File Details)」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ > ［状態 (Status)］ > ［1 週間の概要 (Week at a Glance)］ > ［1 週間の詳細 (Week at a Glance Details)］

レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定の製品またはマスターサーバーのジョブを表示することもできます。

次の表では、［1 週間の詳細 (Week at a Glance Details)］レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名 クライアント OS	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。 レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシーデータの分類名	ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) などの 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択して、選択したデータ分類名を持つポリシーのデータを表示します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれているポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、完全、増分など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するには、Backup Exec など、製品を 1 つ以上選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーの[1 週間の詳細 (Week at a Glance Details)]レポートを実行して、特定のポリシーのバックアップの詳細を表示できます。さらに、たとえば完全スケジュール形式だけの状態について知りたい場合は、[スケジュール (Schedule)]フィルタを使用し、[完全 (Full)]を選択できます。

次に示すのは、[1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートに対して行われた拡張です。

- [1 週間の詳細 (Week at a Glance Detail)]レポートの[ジョブのプライマリ ID (Job Primary ID)]列がリンクになり、[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートにドリルダウンできるようになりました。ジョブと関連付けられているスキップされたファイルを表示するには、[スキップファイルの詳細 (Skip File Details)]レポートを使います。
- [マスターサーバー OS (Master Server OS)]列が[マスターサーバー (Master Server)]フィルタから削除されました。
- [メディアサーバー OS (Media Server OS)]列が[メディアサーバー (Media Server)]フィルタから削除されました。

- ［クライアントアーキテクチャ (Client Architecture)］列が［クライアント (Client)］フィルタから削除されました。
- ［ポリシードメイン (Policy Domain)］列が［ポリシー (Policy)］フィルタから削除されました。
- ［ジョブの形式 (Job Type)］、［ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)］、［製品の種類 (Product Type)］の各列が、［ジョブ (Job)］フィルタに追加されました。ジョブの形式、ジョブのトランスポート形式または製品の種類に基づいて、このレポートをフィルタ処理できるようになりました。
- ［エージェントサーバー (Agent Server)］列と［ジョブの状態 (Job State)］列が［ジョブ (Job)］フィルタから削除されました。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［バックアップ処理時間帯の失敗 (Backup Window Failures)］レポート

このレポートには、実行がスケジュールされていたが、スケジュールされたバックアップ処理時間帯が終了してしまったために失敗したジョブが表示されます (NetBackup 状態コード 196)。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［部分的に成功したジョブの詳細 (Partially Successful Job Details)］レポート

このレポートは、NetBackup で部分的に成功したすべてのジョブの詳細を示します。部分的に成功したジョブの状態コードは 1 です。レポートの表はジョブ ID、サーバー名とクライアント名によって編成されます。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［スキップされたファイルの概略 (Skipped Files Summary)］レポート

このレポートの情報は、リンクされた一連のレポートを使用して表示されます。マスターサーバーによって構成されたメインレポートには、クライアントおよびポリシーと、対応するスキップされたファイル数が表示されます。

［クライアントのスキップされたファイルの詳細 (Skipped Files Details for Client)］レポート	［クライアント名 (Client Name)］列から作成されるこのドリルダウンレポートは、スキップされたファイルによって発生するクライアントのリスクを示します。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

[ポリシーのスキップされたファイルの詳細 (Skipped Files Details for Policy)]レポート	[ポリシー名 (Policy Name)]列から作成されるこのドリルダウンレポートは、スキップされたファイルによって発生するクライアントのリスクを示します。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。
[ポリシーおよびクライアントのスキップされたファイルの詳細 (Skipped Files Details for Policy and Client)]レポート	[スキップされたファイルの数 (No of Skipped Files)]列から作成されるこのドリルダウンレポートは、スキップされたすべてのファイルの名前を示します。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)]レポート

このレポートは、NetBackup ジョブの終了状態に関する情報を提供します。レポートの表には、特定の日付に特定の状態コードが記録されたジョブの数が示されます。表は、サーバー名と日付で構成されます。このレポートは、以前は[ジョブ終了状態の詳細 (Job Exit Status Detail)]レポートという名前でした。

ドリルダウンレポートは、メインレポートの表の[発生数 (Number of Occurrences)]列から使用できます。このドリルダウンレポートには、ジョブの種類やポリシー名などのジョブの詳細が表示されます。表には、特定の日付に特定の状態コードが記録されたすべてのジョブが表示されます。

メモ: このレポートは、カタログリカバリやジョブ ID の手動リセットなどによって NetBackup でジョブ ID がリセットされると、不正確な出力を提供することがあります。ジョブ ID がリセットされた場合は、OpsCenter コンソールから NetBackup マスターサーバーを削除し、再び追加する必要があります。

図 2-42 に、[ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)]レポートの表示例を示します。

図 2-42 ［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポート

Job Attempt Status Detail

Server Name	Job End Time	Status Code	Number of Occurrences
ccs-sol-qe-17	Oct 4, 2011	0	3
Display Name	Sep 26, 2011	0	40
Display Name	Sep 26, 2011	2094	32
Display Name	Sep 26, 2011	6	4
Display Name	Sep 26, 2011	1	2
Display Name	Sep 26, 2011	71	5
Display Name	Sep 26, 2011	58	9
Display Name	Sep 27, 2011	58	9
Display Name	Sep 27, 2011	6	4
Display Name	Sep 27, 2011	1	2
Display Name	Sep 27, 2011	71	5
Display Name	Sep 27, 2011	2094	58
Display Name	Sep 27, 2011	0	98
Display Name	Sep 28, 2011	6	4
Display Name	Sep 28, 2011	2094	58
Display Name	Sep 28, 2011	0	99
Display Name	Sep 28, 2011	1	2
Display Name	Sep 28, 2011	71	5
Display Name	Sep 28, 2011	58	9
Display Name	Sep 29, 2011	71	5
Display Name	Sep 29, 2011	0	98
Display Name	Sep 29, 2011	2094	62
Display Name	Sep 29, 2011	58	9

Total 348 Rows , 4 Page(s) 1 2 3 4

Provides a count of jobs with a particular attempt status per date. This report is valid for NetBackup and NetBackup Appliance.

［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	ジョブの試行状態の詳細
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］ & ［状態 (Status)］ > ［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］
レポートの目的	このレポートは、成功したジョブの経時的な密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい p.173 の「試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)」を参照してください。

スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
Mapping with NOMレポート	［標準レポート (Standard Reports)］>［ジョブ (Job)］>［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］

次の表は、［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。

［フィルタの使用例 (Example of filter usage)］: バックアップなどの特定の種類のジョブについて［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポートを実行すると、バックアップジョブの状態コードの詳細を表示できます。

［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポートには次の強化が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- このレポートは、以前は［ジョブの終了状態の詳細 (Job Exit Status Detail)］という名前でしたが、ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］レポートに名前が変更されました。

試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)

[試行状態ごとのジョブの詳細 ([ジョブ (Job)] details by attempt status)]という名前のドリルダウンレポートは、[ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)]レポートで[発生数 (Number of Occurrences)]列をクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートには、ジョブの種類やポリシー名などのジョブの詳細が表示されます。表には、特定の日付に特定の状態コードになったすべてのジョブが表示されます。

この表形式レポートは、試行番号ごとにジョブ形式やジョブ終了時間などのジョブ情報を表示します。

図 2-43 では、[試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)]レポートの表示例を示します。

図 2-43 [試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)]レポート

Job details by attempt status

Job ID	Server Name	Job Type	Job End Time	Client Name	Policy Name	Schedule Name	Attempt Number	Priority	Storage Unit
2060535	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:13 PM	Display Name	pol_auto_copy_1	UNKNOWN	1	0	stu_auto_13
2060536	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:03 PM	ccs-win-qe-7.vxindia.veritas.com	test	circ	1	0	stu_auto_10
2060537	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:03 PM	ccs-win-qe-7.vxindia.veritas.com	test	circ	1	0	stu_auto_14
2060538	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:03 PM	ccs-win-qe-7.vxindia.veritas.com	test	circ	1	0	stu_auto_17
2060539	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:03 PM	ccs-win-qe-7.vxindia.veritas.com	test	circ	1	0	stu_auto_18
2060542	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:23 PM	Display Name	pol_auto_copy_9	UNKNOWN	1	0	stu_auto_19
2060543	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:23 PM	pmwin7.vxindia.veritas.com	pol_auto_copy_9	UNKNOWN	1	0	stu_auto_2
2060544	Display Name	Backup	Sep 26, 2011 8:13:33	pmwin7.vxindia.veritas.com	pol_auto_copy_1	UNKNOWN	1	0	stu_auto_20

以下は[試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	試行状態ごとのジョブの詳細
レポートのカテゴリ	バックアップ

場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［バックアップ (Backup)］>［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］（［発生数 (Number of Occurrences)］列からドリルダウン）>［試行状態ごとのジョブの詳細（［ジョブ (Job)］details by attempt status)］
レポートの目的	このレポートでは、ジョブ試行ごとにジョブ情報が表示されます。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
Mapping with NOMレポート	［標準レポート (Standard Report)］>［ジョブ (Job)］>［ジョブの試行状態の詳細 (Job Attempt Status Detail)］（［発生数 (Number of Occurrences)］列からドリルダウン）>［状態ごとのジョブの詳細 (Job Details By Status)］

次の表では、［試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)］レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
ジョブ	ジョブの形式 状態コード	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。 1 つ以上の状態コードを選択すると、選択した状態コードのデータが表示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: バックアップなどの特定のジョブ形式に対して[試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)]レポートを実行し、バックアップジョブのジョブ試行の詳細を表示できます。

[試行状態ごとのジョブの詳細 (Job details by attempt status)]レポートに対しては、次のレポート拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブの詳細 (Job Details)]レポート

このレポートは、NetBackup ジョブについての詳細情報を提供します。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ステータスごとのジョブの概略 (Job Summary by Status)]レポート

[状態 (Status)]レポートは、成功、部分的に成功、スキップしたファイル、失敗したバックアップの試行を含む基本的な NetBackup ジョブ状態の情報を提供します。

[ステータスごとのジョブの概略 (Job Summary by Status)]レポートは、指定した時間間隔におけるジョブの終了状態に基づく、NetBackup ジョブの概要情報を示します。このレポートを使用すると、傾向についての情報を取得できます。

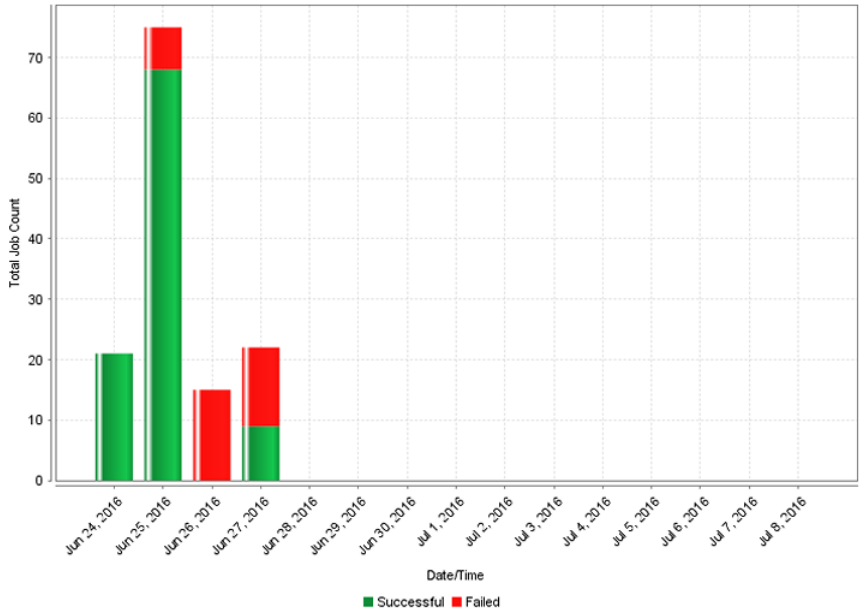
棒グラフは、成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、および失敗したジョブの 1 日あたりの数を示します。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[状態 (Status)]>[ジョブ状態 (Job Status)]>[履歴 (Historical)]レポート

時間枠をわたる時間、日、週、月または年でグループ化される積み上げ棒グラフ形式で、赤 (失敗)、黄色 (部分的な成功)、緑 (成功) で表示されるジョブ状態のレポート。このレポートは、3 つの結果それぞれに関するジョブ数です。表示が単純であるため、望ましい傾向と望ましくない傾向、さらに 1 回限りの逸脱などが簡単に識別できます。NetBackup の環境では、レポートはジョブではなく試行がカウントされた場合に生成することもできます。NetBackup では、ジョブは x 回試行された場合に状態コードで終了するように構成できます。レポートは、ビュー、バックアップサーバーとメディアサーバー、バックアップレベル、ポリシー、スケジュール、トランスポート形式、オペレーティングシステム、業務の分類などの選択内容でフィルタ処理できます。

図 2-44 に、[ジョブ状態 (Job Status)] ([履歴 (Historical)]) レポートのビューの例を示します。

図 2-44　[ジョブ状態 (Job Status)] ([履歴 (Historical)]) レポート



Historical red/yellow/green type status count report across products, domains, clients, policies and business level views.

[ジョブ状態 (Job Status)] ([履歴 (Historical)]) レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	ジョブ状態
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[バックアップ (Backup)]>[状態および成功率 (Status > Success Rate)]>[ジョブ状態 (Job Status)]
レポートの目的	このレポートは、ジョブの経時的な密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント、ポリシー
レポートの表示	履歴

ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backup)］>［状態および成功率 (Status and Success Rate)］>［状態 (Status)］>［ジョブ状態 (Job Status)］

次の表に、［ジョブ状態 (Job Status)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する1つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーに対して［ジョブ状態 (Job Status)］レポートを実行して、この特定のポリシーのジョブ数を表示できます。さらに特定の製品のジョブ数を確認するには、［ジョブ (Job)］フィルタを使って［製品の種類 (Product Type)］列で［Backup Exec］を選択します。

［成功したジョブ数 (Successful Job Count)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが［次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)］から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)

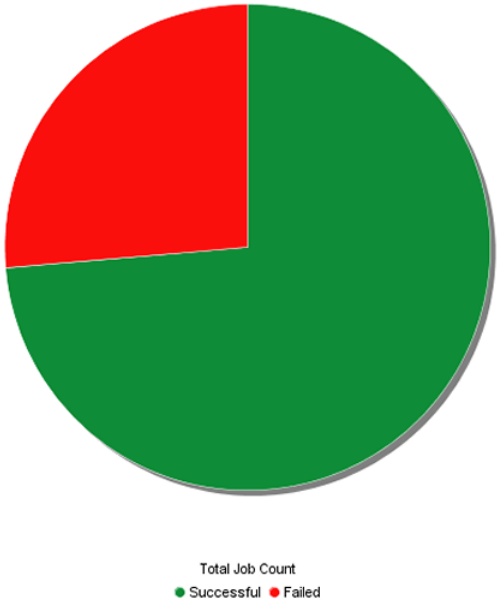
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- スケジュール名によってデータをフィルタ処理するために、［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタの下に追加されました。
- レポートには、カスタマイズされた平均期間の傾向線が表示されるようになりました。次のオプションが追加されました。
  ［3 の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of 3)］。値は 1、2、3、7、14、30 のいずれかを選択できます。デフォルト値は 3 です。
  平均の計算に使用するデータポイントの数を指定するには、［移動平均で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average)］チェックボックスをオンにしてドロップダウンメニューを使用します。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。例: 3 を指定すると、傾向線は、現在のデータポイントと、以前の 2 つのデータポイントの平均を各間隔で示します。
- ポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として［不明 (UNKNOWN)］が追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR でのように不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［状態 (Status)］>［ジョブ状態 (Job Status)］>［分布 (Distribution)］レポート

赤 (失敗)、黄色 (部分的な成功) および緑 (成功) で円グラフ形式で表示されるジョブ状態のレポート。このレポートは、3 つの結果それぞれに関するジョブ数です。レポートの主要な使用例は通常バックアップジョブの状態の短期検証 (つまり過去 24 - 48 時間) と高レベルの状態の概略が必要である長期 (つまり 1 カ月以上) 管理レベルのレポートです。レポートは、ビュー、バックアップサーバーとメディアサーバー、バックアップレベル、ポリシー、スケジュール、トランスポート形式、オペレーティングシステム、業務の分類などの選択内容でフィルタ処理できます。

図 2-45 に、［ジョブ状態 (Job Status)］（［分布 (Distribution)］）レポートのビューの例を示します。

図 2-45 ［ジョブ状態 (Job Status)］（［分布 (Distribution)］）レポート



Historical red/yellow/green type status count report across products, domains, clients, policies and business level views.

［ジョブ状態 (Job Status)］（［分布 (Distribution)］）レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	ジョブ状態
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［バックアップ (Backup)］>［状態および成功率 (Status > Success Rate)］>［ジョブ状態 (Job Status)］
レポートの目的	このレポートは、ジョブの経時的な密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント、ポリシー
レポートの表示	分布
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい

サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backup)］>［状態および成功率 (Status and Success Rate)］>［状態 (Status)］>［ジョブ状態 (Job Status)］

次の表に、［ジョブ状態 (Job Status)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。

フィルタ	列	説明
ジョブ	ジョブ状態	選択されたジョブ状態のデータを表示するために、失敗、成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。デフォルトでは、[バックアップ (Backup)]のみが選択されます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーに対して[ジョブ状態 (Job Status)]レポートを実行して、この特定のポリシーのジョブ数を表示できます。さらに特定の製品のジョブステータス別のジョブ数を確認するには、[ジョブ (Job)]フィルタを使って[製品の種類 (Product Type)]列で[Backup Exec]を選択します。

[成功したジョブ数 (Successful Job Count)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

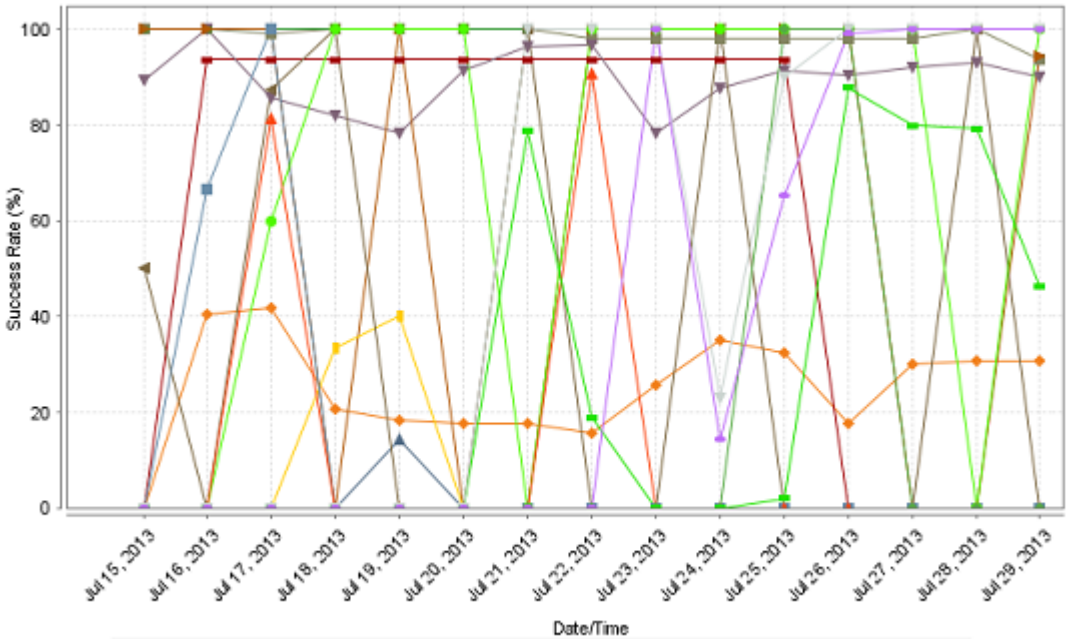
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- スケジュール名によってデータをフィルタ処理するために、［スケジュール名 (Schedule Name)］列が［スケジュール (Schedule)］フィルタの下に追加されました。
- ポリシーフィルタの［ポリシー形式 (Policy Type)］列の値として［不明 (UNKNOWN)］が追加されました。不明なポリシー形式のレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されました。ジョブの形式、スケジュールの形式、ポリシーの形式など、すべての静的な列が、VBR でのように不明 (UNKNOWN) として表示されるようになりました。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［成功率 (Success Rate)］>［成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)］レポート

この最後の単一行の成功率のレポートはクライアントストリームごとの少なくとも 1 つの成功を示しているので最大の数字が表示されます。1 つのジョブがいくつもの再試行にもかかわらず成功である限りそれは 100% の成功です。このレポートは通常、バックアップチーム以外の誰かへの全体的な開示を示します。このレポートでの 100% は、いくつかの再試行が行われていてもすべてがバックアップされたことを示します。

図 2-46 に、［成功率-すべてのジョブ (Success Rate-All Jobs)］レポートのビューの例を示します。

図 **2-46** ［成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)］レポート



Success rate by job level across products, domains, clients, policies and business level views.

［成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)］レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	成功率 - すべてのジョブ
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［バックアップ (Backup)］> ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］> ［成功率 (Success Rate)］> ［成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)］
レポートの目的	このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる、ジョブレベルによる成功率を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)

ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］>［成功率 (Success Rate)］>［成功率 - クライアントあたり少なくとも 1 つの成功 (Success Rate - At Least 1 Success Per Client)］

次の表に、［成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

フィルタ	列	説明
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	[ジョブの形式 (Job Type)]の値は必ず選択する必要があります。デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
成功率	部分的に成功したジョブを成功したと見なす	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。 部分的に成功したジョブを成功したと見なさない場合は、[いいえ (No)]を選択します。 [はい (Yes)]または[いいえ (No)]を選択すると、レポートに示される[成功率 (Success Rate)]の割合に影響することがあります。成功した 5 つのジョブ、部分的に成功した 3 つのジョブ、失敗した 2 つのジョブを持つポリシーがあるとします。[はい (Yes)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 80% になります。ただし、[いいえ (No)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 50% になります。

フィルタの使用例: Backup Exec などの特定の製品に対して[成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)]レポートを実行して、Backup Exec ジョブの成功率を確認できます。

[成功率 - すべてのジョブ (Success Rate - All Jobs)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)

  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- ［スケジュール (Schedule)］および［成功率 (Success Rate)］という名前の 2 つの新しいフィルタが追加されました。
- ［ターゲットパフォーマンス (Target Performance)］という名前の新しいチェックボックスが［時系列グラフのプロパティ (Timeline Chart Properties)］の［表示オプションの変更 (Modify Display Options)］ページに追加されました。［ターゲットパフォーマンス (Target Performance)］オプションを使ってターゲットラインを描くレポートの位置を指定して、表示される実際のパフォーマンスと比較することができます。［ターゲットパフォーマンス (Target Performance)］オプションを使うと、Y1 軸線のターゲットを指定できます。たとえば、Y1 軸線に値 100 を設定してレポートを実行した場合、Y1 軸線上の値を 100 として X 軸線に平行する直線が表示されます。このオプションを使うと、実際のパフォーマンスをターゲットパフォーマンスと簡単に比較できます。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［成功率 (Success Rate)］>［詳細な成功率 (Advanced Success Rate)］レポート

このレポートは最初、すべて、最後のジョブという概念による高度な成功または失敗の計算ロジックを使用します。これは成功と失敗の両方についてすべての情報を収集し、クライアントまたはジョブの成功率の時間枠 (日か月) によってグループ化される結果を示します。クライアントの成功率は成功したクライアント数で、成功しているクライアントを宣言するためにはクライアントに定義されるすべてのポリシーが正常の必要があります。クライアントは従って 0% または 100% で中間状態はありません。ジョブの成功率はすべてのジョブから導出され、最初、すべて、最後で分類され、特定のクライアントは 0% から 100%

の間のジョブの成功率を有します。バックアップのアーキテクトと管理者は 3 つをすべて検査しますが、エンドユーザーとユーザーは通常、ジョブとクライアントの最後のジョブの成功率を取得します。これらのレポートはビューをうまく使用し、堅ろうなフィルタリング機能の任意のレベルで報告できます。

このレポートは、成功率に従ってジョブを単に集計し、時系列で表示します。主要なバックアップインフラコンポーネント (マスターサーバーなど) と属性 (ポリシー、ジョブなど) と共に、ビューまたはビューレベルでレポートできます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートの主な使用例は基準への例外である日と傾向の検証です。このレポートはバックアップ操作の管理に関する最も基本的なメトリック値の 1 つについて長期的な表形式データを示すために非常に効果的です。

図 2-47 に、[詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]レポートのビューの例を示します。

図 2-47 [詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]レポート

Advanced Success Rate

Period	Node Name	Successful Jobs	Failed Jobs	Total Job Count	Success Rate (%)	Size(MB)
2011-09-27	purandar	412	80	492	83.74	737.94
2011-09-28	purandar	413	78	491	84.11	20,462.7
2011-09-29	purandar	444	74	518	85.71	2,770.32
2011-09-30	purandar	4213	153	4366	96.5	6,541.72
2011-10-01	purandar	4213	72	4285	98.32	676.57
2011-10-02	purandar	4211	74	4285	98.27	856.5
2011-10-03	purandar	4211	71	4282	98.34	856.5
GRAND SUMMARY		18117	602	18719	96.78	32,902.27

[詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	詳細な成功率
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [状態および成功率 (Status & Success Rate)] & [成功率 (Success Rate)] > [詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]

レポートの目的	このレポートは、マスターサーバー、成功したバックアップの数と失敗したバックアップの数、成功率、合計処理数を日単位で示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］>［状態 (Status)］>［バックアップアクティビティの日単位の概略 (Daily Summary of Backup Activity)］

次の表に、［詳細な成功率 (Advanced Success Rate)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式 状態コード	アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。 1 つ以上の状態コードを選択すると、選択した状態コードのデータが表示されます。

フィルタ	列	説明
成功率	集約レベル 完全の日数 完全の時間帯パラメータ メトリック形式 完全の期間 (時間) 増分の日数 増分の時間帯パラメータ 増分の期間 (時間) 部分的に成功したジョブを成功したと見なす	[集約レベル (Aggregation Level)]を選択すると、指定した期間のジョブの種類が考慮されます。たとえば、[最初のジョブ成功率 (First Job Success Rate)]を選択すると、レポートにはマスター、クライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせの最初のジョブのみが表示されます。 [完全の日数 (Full Days)]を選択すると、完全バックアップの日のリストが考慮されます。 [完全の時間帯パラメータ (Full Window Parameter)]を選択すると、完全バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。 [メトリック形式 (Metric Type)]を選択すると、クライアントまたはジョブに基づいて成功率が計算されます。 [完全の期間 (時間) (Full for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。 [増分の日数 (Increment Days)]を選択すると、増分バックアップの日のリストが考慮されます。 [増分の時間帯パラメータ (Increment Window Parameter)]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。 [増分の期間 (時間) (Increment for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。 [部分的に成功したジョブを成功したと見なす (Consider Partially Successful Job as Successful)]を選択すると、成功率を計算するときに、部分的に成功したジョブが成功と見なされます。

フィルタの使用例: 1 週間の時間枠で 1 台のマスターサーバーに対して[詳細な成功率 (Advanced Success Rate)]レポートを実行します。

デフォルトの相対時間枠は、過去 15 日間に変更されました。以前のレポートでは、デフォルトで過去 14 日間のデータが表示されていました。

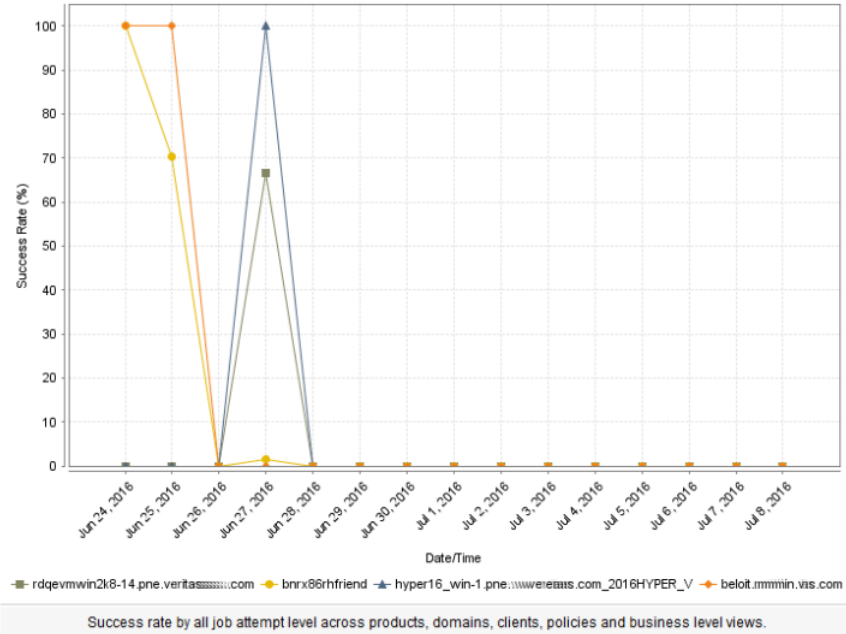
[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポート

このレポートは試行 (「試み」) のレベルで集計した成功率を示します。ジョブは、状態コードで終了するまで x 回試行されるように構成できます。たとえば試行の設定が 2 であり、成功が 2 回目の試行で達成されれば、これは 50% の試行率と 100% のジョブ成功率に変換します。このメトリックは、試行レベルのデータを使用できるバックアップアプリケー

ションでのみサポートされています。ターゲットが超過した場合に簡単に確認できるように、ターゲットラインもサポートされています。主要なバックアップインフラコンポーネント (バックアップサーバー、メディアサーバー) と属性 (ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、OS、製品、トランスポート形式) と共に、ビューまたはビュー内のレベルに対してレポートできます。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。主な使用例は主要なパフォーマンス指標の 1 つの長期履歴データです。

図 2-48 に、[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポートのビューの例を示します。

図 2-48 [成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポート



[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	成功率 - すべての試行
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [バックアップ (Backup)] > [状態および成功率 (Status & Success Rate)] > [成功率 (Success Rate)] > [成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]

レポートの目的	このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる、すべてのジョブ試行レベルによる成功率を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［成功率 (Success Rate)］ > ［成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)］

次の表に、［成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	[ジョブの形式 (Job Type)]の値は必ず選択する必要があります。デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
成功率	部分的に成功したジョブを成功したと見なす	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。 部分的に成功したジョブを成功したと見なさない場合は、[いいえ (No)]を選択します。 [はい (Yes)]または[いいえ (No)]を選択すると、レポートに示される[成功率 (Success Rate)]の割合に影響することがあります。すべてのジョブ試行で成功した 5 つのジョブ、部分的に成功した 3 つのジョブ、および失敗した 2 つのジョブを持つポリシーがあるとします。[はい (Yes)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 80% になります。ただし、[いいえ (No)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 50% になります。

フィルタの使用例: すべての試行の成功率を表示するいくつかのマスターサーバーに対してこのレポートを実行できます。

[成功率 - すべての試行 (Success Rate - All Attempts)]レポートに対して次の拡張が行われました。

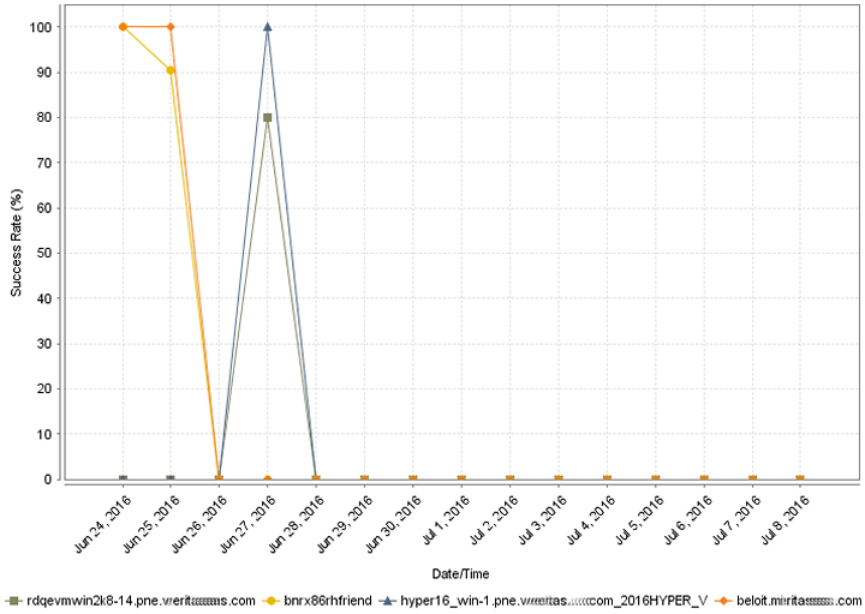
- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)] 単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)] オプションは [相対時間枠 (Relative Timeframe)] のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)] のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが [次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)] から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の [レポート対象 (Report On)] のオプションが、[バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)] に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- [スケジュール (Schedule)] および [成功率 (Success Rate)] という名前の 2 つの新しいフィルタが追加されました。
- [ターゲットパフォーマンス (Target Performance)] という名前の新しいチェックボックスが [時系列グラフのプロパティ (Timeline Chart Properties)] の [表示オプションの変更 (Modify Display Options)] ページに追加されました。[ターゲットパフォーマンス (Target Performance)] オプションを使ってターゲットラインを描くレポートの位置を指定して、表示される実際のパフォーマンスと比較することができます。[ターゲットパフォーマンス (Target Performance)] オプションを使うと、Y1 軸線のターゲットを指定できます。たとえば、Y1 軸線に値 100 を設定してレポートを実行した場合、Y1 軸線上の値を 100 として X 軸線に平行する直線が表示されます。このオプションを使うと、実際のパフォーマンスをターゲットパフォーマンスと簡単に比較できます。

[状態および成功率 (Status & Success Rate)]>[成功率 (Success Rate)]>[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポート

このレポートは試行 (別名「試み」) レベルで集計した成功率を示します。具体的には、各ジョブの最初の試行の測定に注目します。ジョブは、状態コードで終了するまで x 回試行されるように構成できます。たとえば試行の設定が 2 であり、成功が 2 回目の試行で達成されれば、このデータはすべての試行率 50%、最初の試行率 0%、ジョブ成功率 100% に変換されます。このメトリックは、試行レベルのデータを使用できるバックアップアプリケーションでのみサポートされています。ターゲットが超過した場合に簡単に確認できるように、ターゲットラインもサポートされています。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。この主な使用例は、このレポートと[すべての試行 (All Attempts)]レポートを一緒に活用して、2 番目、3 番目などの試行に対して、最初の試行でどの程度が成功したかを確認することです。

図 2-49 に、[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポートのビューの例を示します。

図 2-49 [成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポート



[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	成功率 - 最初の試行
レポートのカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］ > ［成功率 (Success Rate)］ > ［成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)］
レポートの目的	このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる、最初のジョブ試行レベルによる成功率を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［成功率 (Success Rate)］ > ［成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)］

次の表に、［成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。［値 (Value)］ドロップダウンリストに、OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されているすべてのメディアサーバーが表示されます。

フィルタ	列	説明
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	[ジョブの形式 (Job Type)]の値は必ず選択する必要があります。デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
成功率	部分的に成功したジョブを成功したと見なす	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。 部分的に成功したジョブを成功したと見なさない場合は、[いいえ (No)]を選択します。 [はい (Yes)]または[いいえ (No)]を選択すると、レポートに示される[成功率 (Success Rate)]の割合に影響することがあります。最初のジョブ試行で成功した 5 つのジョブ、部分的に成功した 3 つのジョブ、失敗した 2 つのジョブを持つポリシーがあるとします。[はい (Yes)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 80% になります。ただし、[いいえ (No)]として値を選択した場合、[成功率 (Success Rate)]は 50% になります。

フィルタの使用例: 最初の試行の成功率を表示するいくつかのマスターサーバーに対してこのレポートを実行できます。

[成功率 - 最初の試行 (Success Rate - First Attempt)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の[レポート対象 (Report On)]のオプションが、[バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)]に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- [スケジュール (Schedule)]および[成功率 (Success Rate)]という名前の 2 つの新しいフィルタが追加されました。
- [ターゲットパフォーマンス (Target Performance)]という名前の新しいチェックボックスが[時系列グラフのプロパティ (Timeline Chart Properties)]の[表示オプションの変更 (Modify Display Options)]ページに追加されました。[ターゲットパフォーマンス (Target Performance)]オプションを使ってターゲットラインを描くレポートの位置を指定して、表示される実際のパフォーマンスと比較することができます。[ターゲット

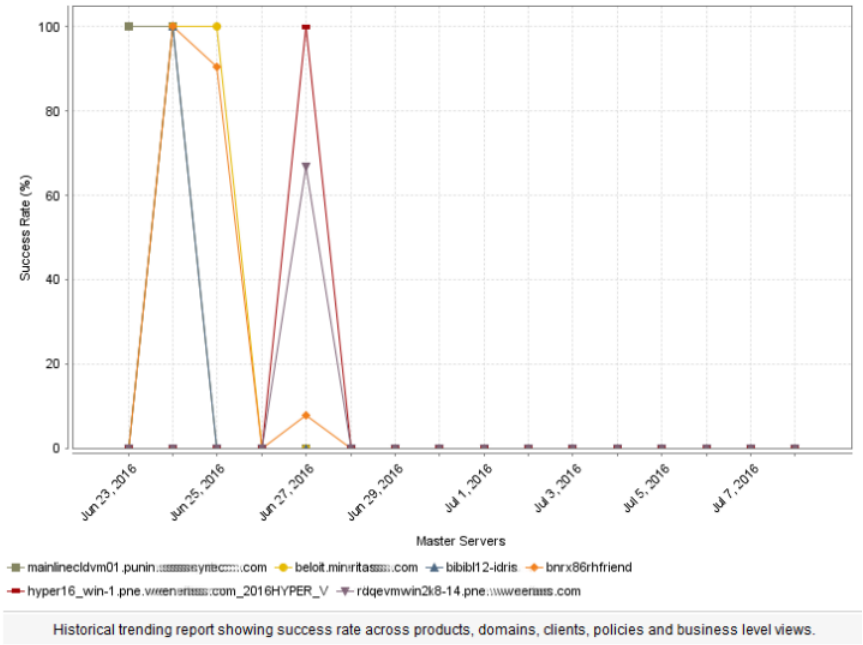
パフォーマンス (Target Performance)］オプションを使うと、Y1 軸線のターゲットを指定できます。たとえば、Y1 軸線に値 100 を設定してレポートを実行した場合、Y1 軸線上の値を 100 として X 軸線に平行する直線が表示されます。このオプションを使うと、実際のパフォーマンスをターゲットパフォーマンスと簡単に比較できます。

［状態および成功率 (Status & Success Rate)］>［成功率 (Success Rate)］>［成功率ライン (Success Rate Line)］レポート

このレポートは製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる成功率を示す履歴レポートです。このレポートは、成功率に従ってジョブを単に集計し、時系列で表示します。フィルタ処理は、すべてのコンポーネントおよび属性で使用できます。レポートの主な使用例は基準への例外である日と傾向の検証です。レポートはバックアップ操作を管理することの最も基本的なメトリック値の 1 つである長期履歴データを示すために非常に効果的です。

図 2-50 に、［成功率ライン (Success Rate Line)］レポートの表示例を示します。

図 2-50 ［成功率ライン (Success Rate Line)］レポート



［成功率ライン (Success Rate Line)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	［成功率ライン (Success Rate Line)］レポート
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［バックアップ (Backup)］ > ［状態および成功率 (Status & Success Rate)］ & ［状態 (Status)］ > ［成功率ライン (Success Rate Line)］
レポートの目的	このレポートは一定時間にわたるジョブ成功率の密度を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［成功率 (Success Rate)］ > ［成功率ライン (Success Rate Line)］

次の表は、［成功率ライン (Success Rate Line)］レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式 状態コード	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。 1 つ以上の状態コードを選択すると、選択した状態コードのデータが表示されます。

フィルタ	列	説明
成功率	集約レベル 完全の日数 完全の時間帯パラメータ メトリック形式 完全の期間 (時間) 増分の日数 増分の時間帯パラメータ 増分の期間 (時間) 部分的に成功したジョブを成功したと見なす	[集約レベル (Aggregation Level)]を選択すると、指定した期間のジョブの種類が考慮されます。たとえば、[最初のジョブ成功率 (First Job Success Rate)]を選択すると、レポートにはマスターサーバー、クライアント、ポリシー、スケジュールの組み合わせごとに最初のジョブのみが表示されます。 [完全の日数 (Full Days)]を選択すると、完全バックアップの日のリストが考慮されます。 [完全の時間帯パラメータ (Full Window Parameter)]を選択すると、完全バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。 [メトリック形式 (Metric Type)]を選択すると、クライアントまたはジョブに基づいて成功率が計算されます。 [完全の期間 (時間) (Full for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。 [増分の日数 (Increment Days)]を選択すると、増分バックアップの日のリストが考慮されます。 [増分の時間帯パラメータ (Increment Window Parameter)]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の開始時刻を指定できます。 [増分の期間 (時間) (Increment for Duration of (In Hours))]を選択すると、増分バックアップ処理時間帯の終了時刻が計算されます。バックアップ処理時間帯の終了時刻は、バックアップ処理時間帯の開始時刻からの期間と同じです。 [部分的に成功したジョブを成功したと見なす (Consider Partially Successful Job as Successful)]を選択すると、成功率を計算するときに、部分的に成功したジョブが成功と見なされます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: リストアなどの特定のジョブの種類について[成功率ライン (Success Rate Line)]レポートを実行すると、リストア操作の成功率を確認できます。

[成功率ライン (Success Rate Line)]レポートには次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

OpsCenter のカタログレポートについて

この項では、NetBackup および NetBackup アプライアンスの両方に対するすべての NetBackup カタログバックアップ処理のためのカタログレポートについて説明します。

コールドカタログバックアップレポート

このレポートは、NetBackup のコールドカタログバックアップの数と、NetBackup でオフラインバックアップ用に使用されるメディアに関する情報を示します。

棒グラフのツールのヒントは、レポート名とバックアップ数を示します。レポート内の表には、NetBackup で各マスターサーバーのバックアップに使用されるメディアも表示されます。

OpsCenter のチャージバックレポートについて

この項では、バックアップサービスと消費されるストレージ (重複排除の有無にかかわらず) の提供にかかる特定のコストを見積もり、これらのコストのチャージバック請求を行うための、チャージバックレポートについて説明します。

［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポート	p.202 の「［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポート」を参照してください。
［コストの表形式 (Cost Tabular)］レポート	p.207 の「［コストの表形式 (Cost Tabular)］レポート」を参照してください。
［チャージバック (Chargeback)］レポート	p.207 の「［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート」を参照してください。

［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポート

このレポートは、重複排除技術のために実現される削減を示します。

このレポートを生成するには、まず［保護されたジョブのサイズ (Protected Job Size)］のコスト変数が必要です。

重複排除技術では、同一のデータを含み、それが一度のみバックアップする、ファイルの単一インスタンスとして扱うデータセグメントとファイルを識別できます。たとえば、PureDisk はそのうちの 20 MB のデータが重複しているか同一である 100 MB のデータをバックアップしています。PureDisk は同じデータを保護しますが、重複排除を使って重複を削除します。したがって、保護されるデータは 100 MB ですが、20 MB のデータは重複データなので、PureDisk によってバックアップされる実際のデータは 80 MB です。これ

により20 MBのデータが削減されます。重複排除を使って削減した量を示す[重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)]レポートを生成できます。

[重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)]レポートは分布、履歴およびランキングのビューで利用可能です。

図 2-51 に、[重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)]レポートの分布ビューの例を示します。

図 2-51 [重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)] - 分布ビュー

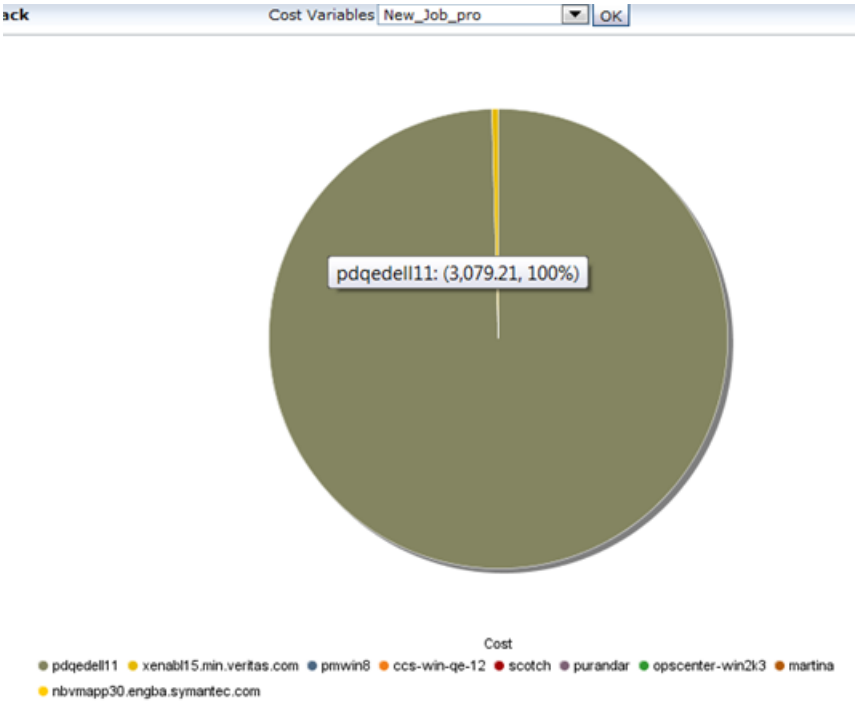


図 2-52 に、[重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)]レポートの履歴ビューの例を示します。

図 **2-52** ［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］- 履歴ビュー

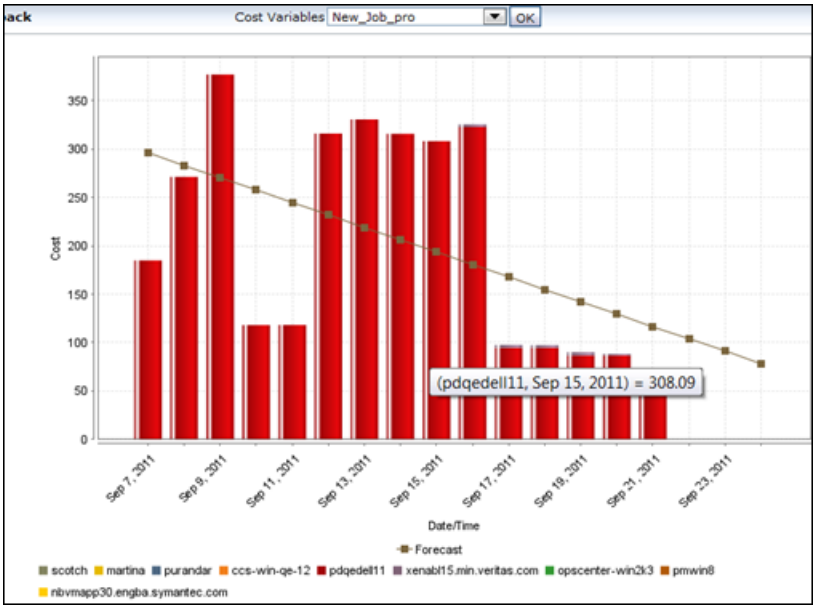
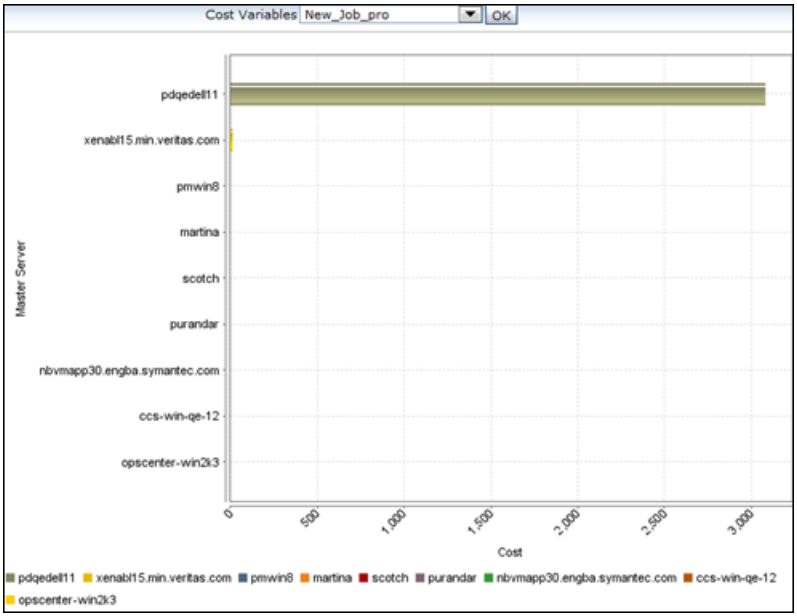


図 2-53 に、［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポートのランキングビューの例を示します。

図 2-53 ［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］- ランキングビュー



［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポート
レポートのカテゴリ	［チャージバック (Chargeback)］レポート
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［チャージバック (Chargeback)］>［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポート
レポートの目的	このレポートは、重複排除技術のために実現される削減を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	分布、履歴、ランキング
ドリルダウンレポート	いいえ

スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［コスト (Costs)］>［削減レポート (Saving Reports)］

次の表に、［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのコスト削減を表示できます。

［重複排除チャージバック (Deduplication Chargeback)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。
- 次のオプションが［次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)］から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)

  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 次の［レポート対象 (Report On)］のオプションが、［バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)］に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))
- Master Server Operating systemフィルタが削除されました。
- 次の［レポート対象 (Report On)］オプションが削除されました。
  - バックアップイメージコピーが現在期限切れ
  - バックアップイメージコピーのメディアサーバー
  - バックアップイメージの暗号化状態
  - バックアップイメージフラグメントが現在期限切れ
  - バックアップイメージが現在期限切れ
  - バックアップイメージの形式
  - データ分類のマスターサーバー
  - データの分類名

［コストの表形式 (Cost Tabular)］レポート

このレポートは表形式でバックアップサービスのチャージバックを示します。

OpsCenter はチャージバックと呼ばれる IT サービスの消費コストを評価するツールを組織に提供します。コスト変数とバックアップサービスのコストを示すレポートを実行できる式を作成できます。

［コスト (Cost)］レポートを生成するには、コスト式を作成する必要があります。

［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート

このレポートはバックアップサービスのチャージバックを履歴およびランキングビューに表示します。このレポートを生成するにはコスト式を作成する必要があります。

図 2-54 に、［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポートの履歴ビューの例を示します。

図 2-54 ［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート - 履歴ビュー

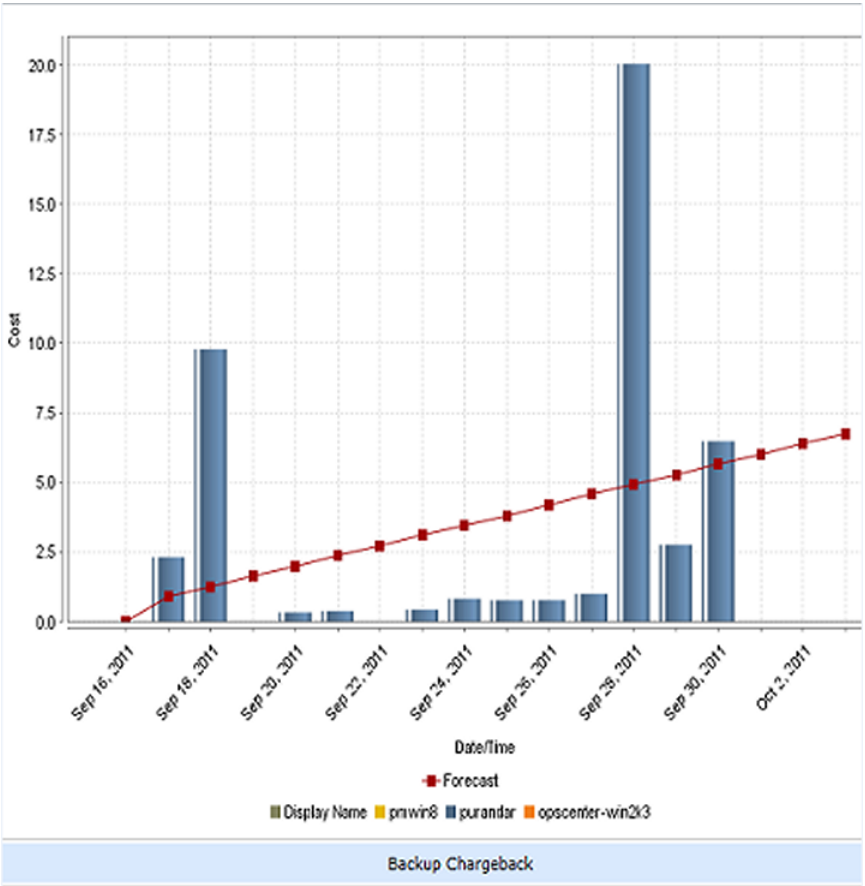
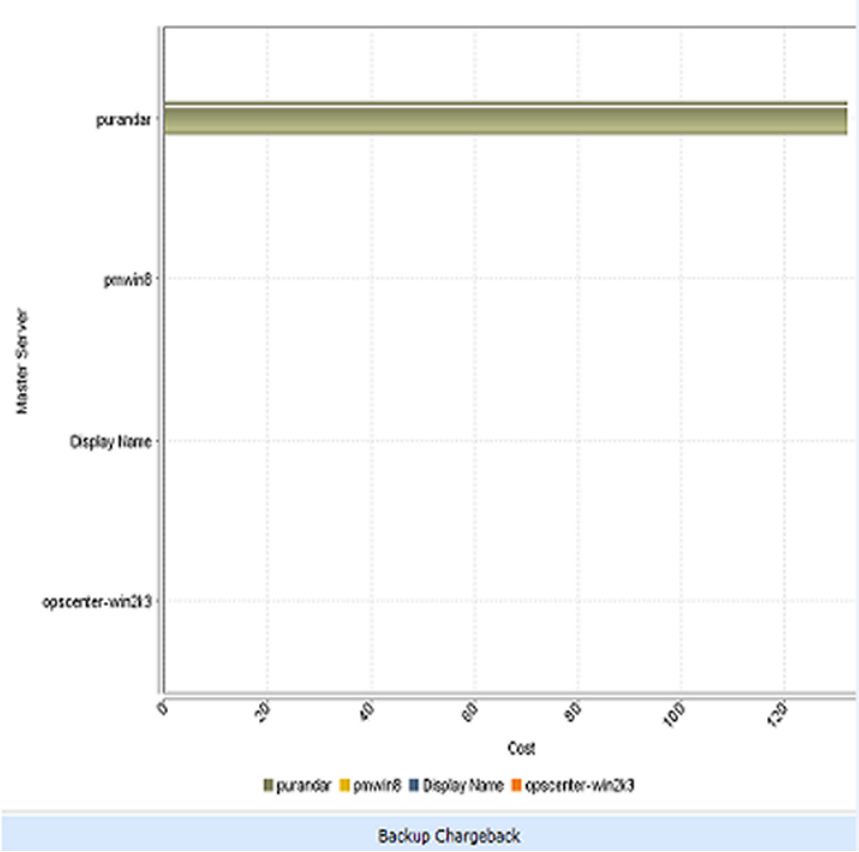


図 2-55 に、［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポートのランキングビューの例を示します。

図 2-55 ［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート - ランキングビュー



［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート
レポートのカテゴリ	［チャージバック (Chargeback)］レポート
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［チャージバック (Chargeback)］>［バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)］レポート
レポートの目的	このレポートはバックアップサービスのチャージバックを示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk

該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	[コスト (Costs)]>[コストレポート (Cost Reports)]

次の表に、[バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)]レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのコスト削減を表示できます。

[バックアップのチャージバック (Backup Chargeback)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)

  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期 (Quarter)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)
- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)] 単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- 次の [レポート対象 (Report On)] のオプションが、[バックアップジョブの属性 (Backup Job Attributes)] に追加されました。
  - ジョブの状態 (完了と部分的な完了のみ) (Job Status (Complete and Partial only))
  - ジョブの状態 (完了のみ) (Job Status (Complete only))

  次の [レポート対象 (Report On)] オプションが削除されました。
  - バックアップイメージコピーが現在期限切れ
  - バックアップイメージコピーのメディアサーバー
  - バックアップイメージの暗号化状態
  - バックアップイメージフラグメントが現在期限切れ
  - バックアップイメージが現在期限切れ
  - バックアップイメージの形式
  - データ分類のマスターサーバー
  - データの分類名
- Master Server Operating systemフィルタが削除されました。

OpsCenter のクライアントレポートについて

この項では、「危険な状態にある」、「保護されていない」、「保護された」クライアントと Bare Metal Recovery (BMR) 状態を含むすべての NetBackup クライアント (物理および仮想) の状態レポートを提供し、説明します。

[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]	p.212 の「[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)] レポート」を参照してください。

[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントの適用 (Client Coverage)]	p.216 の「[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポート」を参照してください。
[リスク分析 (Risk Analysis)]>[Recovery Point Objective (RPO)]	p.225 の「[リスク分析 (Risk Analysis)]>[Recovery Point Objective (RPO)]レポート」を参照してください。
バックアップされていないクライアントレポートについて	p.229 の「[バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)]レポート」を参照してください。
仮想クライアント概略	p.231 の「仮想クライアント概略レポート」を参照してください。
クライアントごとのジョブの成功率レポートについて	p.236 の「[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]レポート」を参照してください。
クライアントの概略のダッシュボードレポートについて	p.242 の「[クライアントの概略のダッシュボード (Client summary dashboard)]レポート」を参照してください。
BMR クライアント構成バックアップの失敗レポートについて	p.244 の「[BMR クライアント構成バックアップの失敗 (BMR Client Configuration Backup Failures)]レポート」を参照してください。
アプリケーションごとのジョブレポートについて	p.244 の「[アプリケーションごとのジョブ (Jobs by Application)]レポート」を参照してください。
[SAN クライアントジョブ (SAN Client Jobs)]レポート	p.245 の「[SAN クライアントジョブ (SAN Client Jobs)]レポート」を参照してください。

[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]レポート

[リスク分析 (Risk Analysis)]は、NetBackup Clients が保護されていない危険な状態にあるか、Recovery Point Objective (RPO)に基づいて保護されているかのレポートを提供します。

[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]レポートは、所定の期間内に正常なバックアップを実施しなかったのでリストアまたはリカバリ可能性の観点からリスクを伴うバックアップクライアントを特定します。「指定の期間」は、フィルタリングのために他の複数の変数と共にユーザーが定義します。レポートは正常なバックアップなしで x 時間、日、週または月を経過したすべてのクライアントまたはポリシーの組み合わせとして解釈されます。

詳細度のレベルはクライアントかポリシーレベルにあり、それらの 1 つが繰り返し失敗することがある複数のバックアップポリシーがあるクライアントを表示します。主な使用例はすべてのクライアントが最後の x 時間現在にバックアップ済みであり、すべてのクライアントで完全バックアップが x 日以内に行われていることを示すことです。レポートには現在アクティブなもののみを含め、部分的な成功を成功として、また部分的な失敗を失敗として数える機能を持つ「Is Active」フィルタがあります。

図 2-56 に、[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]レポートのビューの例を示します。

図 2-56 [クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]レポート

Client Risk Analysis

Client Name	Server Name	Policy Name	Last Successful Job Ended	Last Full Job Ended	Last Incremental Job Ended	Status	Online At
10.209.18.233	Display Name	-	No Successful Backups	No Full Jobs Run	Sep 30, 2011 8:28:03 PM	Online	-
a1	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 30, 2011 7:07:13 PM	No Incremental Jobs Run	Online	-
a2	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 30, 2011 7:07:13 PM	No Incremental Jobs Run	Online	-
a3	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 30, 2011 8:07:13 PM	No Incremental Jobs Run	Online	-
b1	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 29, 2011 2:49:37 PM	Sep 30, 2011 2:59:38 AM	Online	-
b2	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 29, 2011 2:49:37 PM	Sep 30, 2011 2:59:38 AM	Online	-
b3	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 29, 2011 2:49:37 PM	Sep 30, 2011 2:59:38 AM	Online	-
b4	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 30, 2011 2:41:53 PM	No Incremental Jobs Run	Online	-
b5	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 29, 2011 2:49:43 PM	Sep 30, 2011 2:59:43 AM	Online	-
cl1	Display Name	-	No Successful Backups	Sep 30, 2011 4:41:23 AM	No Incremental Jobs Run	Online	-

Total 21 Rows , 1 Page(s)

User-configurable exception report showing all client/policy combinations whose last successful backup occurred x many hours/days back.

次の表に、レポートに表示される各列の詳細を示します。

クライアント名	バックアップが正常に完了せず、危険な状態にあるクライアントの名前。
サーバー名	このクライアントに関連付けられているサーバーの名前。
ポリシー名	関連付けられているポリシーの名前。
最後の正常に完了したジョブ	このクライアントのバックアップが正常に作成された日時。
最後に終了した完全なジョブ	最後の完全バックアップジョブが終了した日時。
最後に終了した増分ジョブ	最後の増分バックアップジョブが終了した日時。
スケジュール名	このクライアントの最後の正常なバックアップのスケジュールの名前。クライアントのバックアップが正常に作成されなかった場合、この列は常に空白になります。
状態	クライアントの状態 (オンラインまたはオフライン)。
オンライン時刻	クライアントがオフラインの場合、この列にはクライアントが再度オンラインになる時刻が表示されます。クライアントがすでにオンラインの場合、この列は空白になります。

［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポート
レポートのカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［クライアントレポート (Client Reports)］>［クライアントのリスク分析レポート (Client Risk Analysis Report)］
レポートの目的	このレポートは、構成されたすべてのクライアントを確認し、指定の期間内にクライアントの正常な完全バックアップが行われたかどうかを判断します。行われていない場合、そのクライアントはリスクとして指摘され、正常な完全バックアップを行う操作を実行できます。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい

サポート対象のエクスポート形式	CSV、HTML、PDF、XML、TSV
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［リスク分析 (Risk Analysis)］ > ［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］

次の表に、［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。 OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアントがアクティブです	デフォルトで［はい (Yes)］が選択されています。デフォルトでは、アクティブなクライアントがレポートに表示されます。つまり、アクティブにバックアップされていないクライアントはデフォルトで省略されます。すべてのクライアントのレポートを表示するには、［いいえ (No)］を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、完全、増分など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	ジョブ状態 (［成功 (Successful)］または［部分的に成功 (Partially Successful)］または両方) を選択すると、選択したジョブ状態のデータがレポートに表示されます。

フィルタの使用例: ［クライアントがアクティブです (Client is Active)］で［いいえ (No)］を選択して［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポートを実行すると、すべてのクライアント (アクティブと非アクティブの両方) が含まれます。

［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］レポートでは次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、［年間 (Years)］単位が追加されました。 過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- ［次へ (Next)］オプションは［相対時間枠 (Relative Timeframe)］のドロップダウンメニューから削除されました。［次の 2 週間 (Next two weeks)］のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。
- 以前は［ホストが有効です (Host is Active)］列に［ホスト (Host)］フィルタがありました。［ホスト (Host)］フィルタは削除されました。［ホストが有効です (Host is Active)］

列の名前が[クライアントがアクティブです (Client is Active)]列に変更され、[クライアント (Client)]フィルタの下に配置されるようになりました。[クライアントがアクティブです (Client is Active)]列のデフォルト値は[はい (Yes)]です。

- [ジョブ (Job)]フィルタの下の[ジョブ状態 (Job Status)]列のデフォルト値は[成功 (Successful)]に変更されました。

[リスク分析 (Risk Analysis)]>[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポート

これは、.CSV ファイルをインポートして既存のバックアップソリューションと比較し、適切に保護されていないシステムがあるかどうかを判断するレポートです。このレポートの目的はバックアップアプリケーションが気づいていないどんなホストがバックアップ済みではないか示すことです。このレポートでは、どの OpsCenter ホストがバックアップ対象と識別されているかを .csv による外部リストとの比較によって示します。リストはコンテンツ管理データベース (CMDB)、DNS リスト、またはどのホストをバックアップすべきかその他の権威ある情報源に由来します。レポートはすべてのバックアップアプリケーションで機能し、どんなバックアップアプリケーションとポリシーがバックアップを実行したかと最新の完全バックアップまたは増分バックアップが実行された時間を示します。

[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポートは、環境内のすべてのクライアントがバックアップされているかどうかを示します。OpsCenter で報告できるのは、バックアップ用に定義されて構成済みのクライアントに関してのみです。このレポートは、環境内に存在しながら OpsCenter に認識されていないクライアントを識別するのに役立ちます。このようなクライアントは、バックアップソフトウェアがインストールされていないか、クライアントがバックアップ用に構成されていないために、バックアップされていないことがあります。

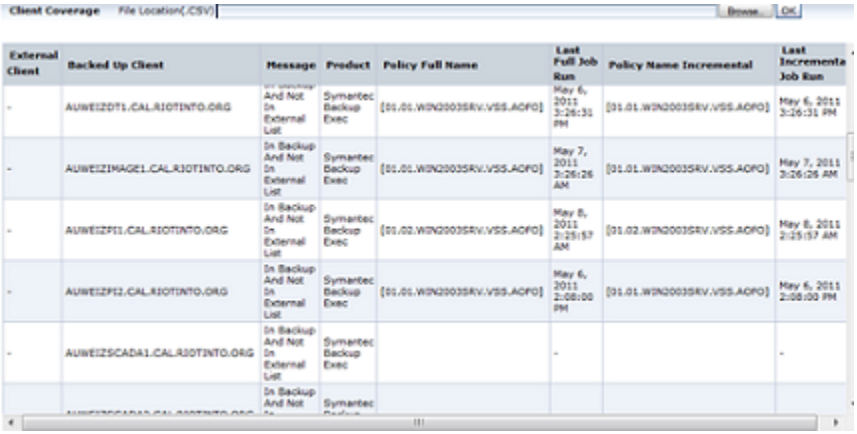
このレポートを実行するには、エンタープライズ全体のすべてのサーバーの信頼できる完全なインベントリを含む、CSV ファイル (カンマ区切り値) を指定する必要があります。CSV ファイルの生成に使用できる、エンタープライズ全体のサーバーインベントリの独立したソースには、次のものがあります。

- 構成管理データベース (CMDB)
- 資産管理システム
- ドメインネームシステム (DNS)
- 社内データベース
- 表計算ワークシート

OpsCenter は、CSV ファイルからデータをインポートし、クライアントのリスト (CSV で利用可能) と OpsCenter で認識されているクライアントを比較します。このレポートでは、CSV 内に存在し、OpsCenter には存在しないクライアントを簡単に識別できます。

図 2-57 に、[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポートのビューの例を示します。

図 2-57 ［クライアントの適用 (Client Coverage)］レポート



External Client	Backed Up Client	Message	Product	Policy Full Name	Last Full Job Run	Policy Name Incremental	Last Incremental Job Run
-	AUWEIZDT1.CAL.RIOTINTO.ORG	In Backup And Not In External List	Symantec Backup Exec	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 6, 2011 3:26:31 PM	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 6, 2011 3:26:31 PM
-	AUWEIZIMAGE1.CAL.RIOTINTO.ORG	In Backup And Not In External List	Symantec Backup Exec	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 7, 2011 3:26:26 AM	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 7, 2011 3:26:26 AM
-	AUWEIZFI1.CAL.RIOTINTO.ORG	In Backup And Not In External List	Symantec Backup Exec	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 8, 2011 2:25:57 AM	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 8, 2011 2:25:57 AM
-	AUWEIZFI2.CAL.RIOTINTO.ORG	In Backup And Not In External List	Symantec Backup Exec	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 6, 2011 2:08:00 PM	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	May 6, 2011 2:08:00 PM
-	AUWEIZSCADA1.CAL.RIOTINTO.ORG	In Backup And Not In External List	Symantec Backup Exec		-		-
		In Backup And Not	Symantec				

メモ: CSV ファイルは、［クライアントの適用 (Client Coverage)］レポートを実行しているマシン上に存在する必要があります。比較の実行方法の詳細については、p.224 の「CSV でリストに載っているクライアントと OpsCenter の比較について」を参照してください。を参照してください。

次の表に、レポートに表示される各列の詳細を示します。

外部クライアント

CSV ファイルに表示されるクライアントの名前。

メモ: 1 つのクライアントが複数の名前で認識され、そのすべての名前が CSV ファイルに記載されていることがあります。［外部クライアント (External Client)］列に表示される名前は、CSV ファイルに記載されている最初の名前です。たとえば、CSV ファイルで 1 つのクライアントに対して myhost、myhost.vtas.com、myhost.veritas.com といった複数の名前がリストされている場合、［外部クライアント (External Client)］列には myhost と表示されます。

バックアップされたクライアント

OpsCenter でバックアップされているクライアントの名前。

メッセージ	比較結果。次のいずれかのメッセージが表示されます。 ■ 一致 - 直接 ■ 一致 - 完全修飾ドメイン名または省略名 ■ 外部リストに含まれ、バックアップに含まれない [クライアントの適用 (Client Coverage)]レポートは、環境内に存在しているにもかかわらず OpsCenter に認識されていないクライアントを識別するのに役立ちます。これらのクライアントがバックアップされているかどうかを確認する必要があります。 p.224 の「CSV でリストに載っているクライアントと OpsCenter の比較について」を参照してください。
製品	クライアントのバックアップに使うバックアップ製品のリスト (NetBackup や Backup Exec など)。
ポリシーの完全名	最後に完全バックアップが正常に実行されたときに、クライアントに関連付けられていたバックアップポリシー。
最後に実行した完全なジョブ	特定のクライアントについて、最後に完全バックアップが正常に実行された日時です。
ポリシー名の増分	最後に増分バックアップが正常に実行されたときに、クライアントに関連付けられていたバックアップポリシー。
最後に実行した増分ジョブ	特定のクライアントについて、最後に増分バックアップが正常に実行された日時です。

[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポートに関連付けられている詳細は、次のとおりです。

レポート名	クライアントの適用
レポートカテゴリ	クライアント
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [クライアントレポート (Client Reports)] > [リスク分析 (Risk Analysis)] > [クライアントの適用 (Client Coverage)]
レポートの目的	このレポートは、バックアップ対象のクライアントのリストを、独自に提供されたクライアントのリスト (CMDB、サードパーティおよび社内の資産管理システムなど) と比較した結果を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	クライアント
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	いいえ
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、HTML、XML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［リスク分析 (Risk Analysis)］ > ［クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)］ > ［クライアントの適用 (Client Coverage)］

次の表に、［クライアントの適用範囲 (Client Coverage)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

ビューの選択 (View Selection)	［ビュー名の選択 (Select View Name)］ドロップダウンメニューからビューを選択します。これを行うと、特定の場所や部門などのレポートを表示できます。特定のビューを選択する場合、そのビュー内のクライアントのみを含む CSV ファイルを作成する必要があります。たとえば、カナダの人事部に関する［クライアントの適用 (Client Coverage)］レポートを表示する場合、CSV ファイルには、カナダの人事部固有のクライアントリストを含める必要があります。
追加のパラメータ (Additional Parameters)	

クライアントの選択条件 (Client Selection Criteria)

すべて

- ［すべて (All)］: これはデフォルトで選択されています。すべてのクライアントの比較結果が表示されます。
- ［外部リストではバックアップは作成されませんでした (In external list but was never backed up)］: 環境内に存在するにもかかわらず OpsCenter に認識されていないクライアントを表示するには、このオプションを選択します。これらのクライアントがバックアップされているかどうかを確認する必要があります。
- ［外部リスト以外でバックアップを作成しています (Getting backed up but not in external list)］: OpsCenter に認識されているにもかかわらず CSV ファイルに含まれないクライアントを表示するには、このオプションを選択します。この原因としては、マシンがネットワークに接続されていないことや、マシンが DNS に登録されていないことなどが考えられます。
- ［一致 (直接) (Is matching (Direct))］: CSV 内のホスト名が OpsCenter 内のホスト名と完全に同じであるクライアントを表示するには、このオプションを選択します。たとえば、CSV に myhost.vtas.com があり、OpsCenter に myhost.veritas.com がある場合です。
- ［一致 (完全修飾ドメイン名または省略名) (Was matching (FQDN vs Short Name))］: ホスト名が CSV 内には FQDN、OpsCenter には短縮名で登録されているクライアントや、CSV 内には短縮名、OpsCenter には FQDN で登録されているクライアントを表示するには、このオプションを選択します。たとえば、CSV ファイルには myhost.veritas.com が含まれ、OpsCenter には myhost が含まれる場合、比較結果は［一致 - 完全修飾ドメイン名または省略名 (Match - FQDN vs. Short Name)］となります。同様に、CSV ファイルに myhost が含まれ、OpsCenter には myhost.veritas.com が含まれる場合、このクライアントはレポートに表示されます。
- ［外部リスト以外でバックアップを作成していました (Was getting backed up but not in external list)］: 以前にバックアップされたに

もかかわらず CSV ファイルに存在しないクライアントを表示したい場合、このオプションを選択します。

- ［一致 (直接) (Was matching (Direct))］: CSV 内のホスト名が OpsCenter 内のホスト名と完全に同じであったクライアントを表示するには、このオプションを選択します。たとえば、CSV に myhost.vtas.com があり、OpsCenter に myhost.veritas.com がある場合です。
- ［一致 (完全修飾ドメイン名または省略名) (Was matching (FQDN vs Short Name))］: ホスト名が CSV 内には FQDN、OpsCenter には短縮名で登録されていたクライアントや、CSV 内には短縮名、OpsCenter には FQDN で登録されてたるクライアントを表示するには、このオプションを選択します。

ワイルドカード (Wild Card)	バックアップ済みのクライアント名の一部を指定して、バックアップ済みクライアントのうち、特定のクライアントのデータのみを表示できます。たとえば、Oracle を実行するサーバーにはホスト名のどこかに「ora」という文字列が含まれることがわかっていて、Oracle を実行するすべてのバックアップ済みサーバーの詳細を表示するには、次のように入力します。 ■ %ora% - ホスト名のどこかに「ora」を含むすべてのバックアップ済みクライアントを含めるか、または除外します。 ■ ora - ora という名前のすべてのバックアップ済みクライアントを含めるか、または除外します。 ■ ora% - 名前が ora で始まるすべてのバックアップ済みクライアントを含めるか、または除外します。 ■ %ora - 名前が ora で終わるすべてのバックアップ済みクライアントを含めるか、または除外します。 ■ また、次のように複数の検索文字列を指定できます。 　■ %ora%, %syb% - バックアップ済みクライアント名のどこかに Ora または Syb を含むすべての OpsCenter ホストを含めるか、または除外します。 **メモ:** この検索はバックアップ済みクライアントのみを対象としていて、外部クライアントには適用されません。 **メモ:** 検索では大文字と小文字が区別されません。たとえば、Ora を検索すると、ora、Ora、oRa なども結果に含まれることがあります。
表示オプション (Display Options)	レポートの説明を入力します。 1 ページの表示行数を選択します。

フィルタの使用例: VMWare を実行するサーバーにはホスト名のどこかに「vm」という文字列が含まれることがわかっていて、VMWare を実行するすべてのバックアップ済みサーバーの詳細を表示するには、[ワイルドカード (Wild Card)] テキストボックスに「%vm%」と入力します。

CSV 形式について

［クライアントの適用 (Client Coverage)］レポートへの入力として必要な CSV ファイルは、テキストエディタか Microsoft Excel アプリケーションを使って作成できます。

典型的な CSV ファイルの形式は次のとおりです。

Host1_name1,Host1_name2,Host1_name3,Host1_name4

Host2

Host3

メモ: Host1_name1、Host1_name2、Host1_name3、Host1_name4 は同じマシンの複数の名前です。マシンに複数のネットワークインターフェースカードがあるなど、さまざまな理由により、同じマシンに複数の名前が存在する場合があります。

メモ: 各ホストマシンは異なる行にあります。たとえば、Host1、Host2、Host3 はすべて 3 つの異なる行にあります。

CSV 形式のサンプルを次に示します。

css-bin3,css-bin3.veritas.com

macy.veritas.com,macy,macy.vtas.com

css-bin10.veritas.com

メモ: CSV ファイルではカンマの後にスペースはありません。

CSV でリストに載っているクライアントと OpsCenter の比較について

OpsCenter は、CSV ファイルからデータをインポートし、クライアントのリスト (CSV で利用可能) と OpsCenter で認識されているクライアントを比較します。

［クライアントの適用 (Client Coverage)］レポートでは、比較の後で次の結果の一部またはすべてが表示されます。

クライアントは[外部クライアント (External Client)]と[バックアップされたクライアント (Backed Up Client)]リストにあります。

つまり、クライアントは CSV ファイルと OpsCenter データベースの両方に存在します。

メモ: 1 つのシステムに対して複数の名前が CSV と OpsCenter に存在する場合、一致するものが見つかるまで、CSV 内のすべての名前が OpsCenter の各名前と比較されます。

この場合の比較の結果は次のいずれかになります。

- [一致 - 直接 (Match - Direct)]: これは、CSV 内のホスト名が OpsCenter 内のホスト名とまったく同じ場合です。たとえば、CSV に myhost.veritas.com があり、OpsCenter に myhost.vtas.com がある場合です。
- [一致 - 完全修飾ドメイン名または省略名 (Match - FQDN vs. Short Name)]: これは、CSV に FQDN があり OpsCenter に短縮名がある場合、または CSV に短縮名があり OpsCenter に FQDN がある場合です。たとえば、CSV ファイルに myhost.veritas.com が含まれ、OpsCenter に `myhost` が含まれる場合、比較結果は[一致 - 完全修飾ドメイン名または省略名 (Match - FQDN vs Short Name)]になります。同様に、CSV ファイルに `myhost` が含まれ、OpsCenter に myhost.veritas.com が含まれる場合、比較結果は[一致 - 完全修飾ドメイン名または省略名 (Match - FQDN vs Short Name)]になります。

外部リストに含まれ、バックアップに含まれない (In External List And Not In Backup)

[クライアントの適用 (Client Coverage)]レポートは、環境内に存在しているにもかかわらず OpsCenter に認識されていないクライアントを識別するのに役立ちます。これらのクライアントがバックアップされているかどうかを確認する必要があります。

バックアップに含まれ、外部リストに含まれない (In Backup And Not In External List)

これは、ホスト名が OpsCenter に認識されていて、CSV ファイルには存在しない場合です。ネットワークで使用できないコンピュータや、DNS に登録されていないコンピュータなど、理由はさまざまです。

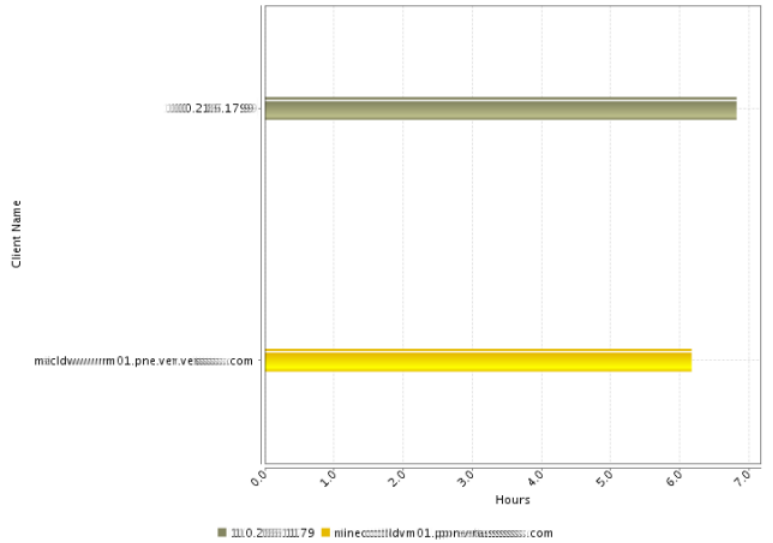
[リスク分析 (Risk Analysis)]>[Recovery Point Objective (RPO)]レポート

RPO (Recovery Point Objective) と RTO (Recovery Time Objective) は、クライアントのリカバリ可能性を表すメトリック値として一般に認められるようになりました。このレポートは前回正常に完了したバックアップ以降に経過した時間の量ですべてのクライアントをランク付けします。このレポートは、各システムの正常バックアップ以降の経過時間を示すため、各システムがリカバリポイント目標を満たしているかどうかがわかります。より大きい環境でこのレポートを週単位で実行できれば、事前定義された期間内にバックアップされていないシステムを原因とするリスクがどこに存在するかが簡単にわかります。

[クライアントのリスク分析 (Client Risk Analysis)]レポートと対照をなして、詳細度のレベルはクライアントレベルであり、こうして複数のバックアップポリシーのクライアントはごく最近の成功したポリシーによって表されます。このレポートは複数ポリシーのクライアントのために使わないことを推奨します。[クライアントの「IsActive」]フィルタを使用すると、アクティブにバックアップされていないホストを省略できます。レポートの経過時間は常に今と前回正常に完了したバックアップの間にあります。レポートは最も長い経過時間のクライアントを先頭に配置するグラフ形式のランク付けで効果的です。

図 2-58 に、[Recovery Point Objective (RPO) (Recovery Point Objective)]レポートのビューの例を示します。

図 2-58 [Recovery Point Objective (RPO)]レポート



User-configurable threshold-based rankings report of clients exceeding their recovery point objectives.

Show Chart as Table | Show Report Query

例では、ほぼ 10 時間にわたってすべてのクライアントでバックアップが実行されていません。これは、レポート上の 5 つのシステムの場合、最良の RPO がほぼ 10 時間であることを意味します。8 時間の RPO を約束している場合は、これらのシステムを早くバックアップしてその SLA を満たせる状態にする必要があります。

[Recovery Point Objective (RPO) (Recovery Point Objective)]レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	Recovery Point Objective (RPO)
レポートカテゴリ	[クライアント (Client)]レポート

場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［クライアントレポート (Client Reports)］ > ［リスク分析 (Risk Analysis)］ > ［Recovery Point Objective (RPO) (Recovery Point Objective)］
レポートの目的	ユーザーが設定可能なしきい値に基づく、リカバリポイント目標を超えているクライアントのランキングレポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、Backup Exec、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	ランク付け (グラフ)
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、HTML、XML
VBR レポートとのマッピング	［バックアップ (Backups)］ >［リスク分析 (Risk Analysis)］ > ［Recovery Point Objective - RPO］

次の表に、［Recovery Point Objective (RPO)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使用してレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタ	列	説明
クライアント	クライアントがアクティブです	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。デフォルトでは、アクティブなクライアントがレポートに表示されます。つまり、アクティブにバックアップされていないクライアントはデフォルトで省略されます。すべてのクライアントのレポートを表示するには、[いいえ (No)]を選択します。
	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
	スケジュール名	選択されたスケジュール名のデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	[ジョブの形式 (Job Type)]の値は必ず選択する必要があります。デフォルトでは、バックアップジョブがレポートに表示されます。アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブの形式を選択して、選択したジョブの形式のデータを表示できます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーのレポートを実行すると、特定のマスターサーバーによってバックアップされたクライアントの詳細を表示できます。

[メディアに格納されたバックアップイメージ (Stored Backup Images on Media)]レポートでは次の拡張が行われています。

- 各クライアントのバーをクリック (ドリルダウン)して、ジョブの形式、スケジュール/レベルの形式およびポリシー名で[Recovery Point Objective (RPO)]レポートを表示できるようになりました。
- [ジョブの形式 (Job Type)]列が[ジョブ (Job)]フィルタに追加されました。

- ［ポリシー (Policy)］フィルタには、次の列が追加されました。
  - ポリシーのキーワード (Policy Keyword)
  - ポリシー形式 (Policy Type)
- ［スケジュール (Schedule)］フィルタが追加されました。
- 次の［レポート対象 (Report On)］パラメータが追加されました。
  - ジョブの形式 (Job Type)
  - ポリシー名 (Policy Name)
  - スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)
- 以前は［ホストが有効です (Host is Active)］列に［ホスト (Host)］フィルタがありました。［ホスト (Host)］フィルタは削除されました。［ホストが有効です (Host is Active)］列の名前が［クライアントがアクティブです (Client is Active)］列に変更され、［クライアント (Client)］フィルタの下に配置されるようになりました。［クライアントがアクティブです (Client is Active)］列のデフォルト値は［はい (Yes)］です。

［バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)］レポート

このレポートは、バックアップされていない NetBackup クライアント、またはレポート期間内にすべてのバックアップが失敗したクライアントのリストを表示します。

あるポリシーとクライアントの組み合わせのすべてのジョブが失敗したのか、またはレポート期間内に開始されなかったのかを判断できます。SharePoint、Oracle、Windows NT などのポリシーの形式によって、フィルタ処理することができます。

クライアントに複数の NetBackup ポリシーが関連付けられていて、それらのポリシーのいずれもレポート期間内に実行されていない場合は、クライアント名がレポート内で複数回表示されます。レポートには、ポリシー名、スケジュール名、最後にバックアップが成功した日付などの詳細が表示されます。

［ビュー (View)］フィルタからクライアントビューを選択して、このレポートに特定のクライアントビューのデータを表示できるようになりました。以前は、マスターサーバービューのレポートデータのみをフィルタ処理できました。

図 2-59 に、［バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)］レポートのビューの例を示します。

図 2-59 ［バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)］レポート

Clients Not Backed up

Server Name	Client Name	Client Operating System	Client Hardware	Policy Name	Schedule Name	Last Successful Backup
NBU_656_Server	purandar.vxindia.veritas.com	SunOS	Solaris	mlind_policy_purandar_client	full5	Aug 23, 2011 8:47:35 AM
ccs-win-qe-4	AUWEIAP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Daily]	May 9, 2011 10:07:31 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIAP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Monthly]	May 8, 2011 3:26:59 AM
ccs-win-qe-4	AUWEIAP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Weekly]	May 1, 2011 8:25:38 AM
ccs-win-qe-4	AUWEIFILE1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Daily]	May 9, 2011 10:24:41 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIFILE1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Monthly]	May 9, 2011 5:22:41 AM
ccs-win-qe-4	AUWEIFILE1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.01.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Weekly]	Apr 29, 2011 9:20:24 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIMP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[11.WIN2008SRV.VSS.AOFO]	[DLY]	May 9, 2011 2:37:46 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIMP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[11.WIN2008SRV.VSS.AOFO]	[EOM]	May 8, 2011 3:03:03 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIMP1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[11.WIN2008SRV.VSS.AOFO]	[WKLY]	May 1, 2011 1:25:29 PM
ccs-win-qe-4	AUWEIPRT1.CAL.RIOTINTO.ORG	Unknown	-	[01.02.WIN2003SRV.VSS.AOFO]	[Daily]	May 9, 2011 2:49:07 PM

Total 188 Rows , 2 Page(s) 1 2

Lists all the clients not backed up within given time frame.

［バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)］レポートの詳細は次のとおりです。

レポート名	バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed up)
レポートカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［クライアントレポート (Client Reports)］>［バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)］
レポートの目的	このレポートは、選択した時間枠内にバックアップされていないすべてのクライアントをリストします。
サポート対象の製品	Backup Exec、NetBackup、NetBackup マスターアプライアンス、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[クライアント (Client)]>[バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)]
NOM との相違点	OpsCenter では、[最後に成功したバックアップ (Last Successful Backup)]列はジョブの終了時刻を示します。ただし、NOM ではこの列はジョブの開始時刻を示します。

次の表に、[バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
ポリシー	ポリシー形式	NDMP や FlashBackup などの 1 つ以上のポリシー形式を選択して、選択したポリシー形式のデータを表示します。

フィルタの使用例: FlashBackup などの特定のポリシー形式に対して[バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)]レポートを実行して、この特定のポリシー形式のバックアップ詳細を表示できます。

[バックアップされていないクライアント (Clients Not Backed Up)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、[表形式のバックアップレポート (Tabular Backup Report)]の右上隅に[年間 (Years)]タブを表示することもできます。
- [不明 (UNKNOWN)]がポリシーフィルタの[ポリシー形式 (Policy Type)]列の値として追加されました。ポリシー形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。OpsCenter の以前のバージョンでは、不明なポリシー形式は空白として示されていました。

仮想クライアント概略レポート

仮想クライアント概略レポートは NetBackup マスターサーバーのすべての仮想クライアントの詳細を示します。このレポートを使用して、これらの仮想クライアントが NetBackup によってバックアップされたかどうかを判断できます。そのため、保護を必要とする仮想クライアントについてレポートできます。クライアントが前回バックアップされた時刻も示します。

また、このレポートでドリルダウンし、特定の仮想クライアントのジョブの詳細を表示することもできます。

OpsCenter は vCenter または Hyper-V サーバーをポーリングして、どのシステムが構成されているかを判断し、それを作成済みの NetBackup ポリシーと比較できます。これは、いずれの NetBackup ポリシーによっても保護されていない仮想マシンを追跡するのに役立ちます。

メモ: その仮想マシンが追加されたことを確認するのは、ポリシーを手動で作成するか、または仮想マシンのバックアップが正常に行われた場合のみ可能です。

図 2-60 に、[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]レポートのビューの例を示します。

図 2-60　　仮想クライアント概略レポート

Virtual Client Summary

VM Name (NetBackup)	VM Display Name (VMware/Hyper-V)	Backup Status	Policy Type	Job ID	Hypervisor Host or Cluster
v12n-host-16.punin.sen[illegible]ntec[illegible].com	smb3.0_vm	Successful	Hyper-V	89	hyper16_win-1.pne.ven[illegible]rits.[illegible]com
hyperv-auto-3.punin.sen[illegible]snatitec.com	win2003_hyper_v_vm_w_iso [illegible]ymac 20 .com	-	Hyper-V	-	hyper16_win-1.pne.ven[illegible]erits[illegible].com

このサンプルレポートは、いくつかの VM が構成されている vCenter Server の例を示しています。ほとんどの仮想クライアントはいずれの NetBackup ポリシーにも存在せず、追加または保護する必要があります。前回システムがバックアップされた時刻も示します ([最後に成功したバックアップの時刻 (Last Successful Backup Time)]列で)。

[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]レポートは次の列を表示します。

仮想サーバー名 (Virtual Server Name)	VMware または Hyper-V サーバーなどの仮想サーバーホストの名前
データストア (Data Store)	仮想クライアントと関連付けられるデータストア。データストアとは仮想マシンの構成ファイルが格納される場所を指します。
ホスト (Host)	バックアップホストの名前。
仮想クライアント名 (Virtual Client Name)	仮想サーバーで実行されている仮想クライアントの表示名。 複数の仮想クライアントに同じ IP アドレスがある場合があります。ただし、これらは UUID で識別することができます。UUID は仮想クライアントの一意の識別子です。 **メモ:** ジョブの詳細を表示するには仮想クライアント名のリンクをクリックします。

UUID	仮想クライアントのための BIOS UUID。
VM ホスト名 (VM Host Name)	
インスタンス ID (Instance ID)	
IP アドレス (IP Address)	仮想クライアントの IP アドレス
形式 (Type)	VMware または Hyper-V など、このクライアントが属する仮想サーバーの形式
サーバー名 (Server Name)	この仮想クライアントをバックアップする NetBackup マスターサーバーの名前 この仮想クライアントが NetBackup マスターサーバーによってバックアップされない場合、このフィールドは空になります。
ポリシーに存在 (Exists in a Policy)	この状態フィールドは、この仮想クライアントのバックアップが NetBackup ポリシーで定義されているかどうかを示します。 NetBackup マスターサーバーがこのクライアントをバックアップする場合、このフィールドには［はい (Yes)］が表示されます。［いいえ (No)］と表示される場合、このクライアントをバックアップして保護する必要があります。
前回のバックアップ時刻 (Last Backup Time)	この仮想クライアントが前回バックアップされた時刻 クライアントがバックアップポリシーで定義されていないか、まだバックアップされていない場合、このフィールドには '-' と表示されます。

［仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)］レポートの詳細は次のとおりです。

レポート名	仮想クライアント概略
レポートカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［クライアントレポート (Client Reports)］> ［仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)］
レポートの目的	このレポートは、NetBackup で構成した VMware サーバーまたは Hyper-V サーバーの詳細を示します。これらの仮想マシンを NetBackup が保護しているかどうかも示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント

レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい p.234 の「仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[クライアント (Client)]>[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]

次の表に、[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のクライアントビューに対して[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]レポートを実行して、この特定のクライアントの詳細を表示できます。

仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)

このドリルダウンレポートは、[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)]レポートで仮想クライアント名 (リンク) をクリックすると取得されます。このレポートには、ポリシー、スケジュール、バックアップ開始と終了時間、バックアップ済みデータなど、仮想クライアントの詳細が表示されます。

図 2-61 では、[仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)]レポートの表示例を示します。

図 2-61　仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)

Virtual Client Job Details

Server Name	Client Name	Job ID	Policy Name	Schedule Name	Status Code	Start Time	End Time	Data Backed up(GB)
opscenter-win2k3	vbr-pd-1 [pd6.2.0]	55	VMware	UNKNOWN	156	Sep 21, 2011 2:33:28 PM	Sep 21, 2011 2:33:53 PM	0
opscenter-win2k3	vbr-pd-1 [pd6.2.0]	56	VMware	UNKNOWN	150	Sep 21, 2011 2:35:37 PM	Sep 21, 2011 3:29:53 PM	0
opscenter-win2k3	vbr-pd-1 [pd6.2.0]	57	VMware	Full	150	Sep 21, 2011 2:35:51 PM	Sep 21, 2011 3:29:43 PM	20.39

以下は[仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	仮想クライアントのジョブの詳細
レポートのカテゴリ	[クライアント (Client)]レポート
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[クライアントレポート (Client Reports)]>[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)] (仮想クライアント名をクリック)>[仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)]
レポートの目的	このレポートでは、選択した仮想マシンの詳細が表示されます。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Report)]>[クライアント (Client)]>[仮想クライアントの概略 (Virtual Client Summary)] (仮想クライアント名をクリック)

次の表では、[仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のクライアントに対して[仮想クライアントのジョブの詳細 (Virtual Client Job Details)]レポートを実行し、特定のクライアントの詳細を表示できます。

[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]レポート

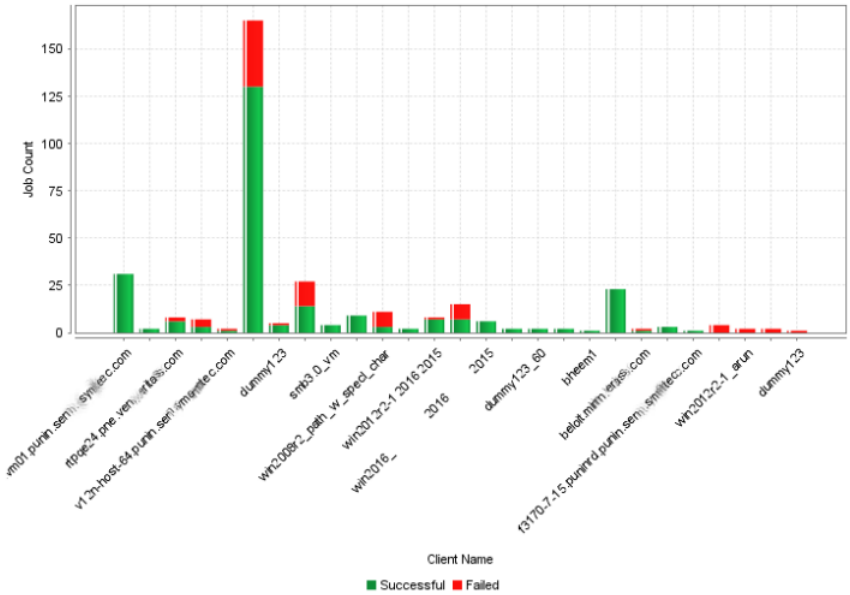
このレポートは、クライアントジョブの成功率を示します。

棒グラフは、選択したマスターサーバーによってバックアップされる各クライアントについて、成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、および失敗したジョブの合計を示します。棒グラフのツールのヒントは、これらのジョブの数を示します。各クライアントのツールのヒントには、すべてのジョブの形式の詳細を示すドリルダウンレポートへのリンクも含まれています。

選択した時間枠内に各クライアントについて成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、または失敗したジョブの数を表示するには、[表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)]リンクをクリックします。

図 2-62 に、[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]レポートのビューの例を示します。

図 2-62 ［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポート



［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポートの詳細は次のとおりです。

レポート名	クライアントごとのジョブの成功率
レポートカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［クライアントレポート (Client Reports)］> ［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］
レポートの目的	このレポートはクライアントごとのジョブの成功率を示します。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴 (グラフ)
ドリルダウンレポート	クライアントごとのジョブの詳細
スケジュール可能	はい

サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］>［標準レポート (Standard Reports)］>［クライアント (Client)］>［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］

次の表に、［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポートを実行して、この特定のマスターサーバーによって保護されるクライアントのジョブの成功率の詳細を表示できます。

［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポートに対して次の拡張が行われました。

- レポートのバーをクリックしてドリルダウンできるようになりました。［クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details By Client)］という名前のドリルダウンレポートが利用可能です。
- 終了状態ごとにレポートをグループ化するための［レポート対象 (Report On)］パラメータが［表示オプションの変更 (Modify Display Options)］ページから削除されました。

クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)

このレポートには、［クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)］レポートで棒グラフをクリックすることにより、または［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］レポートの［クライアント名 (Client Name)］列から、ドリルダウンできます。このドリルダウンレポートには、選択したクライアントおよび時間枠のすべてのジョブの詳細が表示されます。

表には、ジョブ形式、状態コード、メディアサーバー名などの詳細が含まれます。

レポートには［メディアサーバー (Media Server)］列も表示されるようになりました。

図 2-63 では、[クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)]レポートの表示例を示します。

図 2-63 クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)

Job Details By Client

Job ID	Server Name	Client Name	Job Type	Status Code	Media Server	Policy Name	Schedule Name
17795	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	ccs-sol-qe-11	test9	full10
17794	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	NBU_656_Server	test1	full10
17793	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	ccs-sol-qe-11	pol_auto_copy_4	full10
17792	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	ccs-sol-qe-11	pol_auto_copy_8	full10
17791	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	NBU_656_Server	pol_auto_copy_7	full10
17790	NBU_656_Server	NBU_656_Server	Backup	0	NBU_656_Server	pol_auto_copy_2	full10

Total 5,465 Rows , 55 Page(s) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Job Details By Client. This report is valid for NetBackup and NetBackup Appliance.

[クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)]レポートについての詳細を次に示します。

レポート名	クライアントごとのジョブの詳細
レポートのカテゴリ	[クライアント (Client)]レポート
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[クライアントレポート (Client Reports)]>[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)] (棒グラフをクリック) または[クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))]([クライアント名 (Client Name)]列をクリック)

レポートの目的	このレポートには、クライアントのジョブの詳細がリストされます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Report)]>[クライアント (Client)]>[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]>[クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)]

次の表では、[クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details By Client)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のクライアントまたはマスターサーバーに対して[クライアントごとのジョブの詳細 (Job Details by Client)]レポートを実行できます。

［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］レポート

このレポートは、クライアントジョブの成功率を示します。表形式レポートは、選択したマスターサーバーによってバックアップされる各クライアントについて、成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、失敗したジョブの合計を示します。

また、表の次の列からドリルダウンすることもできます。

- クライアント名 (Client Name)
- 成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)
- 部分的に成功したジョブの数 (Number of Partially Successful Jobs)
- 失敗したジョブの数 (Number of Failed Jobs)

図 2-64 に、［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］レポートの表示例を示します。

図 2-64　［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］レポート

Chart as Table

Client Name	Job Count - Successful	Job Count - Failed
mnlin[illegible]cldvm01.pne.v[illegible]as.[illegible]om	18	7
1[illegible].21[illegible]1[illegible]	5	1
sa[illegible]sh___[illegible]win2k3r2_nfs_rd_([illegible]ost[illegible]m)_tint[illegible]am	0	2

Total 3 Rows , 1 Page(s)

［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］レポートの詳細は次のとおりです。

レポート名	クライアントごとのジョブの成功率
レポートカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［クライアントレポート (Client Reports)］> ［クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))］
レポートの目的	このレポートはクライアントごとのジョブの成功率を示します。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	クライアントのジョブの詳細 (Job Details for Client) クライアントの成功したジョブの詳細 (Successful Job Details for Client) クライアントの部分的に成功したジョブの詳細 (Partially Successful Job Details for Client) クライアントの失敗したジョブの詳細 (Failed Job Details for Client)
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[クライアント (Client)]>[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]

次の表に、[クライアントごとのジョブの成功率 (Job Success by Client)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアント名	クライアントのデータを表示するために 1 つ以上のクライアントを選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]:特定のクライアントに対して[クライアントごとの成功したジョブ (表形式) (Job Success by Client (Tabular))]レポートを実行して、選択したクライアントのジョブの成功率の詳細を表示できます。

[クライアントの概略のダッシュボード (Client summary dashboard)]レポート

このレポートは、選択したサーバーコンテキストごとに各クライアントのいくつかのパラメータについて概略を示し、NetBackup の動作のダッシュボードとして機能します。表内の多くの列で、ドリルダウンリンクを使用してクライアントの詳細レポートを表示できます。

ドリルダウンレポートによって、クライアントに関する情報を得るとともに、次のような疑問に対する回答を得ることができます。

- サーバー名、IP アドレス、オペレーティングシステムの種類は?
- 特定のクライアントについて、バックアップされたボリュームは?
- 特定のクライアントについて、成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、および失敗したジョブの数は?
- 特定のクライアントに対して実行されたリストアジョブの数は?
- ジョブのスループットの平均値は?

[ビュー (View)]フィルタからクライアントビューを選択して、このレポートに特定のクライアントビューのデータを表示できるようになりました。以前は、マスターサーバービューのレポートデータのみをフィルタ処理できました。

このレポートは、管理対象クライアントでのバックアップ動作の状態を監視するツールとしても使用できます。

[クライアントごとのジョブの合計 (Total Jobs for Client)]レポート	[ジョブの合計数 (Number of Total Jobs)]列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したクライアントと時間枠のすべてのジョブが表示されます。ジョブの詳細には、ポリシー名、スケジュール名、スループット (KB/秒) などが表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。
[クライアントの成功したジョブ (Successful Jobs for Client)]レポート	[成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)]列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したクライアントと時間枠の成功したジョブが表示されます。レポートには、ジョブの形式、ポリシー名、開始時間と終了時間、ジョブの期間などのジョブの詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。
[クライアントの部分的に成功したジョブ (Partially successful jobs for client)]レポート	[部分的に成功したジョブの数 (Number of Partial Successful Jobs)]列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したクライアントと時間枠の部分的に成功したジョブが表示されます。レポートには、ジョブの形式、ポリシー名、開始時間と終了時間、ジョブの期間などのジョブの詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［クライアントの失敗したジョブ (Failed Jobs for Client)］レポート	［失敗したジョブの数 (Number of Failed Jobs)］列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したクライアントと時間枠の失敗したジョブが示されます。終了状態が 0 または 1 以外であるジョブは、失敗したジョブと見なされます。 レポートには、ジョブの形式、ポリシー名、開始時間と終了時間、ジョブの期間などのジョブの詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。
［クライアントのリストアジョブ (Restore jobs for client)］レポート	［リストアジョブの数 (Number of Restore Jobs)］列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したクライアントのリストアジョブの詳細が表示されます。これには、ポリシー名、スケジュール名、スループット (KB/秒) などの詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［BMR クライアント構成バックアップの失敗 (BMR Client Configuration Backup Failures)］レポート

NetBackup ポリシーに［BMR 情報の収集 (Collect BMR Info)］フラグが設定されている場合は、ジョブによって BMR (Bare Metal Restore) クライアント構成がバックアップされます。このジョブ形式では、従属する 1 つ以上のジョブが開始されて、クライアントデータがバックアップされます。

このレポートは、BMR クライアント構成の完全なバックアップには失敗したものの、関連する子ジョブ (クライアントデータのバックアップジョブ) が部分的または完全に成功したすべてのジョブを示します。

［ビュー (View)］フィルタからクライアントビューを選択して、このレポートに特定のクライアントビューのデータを表示できるようになりました。以前は、マスターサーバービューのレポートデータのみをフィルタ処理できました。

［アプリケーションごとのジョブ (Jobs by Application)］レポート

このレポートは、NetBackup ポリシー形式を使用して、アプリケーションレベルのレポートのシミュレーションを行います。たとえば、Oracle ポリシー形式は、Oracle アプリケーションを意味します。したがって、レポートにはすべての Oracle バックアップが表示されます。

このレポートの表では、サーバー、クライアントおよびアプリケーションごとにジョブが構成され、バックアップサイズ (MB 単位) とファイル数が含まれます。［アプリケーション (Application)］(ポリシー形式) 列は、それぞれのアプリケーションのジョブの詳細へのドリルダウンリンクになっています。

メインレポートの表の［アプリケーション (Application)］列から利用可能なドリルダウンレポートがあります。このドリルダウンレポートには、選択したクライアントおよびポリシー形式のすべてのジョブが表示されます。この表には、ジョブ ID、終了状態、ジョブの開始時間と終了時間、ファイル数などの、ジョブの詳細が表示されます。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［SAN クライアントジョブ (SAN Client Jobs)］レポート

このレポートは、選択したファイバートランスポート (FT) メディアサーバーと選択した SAN クライアントの、すべてのジョブを示します。

このレポートによって、次のような疑問に対する回答や情報を得ることができます。

- ジョブが LAN と FT パイプのどちらで実行されたか?
- 2 つの異なるクライアントが 1 つのメディアサーバーによってバックアップされることで、スループットが低下していないか?
- すべての FT メディアサーバーのリスト
- すべての SAN クライアントのリスト

クラウドレポートについて

クラウドレポートには、ストレージの予測、傾向、スループットパフォーマンス、および NetBackup データを特定プロバイダのクラウドストレージに格納するチャージバックコストなど、クラウドストレージに書き込む NetBackup データについての情報が提示されます。

クラウドレポートは、クラウドが構成されている NetBackup サーバー専用です。

OpsCenter は次のクラウドプロバイダをサポートします。

メモ: NetBackup がサポートする Amazon S3 互換のすべてのクラウドプロバイダのうち、OpsCenter は Amazon (S3) と Amazon GovCloud (S3) プロバイダの監視およびレポートのみをサポートします。

AT&T または Rackspace のプロバイダ用にクラウドストレージサーバーを構成し、8.1.2 にアップグレードした場合は、AT&T および Rackspace のプロバイダの古い情報がクラウドレポートに表示されます。

利用可能なクラウドレポートを次に示します。

ジョブの成功率 (Job Success Rate)	p.246 の「［ジョブの成功率 (Job Success Rate)］レポート」を参照してください。

将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)	p.249 の「将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)」を参照してください。
クラウドの計測 (Cloud Metering)	p.251 の「クラウドの計測 (Cloud Metering)」を参照してください。
平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)	p.253 の「平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)」を参照してください。
クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)	p.256 の「クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)」を参照してください。

[ジョブの成功率 (Job Success Rate)]レポート

このレポートは、構成された各クラウドストレージプロバイダのクラウドのバックアップジョブの成功率を示します。異なるクラウドストレージプロバイダのジョブの成功率の比較にも役立ちます。

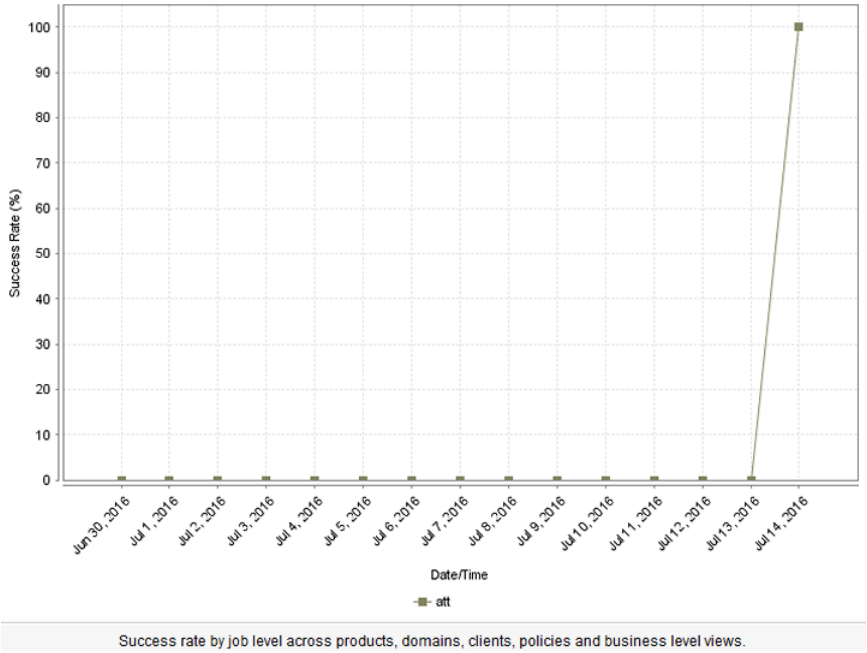
また、特定のジョブ終了日時の成功率 (%) を表形式で表示できます。表形式の詳細を表示するには[表を表示 (Show Table)]をクリックします。

X 軸はジョブの終了日時を示し、Y 軸はジョブの成功率 (%) を示します。凡例は、ストレージプロバイダごとに異なる色を定義します。

表形式の詳細を表示するには[表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)]をクリックします。

図 2-65 は、[ジョブの成功率 (Job Success Rate)]レポートの表示例です。

図 2-65 ［ジョブの成功率 (Job Success Rate)］レポート



Success rate by job level across products, domains, clients, policies and business level views.

［ジョブの成功率 (Job Success Rate)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ジョブの成功率 (Job Success Rate)
レポートカテゴリ	クラウドレポート (Cloud Reports)
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［クラウドレポート (Cloud Reports)］> ［ジョブの成功率 (Job Success Rate)］
レポートの目的	製品、ドメイン、クライアント、ポリシー、ビジネスレベルビューにまたがる、ジョブレベルによる成功率。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

レポートを編集して時間枠を構成するか、特定のビュー、クライアント、マスターサーバーのレポートを実行できます。

次の表に、[ジョブの成功率 (Job Success Rate)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアントがアクティブです クライアント名 クライアント OS	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。デフォルトでは、アクティブなクライアントがレポートに表示されます。つまり、アクティブにバックアップされていないクライアントはデフォルトで省略されます。すべてのクライアントのレポートを表示するには、[いいえ (No)]を選択します。 レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。 レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名 ポリシー形式	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。 選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。

フィルタ	列	説明
ジョブ	ジョブ状態 ジョブのトランスポート形式 製品の種類	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。 選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。 選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。
成功率	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。 OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して［ジョブの成功率 (Job Success Rate)］レポートを実行して、この特定のクライアントのみの詳細を表示できます。

また、レコードをグループ化する時間間隔を選択できます。たとえば、時間枠として 1 カ月、グループ分けの間隔として 10 日を選択すると、レポートは、10 日でグループ化されたデータの 3 つのチャンクでレコードを示します。

将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)

このレポートは、クラウドのどの位のデータが各クラウドプロバイダで期限切れになるかを示します。デフォルトでは、今後 7 日間の各日に期限切れになるデータを示します。

このレポートは、期限切れのバックアップの合計サイズと、各クラウドプロバイダで今後 7 日間に期限切れになるイメージの数を示します。Y1 軸は期限切れのバックアップの合計サイズを示し、Y2 軸は期限切れになるイメージの数を示します。データを表形式で表示するには［表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)］をクリックします。

［将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)
レポートカテゴリ	クラウドレポート (Cloud Reports)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［クラウドレポート (Cloud Reports)］ > ［将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)］
レポートの目的	このレポートは、今後 7 日間の各日に期限切れになるデータを示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance

該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

レポートを編集して時間枠を構成するか、特定のビュー、クライアント、マスターサーバーのレポートを実行できます。

次の表に、[将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアントがアクティブです クライアント名 クライアント OS	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。デフォルトでは、アクティブなクライアントがレポートに表示されます。つまり、アクティブにバックアップされていないクライアントはデフォルトで省略されます。すべてのクライアントのレポートを表示するには、[いいえ (No)]を選択します。 レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。 レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。

フィルタ	列	説明
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	選択されたスケジュール形式のデータを表示するために、CINC、Copy、Daily など 1 つ以上のスケジュール形式を選択します。
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。

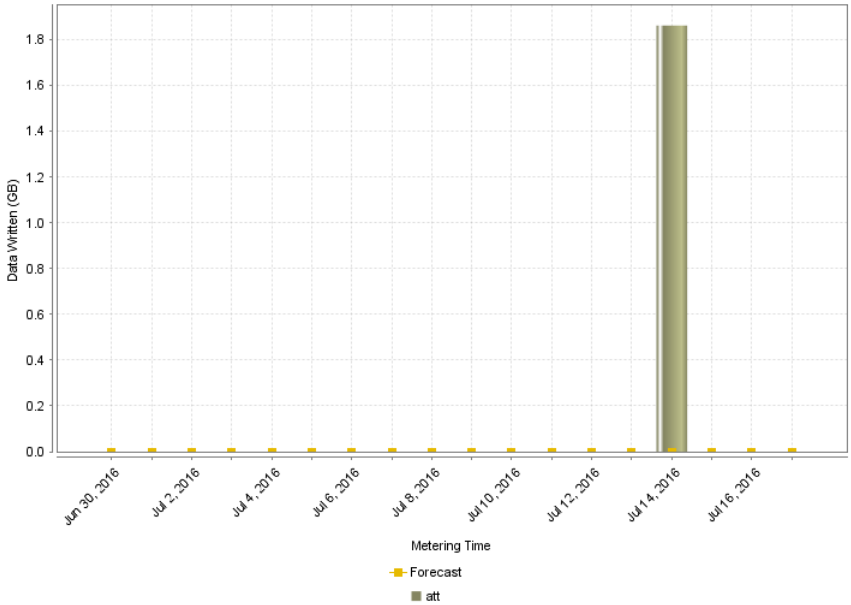
フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して[将来期限切れになるデータ (Data Expiring in Future)]レポートを実行して、この特定のクライアントのみの詳細を表示できます。

クラウドの計測 (Cloud Metering)

このレポートはクラウドに書き込まれたデータを示します。また、予測と傾向も示します。

図 2-66 に、[クラウドの計測 (Cloud Metering)]レポートの表示例を示します。

図 2-66 ［クラウドの計測 (Cloud Metering)］レポート



［クラウドの計測 (Cloud Metering)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	クラウドの計測 (Cloud Metering)
レポートカテゴリ	クラウドレポート (Cloud Reports)
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［クラウドレポート (Cloud Reports)］> ［クラウドの計測 (Cloud Metering)］
レポートの目的	クラウドプロバイダごとのクラウドに書き込まれたデータの履歴表示。
サポート対象の製品	NetBackup **メモ：** NetBackup アプライアンスはサポートされません。
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

レポートを編集して時間枠を構成するか、特定のビューまたはメディアサーバーのレポートを実行できます。

次の表に、[クラウドの計測 (Cloud Metering)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のメディアサーバーに対して[クラウドの計測 (Cloud Metering)]レポートを実行して、この特定のメディアサーバーのみの詳細を表示できます。

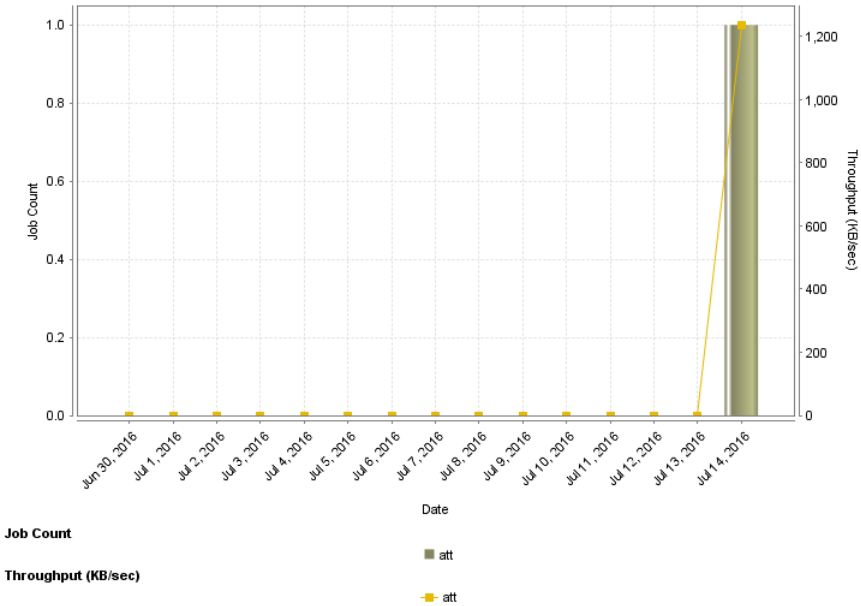
平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)

クラウドジョブ数とスループット (KB/秒) を参照できます。棒はジョブ数を表し、線はスループットを表します。

このレポートは各クラウドプロバイダのスループットを示します。複数のクラウドプロバイダのサービスを使う場合は、スループットが高いクラウドプロバイダを比較して特定できます。

図 2-67 に、[平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)]レポートの表示例を示します。

図 2-67 ［平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)］レポート



［平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)
レポートカテゴリ	クラウドレポート (Cloud Reports)
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［クラウドレポート (Cloud Reports)］> ［平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)］
レポートの目的	今後 7 日間の各日に期限切れになるデータ。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

レポートを編集して時間枠を構成するか、特定のビュー、クライアント、マスターサーバーのレポートを実行できます。

次の表に、[平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
クライアント	クライアントがアクティブです	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。デフォルトでは、アクティブなクライアントがレポートに表示されます。つまり、アクティブにバックアップされていないクライアントはデフォルトで省略されます。すべてのクライアントのレポートを表示するには、[いいえ (No)]を選択します。
	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。
	クライアント OS	レポートで、選択されたクライアント OS のデータを表示するために 1 つ以上のクライアント OS を選択します。
ポリシー	ポリシーデータの分類名	選択されたポリシーデータの分類名のデータを表示するために、1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。
	ポリシーのキーワード	選択されたキーワードが含まれるポリシーのデータを表示するために、1 つ以上のポリシーキーワードを選択します。
	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。
スケジュール	スケジュール名	選択されたスケジュールのデータを表示する 1 つ以上のスケジュール名を選択します。

フィルタ	列	説明
ジョブ	ジョブ状態	レポートで、選択されたジョブの状態のデータを表示するために、失敗、欠落、部分的に成功など 1 つ以上のジョブの状態を選択します。
	ジョブのトランスポート形式	選択されたトランスポート形式のジョブのデータを表示するために、FT、LAN、不明など 1 つ以上のトランスポート形式を選択します。
	製品の種類	選択された製品のデータを表示するために 1 つ以上のバックアップ製品を選択します。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[平均データ転送率 (Average Data Transfer Rate)]レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのみの詳細を表示できます。

クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)

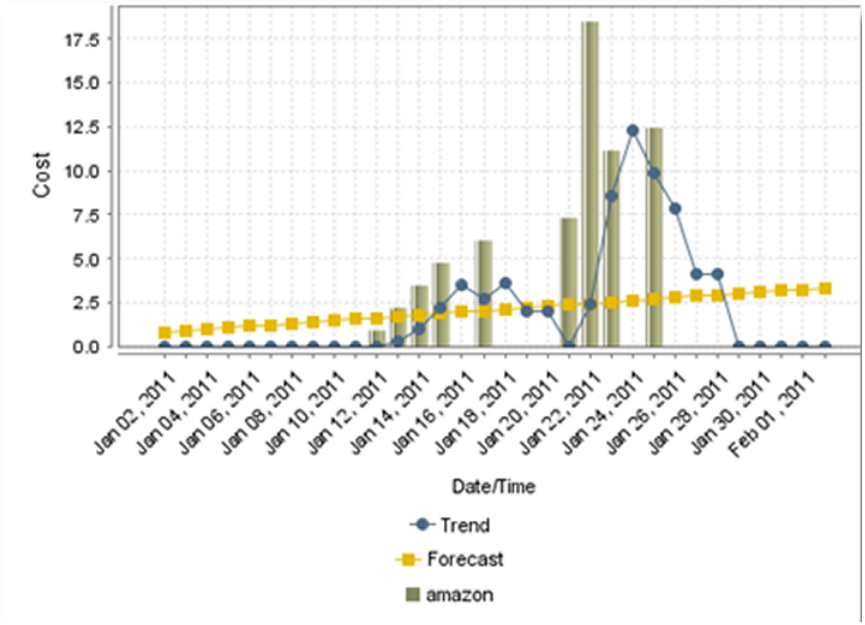
このレポートは OpsCenter Analytics (OpsCenter のライセンス版) の場合に有効です。このレポートを実行するには、[ストレージサーバー (Storage Server)]変数メトリックを使うコスト変数に基づくコスト式が必要です。このためには、最初に[ストレージサイズ (Storage Size)]という名前の変数メトリックに基づいてコスト変数を作成し、次にこのコスト変数に基づいてコスト式を作成します。[ストレージサーバー (Storage Server)]変数メトリックに基づいているコスト式のみが[コスト式 (Cost Formula)]ドロップダウンリストに表示されます。

[クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)]レポートは特定の日付にクラウドプロバイダに支払う必要がある金額を計算します。予測と傾向線は特定のクラウドプロバイダに将来支払う金額を理解するのに役立ちます。

[ランキング (Ranking)]ビューは各クラウドプロバイダに支払う金額を示します。[ランキング (Ranking)]ビューから、各クラウドプロバイダに支払う価格を比較できます。

図 2-68 に、[クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)]レポートの表示例を示します。

図 2-68 ［クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)］レポート



［クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)
レポートカテゴリ	クラウドレポート (Cloud Reports)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［クラウドレポート (Cloud Reports)］ > ［クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)］
レポートの目的	計測のチャージバック (Metering Chargeback)
サポート対象の製品	NetBackup **メモ:** NetBackup アプライアンスはサポートされません。
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴、ランキング
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい

サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

レポートを編集して時間枠を構成するか、特定のビューまたはメディアサーバーのレポートを実行できます。

次の表に、[クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
メディアサーバー	メディアサーバー	レポートで特定のメディアサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のメディアサーバーを選択します。OpsCenter コンソールのマスターサーバーに接続されたすべてのメディアサーバーが[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のメディアサーバーに対して[クラウドの計測のチャージバック (Cloud Metering Chargeback)]レポートを実行して、この特定のメディアサーバーのみの詳細を表示できます。

OpsCenter の[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)]レポートについて

[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)]レポートは、それぞれのマスターサーバーに付帯する各ストレージデバイスの使用状況と使用可能な空き領域を表示し、すべての NetBackup ディスク、テープ、SAN Client のストレージユニットの情報を提供します。

[現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポート	p.259 の「[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)] > [現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポート」を参照してください。
[NetBackup ディスクプールの容量 (NetBackup Disk Pool Capacity)]レポート	p.261 の「[NetBackup ディスクプールの容量 (NetBackup Disk Pool Capacity)]レポート」を参照してください。
[NetBackup ディスクプールのサイズと使用率の比較 (NetBackup Disk Pool Size vs. Percentage Full)]レポート	p.262 の「[NetBackup ディスクプールのサイズと使用率の比較 (NetBackup Disk Pool Size vs. Percentage Full)]レポート」を参照してください。

[ライブラリの概略 (Library Summary)]レポート	p.262 の「[ライブラリの概略 (Library Summary)]レポート」を参照してください。
[ライブラリ容量の予測 (Library Capacity Forecast)]レポート	p.262 の「[ライブラリ容量の予測 (Library Capacity Forecast)]レポート」を参照してください。
[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポート	p.263 の「[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)] > [テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)]」を参照してください。
[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポート	p.266 の「[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)] > [テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)]レポート」を参照してください。
[ディスクの使用状況 (Disk Usage)]レポート	p.269 の「[ディスクの使用状況 (Disk Usage)]レポート」を参照してください。
[ストレージユニットの使用状況 (Storage Unit Usage)]レポート	p.271 の「[ストレージユニットの使用状況 (Storage Unit Usage)]レポート」を参照してください。

[ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)] > [現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポート

このレポートはディスクプールが構成されている各マスターサーバーのプールと形式ごとの包括的なディスクの使用状況を示します。ディスクプールの使用状況に関する詳細と、ディスクプールで利用可能な空き領域が表示されます。

メモ: [領域の合計 (MB) (Total Capacity (MB))]、[使用領域 (MB) (Used Space (MB))]、[空き領域 (MB) (Free Space (MB))]、[潜在的な空き領域 (MB) (Potential Free Space (MB))]のプロパティはクラウドストレージディスクプールに割り当てられません。

これらすべての値はストレージ容量から導出され、クラウドプロバイダから取得することはできません。

図 2-69 に、[現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポートの表示例を示します。

図 2-69 ［現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)］レポート

Current Disk Pool Usage

Master Server	Disk Pool	Disk Pool Type	Total Capacity(MB)	Used Space (MB)	Free Space (MB)	Potential Free Space (MB)	Configured for Snapshots	Replication
nbapp125.eng[illegible]com	dp_adv_nbapp544	AdvancedDisk	10,485,760	642.48	10,485,117.52	0	No	None
nbapp125.eng[illegible]s.com	dp_disk_nbapp125	PureDisk	2,994,304.22	569.16	2,993,735.06	0	No	None
nbapp125.engba[illegible].com	dp_disk_nbapp544	PureDisk	443,099,810.58	25,756,469.31	417,343,341.26	0	No	None
nbapp166.engba[illegible]com	dp_adv_nbapp166	AdvancedDisk	1,048,576	353.34	1,048,222.66	0	No	None
nbapp166.engba[illegible]com	dp_adv_nbapp561	AdvancedDisk	10,485,760	642.48	10,485,117.52	0	No	None
nbapp166.engba[illegible]com	dp_disk_nbapp166	PureDisk	37,812,436.78	2,039.48	37,810,397.3	0	No	None
nbapp166.engba[illegible].com	dp_disk_nbapp561	PureDisk	675,080,278.28	345,317,823.63	329,762,454.65	0	No	None

Total 7 Rows , 1 Page(s)

［現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)
レポートのカテゴリ	ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)］ > ［現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)］レポート
レポートの目的	NetBackup と NetBackup アプライアンス用の各マスターサーバーのディスクプールとディスク形式ごとの包括的な使用状況レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［ディスクベースのデータ保護 (Disk Based Data Protection)］ > ［現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)］

［現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にしたりできます。デフォルトではすべての列が表示されま

す。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**現在のディスクプールの使用状況** (Current Disk Pool Usage)] レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポートを実行して、そのマスターサーバーの使用ディスク容量を表示できます。

[現在のディスクプールの使用状況 (Current Disk Pool Usage)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [ジョブのトランスポート形式 (Job Transport Type)]列が[ジョブ (Job)]フィルタに追加されました。たとえば、ジョブトランスポートの形式が[FT]または[LAN]のジョブに関するレポートデータを表示できます。
- 列ヘッダー[サーバー形式 (Server Type)]が[ディスク形式 (Disk Type)]に修正されました。
- 新しい列[スナップショット用に構成 (Configured for Snapshots)]と[レプリケーション (Replication)]がレポートの表に追加されました。

[NetBackup ディスクプールの容量 (NetBackup Disk Pool Capacity)]レポート

このレポートは、ストレージユニットの形式として「ディスクプール」が導入されている NetBackup 6.5 以上に固有です。このレポートの基本的なバージョンは OpenStorage デバイス、PureDisk 重複排除オプションのストレージ、SharedDisk また更に AdvancedDisk のプールを含んでいるすべての NetBackup 6.5 ディスクプールにわたるバックアップによって占められる空き領域の合計を示します。使用状況と共に高水準点と低水準点の平均は各ディスクプールのために取られ、グラフで引出されます。これは平均であるので推定の目的で使い、計画の目的に使うべきではありません。実際の使用状況においては、厳密な高水準点と低水準点を示すためにこのレポートは特定のディスクプールに関してフィルタ処理する必要があります。最後に予測は操作を保持するために容量が追加される必要があるか、またはバックアップが期限切れになっているか判断できるように示されています。

［NetBackup ディスクプールのサイズと使用率の比較 (NetBackup Disk Pool Size vs. Percentage Full)］レポート

このレポートは NetBackup 6.5 に固有で、新しいデバイスと「ディスクプール」と呼ばれるストレージユニットに関するものです。ディスクプールは OpenStorage デバイス、PureDisk Deduplication システム、SharedDisk、または一緒にプールされるローカルまたはネットワークディスクボリュームのグループであることがあります。棒は、ディスクプールごとの合計空き容量を表す色ですべてのディスクプールにわたる利用可能なバイトの合計数を表します。線は各ディスクプールの使用率を示します。そのため、このレポートは、どの位ディスク容量がバックアップのために使われているか、どのプールが最も大きいか、どのプールが容量に近づいているか、そしてディスクストレージ全体でバックアップ環境がどのように負荷分散しているを識別するうえで役立ちます。

［ライブラリの概略 (Library Summary)］レポート

このレポートはライブラリ容量の現在の指定した時点のインベントリを提供します。レポートはライブラリ名、ボリュームデータベースサーバー、使われるか利用可能または合計のスロット数と、使われるか利用可能または合計の容量をリストします。2 つの計算された列に、スロットとライブラリ容量の利用率 % が示されます。このレポートのフィルタは種類が充実しており、これにより多様なテープライブラリ環境を持つユーザーがテープライブラリの移行の任意のセグメントに注目できます。

メモ: ［ライブラリの概略 (Library Summary)］レポートは負の値を表示することがあります。これらの負の値は負のスロット数の結果です。ユーザーが -1 を追加すると NetBackup はメディアに接続できません。スロット数が 0 の場合、NetBackup は TLD および TLD8 メディアのデータのみを計算し、レポートの値が負になる原因となります。ユーザーは［設定 (Settings)］>［構成 (Configuration)］>［テープライブラリ (Tape Library)］からメディアスロット数を入力する必要があります。

［ライブラリ容量の予測 (Library Capacity Forecast)］レポート

このレポートはテープライブラリの容量の予測を提供します。ライブラリの容量はスロット数にスロット容量を掛けて計算されます。スロット容量はスロットのテープの容量です。ライブラリ容量測定の基準がないので、レポートは複数の方式を有効にして、個々のテープの容量を判断します。これらはテープ容量を判断するのにテープ全体の最大、最小および平均のサイズの使用から成っています。さらに、テープ形式のユーザー定義の容量はレポートパラメータ選択 UI で利用可能です。レポートは標準的な線形回帰を使って予測期間全体で傾向ラインを推定し、またライブラリ容量を描きます。ライブラリ容量の線が容量の予測線と交差する日付はライブラリ容量に達したときです。

［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)］ > ［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］

このレポートはデータバックアップがテープドライブを通る速度 (KB/秒) を示します。レポートは「ヒートマップ」の概念を活用し、緑色の設定可能な色合いを通して速度の範囲を (低速から高速まで) 描写します。レポートは時刻または曜日のいずれかに基づいて生成されます。レポートの各セルのスループット値を判断するために高度な平均化ロジックが使われます。平均化は計算の詳細度と精度を確保するイメージのフラグメントレベルで行われます。レポートは集約することができ、テープライブラリ、メディアサーバー、ドライブ形式、論理ドライブおよび物理ドライブの各レベルでフィルタ処理できます。ソートオプションを使うと、大量のデータの直観的な表示が可能になります。これらのレポートは、パフォーマンス分析と容量計画のアクティビティの重要な情報源です。

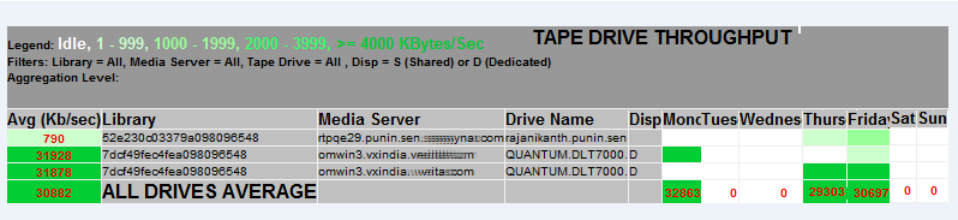
このレポートで実行できる分析の一例として、120 MB/秒以上で実行できる LTO4 ドライブについて考えてみます。レポートに 5 から 6 MB/秒のみが示されている場合、ドライブは最大容量には程遠いということがわかります。このような環境にドライブを追加することはバックアップ処理時間帯に影響しません。数年前から、ユーザーはテープドライブのプッシュに問題があると新しいテープドライブに多額の資金を投資するという傾向が見られます。LTO2 ドライブをプッシュできなければ、LTO4 へのアップグレードは役立ちません (当然、ハードウェア暗号化オプションが必要な場合を除きます)。これらのレポートは、パフォーマンス分析と容量計画のアクティビティの重要な情報源です。

［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポートでは、レポートを実行した時刻までではなく午前 1 時までのデータしか表示されないことに注意してください。これは、OpsCenter が［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポートのデータを 1 日 1 回、午前 1 時に収集するからです。したがって、過去 24 時間という相対的な時間枠で実行されたときでも、［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポートは、その日の午前 1 時までのデータしか報告できません。同様に、［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポートを午後 2 時に実行した場合も、午前 1 時までに収集されたデータのみが表示されます。

メモ: NetBackup のエラーログの保持期間を 1 日以上として構成することをお勧めします。エラーログの保持期間が 24 時間未満になっていると、［ドライブのスループット (Drive Throughput)］のような一部のレポートでデータ損失という結果になることがあります。

図 2-70 に、［ドライブのスループット (Drive Throughput)］レポートの表示例を示します。

図 2-70 ［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポート



［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)
レポートカテゴリ	ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)
場所	［レポート (Report)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)］> ［テープドライブのスループット (Tape Drive Throughput)］レポート
レポートの目的	ライブラリ、メディアサーバー、テープドライブ、ドライブ形式ごとのドライブのスループットを示すヒートマップレポート。色が濃いほど、NetBackup サーバーのその特定の時間のスループットは高くなります。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	HTML
VBR レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］> ［標準レポート (Standard Reports)］> ［バックアップ (Backups)］> ［テープデバイス (Tape Devices)］> ［ドライブのスループット (Drive Throughput)］

［ドライブのスループット (Drive Throughput)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の

表に、[**ドライブのスループット** (Drive Throughput)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
スケジュール	スケジュール/レベルの形式	構成されたスケジュールのデータを表示するために、スケジュールまたはレベルの形式を 1 つ以上選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
ドライブ (Drive)	ドライブ (Drive)	ドライブの特定のデータを表示するために1つ以上のドライブを選択します。
テープライブラリ (Tape Library)	テープライブラリのシリアル番号	テープに固有のデータを表示するために 1 つ以上のテープライブラリのシリアル番号を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対してレポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。バックアップなどの特定の種類のジョブについてレポートを実行すると、バックアップジョブのドライブのスループットの詳細を表示できます。

[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[ドライブのスループット (Drive Throughput)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- このレポートに適用されないジョブ形式がフィルタから削除されました。サポート対象のジョブの形式は、バックアップ、アーカイブ、リストア、スナップショットからのバックアップ、スナップショット、複製、レプリケーションです。
- ［スケジュール (Schedule)］フィルタの［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］列の値として［不明 (UNKNOWN)］が追加されました。スケジュール/レベルの形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。

［ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)］ > ［テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)］レポート

テープドライブはバックアップ先としてまだ非常に人気で、特に LTO3 から LTO4 への移行のように新しい更新が利用可能になるたびに新しいドライブを購入する場合はやや高価です。バックアップ処理時間帯が満たされていないときは、多くの場合、まずテープドライブを増やすことをお勧めします。ほとんどの場合、時刻に関する注意事項 (パフォーマンスの問題が原因でバックアップを日中実行できないこと) または単にメディアサーバーが少なすぎることが原因で、ユーザーはテープドライブの投資を十分に利用していないことがわかっています。OpsCenter と OpsCenter Analytics にはいくつかのドライブの使用状況レポートとスループットレポートがあり、テープドライブがいつ使われているか、バックアップポリシーの変更で埋めることができる使用状況の大きな差があるかどうかが一目でわかります。これにより、ドライブを全面的に活用できるだけでなく、ドライブの開放サイクルのタイミングが簡単にわかるため、ハードウェアの購入を延期できます。

このレポートはテープドライブの使用状況 (0 - 100%) を示します。レポートは「ヒートマップ」の概念を活用し、たとえば青の設定可能な色合いを通して使用状況の範囲を (低から高まで) 描写します。レポートは、時刻または曜日のいずれかに基づいています。レポートの各セルの使用状況の値を判断するために高度なロジックが使われます。使用状況は、デバイスの定期的なポーリングという従来の方法に対して計算の確実な精度を確保して 1 分を基準に計算されます。レポートは集約することができ、テープライブラリ、メディアサーバー、ドライブ形式、論理ドライブおよび物理ドライブの各レベルでフィルタ処理できます。ソートオプションを使用すると、大量のデータの直観的な表示が可能になります。これらのレポートは、パフォーマンス分析と容量計画のアクティビティの重要な情報源です。

［テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)］レポートでは、レポートを実行した時刻までではなく午前 1 時までのデータしか表示されないことに注意してください。これは、OpsCenter が［テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)］レポートのデータを 1 日 1 回、午前 1 時に収集するからです。収集するからです。したがって、過去 24 時間という相対的な時間枠で実行されたときでも、［テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)］レポートは、その日の午前 1 時までのデータしか報告できません。同様に、［テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)］レポートを午後 2 時に実行した場合も、午前 1 時までに収集されたデータのみが表示されます。

図 2-71 に、[テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)]レポートの表示例を示します。

図 2-71　　[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポート

TAPE DRIVE UTILIZATION

Legend: Idle, 1%-24%, 25%-49%, 50%-89%, >= 90%
Filters: Library = All, Media Server = All, Tape Drive = All , Disp = S (Shared) or D (Dedicated)
Aggregation Level:

Avg (%)	Library	Media Server	Drive Name	Disp	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1%	52e230c03379a098096548	rtpqe29.punin.sen	rajanikanth.punin.sen								
1%	7dcf49fec4fea098096548	omwin3.vxindi	QUANTUM.DLT7000.	D							
1%	7dcf49fec4fea098096548	omwin3.vxindi	QUANTUM.DLT7000.	D							
1%	ALL DRIVES AVERAGE				1%	0%	0%	1%	1%	0%	0%

[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)
レポートのカテゴリ	ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [ディスクデバイスおよびテープデバイスアクティビティ (Disk and Tape Device Activity)] > [テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)]
レポートの目的	ライブラリ、メディアサーバー、テープドライブ、ドライブ形式ごとのドライブの使用率を示すヒートマップレポート。色が濃いほど、特定の時間のドライブの利用率は高くなります。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	HTML
VBR レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Report)] > [バックアップ (Backups)] > [テープデバイスアクティビティ (Tape Device Activity)] > [ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]

[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポー

トをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**ドライブの使用状況** (Drive Utilization)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。
ドライブ (Drive)	ドライブ (Drive)	ドライブの特定のデータを表示するために 1 つ以上のドライブを選択します。
テープライブラリ (Tape Library)	テープライブラリのシリアル番号	テープに固有のデータを表示するために 1 つ以上のテープライブラリのシリアル番号を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシー名に対してレポートを実行して、この特定のポリシーのみの詳細を表示できます。バックアップなどの特定の種類のジョブについてテープドライブの使用状況レポートを実行すると詳細を表示できます。

[ドライブの使用状況 (Drive Utilization)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[テープドライブの使用状況 (Tape Drive Utilization)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- このレポートに適用されないジョブ形式がフィルタから削除されました。サポート対象のジョブの形式は、バックアップ、アーカイブ、リストア、スナップショットからのバックアップ、スナップショット、複製、レプリケーションです。

- ［スケジュール (Schedule)］フィルタの［スケジュール/レベルの形式 (Schedule/Level Type)］列の値として［不明 (UNKNOWN)］が追加されました。スケジュール/レベルの形式が不明なレポートデータをフィルタ処理できるようになりました。

［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］レポート

このレポートは、選択したサーバーと時間枠におけるディスクの使用状況を示します。このレポートの表には、ジョブの合計数、処理されたボリューム合計 (KB)、平均スループット (KB/秒)、動作の期間、期間ごとの使用率などの詳細が表示されます。

図 2-72 に、［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］レポートの表示例を示します。

図 2-72 ［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］レポート

Disk Usage

Disk Name	Server Name	Media Server Name	Total Job Attempt Count	Volume (KB)	Throughput (KB/sec)	Activity Duration	% Utilization in Terms of Duration
PD1	pmwin8	Any Available	4	0	0	00:04:46	0.02
PD_STU	pmwin8	Any Available	3	38	0.02	00:32:47	0.16
PD_Target	pmwin8	Any Available	28	0	0	20:24:05	6.07
STU	sampras	sampras.vxindia.veritas.com	7	600,311	1159.6	00:04:42	0.02
STU_1	pmwin8	pmwin8	4	143	0.03	00:24:23	0.12
dssu_stu	pmwin8	pmwin8	6	30	0.00	00:37:32	0.19
stu_auto_1	pmwin10	pmwin10	440	1,128	0.11	01:50:08	0.55
stu_auto_1	pmwin8	pmwin8	2	4	0.00	00:25:38	0.13
stu_auto_10	pmwin10	pmwin10	8	4	0.02	00:01:24	0.01
stu_auto_10	pmwin8	pmwin8	6	0	0	00:00:51	0.00
stu_auto_2	pmwin10	pmwin10	4	4	0.03	00:01:22	0.01
test	pmwin7.vxindia.veritas.com	pmwin7	3	342,702	2389.21	00:01:56	0.01

表の［ディスク名 (Disk Name)］および［メディアサーバー名 (Media Server Name)］列には、詳細なスループットおよびディスク使用状況レポートへのドリルダウンリンクがあります。

ディスクのスループット (Disk Throughput)

［ディスク名 (Disk Name)］列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、選択したサーバーまたはサーバーグループのディスクストレージユニットごとに、データ転送速度 (スループット) が表示されます。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

ディスクの使用状況の詳細 (Disk Usage Details)	［メディアサーバー名 (Media server Name)］列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、選択したメディアサーバーのすべてのストレージユニットについて、使用状況の詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。 レポートの表の各行の［ディスク (Disk)］セルは、ドリルダウンレポートへのリンクになっています。他のセルは、特定の時間帯にディスクが使用されていたかどうかを示します。

［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	ディスクの使用状況
レポートのカテゴリ	［パフォーマンス (Performance)］レポート
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［パフォーマンスレポート (Performance Reports)］ > ［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］
レポートの目的	このレポートはマスターサーバーのディスク使用状況を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［レポート (Reporting)］>［すべてのレポート (All Reports)］>［標準レポート (Standard Reports)］>［パフォーマンスレポート (Performance Report)］>［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］

次の表は、［ディスクの使用状況 (Disk Usage)］レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーのディスク使用状況がレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のマスターサーバーの[ディスクの使用状況 (Disk Usage)]レポートを実行すると、特定のマスターサーバーのディスクの使用状況を表示できます。

[サーバー (Server)]レポートの[成功したジョブ (Successful Jobs)]には次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[ストレージユニットの使用状況 (Storage Unit Usage)]レポート

このレポートは、選択したマスターサーバーと時間枠におけるストレージユニットの使用状況を示します。レポートの表では、各行の最初の列にストレージユニットが表示されます。ストレージユニット名は、詳細なレポートへのドリルダウンリンクにもなっています。2 番目の列のメディアサーバー名も、ドリルダウンリンクです。

行の他の列には、ジョブの合計数、処理されたボリューム合計 (KB)、平均スループット (KB/秒)、動作の期間、期間ごとの使用率などの詳細が表示されます。

[ストレージユニットのスループット (Storageunit Throughput)]レポート	[ストレージユニット (Storage Unit)]列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、選択したストレージユニットのデータ転送速度 (スループット) が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［メディアサーバーでのストレージユニットの使用状況の詳細 (Storage unit usage details for media serve)］レポート	［メディアサーバー名 (Media server Name)］列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、選択したメディアサーバーのすべてのストレージユニットについて、使用状況の詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。 レポートの表の［ストレージユニット (Storage Unit)］列は、スループットレポートへのドリルダウンリンクになっています。他のセルは、特定の時間帯にストレージユニットが使用されていたかどうかを示します。

OpsCenter のメディアレポートについて

この項では、オフサイトのメディアを追跡するための、テープ、ディスク、アプライアンス、オプションの NetBackup Vault 機能を含むすべての NetBackup のメディアの状態、期限、可用性の情報を提供するメディアレポートを説明します。

［メディアの状態 (Media State)］レポート	p.273 の「［メディアレポート (Media Reports)］> ［メディアの状態 (Media State)］」を参照してください。
［利用可能なメディア (Available Media)］レポート	p.274 の「［利用可能なメディア (Available Media)］レポート」を参照してください。
［使用中のドライブ (Drives in Use)］レポート	p.274 の「［使用中のドライブ (Drives in Use)］レポート」を参照してください。
［メディアの合計容量 (Full Media Capacity)］レポート	p.275 の「［メディアの合計容量 (Full Media Capacity)］レポート」を参照してください。
［メディアサーバーごとのメディアの概略 (Media Summary by Media Server)］レポート	p.275 の「［メディアサーバーごとのメディアの概略 (Media Summary by Media Server)］レポート」を参照してください。
［メディアの使用状況 (Media Utilization)］レポート	p.275 の「［メディアレポート (Media Reports)］> ［メディアの使用状況 (Media Utilization)］」を参照してください。
［テープ数 (Tape Count)］レポート	p.277 の「［テープ数 (Tape Count)］レポート」を参照してください。
［将来期限切れになるテープ (Tapes Expiring In Future)］レポート	p.277 の「［将来期限切れになるテープ (Tapes Expiring In Future)］レポート」を参照してください。

［今すぐ期限切れになるテープ (Tapes Expiring Now)］レポート	p.278 の「［今すぐ期限切れになるテープ (Tapes Expiring Now)］レポート」を参照してください。
［Vault メディアの使用状況 (Vault Media Usage)］レポート	p.278 の「［Vault メディアの使用状況 (Vault Media Usage)］レポート」を参照してください。
［メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)］レポート	p.278 の「［メディアレポート (Media Reports)］ > ［メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)］」を参照してください。

［メディアレポート (Media Reports)］ > ［メディアの状態 (Media State)］

このレポートは、マスターサーバーとメディアサーバーの各組み合わせについて、メディアの状態とメディア形式ごとの数を示します。メディアの状態は、凍結、有効、オフサイトなどです。

図 2-73 に、［メディアの状態 (Media State)］レポートの表示例を示します。

図 2-73　［メディアの状態 (Media State)］レポート

Media State

Server Name	Media Server	Media Status	Count of Media	Media Type
ramgad.vxindia.veritas.com	Unassigned	Active	1	DLT3
rajanikanth.punin.symantec.com	Unassigned	Active	2	HCART
NBAPP_nbapp101.engba.symantec.com	Unassigned	Active	5	HCART2
omwin3.vxindia.veritas.com	Unassigned	Active	1	DLT2
omwin3.vxindia.veritas.com	Unassigned	Active	6	HCART
omwin3.vxindia.veritas.com	Unassigned	Active	1	HCART2
omwin3.vxindia.veritas.com	Unassigned	Active	1	HC_CLN
rajanikanth.punin.symantec.com	c1.vxindia.veritas.com	Active	2	HCART

［**メディアの状態** (Media State)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	メディアの状態 (Media State)
レポートカテゴリ	［メディア (Media)］レポート
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［メディアレポート (Media Reports)］ > ［**メディアの状態** (Media State)］
レポートの目的	メディア形式とメディアサーバーごとの、各状態のメディア数のリストを表示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Report)］ > ［メディアとデバイス (Media and Devices)］ > ［**メディアの状態** (Media State)］

［**メディアの状態** (Media State)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**メディアの状態** (Media State)］レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、［値 (Value)］ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して［メディアの状態 (Media State)］レポートを実行して、この特定のマスターサーバーのメディアの状態を表示できます。

［利用可能なメディア (Available Media)］レポート

このレポートは、選択した各マスターサーバーで NetBackup が使用できるメディアのリストを示します。

レポートの表には、メディアサーバー、メディアの状態、ロボット形式、ボリュームグループとボリュームプール、割り当て日時などの情報が表示されます。

［使用中のドライブ (Drives in Use)］レポート

このレポートは、選択したサーバーにおけるドライブの使用率を示します。レポートの表には、ドライブの名前と種類、ロボットの番号と形式、割り当てられたホストなど、ドライブの詳細が表示されます。

［メディアの合計容量 (Full Media Capacity)］レポート

このレポートは、各マスターサーバーとメディア形式について、テープ内の保護されたデータの平均量 (KB 単位) を示します。これらは、NetBackup で［空きなし (Full)］とマーク付けされたテープです。

棒グラフは、メディア形式ごとに KB 単位のデータ量を表します。

レポートの表は、サーバー、メディアの形式およびメディアの数で構成され、テープのイメージのサイズと数が示されます。

［メディアサーバーごとのメディアの概略 (Media Summary by Media Server)］レポート

このレポートは、メディアサーバーごとに、テープとイメージの数、最終書き込み日時およびテープ内のデータ量を示します。メディアサーバーの名前は、メディアの詳細なレポートへのドリルダウンリンクにもなっています。

［メディアサーバーのメディアの状態ごとのメディアの概略 (Media Summary by Media Status for a Media Server)］レポート	［メディアサーバー (Media Server)］列から作成されるこのドリルダウンレポートは、選択したメディアサーバーでのメディアの状態の概略を示します。このレポートには、メディアの状態、テープとイメージの数、最終書き込み日時およびテープ内のデータ量が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。
［メディアの状態およびメディアサーバーのメディアの詳細 (Media details of media status for a media server)］レポート	［メディアの状態 (Media Status)］列から作成されるこのドリルダウンレポートは、選択したメディアサーバーのメディアの詳細と、選択したメディアの状態を示します。メディアの状態は、［有効 (Active)］、［凍結 (Frozen)］、［空きなし (Full)］、［無効 (Invalid)］または［一時停止 (Suspended)］のいずれかになります。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。 このレポートには、メディア ID、メディアの形式、ボリュームプール、最終書き込み日時、有効期限、イメージ数およびテープ内のデータ量が表示されます。

［メディアレポート (Media Reports)］> ［メディアの使用状況 (Media Utilization)］

このレポートはサーバーで使われる 1 日あたりのメディアの数を示します。表内の列は、割り当て済み、未割り当て、凍結、空きなし、オフサイトまたは一時停止状態のメディアを示します。このレポートのデータは、1 日 1 回だけ計算されます。したがってこのレポート

では、指定した日の前日までの概略が示されます。当日のデータは、次の日に生成されるレポートに反映されます。レポートの表は、日付とサーバーで構成され、メディアの状態ごとの数を示します。

図 2-74 に、[メディアの使用状況 (Media Utilization)]レポートの表示例を示します。

図 2-74　　[メディアの使用状況 (Media Utilization)]レポート

Media Utilization

Date	Server Name	Media Server	Media Type	Robot Number	Assigned	Unassigned	Full	Frozen	Suspended	Offsite
Jul 25, 2013 12:00:00 AM	p101.engba[illegible]ntec.com	nbapp116	HCART2	0	0	5	0	0	0	0
Jul 26, 2013 12:00:00 AM	p101.engba[illegible]ntec.com	nbapp116	HCART2	0	0	5	0	0	0	0
Jul 27, 2013 12:00:00 AM	p101.engba.[illegible]ntec.com	nbapp116	HCART2	0	0	5	0	0	0	0

[**メディアの使用状況** (Media Utilization)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	メディアの使用状況 (Media Utilization)
レポートカテゴリ	[メディア (Media)]レポート
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [メディアレポート (Media Reports)] > [**メディアの使用状況** (Media Utilization)]
レポートの目的	メディアの状態とメディア形式ごとのメディア数の詳細を表形式で表示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Report)] > [メディアとデバイス (Media and Devices)] > [**メディアの使用状況** (Media Utilization)]

[**メディアの使用状況** (Media Utilization)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の

表に、[**メディアの使用状況** (Media Utilization)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 1 週間の時間枠で 1 台のマスターサーバーに対して[メディアの使用状況 (Media Utilization)]レポートを実行します。

[メディアの状態 (Media State)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [相対時間枠 (Relative TimeFrame)]の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から[年 (Year)]を選択できます。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。

[テープ数 (Tape Count)]レポート

このレポートは次の[レポート対象 (Report On)]パラメータのテープ数を示します。

- バックアップメディアの保持レベル
- テープ形式 (Tape Type)
- ボリュームプール名

Veritas Backup Reporter (VBR) では、これらのパラメータのそれぞれに別のレポートがありました。OpsCenter では、3 つのレポートは 1 つのレポートにマージされています。

[テープ数 (Tape Count)]レポートは[分布 (Distribution)]ビューで利用可能です。

[将来期限切れになるテープ (Tapes Expiring In Future)]レポート

このレポートは次の 7 日間のそれぞれの日に期限切れになるメディアの数を示します。この時間枠は将来に多くを示すために変更できます。レポートはたくさんのメディアが将来解放される可能性があることを判断することでより多くのメディアの購入を遅らせることを正当化するのに有用です。

メモ: ［今すぐ期限切れになるテープ (Tapes Expiring Now)］レポートに適用されるフィルタ［バックアップメディアのロール (Backup Media Role)］はデータを戻しません。

［今すぐ期限切れになるテープ (Tapes Expiring Now)］レポート

このレポートには期限切れになりそうなメディアがリストされます。リストにあるボリュームプールの名前、メディア ID とメディアバーコードはメディアを見つけることを簡単にします。レポートをクリックすると、デフォルトの時間枠は次の 24 時間以内に期限切れになるものを示します。その時間枠は来週、来月、または将来の望ましい時間帯に期限切れになるメディアを示すように変更できます。

［Vault メディアの使用状況 (Vault Media Usage)］レポート

このレポートは、選択した Vault のオフサイトメディアの傾向と、現在のオフサイトメディア数を示します。このレポートは棒グラフと表の、2 つのコンポーネントレポートで構成されます。

このレポートは、オフサイトメディアの傾向を理解するために役立ちます。

このレポートによって、次のような疑問に対する回答を得ることができます。

- 各 Vault で、オフサイトメディアの数はどれだけ異なるか?
- 現在のオフサイトメディアの詳細はどうなっているか?

棒グラフは、選択した Vault のオフサイトメディアの数に関する 1 週間の傾向を示します。レポートの実行中に、このレポートを実行する Vault を選択します。このレポートは、選択した Vault の 1 週間の傾向を線で示します。このグラフを見ると、オフサイトのメディア数が時間経過とともにどのように変化するかがわかります。異なる Vault のメディア数を比較すると、どちらの Vault がより多くのメディアを使用しているか、またそれがどのように変化するかを確認できます。

このレポートの表は、選択した Vault で Vault 処理されたメディアの詳細を示します。レポートを実行する際に Vault 名を指定します。レポートには、メディア ID、オフサイトのスロット番号、コンテナ ID、有効期限、バーコードなど、メディアに関する重要な詳細情報が表示されます。

［メディアレポート (Media Reports)］> ［メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)］

このレポートは、メディアの期限切れのスケジュールをグラフ形式で示します。これによって、メディアの有効期限に基づいて、メディアの可用性が予測されます。このレポートを使用することで、再利用可能なメディアを特定することができます。レポート内の積み上げ棒グラフは、特定の日付に期限切れになる特定の形式のメディアの数を示します。メディアの形式の違いによって、棒グラフで色分けされて表示されます。棒グラフのセグメントのツールのヒントは、特定の日付に利用可能なメディア形式とメディア数を示します。

[**メディアの期限切れのスケジュール** (Media Expiration Schedule)]レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)
レポートカテゴリ	[メディア (Media)]レポート
場所	[レポート (Report)] > [レポートテンプレート (Report Templates)] > [メディアレポート (Media Reports)] > [**メディアの期限切れのスケジュール** (Media Expiration Schedule)]
レポートの目的	特定のレポート日に期限切れになるメディアの数を示す積み上げ棒グラフ。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	はい。「メディアの期限切れの詳細 (Media Expiration Details)」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)] > [標準レポート (Standard Report)] > [メディアとデバイス (Media and Devices)] > [**メディアの期限切れのスケジュール** (Media Expiration Schedule)]

[**メディアの期限切れのスケジュール** (Media Expiration Schedule)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[**メディアの期限切れのスケジュール** (Media Expiration Schedule)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)]レポートを実行して、そのマスターサーバーのメディアの期限切れのスケジュールを表示できます。

[メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- [メディアの期限切れの詳細 (Media Expiration Details)]という名前の新しいドリルダウンレポートが追加されました。
- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から[年 (Year)]を選択できます。
- 次のオプションが[次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]の選択項目から削除されました。
  - 曜日平均 (Day of week Average)
  - 曜日合計 (Day of Week total)
  - 時間平均 (Hour of day Average)
  - 時間合計 (Hour of day total)
  - 分間 (Minutes)
  - 月平均 (Month of year Average)
  - 月合計 (Month of year total)
  - 四半期平均 (Quarter of year Average)
  - 四半期合計 (Quarter of year total)

図 2-1 に、[メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)]レポートの表示例を示します。

図 2-75 ［メディアの期限切れの詳細 (Media Expiration Details)］レポート

Media Expiration Details

Server Name	Media ID	Media Type	Barcode	Used Media Size(KB)	Volume Pool Name	Robot Number	Robot Name	Expiration Date
friend.-idris	0017L4	HCART	000017L4	414,477,936	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 6:16:15 AM
friend.-idris	0016L4	HCART	000016L4	414,839,328	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 10:46:15 AM
friend.-idris	0015L4	HCART	000015L4	414,650,596	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 10:46:15 AM
friend.-idris	0013L4	HCART	000013L4	414,445,792	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 8:31:15 AM
friend.-idris	0011L4	HCART	000011L4	414,591,840	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 6:16:15 AM
friend.-idris	0009L4	HCART	000009L4	414,037,984	NetBackup	0	TLD	Aug 14, 2016 4:16:15 AM

［**メディアの期限切れの詳細** (Media Expiration Details)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	メディアの期限切れの詳細 (Media Expiration Details)
レポートカテゴリ	メディアレポート (Media reports) (ドリルダウン)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［メディアレポート (Media Reports)］ > ［メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)］ (履歴グラフの棒をクリック)
レポートの目的	特定のレポート日に期限切れになるメディアの数に関する詳細とメディアの詳細。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Report)］ > ［バックアップメディアレポート (Backup Media Reports)］ > ［メディアの期限切れのスケジュール (Media Expiration Schedule)］ (履歴グラフの棒をクリック)

［**メディアの期限切れの詳細** (Media Expiration Details)］レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、［**メディアの期限切れの詳細** (Media Expiration Details)］レ

ポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[メディアの期限切れの詳細 (Media Expiration Details)]レポートを実行して、その特定のマスターサーバー用メディアの期限切れの詳細を表示できます。

OpsCenter のパフォーマンスレポートについて

この項では、NetBackup のマスターおよびメディアサーバーの全体的なパフォーマンスとスループットの統計情報を提供するパフォーマンスレポートについて説明します。

[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]レポート	p.282 の「[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]レポート」を参照してください。
メディアサーバーのジョブのスループット (Media Server Job Throughput)	p.288 の「[メディアサーバーのジョブのスループット (Media Server Job Throughput)]レポート 」を参照してください。
[NetBackup SAN クライアントのパフォーマンス (NetBackup SAN Client Performance)]レポート	p.289 の「[NetBackup SAN クライアントのパフォーマンス (NetBackup SAN Client Performance)]レポート」を参照してください。

[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]レポート

このレポートは、様々なマスターサーバーのパフォーマンスを比較する手段を提供します。このレポートの表には、各マスターサーバーのスループットとジョブの成功に関する情報が表示されます。これはジョブの数とジョブの成功率を示しており、異なるサーバーのスループットを比較することで、パフォーマンスが低下しているサーバーを特定することができます。

図 2-76 に、[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]レポートの表示例を示します。

図 2-76 ［マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)］レポート

Master Server Job Throughput

Server Name	Total Job Count	Volume(KB)	Throughput (KB/sec)	Number of Successful Jobs	Success Rate (%)	Last Job
Display Name	1,685	1,850	0.00	1189	70	Oct 3, 2011 1:12:09 PM
ccs-sol-qe-17	12	21,567,108	9111.58	9	75	Oct 6, 2011 3:26:53 AM
opscenter-win2k3	16	7	0.00	2	12	Oct 6, 2011 3:39:34 AM
prwin8	2,027	2,513	0.00	1335	65	Oct 6, 2011 3:04:48 AM
purandar	34,197	62,842,871	0.59	30949	90	Oct 6, 2011 3:48:03 AM

サーバー名、ジョブの合計数、成功したジョブの数の列では、ドリルダウンリンクも提供されています。

［サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)］レポート

［ジョブの合計数 (Total Job Count)］列から作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したサーバーのすべてのジョブの詳細が表示されます。このレポートには、ジョブの形式と状態、ポリシー名とスケジュール名、開始時間などの詳細が含まれます。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)］レポート

［成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)］列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、特定のサーバーの成功したジョブに関する詳細が表示されます。このレポートには、ジョブ形式、ポリシー名とスケジュール名、ボリューム、ファイル数などの詳細が表示されます。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	マスターサーバーのジョブのスループット
レポートのカテゴリ	［パフォーマンス (Performance)］レポート
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［パフォーマンスレポート (Performance Reports)］ > ［マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)］
レポートの目的	このレポートはマスターサーバーのパフォーマンスを示します。

サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	はい p.285 の「[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)] レポート」を参照してください。 p.286 の「サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[Reporting]>[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[パフォーマンスレポート (Performance Report)]>[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]

次の表は、[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)] レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)] が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)] ドロップダウンリストに示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のマスターサーバーの [マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)] レポートを実行すると、特定のマスターサーバーのパフォーマンスを表示できます。

[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)] レポートには次の強化が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)] 単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)] オプションは [相対時間枠 (Relative Timeframe)] のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)] のような相対時間枠を

入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]レポート

この表形式レポートでは、クライアント名、ジョブ形式、ジョブ状態、ポリシー名、スケジュール名など、マスターサーバーのジョブ情報が示されます。

図 2-77 では、[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]レポートの表示例を示します。

図 2-77 [サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]レポート

Total Jobs of a Server

Job ID	Server Name	Client Name	Job Type	Job Status	Policy Name	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume(KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
30453	nb[illegible]app1[illegible]eritas.com	nbapp544	Backup	Successful	appesx23_AA	UNKNOWN	Jun 17, 2016 5:43:34 PM	00:28:48	0	0	0
30455	nb[illegible]pp1[illegible]ngb[illegible].com	appesx23-3par05	Snapshot	Successful	appesx23_AA	UNKNOWN	Jun 17, 2016 5:43:40 PM	00:28:42	0	0	0
30594	nt[illegible]app1[illegible]weri[illegible].com	appesx23-3par05	Backup	Successful	appesx23_AA	Full	Jun 17, 2016 6:06:40 PM	00:04:40	6,243.23	57,664	23,388

以下は[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	サーバーのすべてのジョブ
レポートのカテゴリ	[パフォーマンス (Performance)]レポート
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[パフォーマンスレポート (Performance Reports)]>[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)] ([ジョブの合計数 (Total Job Count)]列からドリルダウン)>[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]
レポートの目的	このレポートはマスターサーバーのジョブ情報を示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML

NOM レポートとのマッピング	[レポート (Reporting)]>[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[パフォーマンスレポート (Performance Report)]>[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)] ([成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)]列でドリルダウン)>[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]

次の表では、[サーバーのすべてのジョブ (Total Jobs of a Server)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択して、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータをレポートに表示します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

[バックアップジョブサイズの分散 (Backup Job Size Variance)]レポートには次のレポート拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)

このドリルダウンレポートは、[マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)]レポートで成功したジョブの数 (リンク) をクリックすると表示されます。この表形式レポートでは、サーバーのすべての成功したジョブの詳細が示されます。クライアント名、ポリシー名、スケジュール名、開始時刻、ファイルの数、持続期間、ボリューム、スループットなどの情報が表示されます。

図 2-78 では、[サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)]レポートの表示例を示します。

図 2-78 ［サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)］レポート

Successful Jobs of a Server

Job ID	Server Name	Client Name	Job Type	Policy Name	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume(KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
26	beloit.[illegible]mivitas.com	shogun	Backup	san_test	s1	Jun 24, 2016 11:39:13 PM	00:00:25	8,560.96	93,428	227,567
28	beloit.[illegible]mivetaas.com	beloit.min.veritas.com	Image Import	UNKNOWN	UNKNOWN	Jun 25, 2016 1:57:32 AM	00:00:01	0	0	0
30	beloit.[illegible]mirvitas.com	shogun	Backup	san_test	s1	Jun 25, 2016 2:22:45 AM	00:00:31	8,561.15	93,428	187,082
31	beloit.[illegible]mivetaas.com	shogun	Backup	Checkpoint	F	Jun 25, 2016 2:22:52 AM	00:04:34	23,233,280.08	51,205	223,096

Total 4 Rows , 1 Page(s)

以下は［サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)］レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	サーバーの成功したジョブ
レポートのカテゴリ	［パフォーマンス (Performance)］レポート
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［パフォーマンスレポート (Performance Reports)］>［マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)］（［成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)］列からドリルダウン）>［サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)］
レポートの目的	このレポートはマスターサーバーの成功したジョブを示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup アプライアンス
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［レポート (Reporting)］>［すべてのレポート (All Reports)］>［標準レポート (Standard Reports)］>［パフォーマンスレポート (Performance Report)］>［マスターサーバーのジョブのスループット (Master Server Job Throughput)］（［成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)］列でドリルダウン）>［サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)］

次の表では、[サーバーの成功したジョブ (Successful Jobs of a Server)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされるクライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

[サーバー (Server)]レポートの[成功したジョブ (Successful Jobs)]には次の拡張が行われています。

- 相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。
  過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- [次へ (Next)]オプションは[相対時間枠 (Relative Timeframe)]のドロップダウンメニューから削除されました。[次の 2 週間 (Next two weeks)]のような相対時間枠を入力することはできなくなりました。これは、レポートが将来のデータをサポートしないためです。

[メディアサーバーのジョブのスループット (Media Server Job Throughput)]レポート

このレポートは、NetBackup メディアサーバーによってバックアップされるデータの詳細を提供し、サーバーのスループットを示します。このレポートは、NetBackup 環境内にあるメディアサーバーのパフォーマンスを比較するための有益な手段になります。

円グラフは、各メディアサーバーで処理されたデータのボリュームの詳細を示します。円グラフの各ボリュームに対応する部分は、スループットの詳細へのドリルダウンリンクになっています。

[クライアントとメディアサーバーのジョブの詳細 (Job details for client and media server)]レポート	[クライアント名 (Client Name)]列から作成されるこのドリルダウンレポートは、特定のクライアント、ジョブ形式、ジョブ状態およびメディアサーバーに関する詳細を表示します。レポートの詳細には、ジョブ ID、ジョブ形式、終了状態、開始時間および期間 (秒) が含まれます。 このドリルダウンレポートでは、親レポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［メディアサーバーの 1 日ごとのスループット (Media Server Throughput per Day)］レポート	［スループット (KB/秒)(Throughput (KB/sec))］列から作成されるこのドリルダウンレポートでは、1 日ごとのスループットの分散を確認できます。スループットは、レポート期間の各日付に対応する棒グラフによって示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。

［NetBackup SAN クライアントのパフォーマンス (NetBackup SAN Client Performance)］レポート

このレポートは NetBackup 6.5 に固有であり、「SAN クライアント」と呼ばれるクライアントに接続したファイバーチャネルを示します。 青と黄色の棒はたとえば 1 日あたりのジョブの合計数を示すために一緒に積み上げられます。青い棒は LAN で実行されたジョブを示し、黄色い棒は SAN で実行されたジョブを表します。 紫色と黄色の線はその日に実行されたすべてのジョブに関するジョブの合計スループットを示します。紫色の線は LAN によるジョブの合計スループット、黄色の線は SAN によるジョブの合計スループットを示します。このレポートはバックアップに関して LAN から SAN へどのような割合でトラフィックが実行されているか、それによりどのようなパフォーマンス上の利点が得られるかを識別するのに役立ちます。

OpsCenter のポリシーレポートについて

この項では、ほとんどのストレージ領域を消費するポリシーなど NetBackup ポリシー情報を提供するポリシーレポートについて説明します。

［最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)］レポート	p.290 の「［最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)］レポート」を参照してください。
［ポリシー形式ごとのジョブの成功率 (Job Success Rate by Policy Type)］レポート	p.294 の「［ポリシー形式ごとのジョブの成功率 (Job Success Rate by Policy Type)］レポート」を参照してください。
［ポリシーの変更 (Policy Change)］レポート	p.295 の「［ポリシーの変更 (Policy Change)］レポート」を参照してください。
［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］レポート	p.296 の「［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］レポート」を参照してください。

[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)]レポート

このレポートには、NetBackup 環境で最も多くのデータをバックアップした上位 10 位までのポリシーが表示されます。レポートを編集し、1 つ以上のマスターサーバーに対して実行できます。

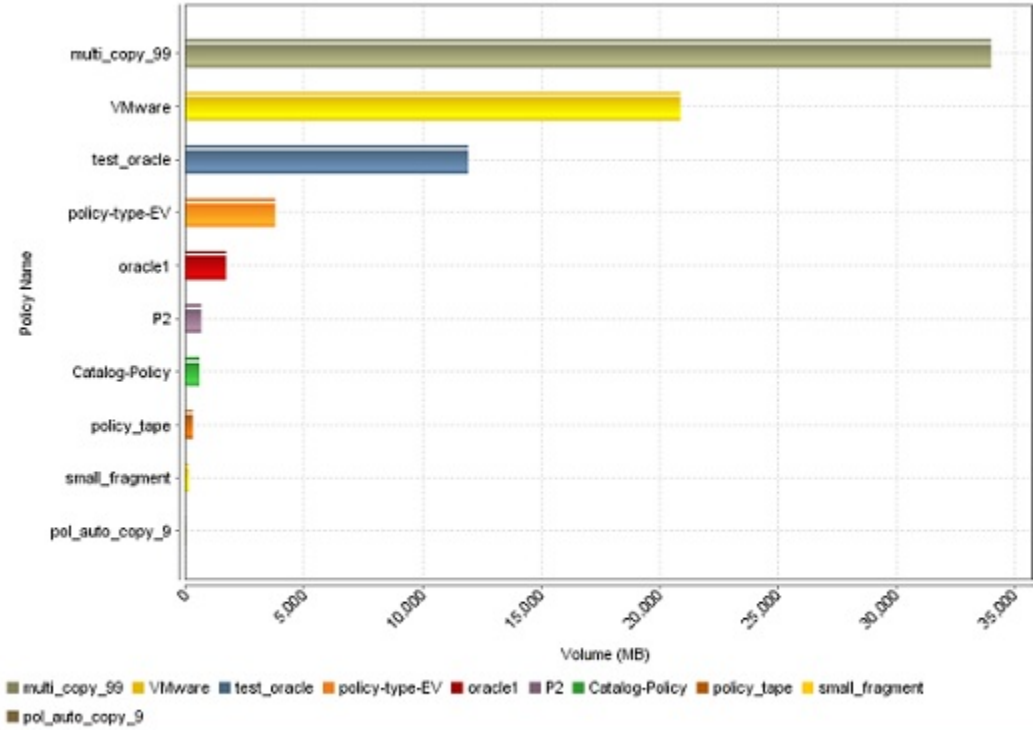
色分けされたそれぞれの棒グラフにカーソルを合わせると、ツールのヒントが表示されます。ツールのヒントにはマスターサーバーとポリシーが表示され、さらにデータ量が MB 単位で示されます。

レポート下部の[表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)]リンクをクリックすると、レポートの詳細が表形式で表示されます。表には各ポリシーの MB 単位のデータ量が表示されます。

メインレポートから[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]という名前の新しいドリルダウンレポートが利用できるようになりました。グラフの色分けされたバーから作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したポリシーのすべてのジョブに関する詳細が表示されます。このドリルダウンレポートには、ジョブの種類、状態コード、クライアント名、ボリューム (KB 単位) などの情報が表示されます。

図 2-79 に、[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)]レポートの表示例を示します。

図 **2-79** ［最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)］レポート



Ranking of backup policies by space consumption. This report is valid for NetBackup and NetBackup Appliance.

Show Chart as Table

［最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位
レポートのカテゴリ	ポリシー (Policy)
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［ポリシーレポート (Policy Reports)］>［最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies using most Server Space)］
レポートの目的	このレポートは、領域消費量によってバックアップポリシーのランク付けを示します。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。

サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	ランク付け (グラフ)
ドリルダウンレポート	ポリシーのジョブの詳細 p.293 の「ポリシーのジョブの詳細」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[ポリシー (Policy)]>[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies using most Server Space)]

次の表は、[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies using most Server Space)]レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ジョブ	ジョブの形式	選択されたジョブ形式のデータを表示するために、アーカイブ、バックアップ、リストアなど 1 つ以上のジョブ形式を選択します。 デフォルトでは、このレポートには次の種類のジョブに関する情報が表示されます。 ■ バックアップ ■ カタログバックアップ ■ Vault [値 (Value)]リストからジョブの種類を少なくとも 1 つ選択する必要があります。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のマスターサーバーまたはビューの[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies using

most Server Space)]レポートを実行すると、特定のマスターサーバーまたはビューのみの詳細を表示できます。

ポリシーのジョブの詳細

[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]という名前の新しいドリルダウンレポートは、[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using Most Server Space)]レポートで色分けされた棒グラフをクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートでは、選択したポリシーにすべてのジョブについての詳細が提供されます。

このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。このドリルダウンレポートには、ジョブの種類、状態コード、クライアント名、ボリューム (KB 単位) などの情報が表示されます。

図 2-80 では、[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]レポートの表示例を示します。

図 2-80 [ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]レポート

Job Details for Policy

Job ID	Policy Name	Server Name	Job Type	Status Code	Client Name	Start Time	End Time	Duration	Volume (KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
85	anyavaliablebkpstu	bnrx86rhfriend	Backup	0	bnrx86rhfriend	Jun 24, 2016 4:29:52 PM	Jun 24, 2016 4:31:39 PM	00:01:47	3,212,224	10	50,747
87	anyavaliablebkpstu	bnrx86rhfriend	Backup	0	bnrx86rhfriend	Jun 24, 2016 4:31:55 PM	Jun 24, 2016 4:33:03 PM	00:01:08	3,212,224	10	390,117
88	anyavaliablebkpstu	bnrx86rhfriend	Backup	0	bnrx86rhfriend	Jun 24, 2016 4:31:59 PM	Jun 24, 2016 4:33:07 PM	00:01:08	3,212,224	10	390,591
89	anyavaliablebkpstu	bnrx86rhfriend	Backup	0	bnrx86rhfriend	Jun 24, 2016 4:32:18 PM	Jun 24, 2016 4:33:27 PM	00:01:09	3,212,224	10	389,596

以下は[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)
レポートのカテゴリ	ドリルダウンレポート
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[ポリシーレポート (Policy Reports)]>[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using most Server Space)] (色分けされた棒グラフをクリック)
レポートの目的	このレポートには選択したポリシーのすべてのジョブが一覧表示されます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance

該当するビュー	マスターサーバー
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Report)]>[ポリシー (Policy)]>[最も多くのサーバー領域を使用しているポリシー上位 10 位 (Top 10 Policies Using most Server Space)]>[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]

次の表では、[ポリシーのジョブの詳細 (Job Details for Policy)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
ポリシー	ポリシーデータの分類名 ポリシー名	選択されたデータ分類名のポリシーのデータを表示するために、ゴールド (Gold)、シルバー (Silver)、ブロンズ (Bronze) など 1 つ以上のポリシーデータ分類名を選択します。 選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。

フィルタの使用例: 特定のポリシーデータ分類名に対してレポートを実行して、この特定のポリシー分類のみの詳細を表示できます。

[ポリシー形式ごとのジョブの成功率 (Job Success Rate by Policy Type)]レポート

このレポートは、ポリシー形式ごとにジョブの状態を簡潔に示します。レポートには、クライアント、サーバー、ジョブのポリシー形式ごとのジョブの成功率が表示されます。

棒グラフは、ポリシー形式ごとに、成功したジョブ、部分的に成功したジョブ、および失敗したジョブの数を示します。色分けされた棒グラフのツールのヒントはジョブの数を示し、またポリシーの詳細を参照するためのドリルダウンリンクにもなっています。

このレポートの表には、クライアント名、ポリシー形式、成功率など、ジョブの情報が表示されます。

メモ: このレポートは SLP ポリシーと関連付けられる複製ジョブの適切なデータを表示できない場合があります。

この問題は複製ジョブにポリシー形式がないため発生します。異なる可能性があるポリシーとポリシー形式から作成されたイメージの複製がジョブによってバッチ処理されます。複製ジョブ自体には作成された内部ポリシーがありますが、この内部ポリシーは、これがバックアップジョブではないためポリシー形式がありません。

［ポリシー形式ごとのジョブの詳細 (Job Details for Policy Type)］レポート	［ポリシー形式 (Policy Type)］列と色分けされた棒グラフから作成されるこのドリルダウンレポートには、選択したポリシー形式ごとにすべてのジョブの詳細が表示されます。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。 この表には、終了状態、クライアント名、ボリューム (KB 単位)、ファイル数などの情報が表示されます。
［ポリシー形式の成功したジョブの詳細 (Successful Job Details for Policy Type)］、［ポリシー形式の部分的に成功したジョブの詳細 (partially successful job details for policy type)］、［ポリシー形式の失敗したジョブの詳細 (Failed Job Details for Policy Type)］レポート	［成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)］、［部分的に成功したジョブの数 (Number of Partially Successful Jobs)］、または［失敗したジョブの数 (Number of Failed Jobs)］列から作成される、3 つのドリルダウンレポートがあります。ジョブの終了状態は、レポートのフィルタとして使用されます。これらのレポートは類似しており、選択したクライアントとポリシー形式に関する、すべてのジョブの詳細を示します。 このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。 このレポートの表には、ジョブのポリシーとスケジュール名、開始時間と終了時間、および期間などの詳細が表示されます。失敗したジョブの表には、ジョブの終了状態を示す列も含まれています。

［ポリシーの変更 (Policy Change)］レポート

このレポートは、選択したサーバーについて、特定の時間枠内でジョブのポリシーに行われた変更の数を示します。

円グラフは、各マスターサーバーのポリシーの変更の数を示します (ポリシーは複数回変更できます)。グラフでは、サーバーごとに異なる色が使用されます。円グラフのツールのヒントは、変更の数を示します。

このレポートの表は、各サーバーの各ポリシーに対して行われた変更の数を示します。

[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポート

このレポートは、ポリシーごとに動作の概略を示すダッシュボードとして機能します。動作の概要を示すとともに、他の詳細なレポートへのドリルダウンリンクを使用して、例外によるトラブルシューティングと管理を行うためのツールとして使用できます。

各ポリシーについて、次のような疑問に対する回答を得ることができます。

- ジョブの合計数は?
- 成功したジョブの数は?
- 部分的に成功したジョブの数は?
- 失敗したジョブの数は?

このレポートの表は、ポリシーごとに、ポリシーの名前と形式、ジョブのボリューム (MB 単位)、ジョブの数、ジョブの終了状態の数などの情報を示します。また、列内のジョブの終了状態の数からドリルダウンし、終了状態と、ジョブのポリシーおよび形式に基づいて、個々のポリシーの詳細を表示することもできます。

メインレポートの[ジョブの合計 (Total Jobs)]、[成功したジョブの数 (Number of Successful Jobs)]、[部分的に成功したジョブの数 (Number of Partially Successful Jobs)]、[失敗したジョブの数 (Number of Failed Jobs)]列から作成されるドリルダウンレポートがあります。これらのドリルダウンレポートはジョブの状態に基づいて、選択したポリシー名、サーバーと時間枠のすべてのジョブの概要を提供します。

これらのドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡される実行時パラメータが使用されます。

図 2-81 に、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートの表示例を示します。

図 2-81 ［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］レポート

Policy Summary Dashboard

Server Name	Policy Name	Policy Type	Volume (MB)	Average Throughput (KB/sec)	Total Jobs	Number of Successful Jobs	Number of Partially Successful Jobs	Number of Failed Jobs	Success Rate (%)
ccs-sol-qe-17	policy1	MS-Windows	0.02	0.24	1	1	0	0	100
ccs-sol-qe-17	policy_tape	MS-Windows	0.01	0.05	2	2	0	0	100
ccs-sol-qe-17	policy_tape	Standard	302.75	711.06	5	5	0	0	100
martina	Pol_020_Schedules	Standard	0.72	0	56	23	0	33	41.07
martina	Pol_100_Schedules	Standard	0.72	0	56	23	0	33	41.07
martina	Pol_100_Schedules_Test	Standard	0.72	0	56	23	0	33	41.07
martina	Pol_All-Local-Drives	Standard	0	0	4	0	0	4	0
martina	Pol_Attr_AllowMultStream	Standard	0.25	1.44	16	16	0	0	100
martina	Pol_Attr_BMR	Standard	0.25	1.24	18	8	10	0	44.44
martina	Pol_Attr_Compress	Standard	0.25	0	11	0	0	5	61.54
martina	Pol_Attr_CrossMountPoint	Standard	0.26	3.28	8	8	0	0	100
martina	Pol_Attr_DataClassification_Bronze	Standard	0	0	52	0	0	52	0
martina	Pol_Attr_DataClassification_Gold	Standard	0	0	50	0	0	50	0
martina	Pol_Attr_DataClassification_Platinum	Standard	0	0	51	0	0	51	0
martina	Pol_Attr_DataClassification_Silver	Standard	0	0	49	0	0	49	0
martina	Pol_Attr_Encrypt	Standard	0	0	21	0	0	21	0
martina	Pol_Attr_FollowNFS	Standard	0.25	3.51	8	8	0	0	100
martina	Pol_Attr_Keyword	Standard	0.25	3.12	8	8	0	0	100
martina	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	0	0	20	0	0	20	0
martina	Pol_Attr_PolicyType_DB2	DB2	0	0	26	0	0	26	0
martina	Pol_Attr_PolicyType_DataStore	DataStore	0	0	26	0	0	26	0
martina	Pol_Attr_PolicyType_DataToolSQLBackTrack	DataTools-SQL-BackTrack	0	0	48	0	0	48	0

［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］レポートに関連付けられている詳細は次のとおりです。

レポート名	ポリシーの概略のダッシュボード
レポートのカテゴリ	ポリシー (Policy)
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［ポリシーレポート (Policy Reports)］ > ［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］
レポートの目的	マスターサーバー、ポリシー、ポリシー形式別にサイズ、スループット、ジョブ件数、成功率を要約した表形式レポート。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	はい p.299 の「ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)」を参照してください。 p.300 の「ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)」を参照してください。 p.302 の「[ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)]レポート」を参照してください。 p.304 の「ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)」を参照してください。
スケジュール可能	はい
サポート対象のエクスポート形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[ポリシー (Policy)]>[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]

次の表は、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートに使用できるフィルタと、レポートに特定のデータを表示するための各フィルタの使用方法を示しています。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
成功率	部分的に成功したジョブを成功したと見なす	デフォルトで[はい (Yes)]が選択されています。 部分的に成功したジョブを成功したと見なさない場合は、[いいえ (No)]を選択します。 [はい (Yes)]または[いいえ (No)]を選択すると、レポートに示される[成功率 (Success Rate)]の割合に影響することがあります。あるポリシーで 5 つの成功したジョブ、3 つの部分的に成功したジョブ、2 つの失敗したジョブがあるとします。[はい (Yes)]の値を選択すると、[成功率 (Success Rate)]列は 80% と表示されます。一方、[いいえ (No)]の値を選択すると、[成功率 (Success Rate)]列は 50% と表示されます。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のマスターサーバーまたはビューの[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートを実行すると、特定のマスターサーバーまたはビューのみの詳細を表示できます。

ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)

このドリルダウンレポートは、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートの[ジョブの合計 (Total Jobs)]列で値 (リンク) をクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートでは、選択したポリシー名、サーバー、時間枠のすべてのジョブの概要が提供されます。このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。レポートには、ジョブのスケジュール名、開始時間、期間などの詳細が表示されます。

図 2-82 では、[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]レポートの表示例を示します。

図 2-82 [ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]レポート

Total Jobs for Policy

Job ID	Job Type	Status Code	Server Name	Client Name	Policy Name	Policy Type	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume(KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
31	Backup	0	beloit.mnritaxxxx.com	shogun	Checkpoint	Standard	F	Jun 25, 2016 2:22:52 AM	00:04:34	23,233,280	51,205	223,096

以下は[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	ポリシーのジョブの合計
レポートのカテゴリ	ポリシー (ドリルダウンレポート)
場所	[レポート (Report)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]>[ポリシーレポート (Policy Reports)]>[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)] (合計ジョブをクリック)>[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]
レポートの目的	このレポートには選択したポリシーのすべてのジョブが一覧表示されます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい

サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Report)]>[ポリシー (Policy)]>[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]>[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]

次の表では、[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーに対して[ポリシーのジョブの合計 (Total Jobs for Policy)]レポートを実行し、特定のポリシーのみの詳細を表示できます。

ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)

このドリルダウンレポートは、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートで成功したジョブ (リンク) をクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートでは、選択したポリシー名、サーバー、時間枠のすべての成功したジョブの概要が提供されます。このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。レポートには、ジョブのスケジュール名、開始時間、期間などの詳細が表示されます。

図 2-83 では、[ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)]レポートの表示例を示します。

図 2-83 ［ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)］レポート

Successful Jobs for Policy

Job ID	Job Type	Status Code	Server Name	Client Name	Policy Name	Policy Type	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume(KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
31	Backup	0	beloit.mirita[illegible].com	shogun	Checkpoint	Standard	F	Jun 25, 2016 2:22:52 AM	00:04:34	23,233,280	51,205	223,096

以下は［ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)］レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	ポリシーの成功したジョブ
レポートのカテゴリ	ポリシー (ドリルダウンレポート)
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［ポリシーレポート (Policy Reports)］>［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］ (［成功 (Successful)］ジョブをクリック)
レポートの目的	このレポートには選択したポリシーのすべての成功したジョブが一覧表示されます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	［すべてのレポート (All Reports)］>［標準レポート (Standard Report)］>［ポリシー (Policy)］>［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］>［ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)］

次の表では、［ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)］レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、［すべてのマイビュー (All My Views)］が選択されます。

フィルタ	列	説明
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーに対して[ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)]レポートを実行し、特定のポリシーのみの詳細を表示できます。

[ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)]レポート

このドリルダウンレポートは、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートで[部分的に成功したジョブの数 (Number of Partially Successful Jobs)]の値 (リンク) をクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートでは、選択したポリシー名、サーバー、時間枠のすべての部分的に成功したジョブの概要が提供されます。このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。レポートには、ジョブのスケジュール名、開始時間、期間などの詳細が表示されます。

図 2-84 では、[ポリシーの成功したジョブ (Successful Jobs for Policy)]レポートの表示例を示します。

図 2-84 ［ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)］レポート

Partial Jobs for Policy

Job ID	Job Type	Status Code	Server Name	Client Name	Policy Name	Policy Type	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume (KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
67939	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 14, 2011 12:00:00 AM	00:00:20	0	0	0
68131	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 15, 2011 12:00:00 AM	00:00:40	0	0	0
68320	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 16, 2011 12:00:00 AM	00:00:30	0	0	0
68508	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 17, 2011 12:00:00 AM	00:00:30	0	0	0
68687	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 18, 2011 12:00:00 AM	00:00:30	0	0	0
68872	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 19, 2011 12:00:00 AM	00:00:40	0	0	0
69050	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 20, 2011 12:00:00 AM	00:00:20	0	0	0
69243	Backup	1	martina	martina	Pol_Attr_BMR	Standard	UNKNOWN	Sep 21, 2011 12:00:00	00:00:30	0	0	0

以下は［ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)］レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	ポリシーの部分的に成功したジョブ
レポートのカテゴリ	ポリシー (ドリルダウンレポート)
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［ポリシーレポート (Policy Reports)］>［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］（［部分的に成功 (Partially Successful)］ジョブをクリック）>［ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)］
レポートの目的	このレポートには選択したポリシーのすべての部分的に成功したジョブが一覧表示されます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式
ドリルダウンレポート	いいえ

スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]> [標準レポート (Standard Report)]>[ポリシー (Policy)]>[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]>[ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)]

次の表では、[ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーに対して[ポリシーの部分的に成功したジョブ (Partial Jobs for Policy)]レポートを実行し、特定のポリシーのみの詳細を表示できます。

ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)

このドリルダウンレポートは、[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]レポートの[失敗したジョブの数 (Number of Failed Jobs)]列で値 (リンク) をクリックすると表示されます。このドリルダウンレポートでは、選択したポリシー名、サーバー、時間枠のすべての失敗したジョブの概要が提供されます。このドリルダウンレポートでは、メインレポートから渡された実行時パラメータが使用されます。レポートには、ジョブのスケジュール名、開始時間、期間などの詳細が表示されます。

図 2-85 では、[ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)]レポートの表示例を示します。

図 **2-85** ［ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)］レポート

Failed Jobs for Policy

Job ID	Job Type	Status Code	Server Name	Client Name	Policy Name	Policy Type	Schedule Name	Start Time	Duration	Volume (KB)	Number of Files	Throughput (KB/sec)
67837	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 13, 2011 4:55:06 AM	00:00:34	0	0	0
67924	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 13, 2011 5:05:50 PM	00:00:10	0	0	0
68018	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 14, 2011 4:59:32 AM	00:00:38	0	0	0
68113	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 14, 2011 5:10:18 PM	00:00:22	0	0	0
68206	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 15, 2011 5:04:12 AM	00:00:38	0	0	0
68303	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 15, 2011 5:14:59 PM	00:00:21	0	0	0
68394	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 16, 2011 5:07:38 AM	00:00:52	0	0	0
68491	Backup	58	martina	fafner	Pol_Attr_PolicyType_AFS	AFS	Full	Sep 16, 2011 5:19:16	00:00:24	0	0	0

以下は［ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)］レポートに関連付けられている詳細です。

レポート名	ポリシーの失敗したジョブ
レポートのカテゴリ	ポリシー (ドリルダウンレポート)
場所	［レポート (Report)］>［レポートテンプレート (Report Templates)］>［ポリシーレポート (Policy Reports)］>［ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)］ (失敗したジョブをクリック)>［ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)］
レポートの目的	このレポートには選択したポリシーのすべての失敗したジョブが一覧表示されます。このレポートは NetBackup と NetBackup アプライアンスの場合に有効です。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	表形式

ドリルダウンレポート	いいえ
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
NOM レポートとのマッピング	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Report)]>[ポリシー (Policy)]>[ポリシーの概略のダッシュボード (Policy Summary Dashboard)]>[ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)]

次の表では、[ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)]レポートのフィルタ、およびフィルタを使用してレポートの特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	レポートで、選択されたマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。
ポリシー	ポリシー名	選択されたポリシーのデータを表示する 1 つ以上のポリシー名を選択します。
	ポリシー形式	選択されたポリシー形式のデータを表示するために 1 つ以上のポリシー形式を選択します。

[フィルタの使用例 (Example of filter usage)]: 特定のポリシーに対して[ポリシーの失敗したジョブ (Failed Jobs for Policy)]レポートを実行し、特定のポリシーのみの詳細を表示できます。

OpsCenter のリストアレポートについて

この項では、すべての NetBackup のリストアおよびリカバリ操作のための情報を提供するリストアジョブのレポートについて説明します。これらのレポートは NetBackup にのみ適用可能です。

[ジョブ数ごとのリストアジョブの概略 (Restore Job Summary by Job Count)]レポート	p.307 の「[リストア (Restore)] > [ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)]」を参照してください。

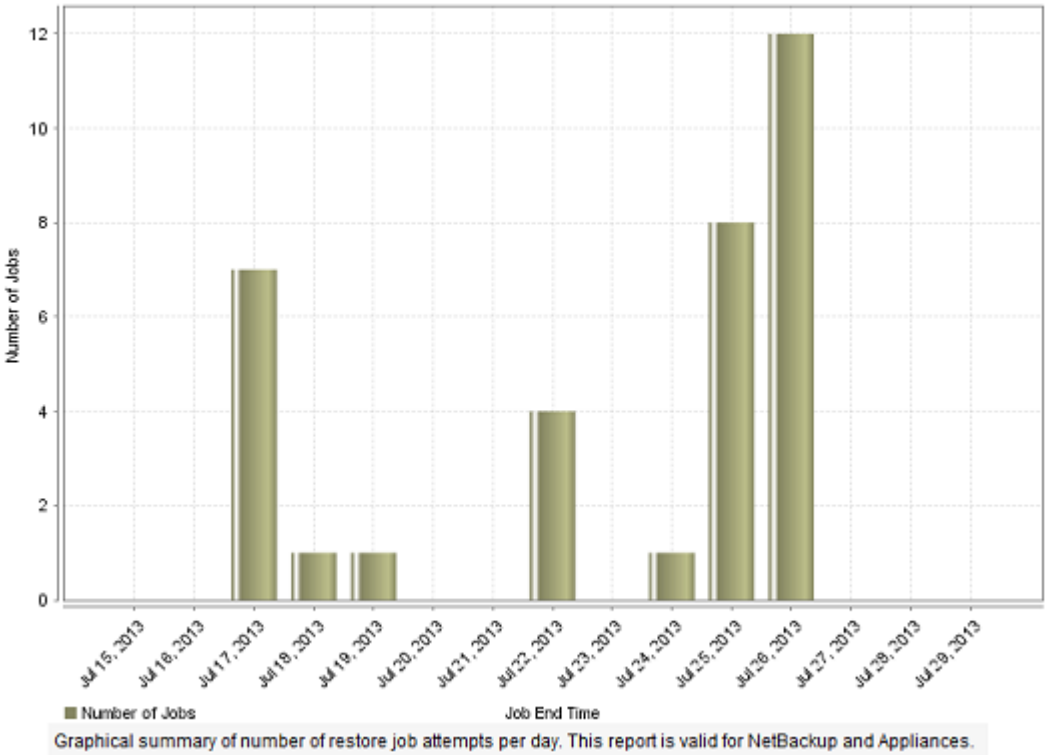
[リストアされたボリュームごとのリストアジョブの概略 (Restore Job Summary by Volume Restored)]レポート	p.310 の「[リストア (Restore)] > [リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)]」を参照してください。
[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポート	p.313 の「[リストア (Restore)] > [リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]」を参照してください。
[クライアントによるリストア (Client Restore)]レポート	p.316 の「[クライアントによるリストア (Client Restore)]レポート」を参照してください。

[リストア (Restore)] > [ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)]

このレポートは 1 日あたりのリストアジョブの数をまとめたグラフを示します。

図 2-86 に、[ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)]レポートの表示例を示します。

図 **2-86** ［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)］レポート



さらに、表形式のレポートも表示できます。

図 2-87 に、［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)］レポートの表示例を示します。

図 2-87 ［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)］レポート (表形式)

Job End Time	Number of Jobs
Jul 15, 2013	0
Jul 16, 2013	0
Jul 17, 2013	7
Jul 18, 2013	1
Jul 19, 2013	1
Jul 20, 2013	0
Jul 21, 2013	0
Jul 22, 2013	4
Jul 23, 2013	0

［ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	ジョブ数ごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Job Count)
レポートカテゴリ	バックアップ
場所	［すべてのレポート (All Reports)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［リストア (Restore)］> ［ジョブ数ごとのリストアジョブの概略 (Restore Job Summary by Job Count)］レポート
レポートの目的	1 日あたりのジョブの数をまとめたグラフ
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	はい。［リストアジョブ試行の詳細 (Restore Job Attempt Details)］を参照
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	［すべてのレポート (All Reports)］> ［標準レポート (Standard Reports)］> ［リストアジョブの概略 (Restore Job Summary)］

このレポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、このレポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

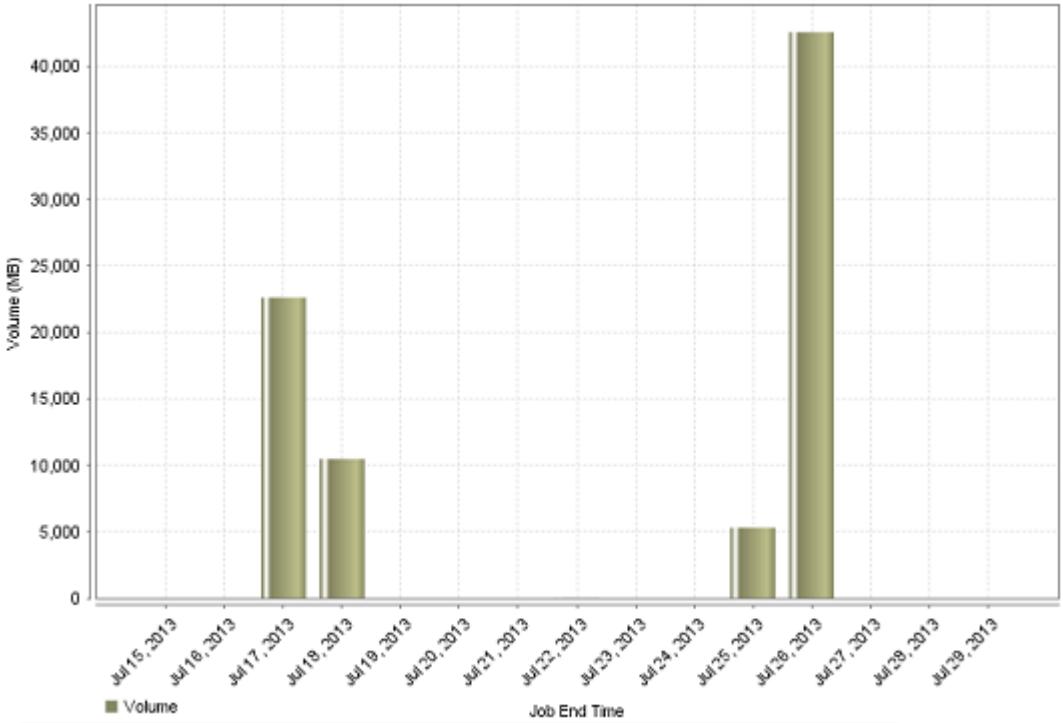
フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対してこのレポートを実行して、そのマスターサーバーの 1 日あたりのリストアジョブを表示できます。

[リストア (Restore)] > [リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)]

このレポートは 1 日あたりのリストアジョブのボリュームをまとめたグラフを示します。

図 2-88 に、[リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)]レポートの表示例を示します。

図 2-88 ［リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)］レポート



さらに、表形式の履歴レポートも表示できます。

図 2-89 に、［リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)］レポートの表示例を示します。

図 2-89 ［リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)］レポート (表形式)

Job End Time	Volume (MB)
Jul 15, 2013	0
Jul 16, 2013	0
Jul 17, 2013	22,579.75
Jul 18, 2013	10,460.1
Jul 19, 2013	0
Jul 20, 2013	0
Jul 21, 2013	0
Jul 22, 2013	7.93
Jul 23, 2013	0

［リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	リストアされたボリュームごとのリストアジョブ試行の概略 (Restore Job Attempt Summary by Volume Restored)
レポートカテゴリ	リストア (Restore)
場所	［すべてのレポート (All Reports)］> ［レポートテンプレート (Report Templates)］> ［リストア (Restore)］> ［リストアされたボリュームごとのリストアジョブの概略 (Restore Job Summary by Volume Restored)］レポート
レポートの目的	1 日あたりのリストアジョブの数をまとめたグラフ
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴
ドリルダウンレポート	はい。［リストアジョブ試行の詳細 (Restore Job Attempt Details)］を参照
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	［すべてのレポート (All Reports)］> ［標準レポート (Standard Reports)］> ［リストアジョブの概略 (Restore Job Summary)］

このレポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、このレポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenter コンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対してこのレポートを実行して、そのマスターサーバーのリストアされたボリュームごとのリストアジョブの概略を表示できます。

このレポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- サポート対象の形式に TSV、XML、PDF、HTML が新たに追加されました。

[リストア (Restore)] > [リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]

このレポートは選択した時間枠で完了したすべてのリストアジョブのリストを示します。

図 2-90 に、[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートの表示例を示します。

図 2-90 ［リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)］レポート

Restore Job Details

Job ID	Server Name	Type	Client Name	Media Server	Start Time	End Time	Attempt Number	Size(KB)	Count of Files
4	nbapp141.eng	Restore	nbapp141	nbapp141	Jul 17, 2013 8:58:14 AM	Jul 17, 2013 8:58:20 AM	1	30	1
8	nbapp141.eng	Restore	nbapp230	nbapp230	Jul 17, 2013 9:32:09 AM	Jul 17, 2013 9:32:14 AM	1	30	1
12	nbapp141.eng	Restore	nbapppoc07	nbapppoc07	Jul 17, 2013 12:31:00 PM	Jul 17, 2013 12:31:05 PM	1	30	1

［リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)］レポートに関連する詳細を次に示します。

レポート名	リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)
レポートカテゴリ	リストア (Restore)
場所	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［リストア (Restore)］ > ［リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)］レポート
レポートの目的	選択した時間枠で完了したすべてのジョブのリスト
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント
レポートの表示	履歴、ランキング、分布
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	［すべてのレポート (All Reports)］ > ［標準レポート (Standard Reports)］ > ［ジョブ (Jobs)］ > ［リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)］

[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して特定のマスターサーバーのレポートを表示することもできます。次の表に、[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートのフィルタと、これらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
マスターサーバー	マスターサーバー	1 つ以上のマスターサーバーを選択すると、選択したマスターサーバーによってバックアップされる仮想クライアントのデータがレポートに表示されます。OpsCenterコンソールに追加されるすべてのマスターサーバーが、[値 (Value)]ドロップダウンリストに示されます。

フィルタの使用例: 特定のマスターサーバーに対して[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートを実行して、そのマスターサーバーの完了したリストアジョブを表示できます。

[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートに対して次の拡張が行われました。

- 単位[年 (Years)]が、相対時間枠の選択のために追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。また、[表形式のバックアップ (Tabular Backup)]レポートの右上に[年間 (Years)]タブが表示されます。
- このレポートのデフォルトの相対時間枠が 28 日間から次の 2 週間に変更されました。

[リストアジョブの詳細 (Restore Job Details)]レポートのフィルタに対して次の拡張が行われました。

- 相対時間枠の選択単位に[週 (Weeks)]、[月 (Months)]、[年 (Years)]が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。
- このレポートのデフォルトの相対時間枠が過去 14 日間に変更されました。
- [経過時間 (Elapsed Time)]列が削除されました。
- サポート対象の形式に TSV、XML、PDF、HTML が新たに追加されました。
- [1 ページあたりの行数 (Rows per page)]パラメータの値が 20 から 100 に変更されました。

［クライアントによるリストア (Client Restore)］レポート

このレポートは、特定のクライアントのリストアジョブの詳細を示します。レポートの表には、マスターサーバーとメディアサーバーの名前、開始時間と終了時間などの情報が表示されます。

レポートを編集して、目的の列を表示したり非表示にすることができます。デフォルトではすべての列が表示されます。また、レポートをフィルタ処理して、1 つ以上のクライアントやビューなどの特定のサンプルセットのアクティビティを表示できます。

図 2-91 に、［クライアントによるリストア (Client Restore)］レポートのビューの例を示します。

図 2-91 ［クライアントによるリストア (Client Restore)］レポート

Client Restore

Job ID	Server Name	Client Name	Media Server	Start Time	End Time	Size(KB)	Count of Files
9405	purandar	purandar	purandar	Aug 3, 2011 7:55:03 PM	Aug 3, 2011 7:55:10 PM	31	1
9406	purandar	purandar	purandar	Aug 3, 2011 7:57:14 PM	Aug 3, 2011 7:57:21 PM	31	1
9422	purandar	purandar	ccs-sol-qe-11	Aug 4, 2011 2:02:46 PM	Aug 4, 2011 2:04:17 PM	4,610,656	21,880
9423	purandar	purandar	ccs-sol-qe-11	Aug 4, 2011 2:09:58 PM	Aug 4, 2011 2:10:11 PM	0	0
9424	purandar	purandar	ccs-sol-qe-11	Aug 4, 2011 2:14:29 PM	Aug 4, 2011 2:14:39 PM	0	0
9435	purandar	purandar	ccs-sol-qe-11	Aug 5, 2011 12:32:31 PM	Aug 5, 2011 12:34:38 PM	4,232,256	21,880

［クライアントによるリストア (Client Restore)］レポートと関連付けられる詳細は次のとおりです。

レポート名	クライアントによるリストア
レポートのカテゴリ	［クライアント (Client)］レポート
場所	［レポート (Report)］ > ［レポートテンプレート (Report Templates)］ > ［クライアントレポート (Client Reports)］ > ［クライアントによるリストア (Client Restore)］
レポートの目的	特定のクライアントのすべてのリストアジョブのリストを表示します。
サポート対象の製品	NetBackup、NetBackup Master Appliance、NetBackup PureDisk
該当するビュー	マスターサーバー、クライアント

レポートの表示	なし
ドリルダウンレポート	なし
スケジュール可能	はい
サポート対象の形式	PDF、CSV、TSV、XML、HTML
Mapping with NOMレポート	[すべてのレポート (All Reports)]>[標準レポート (Standard Reports)]>[クライアント (Client)]>[クライアントによるリストア (Client Restore)]

次の表に、[クライアントによるリストア (Client Restore)]レポートのフィルタ、およびこれらのフィルタを使ってレポートに特定のデータを表示する方法を示します。

フィルタ	列	説明
表示		レポートで、選択されたビューのデータを表示するビューを選択します。デフォルトでは、[すべてのマイビュー (All My Views)]が選択されます。
クライアント	クライアント名	レポートで、選択されたクライアントのデータを表示する 1 つ以上のクライアントを選択します。OpsCenter コンソールでマスターサーバーによって保護されるすべてのクライアントが表示されます。

フィルタの使用例: 特定のクライアントに対して[クライアントによるリストア (Client Restore)]レポートを実行して、この特定のクライアントのみの詳細を表示できます。

相対時間枠の選択のために、[年間 (Years)]単位が追加されました。過去 X 年のデータを表示できるようになりました。レポートの右上から[年 (Year)]を選択できます。

ストレージライフサイクルポリシーレポートについて

この項では、NetBackup ストレージライフサイクルポリシー (SLP) と NetBackup 自動イメージレプリケーション (AIR) についての情報を提供するストレージライフサイクルポリシーレポートについて説明します。マスターごとの SLP サイズ、進行状況、バックログの詳しい情報も含まれます。

OpsCenter の[**ストレージライフサイクルポリシー** (Storage Lifecycle Policy)]レポートは、ストレージライフサイクルポリシーの宛先にまたがってエンドツーエンドで表示できるようにするのに役立ちます。自動イメージレプリケーション機能を使うと、NetBackup ドメイン間でイメージをレプリケートできます。SLP でストレージ先として別のマスターサーバーを指定できます。OpsCenter の SLP レポートは、複製イメージのバックアップから NetBackup の異なるドメインへのインポートまでを含む SLP 処理のエンドツーエンドビューを示します。SLP レポートは SLP の各手順が実行されているかどうかを検証し、考えられるボトルネックを識別します。

OpsCenter の[**ストレージライフサイクルポリシー** (Storage Lifecycle Policy)]レポートは、次の質問の答えを見つけるのに役立ちます。

- SLP はスケジュールに従って実行されているか。
- 2 つ目、3 つ目、それ以降のコピーは行われているか。元のイメージはまだ存在するか。
- データ損失が発生する危険があるか。あるフェーズのコピーが間もなく期限切れになり、以降のフェーズのコピーは行われていない。
- バックログはどうなっているか。それは徐々に悪い状態になっているか。

SLP レポートについて次のポイントを見直します。

- SLP レポートは NetBackup にのみ適用可能です。
- SLP レポートは 7.1 以上のマスターサーバーでのみ実行できます。7.0 (または 7.0.1) から 7.1 マスターサーバーにアップグレードした場合、SLP レポートは 7.0 または 7.0.1 のマスターサーバーのイメージも表示します。

  NetBackup を 7.0 または 7.0.1 から 7.1 にアップグレードした場合に SLP 定義が複数のバックアップ操作を含んでいれば、最初のコピーは「バックアップ」としてマーク付けされ、残りは「複製」としてマーク付けされます。たとえば、2 つの宛先がバックアップ用であり 2 つが複製用である 4 つの宛先を含む SLP を作成した場合は、イメージコピーのデータでは最初のコピーがバックアップとしてマークされ、残りが複製としてマークされます。
- SLP レポートに示されるデータは、NBSL によって NetBackup カタログと SLP の作業リストから収集されます。一度初回のデータ収集が完了したら、更新データが 15 分ごとに NetBackup カタログから、10 分ごとに SLP の作業リストから収集されます。SLP の作業リストは EMM にあり、作成する必要があるコピー数、作成の必要がある場所、完了のタイミングなどのメタデータを含んでいます。

  SLP レポートで表示されるデータは SLP の作業リストと NetBackup カタログに存在するイメージデータに基づいています。
- 重複排除、圧縮、またはイメージまたはコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
- デフォルトでは、SLP レポートのデータは 90 日後に OpsCenter のデータベースからパージされます。また、[設定 (Settings)]>[構成 (Configuration)]>[データのパージ (Data Purge)]から、SLP イメージのパージ間隔をカスタマイズすることもできます。
- 一般に、SLP レポートのコピーデータ ([完了したコピー (Copies Completed)]列など) は SLP の作業リストから収集されるデータに基づいています。バックアップが完了すると、EMM によって SLP 作業リストが作成されます。OpsCenter は 10 分ごとにこのデータを収集し、SLP レポートに表示します。SLP 作業リストの作成タイミングおよび OpsCenter のデータ収集のサイクルに応じて、OpsCenter のレポートはコピーデータの詳細を示します。

- すべての SLP レポートの時間枠フィルタは (イメージのコピーではなく) プライマリバックアップイメージが作成された時間に基づいています。たとえば、5 月 7 日の午後 1 時から 5 月 8 日の午後 1 時の期間で[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを表示した場合、5 月 8 日の午後 1 時以降に SLP で作成されたコピーも表示される可能性があります。時間枠フィルタは、コピー作成時間ではなく、プライマリバックアップイメージが作成された時間に基づいているため、これらのコピーが表示される可能性があります。
- SLP レポートは非 SLP ベースの複製を考慮しません。
- SLP のカスタムレポートの作成はサポートされていません。

2 つの高レベルの SLP レポートは次のとおりです。

SLP 状態レポート	p.319 の「SLP 状態レポート」を参照してください。
SLP バックログレポート	p.324 の「SLP バックログレポート」を参照してください。

SLP レポートを使う前に、NetBackup の SLP と自動イメージレプリケーションの概念を理解する必要があります。

p.319 の「SLP と自動イメージレプリケーションについて」を参照してください。

SLP と自動イメージレプリケーションについて

このセクションでは NetBackup の SLP と自動イメージレプリケーションを簡単に説明します。

ストレージライフサイクルポリシー (SLP) は、データの保存場所と保存期間を指定するストレージ計画です。SLP はバックアップイメージが最初に書き込まれる場所と、その後に複製される場所を決定します。NetBackup 7.1 では、1 つのストレージドメインから別のドメインに業務の継続計画の目的でバックアップイメージまたはコピーを複製することもできます。つまり、現在は 1 つのマスターサーバーから別のマスターサーバーにバックアップイメージをコピーすることも、SLP のストレージ宛先として異なるマスターサーバーを指定することもできます。

NetBackup の SLP と自動イメージレプリケーション機能を使うと、データ値の日数経過に合わせてデータを異なるマスターサーバーの各ストレージ層に移動できます。

SLP と自動イメージレプリケーション機能について詳しくは、『NetBackup 管理者ガイド』を参照してください。

SLP 状態レポート

SLP 状態レポートはマスターサーバーに関連付けられているライフサイクルポリシーの概略を提供します。SLP 状態レポートは OpsCenter コンソールに追加される各マスター

サーバーについて、選択した時間枠の SLP の現在の進捗を知らせる表形式のレポートです。

SLP 状態レポートは SLP のアクティビティを簡単に説明し、不完全な SLP を識別できるようにします。すべての複製 (コピー) が完全かどうかを確認できます。

SLP 状態レポートのリンクをクリックすることによって、詳細レポートにドリルダウンできます。ドリルダウンレポートを使って、不完全な SLP、イメージ、またはイメージのコピーに焦点を合わせることができます。また、各宛先と各 SLP について SLP の状態を表示することもできます。

SLP 状態レポートから、次のレポートにドリルダウンできます。

[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポート	p.325 の「[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポート」を参照してください。 [SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートから、次のレポートにドリルダウンできます。 ■ [宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポート p.344 の「[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポート」を参照してください。 ■ [SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポート p.348 の「[SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポート」を参照してください。
[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポート	p.330 の「[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポート」を参照してください。
[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポート	p.335 の「[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポート」を参照してください。
[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポート	p.341 の「[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポート」を参照してください。

SLP 状態レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	SLP が動作するマスターサーバー (リンク) の名前。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] という名前のドリルダウンレポートを表示するためには、マスターサーバー (リンク) をクリックします。
最も古い未終了のイメージ (Oldest Unfinished Image)	この列は選択したマスターサーバーで SLP が不完全である最も古いイメージについて知らせます。この列はイメージの終了時間 (および終了日) を表します。この列のデータは、SLP 処理で発生する可能性があるボトルネックを識別するのに役立ちます。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
クライアントの合計 (Total Clients)	選択したマスターサーバーで SLP によってバックアップされる一意のクライアントの数。同じクライアントが SLP によって 2 回または 3 回バックアップされても、そのクライアントは 1 回のみカウントされることに注意してください。[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
既存イメージの合計 (Total Existing Images)	選択したマスターサーバー上の SLP に対して OpsCenter データベースに存在するイメージの合計数 (SLP が完全なイメージと SLP が不完全なイメージの両方を含む)。特定のマスターサーバーの [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。このレポートは選択したマスターサーバー上の SLP に関連付けられている OpsCenter データベースのイメージの詳細を表示します。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)	選択したマスターサーバーに対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの割合。この列は SLP 状態レポートの次の列のデータを使って計算されます。 ■ SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete) ■ 既存イメージの合計 (Total Existing Images) [イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)] 列の内容は次の式を使用して計算されます。 [SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)]/[既存イメージの合計 (Total Existing Images)] * 100 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。特定の SLP に対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
SLP が未完了のイメージ (Images Not SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が不完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。OpsCenter データベース内の SLP が不完全なイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内のイメージコピーの合計数 (完全なコピーと不完全なコピーの両方を含む)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。
% コピー完了 (% Copy Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内の完了したコピーの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。この列のデータは [SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートの次の列のデータを使用して計算されます。 ■ 完了したコピー (Copies Completed) ■ 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies) [% コピー完了 (% Copy Complete)]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピー (Copies Completed)]/[想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)] * 100
完了したコピー (Copies Completed)	選択したマスターサーバー上の SLP に対して OpsCenter データベースに存在する完了したコピーの数。[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択したマスターサーバーに対する OpsCenter データベース内の完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。 レポートを編集するときにこの列を削除できます。

未完了のコピー (Copies Not Complete)	選択したマスターサーバー上の SLP に対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの数。この列は次の式を使用して計算されます。 [未完了のコピー (Copies Not Complete)] = [想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)] - [完了したコピー (Copies Completed)] [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択したマスターサーバーに対して不完全な OpsCenter データベース内のイメージコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))	OpsCenter データベースに存在する、選択したマスターサーバー上の SLP のすべてのコピーの予想合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] は次の式を使用して計算されます。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] = (コピーの数) * (バックアップコピーのサイズ) **メモ:** [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] はフロントエンドのサイズで、バックアップコピーのサイズをコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] に対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))	選択したマスターサーバーに対して完了したコピーのサイズのパーセント。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 特定のマスターサーバーの [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))] は SLP 状態レポートの次の列のデータを使って計算されます。 ■ 完了したコピーサイズ (Completed Copy Size) ■ 予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies) [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))] 列の内容は、各マスターサーバーに対して次の式を使用して計算されます。 [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]/[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies)] * 100

完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	選択したマスターサーバーに対する OpsCenter データベース内のすべての完了したコピーの合計サイズ。レポートを編集するときにこの列を削除できます。注意: [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)] はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))	選択したマスターサーバーに対して作成される残りのすべてのコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 特定のマスターサーバーの [残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))] は次の方法で計算されます。 (残りのコピー数) x (バックアップコピー 1 のサイズ) **メモ:** [残りのコピーサイズ (Remaining Copy Size)] はフロントエンドのサイズで、バックアップコピー 1 のサイズを残りのコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または残りのコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

SLP 状態レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは SLP 状態レポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。

SLP バックログレポート

SLP バックログレポートでは SLP のバックログ全体を一目で監視できます。このレポートは、作成されたイメージと SLP が不完全なイメージの傾向を折れ線グラフの形式で示します。このレポートは、選択した時間枠と選択した SLP のイメージ作成ボリュームに対して SLP のバックログがどのように表示されるかを示します。このレポートの折れ線グラフを比較することによって、コピーが作成される速度と、コピーを必要とするイメージが作成される速度について理解することができます。このレポートは、SLP の実行効率に関する経験的証拠と、その容量の可視化を提供します (つまり、アウトフローが徐々に遅れ始める時点を示します)。

SLP バックログレポートのデータは深夜 (OpsCenter Server のクロックで午前 0 時) に OpsCenter データベースから収集されます。SLP バックログレポートのデータ収集は、それ以降 24 時間ごとに行われます。このレポートはグラフと表形式の両方で利用可能です。表形式でレポートの詳細を表示するためには、レポートの下部にあるリンク [表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)] をクリックします。

レポートの特定のデータを表示するためにレポートを編集できます。また、このレポートを保存することもできます。SLP バックログレポートを保存し、保存されたレポートをしばらくしてから実行するときは、レポートに現在のデータが表示されることに注意してください。参照用にこのレポートをエクスポートするか、または電子メールで送ることができます。

SLP バックログレポートに表示されるデータ (作成されたイメージと未完成のイメージ) は、デフォルトでは GB 単位であることに注意してください。レポートを編集し、KB、MB、または TB に単位を変更できます。SLP バックログレポートのデフォルトの時間枠は過去 2 週間です。

SLP バックログレポートを編集している間、データを表示する時間枠をグループ化できます。ただし、SLP バックログレポート用にグループ化する時間枠は次の間隔でのみサポートされます。

- 1 日
- 1 週間
- 1 か月

SLP バックログレポートは他の時間枠の分類 (2 日、3 か月、1 分、または 4 週間など) はサポートしません。

SLP バックログレポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは SLP バックログレポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	選択した SLP のデータを表示するために 1 つ以上の SLP を選択します。

[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポート

SLP レポートのマスターサーバー (リンク) をクリックすると、[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポートを表示できます。選択したマスターサーバーで構成されている各 SLP の状態に関する詳しい情報が提供されます。

[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポートを使うと、各 SLP の進捗を監視し、さらに発生する可能性があるボトルネックをすばやく識別することができます。

[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	SLP が動作するマスターサーバーの名前。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP 名 (SLP Name)	マスターサーバーで構成されている SLP (リンク) の名前。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)] レポートを表示するためには名前 (リンク) をクリックします。
SLP バージョン (SLP Version)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に関連付けられているバージョン (リンク)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)] レポートを表示するためにはバージョン (リンク) をクリックします。
最も古い未終了のイメージ (Oldest Unfinished Image)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が完全でない最も古いイメージ。この列はイメージの終了時間 (および終了日) を表します。このデータは特定の SLP で発生する可能性があるボトルネックを識別するのに役立ちます。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
クライアントの合計 (Total Clients)	特定の SLP によってバックアップされる一意のクライアント (リンク) の数。同じクライアントが SLP によって 2 回または 3 回バックアップされても、そのクライアントは 1 回のみカウントされることに注意してください。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。
既存イメージの合計 (Total Existing Images)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して OpsCenter データベースに存在するイメージの合計数。これには SLP が完全なイメージと SLP が不完全なイメージの両方が含まれます。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 数値 (リンク) をクリックします。選択されたマスターサーバー上にある特定の SLP に対するレポートが [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)] により表示されます。このレポートは選択したマスターサーバー上の SLP に関連付けられている OpsCenter データベースのイメージの詳細を表示します。

イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポートの次の列のデータを使用して計算されます。 ■ SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete) ■ 既存イメージの合計 (Total Existing Images) [イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)]/[既存イメージの合計 (Total Existing Images)] * 100
SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。特定の SLP に対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
SLP が未完了のイメージ (Images Not SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して SLP が不完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。OpsCenter データベース内の SLP が不完全なイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内のイメージコピーの合計数 (完全なコピーと不完全なコピーの両方を含む)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。

% コピー完了 (% Copy Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内の完了したコピーの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは［SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)］レポートの次の列のデータを使用して計算されます。 ■ 完了したコピー (Copies Completed) ■ 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies) ［% コピー完了 (% Copy Complete)］列の内容は次の式を使用して計算されます。 ［完了したコピー (Copies Completed)］/［想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)］ * 100
完了したコピー (Copies Completed)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して OpsCenter データベースに存在する完了したコピーの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 ［イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)］レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択したマスターサーバーに対する OpsCenter データベース内の完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
未完了のコピー (Copies Not Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの数を示します。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の式を使用して計算されます。 ［未完了のコピー (Copies Not Complete)］ = ［想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)］ - ［完了したコピー (Copies Completed)］ ［イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)］レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択した SLP に対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。

予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))	OpsCenter データベースに存在する、選択した SLP のすべてのコピーの予想合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の式を使用して計算されます。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] = (特定の SLP のコピーの数) * (特定の SLP のバックアップコピーのサイズ) **メモ:** [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピーのサイズをコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]に対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して完了したコピーのサイズの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピーサイズ (Completed Copy Size) ■ 予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies) [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]/[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies)] * 100
完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対する OpsCenter データベース内のすべての完了したコピーの合計サイズ。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 **メモ:** [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP に対して作成される残りのすべてのコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の方法で計算されます。 (特定の SLP の残りのコピー数) x (特定の SLP のバックアップコピーのサイズ) **メモ:** [残りのコピーサイズ (Remaining Copy Size)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピー 1 のサイズを残りのコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または残りのコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	選択した SLP のデータを表示するために 1 つ以上の SLP を選択します。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポート

[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートは、SLP 状態レポートおよび[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートからドリルダウンレポートとして利用可能です。次のレポートの[クライアントの合計 (Total Clients)]列のリンクをクリックすると、[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートを表示できます。

- SLP 状態
- SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP) ([クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートのフィルタ処理されたビューが表示されます)

[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートを使うと、SLP に関連付けられている各クライアントの SLP の進捗を監視できます。このレポートはクライアントを保護する SLP の詳細を知るために役立ちます。

このレポートは元のマスターサーバー (データがバックアップされているマスターサーバー) と SLP が現在動作しているマスターサーバーについての詳細を提供します。これら 2 つのマスターサーバーは自動イメージレプリケーションの場合には異なることがあります。

[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	クライアントに関連付けられている SLP が存在するマスターサーバーの名前。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP 名 (SLP Name)	選択したマスターサーバーとクライアントに関連付けられている SLP の名前。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP バージョン (SLP Version)	特定の SLP に関連付けられているバージョン。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
クライアント名 (Client Name)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP によってバックアップされるクライアント名 (リンク)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためにはクライアント名 (リンク) をクリックします。[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートは特定のクライアントと特定の SLP に対してフィルタ処理されます。
元のマスターサーバー (Origin Master Server) (イメージ作成元)	[**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]はプライマリバックアップコピーが存在する場所です。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。[**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]は NetBackup 7.1 以降のマスターサーバーである必要があり、OpsCenter コンソールに追加される必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

最も古い未終了のイメージ (Oldest Unfinished Image)	この列は、選択したマスターサーバー、SLP、クライアントに対して SLP が完全でない最も古いイメージについて知らせます。この列はイメージの終了時間 (および終了日) を表します。このデータは特定の SLP で発生する可能性があるボトルネックを識別するのに役立ちます。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
既存イメージの合計 (Total Existing Images)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して OpsCenter データベースに存在するイメージの合計数。これには SLP が完全なイメージと SLP が不完全なイメージの両方が含まれます。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 数値 (リンク) をクリックします。選択されたマスターサーバー上にある特定の SLP に対するレポートが［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］により表示されます。このレポートは選択したマスターサーバー上の SLP とクライアントに関連付けられている OpsCenter データベースのイメージの詳細を表示します。
イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 このレポートのデータは［クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)］レポートの次の列から計算されます。 ■ SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete) ■ 既存イメージの合計 (Total Existing Images) ［イメージ % SLP 完了 (Images % SLP Complete)］列のデータは次の式を使用して計算されます。 ［SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)］/［既存イメージの合計 (Total Existing Images)］ * 100
SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 ［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。特定の SLP とクライアントに対して SLP が完全な OpsCenter データベース内のイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。

SLP が未完了のイメージ (Images Not SLP Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して SLP が不完全な OpsCenter データベース内のイメージの数。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。OpsCenter データベース内の SLP が不完全なイメージの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)	OpsCenter データベースで想定される、選択したマスターサーバーにある特定の SLP とクライアントの合計コピー数 (完全なコピーと不完全なコピーの両方を含む)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。
% コピー完了 (% Copy Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対する OpsCenter データベース内の完了したコピーの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピー (Copies Completed) ■ 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies) [% コピー完了 (% Copies Complete)]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピー (Copies Completed)]/[想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)] * 100
完了したコピー (Copies Completed)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して OpsCenter データベースに存在する完了したコピーの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択したマスターサーバーに対する OpsCenter データベース内の完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。

未完了のコピー (Copies Not Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの数を示します。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の式を使用して計算されます。 [未完了のコピー (Copies not Complete)] = [想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)] - [完了したコピー (Copies Completed)] [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択した SLP に対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))	OpsCenter データベースに存在する、選択した SLP およびクライアントのすべてのコピーの予想合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の式を使用して計算されます。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] = (コピーの数) * (バックアップコピーのサイズ) **メモ:** [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピーのサイズをコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]に対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して完了したコピーのサイズの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピーサイズ (Completed Copy Size) ■ 予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies) [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]/[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies)] * 100

完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対する OpsCenter データベース内のすべての完了したコピーの合計サイズ。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 **メモ:** ［完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)］はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とクライアントに対して作成される残りのすべてのコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列の内容は次の方法で計算されます。 (残りのコピー数) x (バックアップコピー 1 のサイズ) **メモ:** ［残りのコピーサイズ (Remaining Copy Size)］はフロントエンドのサイズで、バックアップコピー 1 のサイズを残りのコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または残りのコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

［クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)］レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは［クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)］レポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	選択した SLP のデータを表示するために 1 つ以上の SLP を選択します。
クライアント (Client)	選択したクライアントのデータを表示するために 1 つ以上のクライアントを選択します。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］レポート

［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］レポートは、SLP 状態レポート、［SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)］レポート、［クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)］レポートからドリルダウンレポートとして利用可能です。次の列

のリンクをクリックすると、[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを表示できます。

- 既存イメージの合計 (Total Existing Images)
- SLP が完了したイメージ (Images SLP Complete) ([イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートのフィルタ処理されたビューが表示されます)
- SLP が未完了のイメージ (Images Not SLP Complete) ([イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートのフィルタ処理されたビューが表示されます)

[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートでは、SLP に関連付けられているイメージのライフサイクルを監視できます。このレポートは、どのイメージが特定の SLP に対して完全または不完全であるかを確認し、SLP 処理のボトルネックを識別するのに役立ちます。このレポートは、特定のイメージがマスターサーバー間でどのように複製されるかを示します。また、そのイメージに直接関係する詳細情報 (バックアップ時間、SLP の完了日時、各イメージに関連付けられているコピー、そのコピーの状態など) も提供します。[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]によるレポートは、SLP を完了していないイメージ ID の識別に役立ちます。

[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	SLP が動作するマスターサーバーの名前。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP 名 (SLP Name)	選択したマスターサーバーとイメージに関連付けられている SLP の名前。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP バージョン (SLP Version)	特定の SLP に関連付けられているバージョン (リンク)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。[SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポートを表示するためにはバージョン (リンク) をクリックします。
ポリシー名 (Policy Name)	SLP に関連付けられているポリシー。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
スケジュール名 (Schedule Name)	ポリシーに関連付けられているスケジュール。レポートを編集するときにこの列を削除できます。
クライアント名 (Client Name)	選択したマスターサーバーの SLP によってバックアップされるクライアント名。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

元のマスターサーバー (Origin Master Server) (イメージ作成元)	[**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]はプライマリバックアップコピーが存在する場所です。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。元のマスターサーバーとSLP が存在する (または現在動作している) マスターサーバーは、自動イメージレプリケーションを使う場合は異なることがあります。 [**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]は NetBackup 7.1 以降のマスターサーバーである必要があり、OpsCenterコンソールに追加される必要もあります。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
イメージ ID (Image ID)	イメージに関連付けられているイメージ ID (リンク)。イメージ ID は各イメージに対して一意です。[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを表示するためにはイメージ ID (リンク) をクリックします。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
バックアップ時刻 (Backup Time)	プライマリバックアップが完了する日時。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP の完了日時 (SLP Completion Time)	イメージの SLP が完了する日時。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
遅延時間 (Lag Time) ([SLP の完了日時 (SLP Completion Time)] - [バックアップ時刻 (Backup Time)])	[遅延時間 (Lag Time)]は SLP を完了するのに必要とされた時間を示し、複製の速度を判断するのに役立ちます。[遅延時間 (Lag Time)]は秒単位で表示されます。 特定のイメージのコピーの遅延時間は次の列のデータと次の式を使って計算されます。 [遅延時間 (Lag Time)] = [SLP 完了時間 (SLP Completion Time)] - [バックアップ時刻 (Backup Time)] この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)	OpsCenter データベースで想定される、選択したマスターサーバーにある特定の SLP とイメージの合計コピー数 (完全なコピーと不完全なコピーの両方を含む)。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

完了したコピー (Copies Completed)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対して OpsCenter データベースに存在する完了したコピーの数。 ［イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)］レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択したマスターサーバーに対する OpsCenter データベース内の完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。 レポートを編集するときにこの列を削除できます。
未完了のコピー (Copies Not Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの数を示します。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の式を使用して計算されます。 ［未完了のコピー (Copies not Complete)］= ［想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)］- ［完了したコピー (Copies Completed)］ ［イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)］レポートを表示するためには数値 (リンク) をクリックします。選択した SLP に対する OpsCenter データベース内の不完全なコピーの詳細を示すレポートの、フィルタ処理されたビューが表示されます。
% コピー完了 (% Copy Complete)	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対する OpsCenter データベース内の完了したコピーの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピー (Copies Completed) ■ 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies) この列の内容は次の式を使用して計算されます。 ［完了したコピー (Copies Completed)］/［想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)］ * 100

予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))	OpsCenter データベースに存在する、選択した SLP とイメージのすべてのコピーの予想合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。この列のデータは次の式を使用して計算されます。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] = (コピーの数) * (バックアップコピーのサイズ) **メモ:** [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピーのサイズをコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]に対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対する OpsCenter データベース内のすべての完了したコピーの合計サイズ。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 **メモ:** [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対して完了したコピーのサイズの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピーサイズ (Completed Copy Size) ■ 予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies) [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]/[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies)] * 100

残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対して作成される残りのすべてのコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは次の方法で計算されます。 (残りのコピー数) x (バックアップコピー 1 のサイズ) **メモ:** [残りのコピーサイズ (Remaining Copy Size)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピー 1 のサイズを残りのコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または残りのコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	次の列を選択できます。 ■ SLP 名 (SLP Name): 選択した SLP のデータを表示するために 1 つ以上の SLP を選択します。 ■ SLP の状態 (SLP status): データを表示する SLP の状態を選択します。
ポリシー (Policy)	選択したポリシーのデータを表示するために 1 つ以上のポリシーを選択します。
スケジュール (Schedule)	選択したスケジュールのデータを表示するために 1 つ以上のスケジュールを選択します。
クライアント (Client)	選択したクライアントのデータを表示するために 1 つ以上のクライアントを選択します。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポート

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートは、SLP 状態レポート、[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポート、[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポートからドリルダウンレポートとして利用可能です。次の列のリンクをクリックすると、[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを表示できます。

- 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)
- 完了したコピー (Copies Completed) ([イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートのフィルタ処理されたビューが表示されます)
- 未完了のコピー (Copies Not Complete) ([イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートのフィルタ処理されたビューが表示されます)

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートは、イメージコピーが異なるマスターサーバーにまたがる異なる SLP 宛先に対してどのように作成されるかを示します。このレポートは SLP が作成するイメージコピーについての詳しい情報を提供します。このレポートは、完全なコピー、不完全な SLP、保留中である特定のコピー操作などの詳細を提供します。

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	SLP が動作するマスターサーバーの名前。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP 名 (SLP Name)	選択したマスターサーバーに関連付けられている SLP の名前。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP バージョン (SLP Version)	特定の SLP に関連付けられているバージョン (リンク)。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポートを表示するためにはバージョン (リンク) をクリックします。
データの分類 (Data Classification)	SLP に関連付けられているデータの分類。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
ポリシー名 (Policy Name)	SLP に関連付けられているポリシー。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

スケジュール名 (Schedule Name)	NetBackup ポリシーに関連付けられているスケジュール。レポートを編集するときにこの列を削除できます。
クライアント名 (Client Name)	選択したマスターサーバーの SLP によってバックアップされるクライアント名。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
イメージ ID (Image ID)	イメージに関連付けられているイメージ ID。イメージ ID は各イメージに対して一意です。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 [イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)] レポートを表示するためにはイメージ ID (リンク) をクリックします。
ジョブ ID (Job ID)	特定の操作に関連付けられているジョブ ID。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
元のマスターサーバー (Origin Master Server) (イメージ作成元)	**[元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]はプライマリバックアップコピーが存在する場所です。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。元のマスターサーバーと SLP が存在する (または現在動作している) マスターサーバーは、自動イメージレプリケーションを使う場合は異なることがあります。 **[元のマスターサーバー** (Origin Master Server)]は NetBackup 7.1 以降のマスターサーバーである必要があり、OpsCenter コンソールに追加される必要もあります。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
操作 (Operation)	複製、バックアップ、インポート等のイメージコピーで実行される操作。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
状態 (State)	[完了 (Complete)]、[未開始 (Not Started)]、[処理中 (In Process)]、[削除 (Deleted)]、[一時停止 (Paused)]などのコピーの現在の状態。レポートを編集するときにこの列を削除できます。
形式 (Format)	[形式 (Format)]列は、NetBackup のイメージ形式とスナップショットコピーを区別するときに役立ちます。このレポートには、ストレージライフサイクルポリシーの一部であるスナップショットコピーの詳細が示されます。
宛先 (Destination)	SLP 定義に従ってコピーが存在する宛先。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
有効期限時刻 (Expiration Time)	コピーが期限切れになる時間。レポートを編集するときにこの列を削除できます。

コピー/インポート完了日時 (Copy/Import Completion Time)	コピーが完了される時間。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
遅延時間 (Lag Time) ([コピー時間 (Copy Time)] - [バックアップ時刻 (Backup Time)])	[遅延時間 (Lag Time)]は複製の実行速度を把握するのに役立ちます。[遅延時間 (Lag Time)]は秒単位で表示されます。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	選択したマスターサーバー上の特定の SLP とイメージに対する OpsCenter データベース内のすべての完了したコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 **メモ:** [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを編集するときに利用可能です。

ビュー (Views)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。

ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	次のパラメータを選択できます。 ■ リモートマスターへのレプリケーション (Replication to Remote Master): 値が[はい (Yes)]なら、レプリケーションジョブのコピー詳細が表示されます。 ■ 操作 (Operation): 表示する 1 つ以上の操作を選択します。 ■ SLP 名 (SLP name): 表示する 1 つ以上の SLP を選択します。 ■ 状態 (State): 表示する 1 つ以上の状態を選択します。 例: すべての保留中のインポート操作を表示する場合は、次のパラメータを選択します。 ■ 操作 (Operation) = インポート (Import) ■ 状態 (State) = 未開始 (Not Started) 例: ジョブのレプリケーション状態を表示する場合は、次のパラメータを選択します。 ■ リモートマスターへのレプリケーション (Replication to Remote Master) = はい (Yes) ■ 操作 (Operation) = 複製 (Duplication)
ポリシー (Policy)	選択したポリシーのデータを表示するために 1 つ以上のポリシーを選択します。
スケジュール (Schedule)	選択したスケジュールのデータを表示するために 1 つ以上のスケジュールを選択します。
クライアント (Client)	選択したクライアントのデータを表示するために 1 つ以上のクライアントを選択します。
イメージ数 (Images)	データを表示するイメージ ID を入力します。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポート

[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポートは、[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートからドリルダウンレポートとして利用可能です。[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポートの SLP 名 (リンク) をクリックすると、[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポートを表示できます。

［宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)］レポートは特定の SLP のすべての宛先の概略を提供します。［宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)］レポートを表示して、SLP 宛先ごとに SLP の進捗を監視できます。たとえば、特定の SLP 宛先に対して完全でないイメージコピーを把握できます。

［宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)］レポートは次の列で構成されています。

マスターサーバー (Master Server) (SLP が存在する場所)	SLP が動作するマスターサーバーの名前。SLP はソースマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。NetBackup マスターサーバーはバージョン 7.1 以降のバージョンである必要があり、OpsCenter コンソールに追加されている必要もあります。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP 名 (SLP Name)	選択した SLP の名前。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
SLP バージョン (SLP Version)	SLP に関連付けられているバージョン。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
データの分類 (Data Classification)	SLP 宛先に関連付けられているデータの分類。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
元のマスターサーバー (Origin Master Server) (イメージ作成元)	［**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)］はプライマリバックアップコピーが存在する場所です。SLP は元のマスターサーバーまたは任意の宛先マスターサーバー (自動イメージレプリケーションの場合) で実行できます。自動イメージレプリケーションの場合、元のマスターサーバーと SLP が存在する (または現在動作している) マスターサーバーは異なることがあります。 ［**元のマスターサーバー** (Origin Master Server)］は NetBackup 7.1 以降のマスターサーバーである必要があり、OpsCenter コンソールに追加される必要もあります。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
操作 (Operation)	特定の SLP 宛先の複製、バックアップ、インポート等のイメージコピーで実行される操作。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
保持 (Retention)	特定の SLP 宛先に関連付けられている保持期間。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
宛先 (Destination)	SLP 定義に従ってイメージが存在する宛先。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。

平均遅延時間 (Average Lag Time) ([コピー時間 (Copy Time)] - [バックアップ時間 (Backup Time)])	[平均遅延時間 (Average Lag Time)]は、特定の SLP の特定の宛先にプライマリコピーを複製するのに必要な時間を示し、複製の実行速度を判断するのに役立ちます。[平均遅延時間 (Average Lag Time)]は秒単位で表示されます。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)	SLP と特定の SLP 宛先に対する OpsCenter データベース内のコピーの合計数 (完全なコピーと不完全なコピーの両方を含む)。 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
完了したコピー (Copies Completed)	SLP と特定の SLP 宛先に対して OpsCenter データベースに存在する完了したコピーの数。レポートを編集するときにこの列を削除できます。
% コピー完了 (% Copy Complete)	SLP と特定の SLP 宛先に対する OpsCenter データベース内の完了したコピーの割合。 この列の内容は、[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポートの次の列のデータを使って計算されます。 ■ 完了したコピー (Copies Completed) ■ 想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies) [% コピー完了 (% Copies Complete)]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピー (Copies Completed)]/[想定されるコピーの合計 (Total Expected Copies)] * 100 この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。
予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))	OpsCenter データベースに存在する、SLP と特定の SLP 宛先のすべてのコピーの予想合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。列の内容は次の式を使用して計算されます。 [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)] = (コピーの数) * (バックアップコピーのサイズ) **メモ:** [予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピーのサイズをコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size - all copies)]に対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))	SLP と特定の SLP 宛先に対する OpsCenter データベース内の完了したすべてのコピーの合計サイズ。レポートを編集するときにこの列を削除できます。 **メモ:** [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]はフロントエンドのサイズです。重複排除、圧縮、または完了したコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。
完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))	SLP と特定の SLP 宛先に対して完了したコピーのサイズの割合。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。 この列のデータは[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポートの次の列から計算されます。 ■ 完了したコピーサイズ (Completed Copy Size) ■ 予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies) [完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size (%))]列の内容は次の式を使用して計算されます。 [完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)]/[予測合計サイズ - すべてのコピー (Total Expected Size – all copies)] * 100
残りのコピーサイズ (MB) (Remaining Copy Size (MB))	SLP とサイズ (MB) 特定の SLP 宛先に対して作成される残りのすべてのコピーの合計サイズ。この列は必須であり、レポートを編集するときに削除できません。この列のデータは次の方法で計算されます。 (残りのコピー数) x (バックアップコピー 1 のサイズ) **メモ:** [残りのコピーサイズ (Remaining Copy Size)]はフロントエンドのサイズで、バックアップコピー 1 のサイズを残りのコピーの数で乗算することで導出されます。重複排除、圧縮、または残りのコピーのサイズに対する重複排除の最適化の影響は SLP レポートでは考慮されません。

[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポートを編集するときに利用可能です。

表示 (View)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。

ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	次の列を選択できます。 ■ リモートマスターへのレプリケーション (Replication to Remote Master): 値が［はい (Yes)］なら、マスターサーバー間で複製される SLP が表示されます。 ■ 操作 (Operation): 表示する 1 つ以上の操作を選択します。 ■ SLP 名 (SLP name): 表示する 1 つ以上の SLP を選択します。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポート

［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートは、［SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)］レポートからドリルダウンレポートとして利用可能です。［SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)］レポートの SLP バージョン (リンク) をクリックすると、［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートを表示できます。

［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートは、特定のマスターサーバー上の SLP に対してイメージコピーがどのように作成されるかを示すグラフ形式のレポートです。これは、特定のマスターサーバー上の SLP に対して複製がどのように進捗しているかを示します。

［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートは棒グラフの形式であり、各軸に次のデータを示します。

- X 軸は SLP と関連付けられるすべての複製先を示します。
- Y1 軸の棒グラフは完了イメージの割合を示します。
- Y2 軸は作成されたイメージ数を示します。

メモ: ［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］はその SLP バージョンが動作している 1 つのマスターサーバーのみのデータを示します。

表形式でレポートデータを表示することもできます。表形式でレポートの詳細を表示するためには、レポートの下部にあるリンク［表としてグラフを表示 (Show Chart as Table)］をクリックします。

レポートの特定のデータを表示するためにレポートを編集できます。また、このレポートを参照用に保存することもできます。

[SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポートの特定のデータを表示するためにフィルタを使うことができます。次のフィルタは[SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)]レポートを編集するときに利用可能です。

表示 (View)	選択したビューのデータを表示するために特定のビューを選択します。
マスターサーバー (Master Server)	選択したマスターサーバーのデータを表示するために 1 つ以上のマスターサーバーを選択します。
ストレージライフサイクルポリシー (Storage Lifecycle Policy)	選択した SLP のデータを表示するために SLP を選択します。1 つの SLP のみ選択できます。

このレポートのデフォルトの時間枠は、最上位のレポートで選択されている時間枠に基づきます。

SLP レポートの制限事項

SLP レポートで示されるデータは EMM の作業リストと NetBackup カタログから主に収集されます。そのため EMM の作業リストがどのように機能するかを理解することが重要です。EMM の作業リストの機能は SLP レポートで表示されるデータに影響します。

次の項では、SLP と EMM の機能について説明し、SLP レポートに関連する制限事項も示します。

ストレージライフサイクルポリシーの保持について

NetBackup のストレージライフサイクルポリシーを作成している間、コピーが作成される宛先を指定できます。SLP では、次の操作の一部としてイメージを初回の宛先に書き込むことができます。

- **バックアップ** (Backup)
- インポート

各 SLP 宛先の保持形式を定義できます。[固定 (Fixed)](1、2、3 週間)、[コピー後に期限切れにする (Expire After Copy)]、[管理対象のステージング容量 (Staged capacity managed)]などの、多くの保持形式を選択できます。次の表では、[固定 (Fixed)]および[コピー後に期限切れにする (Expire After Copy)]保持形式の意味について説明します。

固定 (Fixed)	[固定 (Fixed)]保持形式を指定すると、バックアップの期限が切れるまで、バックアップデータが一定期間保持されます。保持期間が満了すると、期限切れのバックアップの情報が削除されます。

コピー後に期限切れにする (Expire after Copy)	［コピー後に期限切れにする (Expire After Copy)］保持形式を指定すると、関連する複製が完了するとイメージの期限が切れます。

NetBackup ポリシーを作成する場合、作成した SLP (SLP1 など) はポリシーストレージ (ストレージユニット) として選択できます。SLP (SLP1) はポリシー実行時に実行されます。

EMM からのデータ収集について

SLP1 は次の操作を実行します。

SLP レポートで示されるデータは、EMM の作業リストと NetBackup カタログから収集されます。作業リストは EMM にあり、作成する必要があるコピー数、作成の必要がある場所、完了のタイミングなどのメタデータを含んでいます。一般に、SLP レポートで示されるコピーデータ (［完了したコピー (Copies Completed)］、［完了したコピーサイズ (Completed Copy Size)］列など) は EMM の作業リストに基づいています。EMM はライフサイクルの構成パラメータに基づくバックアップが完了した後に作業リストを作成します。

SLP1 という名前の SLP を構成する場合を考えてみます。

- バックアップ (Stu1)
- 複製 (Stu2)
- 複製 (Stu3)

バックアップが完了した後、各コピーのエントリを含む作業リストが EMM データベースで作成されます。この例では、EMM の作業リストに 3 つのコピーエントリがあります (SLP で定義済みであるコピー数に相当)。EMM の作業リストは複製ジョブが処理されるときに更新されます (たとえば、コピーの状態は［未開始 (Not Started)］から［処理中 (In Process)］、［完了 (Complete)］に変わります)。

SLP レポートの制限事項

OpsCenter は次のフェーズで SLP レポートのデータを収集します。

表 2-1 SLP のデータ収集

通し番号	フェーズ	説明
1.	初回のデータ収集	NetBackup 7.1 以降のマスターサーバーが OpsCenter コンソールに追加されると、OpsCenter サーバーは初回に EMM の作業リストからすべてのデータを収集します。

通し番号	フェーズ	説明
2.	定期的なデータ収集	初回のデータがロードされた後、OpsCenter は 10 分ごとに変更されたデータのみ収集します。

OpsCenter は SLP レポートにおいて EMM の作業リストに依存します。次の EMM の動作は SLP レポートに示されるデータに影響します。

- SLP 宛先の保持形式が[コピー後に期限切れにする (Expire after Copy)]の場合、EMM は複製が完了した後に EMM の作業リストからコピーエントリを削除します。この動作は SLP レポートの初回のデータ収集と定期的なデータ収集に影響します。
  p.351 の「初回のデータ収集に関連する問題」を参照してください。
  p.352 の「定期的なデータ収集に関連する問題」を参照してください。
- SLP 宛先の保持形式が[固定 (Fixed)]の場合、EMM はポリシーで指定済みの保持期間に基づいてコピーエントリを削除します。この動作は SLP レポートの初回のデータ収集と定期的なデータ収集に影響します。
  p.351 の「初回のデータ収集に関連する問題」を参照してください。
  p.352 の「定期的なデータ収集に関連する問題」を参照してください。
- SLP のイメージがテープドライブに存在する場合、EMM は特定の SLP が完了したときにコピーエントリを削除します。この動作は SLP レポートの初回のデータ収集と定期的なデータ収集に影響します。
  p.351 の「初回のデータ収集に関連する問題」を参照してください。
  p.352 の「定期的なデータ収集に関連する問題」を参照してください。
- 進行中の SLP を取り消すと、この SLP のイメージと関連付けられるすべてのコピーエントリは EMM の作業リストから削除されます。この動作は SLP のレポートの定期的なデータ収集に影響します。
  p.352 の「定期的なデータ収集に関連する問題」を参照してください。

初回のデータ収集に関連する問題

初回のデータ収集では、EMM の動作による次の問題が SLP レポートで発生することがあります。

初回のデータ収集は EMM からすべてのデータをロードするため、コピーエントリがないイメージエントリがあることがあります。EMM の作業リストのコピーエントリが次の要因で削除された可能性があります。

- SLP 宛先の保持形式が[コピー後に期限切れにする (Expire after Copy)]または[固定 (Fixed)]の場合
- 複製がテープドライブで実行された場合

コピーの削除は特定の SLP レポートに示されるデータに次の影響があります。

- ［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートは棒グラフの形式で表示されます。X 軸は、SLP に関連付けられているすべての複製先を示します。棒グラフの Y1 軸 (［% イメージ数 (% Images Count)］) は完了したイメージの割合を表し、Y2 軸 (［完了したイメージ数 (Completed Images Count)］) には、実際に作成されたイメージの数が表示されます。

  バックアップコピーが EMM の作業リストから削除されると、このレポートはバックアップコピーの数が複製の数より少ないことを示すことがあります。これは、誤解を招きます。SLP が完了したときにすべての宛先で同じ数のコピーが作成されることが期待されます。同様に［完了したコピーサイズ % (% Size Completed)］の計算はこのレポートでは不正確です。

- バックアップコピーエントリが EMM の作業リストから削除された場合、［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートはバックアップの棒グラフを表示しません。同様に、複製のコピーエントリが削除された場合、［SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)］レポートは複製の棒グラフを表示しません。

- ［宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destination)］レポートは宛先の不正なコピーサイズを表示します。［宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destination)］レポートの次の列は不正なデータを示します。

  - 予測合計サイズ - すべてのコピー (MB) (Total Expected Size - all copies (MB))
  - 完了したコピーサイズ(MB) (Completed Copy Size (MB))

定期的なデータ収集に関連する問題

OpsCenter が 10 分ごとにデータを定期的に収集するとき、次の問題が SLP レポートで発生することがあります。

OpsCenter が、進行中の SLP1 と関連付けられるすべてのコピーのデータを収集したシナリオを考えてみます。ただし、次のデータ収集が実行される前にコピーエントリの 1 つが (EMM の動作によって) EMM の作業リストから削除されます。このシナリオでは、このようなコピーエントリは、イメージで SLP が完了している場合には、次のデータ収集サイクル時に OpsCenter によって［完了 (Complete)］とマークされます。

このシナリオの例では、次の問題が発生することがあります。

- OpsCenter が［完了 (Complete)］とマーク付けするすべてのこのようなコピーでは、［イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)］レポートによって［遅延時間 (Lag Time)］および［コピー完了時間 (Copy End Time)］の値が表示されません。

- SLP の最新のコピーエントリが EMM の作業リストから (EMM の動作によって) 削除された場合、［イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)］レポートに表示される［SLP 完了時間 (SLP Completion Time)］は不正確になります。

メモ: 進行中の SLP (SLP1 など) を取り消すと、同じ問題が発生する可能性があります。これらの問題は、この SLP のイメージと関連付けられるすべてのコピーエントリが EMM の作業リストから削除されるため発生します。

SLP レポートの既知の問題

次の既知の問題は SLP レポートに関連しています。

- SLP に複数のコピーがあり、2 つ以上のコピーが同じ宛先を共有する場合、[SLP 複製の進捗 (SLP Duplication Progress)] レポートではこれらのコピーに対して 1 つの棒グラフのみが表示されます。
- インポートが [未開始 (Not Started)] 状態にあるイメージコピーのサイズは考慮されません。この動作のため、実際にはインポート操作が [未開始 (Not Started)] 状態にあるイメージコピーがある可能性があるにもかかわらず、`SLP` **状態**レポート、[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)] レポート、[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)] レポートでは、[完了したコピーサイズ % (Completed Copy Size %)] が 100% として表示される場合があります。
- 一部のイメージコピーでインポートが [未開始 (Not Started)] 状態にある場合、[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destination)] レポートでは、同じストレージの宛先に対して 2 つの行が表示されることがあります。このデータは、インポートが [未開始 (Not Started)] 状態にあるイメージコピーでデータが不足しているために表示されます。追加の行はインポート操作がすべてのイメージコピーで完了した後は表示されません。

OpsCenter の作業負荷アナライザレポートについて

この項では、OpsCenter で利用可能な作業負荷レポートテンプレートについて説明します。レポートは、ジョブ数、サイズ、スループット、スケジュール設定済みジョブのキューを含む NetBackup 環境の過去、現在、予測作業負荷すべてを詳しくグラフ形式で表示します。

作業負荷アナライザレポート

作業負荷アナライザは、7 日間に渡って行われるアクティビティについての情報を提供するレポートです。このアクティビティは、指定した一定期間に実行するジョブの数と、その期間中に転送されるデータの量です。レポートには 7 日間の各時間に行われたアクティビティに関する 168 のデータポイントの分析が含まれています。

このレポートは時間、データ転送、ジョブキュー、ジョブスループットに基づく 4 つのレポートで構成されています。時間は、ジョブが開始される時点、ジョブがアクティブになっている期間、ジョブが終了する時点を示します。ジョブキューは、ジョブが開始される前にキューに入っている時間の長さに基づきます。ジョブサイズは、ジョブ形式に応じてターゲットから宛先に移動されるデータの量です。また、ジョブサイズは、一定の時間内に分割されて

移動されるデータの量に基づきます。ジョブスループットはデータ転送速度に基づきます。

作業負荷アナライザレポートはレポートの計算および生成において、完了したジョブのみを考慮します。計算は現在の時間と日付のデータに基づいて異なる結果になることがあります。たとえば、過去に開始され、長時間キューに登録された状態にあるジョブは、ジョブキューのレポートでは考慮されません。これは完了したときにのみ考慮されます。

p.354 の「作業負荷アナライザサブレポート: ジョブ数、サイズ、キュー、スループット」を参照してください。

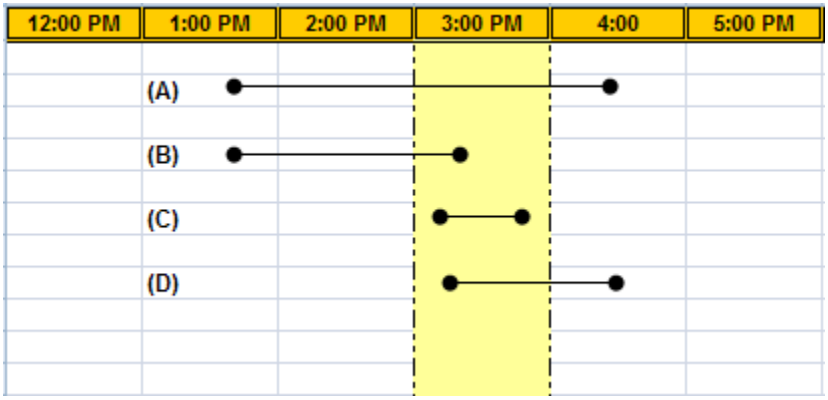
p.358 の「作業負荷アナライザレポートの生成」を参照してください。

作業負荷アナライザサブレポート: ジョブ数、サイズ、キュー、スループット

作業負荷アナライザレポートは、時間、キュー、サイズ、スループットに基づいています。次のレポートは作業負荷アナライザレポートの一部です。

- ジョブ数作業負荷アナライザ (Job Count Workload Analyzer): このレポートは指定した一定期間に実行するジョブの数に基づいています。このレポートの目的は時間と負荷に基づくデータを表示することです。ジョブの開始時間と終了時間に基づいてジョブ数の時間を判断できます。負荷のデータは、一定期間アクティブになっているジョブの数に基づいて判断されます。指定した一定期間アクティブになっているジョブの数を判断するために計算が行われます。

  たとえば、次の図は指定した一定期間のジョブ数を示しています。(A) はその時間間隔の前に開始され、時間間隔の後に終了するジョブを示します。(B) はその時間間隔の前に開始され、時間間隔内に終了するジョブを示します。(C) はその時間間隔内に開始され、終了するジョブを示します。(D) はその時間間隔内に開始され、時間間隔の後に終了するジョブを示します。



- ジョブサイズ作業負荷アナライザ (Job Size Workload Analyzer): このレポートは指定した一定期間に転送されるデータの量に基づいています。計算は、ジョブによってバックアップされるデータの合計量を期間で割る方法に基づきます。

  たとえば、次の図では 4 時間という期間に渡ってそれぞれ持続時間が異なる 4 つのジョブがあります。左側には 4 時間の期間中に転送されるデータの量が表示されます。レポートの右側には、それぞれのジョブの開始時間と終了時間、転送されるデータの量、および持続時間が表示されます。ジョブ A は 4 時間の期間に渡ってアクティブになり、午後 1 時 20 分 に開始して 午後 4 時 20 分に終了します。その期間に転送される合計データは 80,000 MB です。データ転送速度を計算し、そのデータ転送速度と各時間内でジョブアクティビティが存在する分数を乗算できます。ジョブアクティビティは 1 時間目に 20 分、2 時間目と 3 時間目に 60 分、4 時間目に 20 分です。ジョブ B、C、D も類似のパターンに従います。負荷はその時間内のすべてのジョブの負荷の合計です。黄色いスロットは最大のアクティビティを示し、転送されるデータは 115960 KB です。

- ジョブキュー作業負荷アナライザ (Job Queue Workload Analyzer): このレポートは、データバックアップが開始される前にジョブがキューの状態になっている期間に基づいています。キュー時間は、ジョブを開始するのにかかる時間、ジョブを開始して終了するのにかかる時間などのタイムスタンプを使用して計算されます。キュー時間が長い多くのジョブが同時に開始されるシナリオを軽減するために、キュー時間が長いジョブが識別されます。

  キューへの投入は個々のジョブレベルで計算され、次にレポートが生成されるレベルに集計されます。

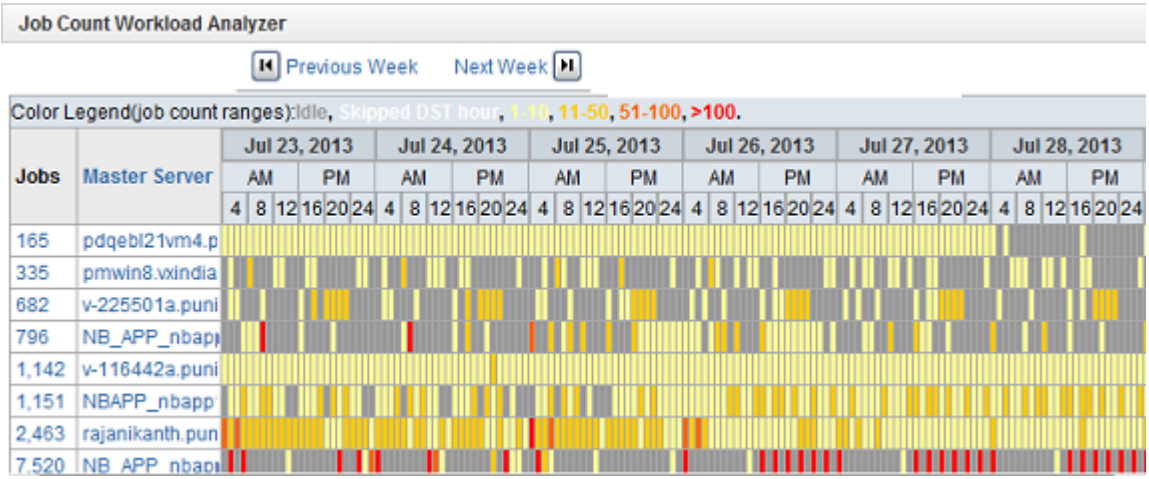
- ジョブスループット作業負荷アナライザ (Job Throughput Workload Analyzer): このレポートはデータが転送される MB/秒単位の速度に基づきます。この計算によって、パフォーマンスを把握するための重要なインジケータが提供されます。スループットレポートは時間横断計算に基づいています。このレポートはデータの正確な分析を表示します。このレポートの行の合計は、他の作業負荷レポートと比較され、平均化されます。

  書き込み開始時刻によって、実際のデータ転送が行われる時間に対してのみ速度が測定されます。この計算では、キュー時間が考慮されません。キューレポートはキュー時間を計算します。次の図では、スループットは 3 時間という期間に渡る 4 つのジョブにまたがって計算されます。1 つのジョブはポリシー B に属し、3 つのジョブはポリシー A に属します。緑色のボックスは書き込みジョブが行われる時間を示します。

作業負荷アナライザレポートテンプレートオプション

作業負荷アナライザレポートテンプレートは事前設定された 168 時間のレポートテンプレートです。このテンプレートでは、ヒートマップの技術によってさまざまな色を使って、分析されたデータを表示します。色の範囲は構成可能です。バックアップサーバー、メディアサーバー、クライアント、ポリシーなどの属性が含まれているレポートカテゴリによって、作業負荷とパフォーマンスの基本を理解するための適切な手段が提供されます。作業負

荷アナライザレポートテンプレートを構成するすべてのレポートは時間に基づいています。次の図はサンプルレポートテンプレートです。



作業負荷アナライザレポートテンプレートの要点は次の通りです。

- 日付、時刻、時間、実際の時間の値などの詳細を取得するためにレポートの各セルにマウスを移動できます。
- それぞれの色の範囲を構成できます。色はその時間に実行するジョブの密度を示します。また、キュー時間 (分単位)、転送されるデータ量、スループット率も表示します。セルの色が濃いほど、セルの値が大きいことを示します。
- データを必要とするエンティティを選択するために「レポート対象」機能を使うことができます。たとえば、あるマスターサーバーに対して[レポート対象 (Report on)]を選択すると、レポートの 2 番目の列にはそのマスターサーバーのみに関するデータが表示されます。エンティティには、バックアップサーバー、メディアサーバー、バックアップクライアント、ポリシー、ポリシー形式、スケジュール、ジョブ形式、ジョブレベル、ジョブエラーコード、終了状態、ジョブ終了コード、ジョブのトランスポート形式、スケジュール/レベル形式、ストレージユニットが含まれます。
- レポートの次のレベルにドリルダウンできます。2 番目の列はハイパーリンクされていて、ドリルダウンオプションを提供します。たとえば、マスターサーバーからクライアントにドリルダウンできます。ドリルダウンレポートが起動されます。クライアントへは、メディアサーバー、ポリシー、ポリシーのスケジュール、スケジュール、ジョブ形式、ジョブエラーコード、ジョブ状態、ジョブレベル、およびトランスポート形式からドリルダウンできます。他のドリルダウンオプションとしては、ポリシー形式からポリシー、ジョブ状態からジョブエラーコードのドリルダウンやビュー階層での次のレベルの表示があります。

- レポートの最後の行は時間全体に渡るすべての行の合計値を表示します。最初の列は週全体のデータを表示しますが、時間の列はすべてのエンティティのその特定時間のデータを示します。
- レポートでは各種フィルタを使うことができます。次のフィルタがあります。

フィルタ形式	説明
日付によるフィルタリング (Time filter)	絶対時間フィルタまたは相対時間フィルタに対するフィルタ
表示 (View)	任意のビューに対するフィルタ。
マスターサーバー (Master Server)、メディアサーバー (media server)	利用可能なマスターサーバーとメディアサーバーに対するフィルタ。
クライアント (Client)	利用可能なクライアントに対するフィルタ。
ポリシー (Policy)	ポリシーの名前と形式に対するフィルタ。
スケジュール (Schedule)	スケジュールに対するフィルタ
ジョブ (Job)	状態、状態コード、トランスポート形式、形式、スケジュールまたはレベル形式に対するフィルタ。
ストレージユニット (Storage Unit)	名前に対するフィルタ。
作業負荷 (Workload)	存続時間のしきい値と時間ベースのフィルタ。

- 異なる変数に[レポート対象 (Report on)]機能を使うことができます。変数に含まれるものは、[バックアップサーバー (Backup Server)]、[メディアサーバー (Media Server)]、[バックアップクライアント (NetBackup クライアント)]、[ポリシー (Policy)]、[ポリシー形式 (Policy Type)]、[スケジュール (Schedule)]、[ジョブ形式 (Job Type)]、[ジョブレベル (Job Level)]、[ジョブエラーコード (Job Error Code)]、および [ストレージユニット (Storage Unit)]です。
- 任意のセルでドリルダウンして、データについての詳細を知ることができます。

作業負荷アナライザのすべてのレポートで、次のドリルダウンオプションが利用できます。

- マスターサーバーからクライアントへ
- メディアサーバーからクライアントへ
- ポリシー形式からポリシーへ
- ポリシーからクライアントへ
- ポリシースケジュールからクライアントへ
- スケジュールからクライアントへ

- ジョブ形式からクライアントへ
- ジョブエラーコードからクライアントへ
- ジョブ状態からクライアントへ ([ジョブ状態 (Job Status)]<>[失敗 (Failure)]の場合)
- ジョブ状態からジョブエラーコードへ ([ジョブ状態 (Job Status)]が[失敗 (Failure)]の場合)
- ジョブレベルからクライアントへ
- トランスポート形式からクライアントへ
- ビューからビュー階層の 1 つ下の階層へ

レポートの色は異なるデータ値を表します。次の表に色の情報を示します。

表 2-2　色の範囲値

色の範囲	値
アイドル状態 (Idle)	実行中のジョブが割り当てられていないことを意味するグレーのセルが表示されます。
1 - 10	色範囲が 1 から 10 のデータの値が、薄い黄色のセルで表示されます。
11 - 50	色範囲が 11 から 50 のデータの値が、濃い黄色のセルで表示されます。
51 - 100	色範囲が 51 から 100 のデータの値が、オレンジ色のセルで表示されます。
100 以上 (More than 100)	100 を超える色範囲のデータの値が、赤色のセルで表示されます。

p.354 の「作業負荷アナライザサブレポート: ジョブ数、サイズ、キュー、スループット」を参照してください。

作業負荷アナライザレポートの生成

レポートツリーから作業負荷アナライザレポートテンプレートを使って作業負荷アナライザレポートを生成できます。このレポートは時間、データ転送、キュー時間、スループット速度に基づく 4 つのレポートで構成されます。

作業負荷アナライザレポートを生成する方法

1 OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]をクリックします。

2 [レポートテンプレート (Report Templates)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。次の図に示すように、レポートはレポートツリーの下でも利用可能です。

Name	Description
Client Reports	Protection status of all NetBackup Clients (physical and virtual) with Bare Metal Recovery (BMR) status.
Cloud Reports	NetBackup cloud storage status including storage forecasting, throughput performance, and chargeback costs.
Deduplication Reports	NetBackup deduplication storage including deduplication rates and storage space saved.
Disk & Tape Device Activity Reports	NetBackup disk, tape, and SAN Client storage unit utilization and free space available.
Media Reports	NetBackup media status, expiration, and availability, including tape, disk, Appliances, and NetBackup Vault.
Performance Reports	Reporting for overall performance and throughput statistics on NetBackup Master and Media Servers.
Policy Reports	Reporting for NetBackup Policy information including Policies consuming the most storage space.
Restore Reports	Reporting for all NetBackup restore and recovery operations.
Storage Lifecycle Policy Reports	NetBackup Storage Lifecycle Policies (SLP's)and NetBackup Auto Image Replication (AIR) status.
Workload Analyzer Reports	Heat map reporting on the overall past, current, and projected workload of your NetBackup environment.
Job Count Workload Analyzer	A graphical report showing workload based on job counts across a week. This report is valid for NetBackup and Appliances.
Job Size Workload Analyzer	A graphical report showing workload based on job size across a week. This report is valid for NetBackup and Appliances.
Job Queue Workload Analyzer	A graphical report showing workload based on job queuing across a week. This report is valid for NetBackup and Appliances.
Job Throughput Workload Analyzer	A graphical report showing workload based on job throughput across a week. This report is valid for NetBackup and Appliances.

3 レポートウィザードで、デフォルトで選択されている[既存のレポートテンプレートを使用してレポートを作成する (Create a report using an existing report template)]をそのままにして、[次へ (Next)]をクリックします。

4 [レポートテンプレートの選択 (Select Report Template)]リストから、作業負荷アナライザで作成するレポートを選択し、[次へ (Next)]をクリックします。

5 [相対時間枠 (開始時刻) (Relative TimeFrame (beginning at))]または[絶対時間枠 (開始時刻) (Absolute TimeFrame (beginning at))]オプションから時間枠を選択します。

時間枠の設定によって、過去または未来の 7 日間に関する出力が表示されます。[相対時間枠 (Relative Time Frame)]オプションでは、選択した日付からデータを表示することもできます。週の半ばからでも表示できます。[絶対時間枠 (Absolute Time Frame)]では、選択した日付から 1 週間分のデータを表示します。たとえば、今日の日付を選択すると、表示されるデータは今日の日付を含む翌週までのものになります。選択は 1 週間であり、終了時間の選択は提供されません。

6 必要なフィルタを選択し、[次へ (Next)]をクリックします。

7 レポートを表示し、[次へ (Next)]をクリックします。

8 [レポート名 (Report name)]と[説明 (Description)]テキストボックスに名前と説明を入力します。場所を選択し、レポートを保存するために[保存 (Save)]をクリックします。

メモ: 保存されたレポートを開きます。前の 7 日間または次の 7 日間のデータを表示するには、オプション[前の週 (Previous Week)]と[次の週 (Next Week)]を使用します。

作業負荷アナライザレポートのエクスポートと電子メール送信について

作業負荷アナライザレポートは HTML 形式でエクスポートできます。[レポートのエクスポート先 (Report Export Location)]タブを使用して、エクスポートの場所を設定できます。

レポートは HTML 形式でのみ電子メール送信できます。

メモ: 作業負荷アナライザのレポートを電子メールで Outlook Express 向けに送信すると、レポート内のセルの位置が正しく揃いません。

3

OpsCenter Analytics のカスタムレポート

この章では以下の項目について説明しています。

- OpsCenter のカスタムレポートの作成
- SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成

OpsCenter のカスタムレポートの作成

OpsCenter にデフォルトで付属するレポートの使用に加えて、カスタムレポートウィザードを使ってインストールに固有のカスタムレポートを作成できます。

カスタムレポートを作成した後、そのレポートを修正、印刷、保存したり、電子メールで送ったりすることができます。

さまざまなレポートカテゴリがあるため、レポートウィザードにはさまざまなパラメータが表示されます。パラメータの多くは複数のレポートカテゴリで使われ、形式ごとに異なる組み合わせで表示されます。

カスタムレポートウィザードで利用可能なパラメータを使ってカスタムレポートを作成できます。

p.368 の「カスタムレポートウィザードのパラメータについて」を参照してください。

カスタムレポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]>[レポートテンプレート (Report Templates)]をクリックします。
2. [新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。
3. [レポート作成オプションの選択 (Select Report Creation Option)]ページで、[カスタムレポートを作成する (Create a Custom Report)]をクリックしてカスタムレポートウィザードを起動します。

4 ［カテゴリ (Category)］ドロップダウンリストからレポートカテゴリを選択します。

エージェント (Agent)	OpsCenter サーバーで構成されているエージェントについて知りたい場合はこのカテゴリを選択します。
バックアップ/リカバリ (Backup/Recovery)	ジョブ、ディスクプール、ログ、イメージ、メディア、テープドライブなどのレポートを作成するにはこのカテゴリを選択します。

5 ［カテゴリ (Category)］ドロップダウンリストでの選択に応じてサブカテゴリが表示されます。［サブカテゴリ (Subcategory)］ドロップダウンリストから、次のレポートサブカテゴリの 1 つを選択します。

主要なカテゴリとして［エージェント (Agent)］を選択すると次のサブカテゴリが表示されます。

エージェントの状態 (Agent Status)	エージェントに固有の情報を表示する場合に選択します。たとえば、OpsCenter サーバーで構成されているエージェントとエージェントの状態を示すレポートを作成できます。

主要なカテゴリとして［バックアップ/リカバリ (Backup/Recovery)］を選択すると次のサブカテゴリが表示されます。

ディスクプール (Disk Pool)	ディスクプールに関連する統合レポートを表示する場合に選択します。
ジョブ/イメージ/メディア/ディスク (Job/Image/Media/Disk)	ジョブ、イメージ、メディア、ディスクのデータを表示する場合に選択します。このサブカテゴリに基づくレポートは、ジョブ、イメージ、メディア、ディスクの統合ビューを提供します。たとえば、ジョブ形式ごとのイメージの数を示すカスタムレポートや、どのイメージがどのメディアにバックアップされているかを示す表形式のレポートを作成できます。 ディスクにバックアップされたデータも表示できます。
ログ (Log)	NetBackup と Backup Exec のバックアップアクティビティとリカバリアクティビティの結果として生成されるログを表示する場合に選択します。
メディア (Media)	テープメディアなどのメディアのレポートを表示する場合に選択します。
テープドライブ (Tape Drive)	テープドライブのレポートを表示する場合に選択します。このサブカテゴリでは、メディアサーバーに関連するレポートは表示されません。［テープドライブのデバイスのホスト (Tape Drive Device Host)］または［テープドライブ形式 (Tape Drive Type)］のような関連付けられたフィルタパラメータが表示されます。
スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)	スケジュールが設定されたジョブのレポートを生成する場合はこのカテゴリを使います。たとえば、スケジュールが設定されたジョブのスケジュール時刻と実際の時刻を比較するレポートを作成できます。

6 ［ビュー形式 (View Type)］ドロップダウンリストで次の形式からレポート形式を選択します。

分布 (Distribution)	オブジェクトまたはリソースのグループを円グラフに表示します。
ランキング (Ranking)	選択した時間枠における、各ビューレベルオブジェクトのすべてのデータを示す水平棒グラフを上位から順に表示します。
履歴 (Historical)	平均上向きおよび下向き傾向ラインを重ねた、一定時間にわたるデータの積み上げ (セグメント化) 棒グラフを表示します。
表形式 (Tabular)	データを表形式で表示します。

7 ［次へ (Next)］をクリックします。

8 カスタムレポートウィザードの［パラメータの選択 (Select Parameters)］パネルで、1 つ以上のレポートパラメータの値を選択します。表示されるレポートパラメータは、選択したレポートカテゴリとビュー形式によって決まります。

p.368 の「時間枠パラメータの構成」を参照してください。

p.368 の「カスタムレポートウィザードのパラメータについて」を参照してください。

パラメータを選択すると、［内容 (Content)］ペインが更新されて追加の選択項目が表示されることがあります。たとえば、ビューフィルタを選択すると、レポートの表示をフィルタ処理するための項目を選択できるようになります。

9 ［次へ (Next)］をクリックします。

10 ［表示オプションの変更 (Modify Display Options)］パネルで、履歴レポート、ランキングレポート、表形式レポート、分布レポートのために収集する測定値を定義します。表示される表示オプションは、ビュー形式ごとに異なります。

p.371 の「表示オプションについて」を参照してください。

［次へ (Next)］をクリックします。

11 ［レポートデータの表示 (View Report Data)］パネルで、選択内容に基づいて作成されるレポートを表示できます。

［次へ (Next)］をクリックします。

カスタムレポートウィザードに戻ってレポートに変更を加えるには、［戻る (Back)］をクリックします。

12 レポートを保存します。レポート名、説明 (省略可能)、レポートを保存する場所を入力します。

［保存 (Save)］をクリックします。

例 1: 特定の要件に基づいてカスタムレポートを作成するとします。たとえば、毎日バックアップされるクライアントの日単位の状態レポートを作成します。

このレポートは、バックアップされているジョブディレクトリ、その状態 (成功、部分的に成功、失敗)、レベルの形式 (段階的、完全、差分増分)、ジョブファイルの数、データセンターのジョブサイズに関する詳しい表形式の情報を提供します。レポートの要件に基づいて利用可能な列を追加することによって、このレポートを拡張できます。

毎日バックアップされるクライアントの日単位の状態レポートを作成する方法については、手順を参照してください。

毎日バックアップされるクライアントの日単位の状態レポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]をクリックします。
2. [レポートテンプレート (Report Templates)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。
3. レポートウィザードで、[カスタムレポートを作成する (Create a custom report)]オプションを選択し、[次へ (Next)]を選択します。
4. [レポートカテゴリ (Report Category)]として[バックアップ/リカバリ (Backup/Recovery)]を選択し、[サブカテゴリ (Subcategory)]として[ジョブ/イメージ/メディア/ディスク (Job/Images/Media/Disk)]を選択します。
5. [レポートのビュー形式 (Report View type)]として[表形式 (Tabular)]を選択します。

   [次へ (Next)]をクリックします。
6. データを表示する適切な時間枠を選択します。
7. [ジョブ (Job)]フィルタを選択します。[列 (Column)]として[バックアップジョブのデータ形式 (Backup Job data type)]を選択し、[演算子 (Operator)]として[=]を選択し、[値 (Value)]として[はい (Yes)]を選択します。[追加 (Add)]をクリックします。
8. [次へ (Next)]をクリックします。
9. [表形式のレポートのプロパティ (Tabular Report Properties)]の下で、[単位時間 (Time Basis)]として[ジョブの終了時刻 (Job End Time)]を選択します。要件に応じて[表示ユニット (Display Unit)]を変更します。
10. 表示されるリストから[利用可能な列 (Available columns)]を選択します。
    - バックアップジョブのファイル数
    - バックアップジョブサイズ
    - ジョブディレクトリ
    - ジョブの終了日時
    - ジョブの開始日時
    - ジョブ状態

- ジョブの状態コード
- ジョブの形式
- マスターサーバー
- スケジュール名
- スケジュール/レベルの形式

［追加 (Add)］をクリックします。

11 ［次へ (Next)］をクリックして、レポートを実行します。

例 2: 各状態のカテゴリのテープの数とその割合を検査するレポートを作成するとします。

環境でのテープの状態の分布について報告する方法

1 OpsCenter コンソールで、［レポート (Reports)］をクリックします。

2 ［レポートテンプレート (Report Templates)］タブで、［新しいレポートの作成 (Create New Report)］をクリックします。

3 レポートウィザードで、［カスタムレポートを作成する (Create a custom report)］オプションを選択し、［次へ (Next)］を選択します。

4 ［レポートカテゴリ (Report Category)］として［バックアップ/リカバリ (Backup/Recovery)］を選択し、［サブカテゴリ (Subcategory)］として［メディア (Media)］を選択します。

5 ［レポートのビュー形式 (Report View type)］として［分布 (Distribution)］を選択します。

［次へ (Next)］をクリックします。

6 データを表示する適切な時間枠を選択します。［単位時間なし (No Time Basis)］を選択することもできます。

7 必要に応じて、要件に基づいて任意のフィルタを選択します。

［次へ (Next)］をクリックします。

8 ［分布グラフのプロパティ (Distribution Chart Properties)］セクションで、次の選択を行います。

グラフ形式 (Chart Type)	円グラフ (Pie Chart)
レポート対象 (Report On)	メディア履歴の状態 (Media History Status)
レポートデータ (Report Data)	メディア ID (Media ID)
	数 (Count)

9 ［次へ (Next)］をクリックします。

例 3: 次の情報を示すカスタム表形式レポートを作成するとします。

- 特定のマスターサーバーで過去 1 週間に成功したジョブ
- バックアップにかかった時間
- バックアップの規模

マスターサーバーの正常なバックアップジョブの詳細を示すレポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]をクリックします。
2. [レポートテンプレート (Report Templates)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。
3. レポートウィザードで、[カスタムレポートを作成する (Create a custom report)]オプションを選択し、[次へ (Next)]を選択します。
4. [レポートカテゴリ (Report Category)]として[バックアップ/リカバリ (Backup/Recovery)]を選択し、[サブカテゴリ (Subcategory)]として[ジョブ/イメージ/メディア/ディスク (Job/Image/Media/Disk)]を選択します。
5. [レポートのビュー形式 (Report View type)]として[表形式 (Tabular)]を選択します。
6. [相対時間枠 (Relative Time Frame)]を前の 1 週間に変更します。
7. [フィルタ (Filters)]の下で、[ジョブ (Job)]を選択します。[列 (Column)]領域で、[ジョブの形式 (Job Type)]を選択し、[=]演算子を選択し、[バックアップ (Backup)]の値を選択します。

   [追加 (Add)]をクリックします。
8. [列 (Column)]ヘッダーの下で、[ジョブ状態 (Job Status)]を選択し、演算子は「=」のままにして、値として[成功 (Successful)]を選択します。

   [追加 (Add)]をクリックします。
9. [次へ (Next)]をクリックします。
10. [単位時間 (Time Basis)]として[ジョブの開始時刻 (Job Start Time)]を選択します。
11. 表示単位または時間持続期間を変更できます。たとえば、マスターサーバーのバックアップサイズが小さい場合は、表示単位を MB に変更できます。
12. [利用可能な列 (Available Columns)]リストから、次を選択します。

    - バックアップジョブサイズ
    - クライアント名
    - ジョブの期間

    [追加 (Add)]をクリックして、[選択済みの列 (Selected Columns)]領域内で移動します。

13 ［選択された列 (Selected Column)］領域で、各行に対して次の操作を実行します。

- 右の［クライアント名 (Client Name)］チェックボックスをクリックし、［上に移動 (Move Up)］をクリックして、これを最初の行にします。
- ［ジョブの期間 (Job Duration)］行で、［操作 (Operation)］を［合計 (Total)］に変更します。
- ［ジョブサイズ (Job Size)］行で、［ソート順序 (Sort Order)］を［降順 (Descending)］に変更し、［操作 (Operation)］を［合計 (Total)］に変更します。

14 ［次へ (Next)］をクリックします。

カスタムレポートウィザードのパラメータについて

カスタムレポートウィザードはレポート形式によって変わる一連のパラメータを表示します。次のトピックで利用可能なすべてのパラメータを説明します。

- 時間枠パラメータの定義
  p.368 の「時間枠パラメータの構成」を参照してください。
- 表示オプションについて
  p.371 の「表示オプションについて」を参照してください。
- レポートの条件
  p.376 の「レポートの条件の定義」を参照してください。
- フィルタパラメータ
  p.370 の「フィルタパラメータの選択と使用」を参照してください。

時間枠パラメータの構成

レポートの全体的な時間枠とデータが報告される間隔を定義するのに時間枠パラメータを使います。

レポートの絶対時間枠または相対時間枠を指定できます。

次の時間枠パラメータを選択できます。

相対時間枠 (Relative Timeframe)	ドロップダウンリストから［過去 (Previous)］か［今後 (Next)］を選択し (該当する場合)、期間を定義するために時間数、日数、週数、月数、四半期数、年数を指定します。レポートは指定期間内に収集されたデータ、たとえば、過去 3 カ月間のデータを表示します。 ［相対時間枠 (Relative Timeframe)］は、定期的にレポートを生成する場合に特に役立ちます。そのようなレポートは、常に最新の時間間隔で収集されたデータを示します。

<selected unit> の先頭から開始 (Start from the beginning of <selected unit>)

これは相対時間枠にのみ適用されます。[*<selected unit>* の先頭から開始 (Start from the beginning of *<selected unit>*)]の <selected unit> は、相対時間枠として選択した単位に応じて、[時間 (Hours)]、[日 (Days)]、[週 (Weeks)]、[月 (Months)]、[四半期 (Quarters)]、[年間 (Years)]のいずれかを表します。

相対時間枠を指定し、[<selected unit> の先頭から開始 (Start from the beginning of <selected unit>]にチェックマークを付けた場合、相対時間枠の開始は、週、月、四半期、または年の選択の場合に初日から、日の選択の場合に午前 0 時から、時間の選択の場合に、最も早い整数 (分や秒なし) から計算されます。[相対時間枠 (Relative Time Frame)]に指定された期間全体のデータを表示する場合は、[<unit> の先頭から開始 (Start from the beginning of <unit>)]チェックボックスを選択しないでください。

例:

- 現在の日付は 2010 年 6 月 13 日です。相対時間枠として[過去 1 か月間 (Previous 1 Month)]を選択し、[月の先頭から開始 (Start from the beginning of Month)]チェックボックスを選択しない場合、レポートには 2010 年 5 月 14 日から 2010 年 6 月 13 日までのデータが表示されます。ただし[月の先頭から開始 (Start from the beginning of Month)]チェックボックスを選択した場合、レポートには 2010 年 6 月 1 日から 2010 年 6 月 13 日までのデータが表示されます。
- 現在の日付と時間は 9 月 13 日の午後 10 時 30 分です。相対時間枠として[過去 2 日間 (Previous 2 Days)]を選択し、[指定した日付の初めから開始 (Start from the beginning of Days)]チェックボックスを選択しない場合、レポートには 9 月 11 日の午後 10 時 30 分から 9 月 13 日の午後 10 時 30 分までのデータが表示されます。ただし[指定した日付の初めから開始 (Start from the beginning of Days)]チェックボックスを選択した場合、レポートには 9 月 12 日の午前 0 時から 9 月 13 日の午後 10 時 30 分までのデータが表示されます。
- 現在の時刻は午後 4 時 25 分です。相対時間枠として[過去 2 時間 (Previous 2 Hours)]を選択し、[時間の先頭から開始 (Start from the beginning of Hour)]チェックボックスを選択しない場合、レポートには午後 2 時 25 分から午後 4 時 25 分までのデータが表示されます。ただし[時間の先頭から開始 (Start from the beginning of Hours)]チェックボックスを選択した場合、レポートには午後 3 時から午後 4 時 25 分までのデータが表示されます。

  メモ: 相対時間枠を指定し、[*<selected unit>* の先頭から開始 (Start from the beginning of <selected unit>)]にチェックマークを付けた場合、レポートは、現在の日付で終わる間隔で収集されるデータを表示するように構成されます。これは事実上、絶対時間枠を指定することと同じです。いつ表示してもレポートの内容は固定のままになります。

絶対時間枠 (Absolute Timeframe)	レポートの対象になる時間間隔の始まりと終わりを定義します。絶対日付を入力すると、表示するレポートの内容が固定されます。
「開始」日を無視 (Ignore From Date)	これは絶対時間枠にのみ適用されます。[絶対時間枠 (Absolute Timeframe)]で入力した[終了 (To)]の日付以前のすべてのデータを表示する場合は、このオプションにチェックマークを付けます。 例: 絶対時間枠 2004 年 3 月 1 日午前 0 時から 2004 年 4 月 30 日午前 0 時までを指定したとします。レポートには、開始日から終了日までの期間のデータが表示されます。ここで、[「開始」日を無視 (Ignore From Date)]にチェックマークを付けた場合、レポートは開始日を無視し、2004 年 4 月 30 日午前 0 時までのすべてのデータを表示します。
「終了」日を無視 (Ignore To Date)	これは絶対時間枠にのみ適用されます。[絶対時間枠 (Absolute Timeframe)]で入力した[開始 (From)]の日付以降のすべてのデータを表示する場合は、このオプションにチェックマークを付けます。 例: 絶対時間枠 2004 年 3 月 1 日午前 0 時から 2004 年 4 月 30 日午前 0 時までを指定したとします。レポートには、開始日から終了日までの期間のデータが表示されます。ここで、[終了日を無視する (Ignore To Date)]にチェックマークを付けた場合、レポートは終了日を無視し、2004 年 3 月 1 日午前 0 時以降のすべてのデータを表示します。
単位時間なし (No Time Basis)	これは表示されるデータを時間でグループ化しないことを示します。レポートには時間に関係なく OpsCenter データベースのすべてのデータが表示されます。時間枠のグループ化は適用されません。
1 日の時間帯 (Day Window)	[1 日の時間帯 (Day Window)]は絶対時間枠か相対時間枠を指定するときに適用可能です。[1 日の時間帯 (Day Window)]から、1 日を構成する時間間隔を指定できます。[開始 (From)]と[終了 (To)]ドロップダウンリストから値を選択します。 例: 6:00 PM から 6:00 AM 例: 12:00 AM (深夜) から 12:00 PM (正午)
時間枠のグループ分け (Time Frame Grouping)	このオプションは履歴表示形式を選択したときにのみ表示されます。 レコードをグループ化する時間間隔を選択します。たとえば、レポートの時間枠として 1 カ月、グループ分けの間隔として 10 日を選択すると、レポートは、10 日でグループ化されたデータの 3 つのチャンクでレコードを示します。

フィルタパラメータの選択と使用

表示するレポートの追加のフィルタ機能を実現するのにフィルタパラメータを使うことができます。たとえば、選択するカテゴリかサブカテゴリに応じて、次に基づいてフィルタ処理できます。

- クライアントオペレーティングシステム (Client Operating System)

- クライアントがアクティブです
- ポリシーが有効です (Policy Active): アクティブであるポリシーを表示するには[はい (Yes)]を選択します。アクティブではないポリシーを表示するには[いいえ (No)]を選択します。
- [メディアは保留中です (Media is On Hold)]列が[メディア (Media)]フィルタの下に追加されました。
- [イメージは保留中です (Image is on hold)]と[イメージのコピーは保留中です (Image Copy is on hold)]列が[イメージ (Image)]フィルタの下に追加されました。
- [インデックスサーバー名 (Index Server Name)]、[メタデータのインデックス作成が有効です (Metadata Indexing Enabled)]が[ポリシー (Policy)]フィルタに追加されました。
- [スケジュールのインデックス作成が有効です (Indexing enabled for schedule)]列が[スケジュール (Schedule)]フィルタの下に追加されました。

追加のフィルタ条件を指定する方法

1. カスタムレポートウィザードで、レポートカテゴリ、サブカテゴリ、ビュー形式を選択します。[次へ (Next)]をクリックします。
2. [パラメータの選択 (Select Parameters)]パネルで、それぞれのフィルタが[フィルタ (Filters)]セクションに表示されます。

   表示されるフィルタのリストは選択したレポートカテゴリとビュー形式によって決まります。
3. 使うフィルタをクリックし、表示されるフィールドを使って 1 つ以上の値を指定します。

表示オプションについて

履歴レポート、ランキングレポート、表形式レポート、分布レポートのために収集する測定値を定義するには、[表示オプションの変更 (Modify Display Options)]パネルを使います。表示される表示オプションは、ビュー形式ごとに異なります。

履歴ビューの表示オプションについて

履歴レポートの場合は次の表示オプションが利用可能です。次のパラメータが表示されます。

レポート対象 (Report On)	ドロップダウンリストを使ってレポートの範囲を定義します。このフィールドはグループ化が必要になるエンティティを示します。たとえば、[レポート対象 (Report On)]パラメータで[クライアント (Client)]を選択すると、Y 軸のレポートデータはクライアント別にグループ化されます。 例: [ジョブ状態 (Job Status)]、[イメージ形式 (Image type)]など。

説明	レポートと共に表示する説明。このフィールドを空白のままにすると、説明はデフォルトでは表示されません。

X 軸 (X-Axis)

表示名 (Display Name)	履歴レポートの水平 (X) 軸のラベル。このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのラベルが表示されます。
レポートデータ (Report Data)	グラフの水平 (X) 軸を定義するのに使われるメトリック。 例: [**試行の終了時刻** (Attempt End Time)]、[**クライアント名** (Client Name)] [クライアント名 (Client Name)]のような時間ベースではない[レポートデータ (Report Data)]パラメータを選択すると、[単位時間 (Time Basis)]という別のパラメータが表示されます。
単位時間 (Time Basis)	このパラメータは[クライアント名 (Client Name)]のような時間と関連していない[レポートデータ (Report Data)]パラメータを選択すると表示されます。[単位時間 (Time Basis)]は時間フィルタが基準として適用される時間属性に類似しています。この属性はウィザードで時間枠を構成するときに[単位時間なし (No Time Basis)]を選択した場合は表示されません。[単位時間 (Time Basis)]は、[レポートデータ (Report Data)]パラメータによって指定されていない場合にレポートの各項目に時間を割り当てるために使われるメトリックです。 例: 各バックアップジョブの開始時刻か終了時刻。

Y1 軸 (Y1-Axis)、Y2 軸 (Y2-Axis)

表示名 (Display Name)	履歴レポートの水平 (Y1 か Y2) 軸のラベル。このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのラベルが表示されます。
レポートデータ (Report Data)	履歴レポートのグラフの垂直 (Y1 か Y2) 軸を定義するのに使われるメトリック。 例: [ジョブのサイズ (Job Size)]、[状態コード (Status Code)]など。
表示ユニット (Display Unit)	[ジョブのサイズ (Job Size)]のような数値データ型の場合にデータを表示する単位。これはジョブサイズ、イメージサイズ、フラグメントサイズなどのサイズ関連の属性にのみ適用可能です。 例: MB、GB。
グラフ形式 (Chart Type)	レポート形式。[レポートデータ (Report Data)]で指定した値によっては追加の形式を利用できることがあります。

予測期間で予測を表示する (Show Forecast with forecast periods)	最近の実際のデータを平均化して将来の傾向を予測するのに[傾向ライン (Trendline)]と[予測 (Forecast)]パラメータを使います。予測期間(間隔)を示す数値を指定するには、[予測期間で予測を表示する(Show Forecast with forecast periods)]にチェックマークを付けてドロップダウンメニューを使います。これはレポートの時間枠内のデータの傾向に基づいて値を予測するために線形回帰を使って、将来に及ぶ予測線を表示します。 例: 12 を指定すると次の 12 カ月のデータが予測されます ([次の基準による時間枠グループ (Time Frame Group By)]が 1 カ月の場合)。 予測の計算について詳しくは次の Web サイトを参照してください。 http://easycalculation.com/statistics/regression.php
次の移動平均期間で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average period of)	最近の実際のデータを平均化して一般のパターンか傾向を示すのに[傾向ライン (Trendline)]パラメータを使います。平均の計算に使うデータポイントの数を指定するには、[移動平均で傾向ラインを表示する (Show trendline with moving average)]にチェックマークを付けてドロップダウンメニューを使います。グラフの各間隔において、傾向線は最新のデータポイントの移動平均を示します。 例: 3 を指定すると、傾向線は、現在のデータポイントと、以前の 2 つのデータポイントの平均を各間隔で示します。
ターゲットパフォーマンス (Target Performance)	履歴レポートの場合、[ターゲットパフォーマンス (Target Performance)]にチェックマークを付けて[Y1 軸 (Y1-Axis)]または[Y2 軸 (Y2-Axis)]ラジオボタンを選択します。レポートの表示にターゲットレベルかしきい値を含めるためにテキストボックスに値を入力します。ターゲット値は横線として表示され、ターゲット値と報告される実際値をすばやく視覚的に比較するために役立ちます。

ランキンググラフの表示オプションについて

ランキングレポートの場合は次の表示オプションが利用可能です。次のパラメータが表示されます。

グラフ形式 (Chart Type)	ドロップダウンメニューから[棒グラフ (Bar Chart)]を選択します。
レポート対象 (Report On)	[イメージ形式 (Image Type)]のようなレポートで参照するエンティティを選択します。
表示 (Display)	参照するランキングの数とその配列方法 (昇順または降順) を選択します。
Y 軸の表示名 (Y-Axis Display Name)	Y 軸のラベルを入力します。

レポートデータ (Report Data)	これは Y 軸にプロットするデータです。
単位時間 (Time Basis)	［レポートデータ (Report Data)］パラメータによって指定されていない場合にレポートの各項目に時間を割り当てるために使われるメトリック。 例: 各バックアップジョブの開始時刻か終了時刻。
説明	レポートと共に表示する説明。このフィールドを空白のままにすると、説明はデフォルトでは表示されません。

分布グラフの表示オプションについて

分布レポートの場合は次の表示オプションが利用可能です。

グラフ形式 (Chart Type)	ドロップダウンメニューから［円グラフ (Pie Chart)］を選択します。
レポート対象 (Report On)	［試行の状態 (Attempt Status)］のようなレポートで参照するエンティティを選択します。
レポートデータ (Report Data)	これは円グラフにプロットするデータです。
単位時間 (Time Basis)	［レポートデータ (Report Data)］パラメータによって指定されていない場合にレポートの各項目に時間を割り当てるために使われるメトリック。 例: 各バックアップジョブの開始時刻か終了時刻。
説明	レポートと共に表示する説明。このフィールドを空白のままにすると、説明はデフォルトでは表示されません。

表形式の表示オプションについて

表形式レポートの列タイトルを設定するには、［表示オプションの変更 (Modify Display Options)］パネルを使います。

表形式レポートの場合は次の表示オプションが表示されます。

単位時間 (Time Basis)	［単位時間 (Time Basis)］ドロップダウンリストから、［ジョブの終了時刻 (Job End Time)］または［ジョブの開始時刻 (Job Start Time)］のような単位時間を選択します。 ［単位時間 (Time Basis)］はレポートの各項目に時間を割り当てるのに使われます。
説明	レポートの説明を入力します。このオプションは必要に応じて指定します。

表示ユニット (Display Unit)

［表示ユニット (Display Unit)］ドロップダウンリストから、次の単位の 1 つを選択します。

- B
- KB
- MB
- GB
- TB

期間 (Time Duration)

［期間 (Time Duration)］ドロップダウンリストから、次の時間間隔の 1 つを選択します。

- 秒間 (Seconds)
- 分間 (Minutes)
- 時間 (Hours)
- 日間 (Days)
- 週間 (Weeks)
- 月間 (Months)
- 年間 (Years)

利用可能な列 (Available Columns)

［利用可能な列 (Available Columns)］リストから、表の列 (たとえば、［クライアント名 (Client Name)］、［状態 (Status)］、［ジョブのグループ ID (Job Group ID)］) の 1 つ以上の値を選択します。

［編集 (Edit)］をクリックします。

［利用可能な列 (Available Columns)］リストから選択された列は［選択済みの列 (Selected Columns)］に追加され、レポートに表示するとおりに再配列できます。

選択済みの列 (Selected Columns)

［利用可能な列 (Available Columns)］リストから選択された列は［選択済みの列 (Selected Columns)］に追加され、次のコントロールを使ってレポートに表示するとおりに再配列できます。

- ソート順序 (Sort order)
- 操作 (Operation)
- 上に移動 (Move Up)
- 下に移動 (Move Down)
- 削除 (Remove)

［選択済みの列 (Selected Columns)］リストのすべての列がレポートに表示されます。

1 ページあたりの行数 (Rows Per Page)

［1 ページあたりの行数 (Rows Per Page)］ドロップダウンリストから、1 つのレポートページに表示するレコードの行数を選択します。

レポート内の一意の行を表示する (Display unique rows in the report)	このオプションを選択すると、レポートのすべての重複した行が単一の行と置換され、独立したレコードのみが表示されます。重複した行は一般に、行に一意の ID がない場合に表示されます

レポートの条件の定義

[表示オプションの変更 (Modify Display Options)]パネルの[条件 (Conditions)]セクションでは、通知の例外条件を指定します。例外条件は、たとえばバックアップジョブエラーの異常に高いパーセントまたはバックアップされるデータの異常に少ない量などの潜在的な問題を表します。各条件は、成功率や合計バックアップジョブサイズなどの特定のメトリックのしきい値を割り当てることによって定義されます。低いしきい値か高いしきい値、またはその両方を設定できます。条件は[ジョブのサイズ (Job Size)]のような数値にのみ適用可能です ([ジョブの形式 (Job Type)]、[マスターサーバー (Master Server)]のような値には適用されません)。[数 (Count)]や[個別の数 (Distinct Count)]のような機能を適用した場合は、[ジョブの形式 (Job Type)]や[マスターサーバー (Master Server)]のような属性の条件を適用できます。

条件を指定した後、条件に該当する場合に電子メール通知が送信されるかレポートがエクスポートされるように、またはその両方が実行されるようにレポートスケジュールを作成できます。条件はレポートがスケジュールされているときにのみ適用されます。

SQL 問い合わせを使用した OpsCenter レポートの作成

この項では、SQL 問い合わせを使ったレポートを作成するための手順について説明します。

OpsCenter Analytics ユーザーのみがカスタム SQL 問い合わせ機能にアクセスできます。

p.11 の「OpsCenter Analytics のカスタム SQL 問い合わせについて」を参照してください。

メモ: OpsCenter は SQL クエリーを実行してレポートを生成する前に知っておくと便利な OpsCenter データベーススキーマの詳細情報を提供します。レポートウィザードの SQL の問い合わせページで、すべての関連情報を含む PDF を開くには、[OpsCenter データベーススキーマドキュメントを参照 (Refer to the OpsCenter Database Schema Document)]リンクをクリックします。

メモ: OpsCenter のレポーターとリストアオペレータにはカスタム SQL 問い合わせオプションへのアクセス権がありません。

SQL 問い合わせを使ってレポートを作成する方法

1. OpsCenter コンソールで、[レポート (Reports)]をクリックします。
2. [レポートテンプレート (Report Templates)]タブで、[新しいレポートの作成 (Create New Report)]をクリックします。
3. レポートウィザードで、[SQL の問い合わせを使用してレポートを作成する (Create a report using SQL Query)]オプションを選択し、[次へ (Next)]をクリックします。
4. SQL 問い合わせのページで、必要なデータを表示するために SQL 問い合わせを入力します。

   たとえば、OpsCenter によって監視され、管理されるすべての NetBackup マスターサーバーを表示するには次の SQL 問い合わせを入力します。select * from domain_masterserver
5. [次へ (Next)]をクリックします。

   データベーステーブル「domain_masterserver」に保存されるすべてのマスターサーバーの詳細を表示できます。

   メモ: 複数の結果セットがあるストアドプロシージャを実行するとき、GUI には最初の結果セットの出力のみが表示されます。他の結果セットの出力は GUI に表示されません。

Opscenter はほとんどの時間フィールドをグレゴリオ暦で保存することに注意してください。OpsCenter ホストで構成されているタイムゾーンで特定のグレゴリオ暦の日付フィールドの値を表示したい場合は、`utcbiginttonomtime`(*gregorianDatefield*) 関数 (*gregorianDatefield* はグレゴリオ暦の時間の値) を使う必要があります。`utcbiginttonomtime` 関数は DST のタイムオフセットを考慮できません。そのため、日付と時刻の値を表示するときに DST オフセットを無視します。

`utcbiginttoutctime()` 関数は OpsCenter ホストで構成されているタイムゾーンで時間を示さないので、使わないでください。

索引

記号

ウィザード
　カスタムレポートウィザード 368
エクスポート
　レポート 14
カスタム SQL 問い合わせ 11
カスタムレポート 10、368
　データ 371
　フィルタパラメータ 376
　時間枠 368
　表の列 374
カスタムレポートウィザード
　データパラメータ 371
　フィルタパラメータ 376
　　使用 370
　　選択 370
　列パラメータ
　　表の列の入力 374
　時間枠パラメータ 368
スケジュール 30
タイムスケジュール 37
データ
　グラフ表示レポート 44
　パラメータ 371
パラメータ
　カスタムレポートウィザード 368
ファイル形式 15
フィルタリング
　パラメータ 376
ランキングレポート 44
レポート
　カスタム
　　作成 368
　グラフ
　　形式 44
　　数値データ 44
　スケジュールが設定されたジョブ 121
　ツールのヒント 44
　形式 44
　条件 376
　通知
　　条件パラメータ 376
レポートスケジュール 28
レポートテンプレート 9
　説明 45
レポート形式 44
予測
　レポート 44
作成
　カスタム SQL 問い合わせ 376
　カスタムレポート 361、368
保存
　レポート 14
傾向レポート
　形式 44
円グラフレポート 44
数値データ
　表示 44
時間枠
　パラメータ 368
標準レポート
　説明 202
相関レポート 44
管理
　フォルダ 26
電子メール
　レポート 17
[スケジュール (Schedules)]オプション 29
[スケジュールが設定されたジョブ (Scheduled Jobs)]レポート 121～122
　[すべてのジョブ (All Jobs)]レポート 132
　[ジョブ数 - スケジュールと実際の比較 (Job Count-Scheduled Vs Actual)]レポート 122
　[ジョブ数の詳細 - スケジュールと実際の比較 (Job Count Details-Scheduled Vs Actual)]レポート 129
　[バックアップ処理時間帯内のジョブ数 (Job Count Within Backup Window)]レポート 126
[タイムスケジュールの作成 (Create Time Schedule)]オプション 37
[タイムスケジュールの編集 (Edit Time Schedule)]オプション 37

[フォルダの管理 (Manage Folders)]オプション 26
[マイダッシュボード (My Dashboard)]オプション 23
[マイダッシュボード (My Dashboard)]タブ 23
[マイレポート (My Reports)]タブ 20

O

OpsCenter レポート 7

P

PureDisk のレポート
　表の列 374

S

SIS
　単一インスタンス記憶域 374
SLP レポート
　SLP バックログレポート 324
　SLP 状態レポート 319
　概要 317
　[SLP 別の SLP の状態 (SLP Status by SLP)]レポート 325
　[イメージコピー別の SLP の状態 (SLP Status by Image Copy)]レポート 341
　[イメージ別の SLP の状態 (SLP Status by Image)]レポート 335
　[クライアント別の SLP の状態 (SLP Status by Client)]レポート 330
　[宛先別の SLP の状態 (SLP Status by Destinations)]レポート 344

T

ToolTips 44

V

Veritas のテクニカルサポート
　OpsCenter カスタム SQL クエリー 11
　OpsCenter カスタムレポート 11

さ

しきい値
　レポート 376